

# 日本語フィラーと中国語フィラーの機能に関する対照研究

葛, 欣燕

<https://doi.org/10.15017/4060252>

---

出版情報 : Kyushu University, 2019, 博士 (学術), 課程博士  
バージョン :  
権利関係 :

# 日本語フィラーと中国語フィラーの機能に関する対照研究

地球社会統合科学府・地球社会統合科学専攻

葛 欣燕

3GS14007T

## 要旨

日本語の日常会話を観察すると、産出上なんらかの障害が生じる時、「あー」「えーと」「なんか」「まあ」等、フィラーと呼ばれる言語表現が頻繁に使われる。フィラーは言語産出過程で困難がある時に対処する手段の1つである一方、ポライトネスに関わる、対人関係を調整する戦略の1つであると指摘されている。フィラーは言語を超えてどの言語にも存在している一方、その使用特徴には異なる部分が多い。また、フィラーは意味を持たず、それを会話から取り除いても発話全体の構成や意味伝達に影響を与えないため、中国の日本語教育現場ではフィラーの指導がほとんど無視されているのが現状である。さらに、フィラーを外国語に翻訳することは難しく、また外国語のフィラーを習得することもかなり難易度が高い。

本研究では、まず、日本語と中国語の会話データに基づいて、出現位置、場面の改まり度と機能の関わりから両言語のフィラー使用の特徴を明らかにした。次に、日中接触場面の日本語母語話者と中国人日本語学習者の日本語フィラーの使用実態を比較し、学習者による日本語フィラーの使用に見られる問題点を解明した。論文の構成は以下の通りである。

第1章では、研究背景、研究目的及び論文全体の構成を述べた。

第2章では、先行研究を概観し本研究の立場を示した。まず、日本語フィラーと中国語フィラーに関する先行研究を概観した。日本語フィラーに関する研究は日本語学、心理言語学、コーパス言語学、会話分析、個々のフィラーの用法という5つのアプローチから整理した。中国語フィラーに関する研究は、副詞や接続詞等から談話標識への文法化過程と、個々の中国語談話標識の用法を概観した。次に、先行研究の問題点を指摘し、本研究の立場を示した。最後に、本研究のフィラーの定義、日本語フィラーと中国語フィラーの類型及びフィラーの機能の分類を述べた。

第3章では、本研究で使用したデータの特徴、その収集法、そして文字化基準を紹介した。

第4章から第6章までが本論である。第4章では、出現位置と機能、場面の改まり度と機能という2つの側面を中心に、日本語フィラー使用の特徴について分析した。フィラーの機能を「発話内容・構成調整機能」と「対人関係調整機能」という2つに分けて、さらにそれぞれに下位分類を立て、会話例を観察して分析を行った。「言葉探し」としてのフィラーはどの位置にも現れる。発話頭に位置するフィラーは主に人間関係を配慮しながらコミュニケーションを円滑に遂行させる機能がある。発話中に位置するフィラーは発話の構成、談話の展開及び聞き手への配慮を意識しつつ使用されている。発話末

にフィラーを付加することは「言葉探し」、「情報の曖昧化」、「共通理解」という効果を出す。場面の改まり度と機能の関わりに関しては、テレビインタビュー場面と雑談場面の制度性の特徴からフィラー使用の差異について分析・考察を行った。

第5章では、中国語フィラーに関する観察・分析をした。第4章と同様の側面から中国語フィラー使用の特徴を論じた。発話頭に位置するフィラーは、良好な人間関係を保ちながらコミュニケーションをスムーズに運ぶ機能をする。特に「言葉探し」、「和らげ」「ためらい」、「発話権奪取」のフィラーの使用率が高い。発話中に位置するフィラーは、適切な表現を探したり発話内容を調整したり、または対人関係を調整したりするように、ほかの位置に比べて最も豊富に使われている。発話末に位置するフィラーは「言葉探し」として使用されている。

第6章では、第1に、出現位置、場面の改まり度、機能から日本語フィラーと中国語フィラーの使用の特徴を比較対照させ考察を行った。具体的には、フォーマルな場面とインフォーマルな場面に分けて、各位置の日中フィラー使用の相違点について考察した。結果としては、「発話内容・構成調整機能」としてのフィラー使用は類似しており、「対人関係調整機能」としてのフィラー使用に関しては、日本語フィラーの使用は「聞き手中心」であるのに対し、中国語フィラーの使用は「話し手中心」であるという結論に至った。また、日本語フィラーは「共通理解」の使用率が高い一方、中国語フィラーは「発話権奪取」の使用率が高いことが明らかになった。第2に、日中接触場面の会話データに基づき、日本語母語話者と中国人日本語学習者の日本語フィラーの使用実態を明らかにした。まず、母語話者と学習者の各フィラー類型の使用頻度を算出した。次に、会話データの分析結果に基づき、母語話者と学習者の日本語フィラーの機能別の使用数及び割合を数値で示した。そして、発話内容・構成調整、対人関係調整という2つの機能から母語話者と学習者による日本語フィラー使用の相違点を抽出し、会話例を示して説明を行った。

第7章では、本研究の要約と研究意義、及び今後の展望を述べた。

本研究は、日本語フィラーと中国語フィラーの使用特徴について比較対照を行った。これまで研究対象とされていなかった日中フィラー全体に関する機能上の相違点を体系的に示した。また、日中接触場面における日本語母語話者と中国人日本語学習者の日本語フィラーの使用実態を解明することによって、学習者の日本語フィラー使用の問題点を明らかにした。本研究の結果は中国の日本語教育現場へ応用する可能性を持っており、有意義な基礎研究だと言える。

## 目次

第1章 序論 .....	1
1.1 研究背景 .....	1
1.2 研究目的 .....	2
1.3 論文の構成 .....	2
第2章 先行研究概観及び本研究の立場 .....	5
2.1 日本語フィラーに関する先行研究 .....	5
2.1.1 国語学分野における研究 .....	5
2.1.2 心理言語学分野における研究 .....	7
2.1.3 コーパス言語学の分野における研究 .....	9
2.1.4 会話分析の分野における研究 .....	15
2.1.5 個々のフィラーの機能についての研究 .....	16
2.2 中国語フィラーに関する先行研究 .....	21
2.2.1 中国語談話標識の形成経路についての研究 .....	22
2.2.2 個々の中国語談話標識についての研究 .....	25
2.3 先行研究の問題点及び本研究の立場 .....	28
2.4 フィラーの定義 .....	30
2.4.1 フィラーと談話標識 .....	31
2.4.2 フィラーと感動詞 .....	33
2.4.3 フィラーとあいづち .....	34
2.4.4 本研究におけるフィラーの定義 .....	36
2.5 日本語フィラーと中国語フィラーの類型 .....	36
2.6 フィラーの機能 .....	38
2.6.1 先行研究におけるフィラーの機能及びその分類 .....	38
2.6.2 本研究におけるフィラーの機能及びその分類 .....	42
2.7 本章のまとめ .....	50
第3章 本研究の会話データ .....	51
3.1 日本語データ .....	52
3.1.1 インタビュー番組—「徹子の部屋」— .....	52

3.1.2 自然会話—「Sakura」—	53
<b>3.2 中国語データ</b>	<b>54</b>
3.2.1 インタビュー番組—「楊瀾訪談録」—	54
3.2.2 自然会話—「BEIF コーパス」—	55
<b>3.3 日中接触場面における会話データ</b>	<b>55</b>
3.3.1 インタビューにおける日本語母語話者と中国人日本語学習者間の会話データについて	56
3.3.2 自然会話における日本語母語話者と中国人日本語学習者間の会話データについて	56
<b>3.4 文字化の基準</b>	<b>58</b>
<b>3.5 本章のまとめ</b>	<b>60</b>
<b>第4章 日本語フィルターの使用の特徴</b>	<b>61</b>
4.1 各位置における日本語フィルターの使用実態	61
4.2 各位置における日本語フィルターの機能についての使用概況	62
4.3 各位置における日本語フィルターの機能	66
4.3.1 発話頭における日本語フィルターの機能	66
4.3.2 発話中における日本語フィルターの機能	72
4.3.3 発話末における日本語フィルターの機能	84
4.4 日本語母語話者による日本語フィルター使用の特徴	86
4.4.1 機能と出現位置の関わり	86
4.4.2 機能と場面の改まり度の関わり	87
4.5 本章のまとめ	88
<b>第5章 中国語フィルターの使用の特徴</b>	<b>91</b>
5.1 各位置における中国語フィルターの使用実態	91
5.2 各位置における中国語フィルターの機能についての使用概況	92
5.3 各位置における中国語フィルターの機能	96
5.3.1 発話頭における中国語フィルターの機能	96
5.3.2 発話中における中国語フィルターの機能	100
5.3.3 発話末における中国語フィルターの機能	111
5.4 中国語母語話者による中国語フィルター使用の特徴	113
5.4.1 機能と出現位置の関わり	113

5.4.2	機能と場面の改まり度の関わり.....	114
5.5	本章のまとめ.....	115
<b>第6章</b>	<b>日本語フィラーと中国語フィラーの使用の相違点.....</b>	<b>117</b>
6.1	各位置における日中フィラーの使用実態.....	118
6.2	日中フィラーの使用の相違点.....	119
6.2.1	フォーマルな場面における日中フィラー使用の相違点.....	119
6.2.2	インフォーマルな場面における日中フィラー使用の相違点.....	121
6.3	機能から見た日中フィラー使用の相違点.....	123
6.3.1	「和らげ」と「ためらい」から見た日中フィラー使用の相違点.....	123
6.3.2	「共通理解」から見た日中フィラー使用の相違点.....	124
6.3.3	「発話権奪取」から見た日中フィラー使用の相違点.....	126
6.4	先行研究における日本語学習者のフィラーの使用状況.....	129
6.5	JNSとCJLによる各類型日本語フィラーの使用状況.....	130
6.6	機能に基づくJNSとCJLの日本語フィラーの使用実態.....	133
6.7	機能別に基づくJNSとCJLの日本語フィラー使用の特徴.....	134
6.7.1	発話内容・構成調整機能に基づくJNSとCJLの日本語フィラー使用の特徴.....	134
6.7.2	対人関係調整機能に基づくJNSとCJLの日本語フィラー使用の特徴...	137
6.7.3	まとめ.....	141
6.8	CJLによる日本語フィラーの使用実態.....	141
6.8.1	「言葉探し」としての日本語フィラーの使用実態.....	143
6.8.2	「発話継続表明」としての日本語フィラーの使用実態.....	145
6.8.3	まとめ.....	147
6.9	本章のまとめ.....	148
<b>第7章</b>	<b>結論.....</b>	<b>151</b>
7.1	本研究の要約.....	151
7.2	本研究の意義.....	152
7.3	今後の課題.....	153
7.4	日本語教育への展望.....	154
	参考文献.....	155

付録 .....	163
会話例の抜粋(一部) .....	163
インタビュー番組「楊瀾訪談録」 .....	193
自然会話における日本語母語話者と中国人日本語学習者間の会話 .....	223
インタビューにおける日本語母語話者と日本語学習者間の会話 .....	269



# 第 1 章 序論

## 1.1 研究背景

日常会話では、言葉の産出が困難である際に「あの一」「えーと」「なんか」「まあ」等の用語が頻繁に使われている。これらの用語を取り除いても、情報伝達と発話全体の構成には影響を及ぼさない(塩沢, 1979; 山根, 2002, 2008; 川田, 2007; 水上・山下, 2007; 小出, 2009; 定延, 2010 等)。国語学研究ではこれらの表現を品詞として扱い、山田(1936)は「感動副詞」、佐久間(1943)と橋本(1948)は「感動詞」と名付けた。近年の日本語学では、塩沢(1979)は「hesitation」と、小出(1983)は「言い淀み」と呼び、また Brown(1977)、定延・田窪(1995)、山根(2002)は「フィラー」という名称をつけている。

日本語のフィラーに関する研究は、主に日本語学、心理言語学、コーパス言語学、会話分析、個々のフィラーの用法という 5 つのアプローチからなされてきた。特にその談話上の機能は多くの知見が蓄積されている。例えば、『国語学辞典』では「エー」「ソノ一」等を「間投詞」に分類した上で、話の始まりや語句のつながりに現れる無意味な音声または遊び言葉としている。これらの用語は発話の構造整備、間の悪さの解消・補足、聞き手の注意を集中する等の働きを持っているとされている。田窪・金水(1997)は、感動詞の種類によって後続する文の類型をある程度予測できると指摘し、山根(2002)は、フィラーの役割を「テキスト構成に関わる機能」、「話し手の情報処理能力を表出する機能」、「対人関係に関わる機能」という 3 つにまとめている。また、西阪(1999)は、「受け手に合わせたデザイン」をしながら発話する際に困難があるとき、「あの一」(等)によってその発言を有標化すると述べている。

フィラーを外国語に翻訳することは難しく、外国語におけるフィラーの用法を習得することも難易度が高い(定延, 2010)。一方、コミュニケーション能力を向上させるためには、フィラーを会話ストラテジーの 1 つとして指導する必要性と重要性も提唱されている(尾崎, 1981; 畠, 1988; 堀口, 1995; 大工原, 2010 等)。しかし、日本語教育現場では、フィラーの指導が十分に行われていないのが現状である(大工原, 2010)。フィラーは実質的な意味を持たず、また構造的に制限されないにもかかわらず、個々のフィラーの性格は異なり、使用にも制約がある(山根, 2002; 小出, 2009; 定延, 2010; 大工原, 2010 等)。それにもかかわらず、母語話者はフィラーを誤用することはほとんどない(刘, 2006; 定延, 2010)。日中接触場面の会話を観察すると、中国人日本語学習者の日本語フィラーの使用には過剰使用や誤用等様々な問題が生じている。

これまで日本語学習者のフィラーの使用に関する研究では、主に習熟度によるフィラ

一の使い分けに留まっている。例えば、日本語レベルあるいは習熟度が上がるにつれて「あー」「えー」等の非語彙型フィラーの使用が徐々に減り、「あの」「まあ」「えーと」等の語彙型フィラーの使用が増える(小出, 2010; 土屋, 2013; 小西, 2018)。一方、日本語学習者がフィラーを会話ストラテジーとしてどのように使用されているかについての研究は、管見の限りほとんどなされていない。

日本語にも中国語にもフィラーは存在しているが、その用法には異なる部分も多い。そこで、本研究の目的は、日本語フィラー及び中国語フィラーの使用の特徴がどのようになっているかという根本的な問題を解明した上で、フィラーが会話ストラテジーとして使用される際の中国人日本語学習者と日本語母語話者の相違点及びその要因を明らかにする。

## 1.2 研究目的

本研究では、日本語と中国語の自然会話とインタビュー番組、及び日中接触場面の会話をデータとして、日本語フィラーと中国語フィラーの分析を行い、それぞれフィラーの使用実態を明らかにする。また、日中接触場面における中国人日本語学習者による日本語フィラーの使用に、過剰使用、誤用、母語干渉等があるかを解明する。中国人日本語学習者と日本語母語話者の日本語フィラーの使用実態を対照させ、その結果を日本語教育・中国語教育に応用するための基礎研究を行う。

具体的には、以下の5つの側面から考察を進める。

- ① フォーマルな場面の日本語フィラーの出現位置とその機能
- ② インフォーマルな場面の日本語フィラーの出現位置とその機能
- ③ フォーマルな場面の中国語フィラーの出現位置とその機能
- ④ インフォーマルな場面の中国語フィラーの出現位置とその機能
- ⑤ 日中接触場面の日本語母語話者と中国人日本語学習者の日本語フィラー使用差異

## 1.3 論文の構成

本論文は7章から構成されている。具体的には以下の通りである。

第2章では、先行研究概観及び本研究の立場を述べる。先行研究を主に日本語フィラーに関する研究と中国語フィラーに関する研究という2つの側面から概観する。まず、日本語フィラーに関する研究は、国語学、心理言語学、コーパス言語学、会話分析、個々のフィラーの用法と

いう5つの分野に分けてそれぞれの特徴をまとめる。次に、中国語フィラーは中国の言語学では「談話標識」とみなされているため、副詞、接続詞、指示詞等から談話標識への文法化過程と個々の談話標識の用法から概観する。そして、先行研究の問題点を指摘し、本研究の立場を示す。最後に、本研究のフィラーの定義、日本語フィラーと中国語フィラーの類型及びフィラーの機能の分類を述べる。

第3章では、本研究で使ったデータ及び研究方法を紹介する。日本語データにはインタビュー番組『徹子の部屋』の文字化資料と自然会話『Sakura コーパス』を使用する。中国語データにはインタビュー番組『楊澜訪談録』の文字化資料と『BEIF コーパス』を使用する。日中接触場面のデータには、筆者が自ら収集した会話データと『日本語資料集』に収録されている会話データを使用する。

第4章では、場面と出現位置から日本語フィラーの機能に関する観察・分析を行う。フォーマルな場面での日本語フィラーの出現位置とその機能、インフォーマルな場面での日本語フィラーの出現位置とその機能という2つの側面から論じる。

第5章では、中国語フィラーに関する観察・分析をする。第4章と同様の側面から中国語フィラーの使用の特徴をまとめる。

第6章では、第1に、場面、出現位置、機能から日中フィラーの相違点を対照させて総合的な考察を行う。第2に、日中接触場面の会話データに基づき、日本語母語話者と中国人日本語学習者の使用実態を分析する。まず、日本語母語話者と中国人日本語学習者のフィラーの使用分布をまとめる。次に、「発話内容・構成調整」と「対人関係調整」という2つの機能から母語話者と学習者による日本語フィラー使用と学習者の間の相違点を解明する。

第7章では、本研究のまとめ、意義、今後の課題及び日本語教育への展望について述べる。



## 第2章 先行研究概観及び本研究の立場

本章では、日本語フィラーと中国語フィラーの先行研究を概観して、本研究の立場を示す。2.1では、国語学、心理言語学、コーパス言語学、会話分析、個々のフィラーの用法という5つのアプローチから日本語フィラーに関する先行研究をまとめる。2.2では、副詞、接続詞、指示詞等から談話標識への文法化過程と個々の談話標識の用法から中国語フィラーに関する先行研究を概観する。2.3では、先行研究の問題点を指摘し、本研究の位置づけを示す。2.4では、フィラーと談話標識、感動詞、あいづちの違いを示した上で、本研究のフィラーのプロトタイプを設定する。2.5では、日本語と中国語フィラーの類型を整理する。2.6では、先行研究の日中フィラーの機能を概観した上で、本研究のフィラーの機能の分類を紹介する。2.7は本章のまとめである。

### 2.1 日本語フィラーに関する先行研究

#### 2.1.1 国語学分野における研究

国語学研究では、「あのー」「えーと」という表現は主に品詞として扱われる。山田(1936)によると、「あの」「あら」等は「感動副詞」、即ち、感動する時の気持ち、又は誘う、呼び掛け等を表すものとして、文句の組み立ての上では形式上の拘束はないものであると述べられている。山田は「感動副詞」を2つに分けた。

1つは、驚き、感嘆等感情を表すものである。

例 2-1

あのわが思ひは足り、わが心は楽し。

例 2-2

あら面白の歌や。 (山田 1936:392)

もう1つは、誘い、呼び掛け等を表すものである。

例 2-3

いで目にももの見せてくれむ。

例 2-4

すはや敵こそせめきたれ。 (山田 1936:392)

橋本(1948)は「ああ」「おや」「いいえ」等を「感動詞」と名付け、単独で文となり、

主語にならず、他の語を修飾し又は接続しないと論述している。

さらに、佐久間(1983)は「アー」「アラ」「マー」等を「感動詞」として扱い、今まであまり問題にされなかった種類の品詞であり、「驚き・嘆き・喜び・腹立ち」等の強く動かされた感情や、そのほか「呼び掛け」や「受け答え」等を表す場合に「自然に発する音声」というふうに考えられると述べている。さらに、感動詞は、本来の感動詞という一次的なものと他の品詞から転用されたような二次的なものとに分けられることを指摘している。一次的な感動詞は、その機能上、発言事態における表情音声の役割を代表するものであり、二次的なものは、「ある指示的な役割や、呼び掛けの働きを伴って用いられるものが、感動詞の名目の中に編入されているが、それは用法上同趣なところがあるだけでなく、機能上も、つまり言語機能の上からも、ほかの品詞と趣を異にする点があるからである(佐久間, 1983:43)」と指摘されている。

しかし、渡辺(1971)は、品詞論は構文論と関連性があるべきであり、構文的機能の研究が自動的に品詞分類に反映すべきであることを主張し、従来「感動詞」と呼ばれてきたものを「陳述副詞」と呼んでいる。即ち、関係構成的機能・素材表示の機能を託され、統叙の機能を託されない副詞類が「連体副詞」・「連用副詞」・「誘導副詞」・「接続副詞」・「並列副詞」・「陳述副詞」に改めて分類された。従来の「陳述副詞」を「誘導副詞」に変え、もともとの「接続詞」を「並列副詞」と「接続副詞」に分けた。

松下(1930)では、感動詞を「実質感動詞」と「形式感動詞」に分けた。以下に例を挙げる。

#### 例 2-5 <作例>

あら、携帯電話を教室に忘れた。

例 2-5 の「あら」は主観的な心の働きを表す感動詞であり、「携帯電話を教室に忘れた」は客観的な事実を表すと述べられている。

#### 例 2-6 <作例>

あの時、懐かしいなあ。

これ、おいしいねえ。

ここでは、逆に前の「懐かしい」、「おいしい」は実質的な意義を表し、後ろの「なあ」、「ねえ」は感情を表すと主張されている。

国語学の分野では、聞き手に向けられていない独話で使用される感動詞を中心として、

話し手の心内感情（驚き、喜び等）の変化を表すものとして記述されている。しかし、本稿では、間投表現の一種であり、聞き手に向けられている表現一言いよども（フィラーとも呼ばれている）を取り扱うことにする。とはいえ、日本語フィラーの一部は感動詞から変遷したため、国語学での感動詞の研究はこれからのフィラー研究に何らかの示唆を与える。

### 2.1.2 心理言語学分野における研究

心理言語学的なアプローチによる研究では、「あのー」、「えーと」、「まあ」等の表現は話し手の心理状態を反映すると指摘されている。心的操作標識「ええと」「あのー」の観察を通じて話し手の心的操作のモニターを明らかにした定延・田窪(1995)、応答詞・感動詞を対象とした田窪・金水(1997)、談話標識「まあ」を観察した富樫(2002)は代表的なものである。

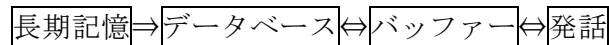
定延・田窪(1995)は、作例に基づいて、感動詞「ええと」「あの(ー)」の用法を考察し、話し手の心的操作のモニター機構を解明した。まず、心的操作標識「ええと」「あの(ー)」を使用するには2つの効果・意義がある。1つ目は、「話し手にとっての効果・意義。話し手は心的操作ごとに対応づけられたモニター標識を使い分けて発話することにより、自分のおこなっている心的操作を明確化でき、支援できる(定延・田窪, 1995:78)」。2つ目は、「話し手と聞き手双方にとっての効果・意義。話し手は、自分のおこなっている心的操作を聞き手に察知させることにより、コミュニケーションの途絶を防ぐことができる。さらに、後続する発話を聞き手に予測させ、談話の進行を円滑なものにできる(定延・田窪, 1995:78)」。また、「ええと」「あの(ー)」の基本的用法は、「ええと」は話し手が検索や計算等のための予備的な心的操作に入っていることを表す一方、「あの(ー)」は話し手が名前の検索と適切な表現の検討という聞き手の存在を予定する心的操作をおこなっている際に用いられると指摘されている。最後に、「聞き手にとって、これらは次発話予測の手がかりとなり得るので、円滑な談話進行を可能にする。このことはまた、聞き手からの支援(助け舟)を話し手が得られることにもつながる(定延・田窪, 1995:90)」。

田窪・金水(1997)は、対話処理操作の心的モニターとしての感動詞・応答詞の種類の観察により、後続する文の類型をある程度予測できると主張した。また、文産出や文理解に関わる心的操作、いわば心内で行っている情報処理過程を「データベース」「バッファー」<sup>1</sup>といった概念を用いて説明した。まず、「対話の際対話参加者は長期知識の一

---

<sup>1</sup> 定延・田窪(1995:76)は、「我々が様々な情報を貯蔵し、また必要に応じて情報の検索や計算を行うため

部を活性化させ、対話者や対話の目的に特化したデータベースを作成(田窪・金水, 1997:259)」し、次に、入出力用の複数の作業領域即ちバッファを通して発話を産出すると述べている。このモデルを図式化すると以下ようになる。



田窪・金水(1997:259)

また、感動詞・応答詞はほとんど無意識に発せられる音声単位であるにもかかわらず、それぞれの音形式の使用に多くの制約がある。したがって、心的処理過程を反映する感動詞の種類により、ある程度後続文の表現類型を予測することが可能であると記述している。田窪・金水(1997)は、定延・田窪(1995)の研究を踏まえて、「ええと」「あの一」を再検討した。「ええと」の基本的用法として、「演算領域を確保するために集中したり、聞き手とのインターフェイスを一時的に断絶したりする際に用いられる(田窪・金水, 1997)」と述べる。「あの一」は、「基本的には話し手が聞き手に向けての適切な表現形式(モノの名前等も含む)の検索/作成に入っている時に用いられる(田窪・金水, 1997)」と述べる。また、場つなぎ語としての「ま(あ)」は、独り言には用いられないのであり、「あの一」と同様に聞き手に対して理想的な言語運用を行うためにある種の編集作業に関わり、しかも、文頭、発話初頭には出現しないと述べている。

富樫(2002)も、作例の検討に基づき、「まあ」の使用可能となる条件、出現位置、独り言による「まあ」の発話を分析した上で、次の2つの特徴をまとめた。

- ① 「まあ」と心内での計算処理過程とが関わりを持つ。
- ② 「まあ」が「曖昧性」を示す。 富樫(2002:23)

この2つの特徴を踏まえて、「まあ」の本質的な機能を以下のようにまとめた。

「まあ」の機能：

ある前提から結果へと至る計算処理過程が曖昧であることを示す。あるいは計算に至る際の前提そのものが明確ではないことを示す。 富樫(2002:24)

---

の心的操作領域」を「心的データベース」とし、「対話のための一時的な作業領域」を「心的バッファ」と呼んでいる。富樫(2002b)では、「バッファ」には活性化された情報が格納されている一方、「データベース」には半活性化情報、つまりバッファにある情報に関連した情報が存在していると記述されている。



また、「まあ」の「聞き手への働きかけ」を語用論的に捉えると、次のような効果があると述べている。

- ① 「まあ」が表す処理の曖昧性から生じる「和らげ」の効果が、(実際の計算処理とは関係なく)聞き手に対して示される。
- ② 実際には明確な計算処理をしているにもかかわらず、「まあ」発話によって、その明確性を隠すことができる(結果として何らかの「含み」を持った発話になる)。

富樫(2002:29)

心理言語学からのアプローチではフィラーの使用と話し手の心的処理過程との関わりについて、「生起環境」、「使用の自然さ」及び「聞き手への働きかけ」という様々な側面から各種フィラーの性質が考察された。しかし、実際の自然会話では、上述の用法を逸脱することがあるかどうかについて十分には解明されていないため、客観性を欠く部分もあるのではないかと考えられる。

### 2.1.3 コーパス言語学の分野における研究

コーパス言語学的なアプローチによる研究では、大規模な言語資料を利用して、様々な形態のフィラーの振る舞いが定量的に記述されてきた。代表的なものとして、講演、留守番電話、対話、電話という4種類の談話を分析しフィラーの全体像を包括的に記述した山根(2002)、CSJ(日本語話し言葉)をデータとし、フィラーに関する定量的な研究を行ったWatanabe(2009)、『女性のことば・職場編』(1997)に収録されている談話資料を使用し、フィラーの諸相及び機能を考察した中島(2011)がある。

山根(2002)は、講演、留守番電話、対話、電話という4種類の談話の全体構造を分析した上で、音声面、発話・談話上の出現位置、役割、属性との関係という様々な側面から多形態のフィラーを考察した。

まず、フィラーを「それ自身命題内容を持たず、かつ他の発話と狭義の応答関係・接続関係・修飾関係にない、発話の一部分を埋めることば」(山根, 2002:49)と定義した。次に、山根(2002)では、フィラーを以下の11種類に分類した。具体的には、①母音型 ②あいまい母音型 ③エート型 ④コーソー型 ⑤コソア型 ⑥ナンカ型 ⑦ネー型 ⑧ハイ型 ⑨マー型 ⑩モー型 ⑪ンー型と分類している。最後に、談話の種類とフィラー使用の特徴に関して、山根(2002)はその類似点・相違点を音声面、出現位置、機能、属性との関わりから考察を行い、以下のようにまとめた。

- ① 談話の種類と音声面について、類似点としては、まず、フィラーの種類によってアクセント・イントネーションが多様である。また、母音や鼻音から始まるフィラー、長音を持つフィラー、2拍相当の長さを持つフィラーが多く使用され、母音型フィラーが前の母音の制約を受けやすい。相違点としては、講演の談話には、1拍相当のフィラー、前の母音と結びつく割合の高いフィラーと鼻音、無声子音から始まるフィラーが多用され、対話や電話には、平板に発音されないフィラーが多く使われ、留守番電話には、長音を持つフィラーの出現率が高い。
- ② 談話の種類と出現位置について、どの種類の談話でも、発話の冒頭や途中で、特に助詞の後にフィラーが多く出現する。
- ③ フィラーの機能について、「テキスト構成に関わる機能」「話し手の情報処理能力を表出する機能」「対人関係に関わる機能」の3つがある。講演、留守番電話のような一方方向の談話では、「テキスト構成に関わる機能」「話し手の情報処理能力を表出する機能」を持つフィラーがよく出現する一方、対話、電話のような双方向の談話では、「対人関係に関わる機能」を持つフィラーが効果的に使われている。
- ④ フィラーの出現頻度や種類と属性の関わりについて、まず、男性が女性より使用頻度が高い点は講演、留守番電話、対話という3種類の談話に共通している。次に、改まり度が高い談話のほうがフィラーの使用頻度が高いと述べられている。

最後に、フィラーの存在意義から、その機能と役割を以下の表に示した。

表 2-1 話し手・聞き手からみたフィラーの存在意義

機能	役割	話し手	聞き手	種類
情 処	発話の調子の整え	○		1拍、母音型
	間つなぎ	○		アノ(ー)、母音型
	時間稼ぎ	○		アノ(ー)、マ(ー)、ナンカ型、5拍
テ ク ス ト 構 成	境界指示	○	○	ア、アノ(ー)、エー、エート型、ハイ型、マ(ー)
	倒置	○	○	
	助詞の省略	○	○	
	語句等の並列	○	○	
	換言・修正	○	○	ア、アノ

	引用・挿入開始	○	○	
	例提示	○	○	
	発話の方向性補佐	○	○	マー
対 人 関 係	言いにくさ表明	○		アノ(一)
	自分への納得	○		ハイ型
	発話内容への引き込み	○		コ(一)
	心情の高まり	○		モ(一)
	発話の和らげ		○	アノ(一)、マ(一)
	気づきの合図		○	ア
	同意の合図		○	ア
	納得の合図		○	ア、ハイ型
	興味・関心への合図		○	ア
	注意喚起		○	アノ(一)、ネー型、助詞付加
	後方指示		○	ソノ(一)
	沈黙回避 (話者交替時)	○	○	エート型
	発話権譲渡 (話者交替時)	○	○	

山根(2002:237)

山根(2002)は、異なる性質の会話データを使って、様々な側面から各形態のフィラーの振る舞いを包括的に論じた。表 2-1 を見ると、フィラーの定義及び役割の分類についていくつか問題があると思われる。

第 1 に、フィラーと応答表現との境界が曖昧である。例えば、「気づきの合図」「同意の合図」「納得の合図」「興味・関心への合図」というフィラーの役割の例を見てみよう。

#### 例 2-7 「気づきの合図」

A:ア にちきゅうも来てますよ

C:ア にちきゅうのこのちゃんからか

山根(2002:226)

#### 例 2-8 「同意の合図」

X:融資がよかったとか

V:ア 融資よかったです

山根(2002:226)

例 2-9 「納得の合図」

A: お江戸でござる もちよいちょい見えます

B: **ア** ずいぶんけっこう長いことやっていますよね

山根 (2002:226)

例 2-10 「興味・関心への合図」

V: そろそろ昇格しないといけないんですけどね

X: ああ アノ

V: E4 ですか

X: **ア** Eにしたん

山根 (2002:226)

上記の例の「ア」は先行発話内容に対して、発話者がどうとらえるかという態度を示している。小出(2013)は、これらの「ア」は応答詞としての性格が強いと述べている。「あ」系の語に共通するのは、「主体にとって今ここで必要とする対象に意識を向ける際の反応であること(小出 2013:65)」である。したがって、フィラーの定義が厳密ではない。第2に、「話し手の情報処理能力を表出する機能」を「発話の調子の整え」「間つなぎ」「時間稼ぎ」という3つの役割に分ける理由が明記されていない。つまり、3つの役割の違いはいったい何なのかが十分に説明されていない。第3に、フィラーの機能について、根拠付けが足りないと思われる。例えば、「沈黙回避」の例が挙げられる。

例 2-11 「沈黙回避」

X: 何点じゃったん

V: **エートネ** エ 何点じゃったんだろう 去年よりちょっと上がってんですけど

山根 (2002:227)

山根(2002:227)は、「質問に対する応答に時間を必要とし、その間の沈黙回避のために現れる」と記述している。しかし、この「エートネ」は、「時間稼ぎ」という役割を持つとも言える。それぞれの機能をさらにいくつかの役割に細分化する必要があるかどうかは更なる検討を要するだろう。また、各フィラーがどのような役割を果たしているかを判断するには、十分な根拠及び説明が必要となる。

Watanabe(2009)は場面、性別、年齢とフィラー使用の違い、出現位置とフィラーの使用率、フィラーの有無と聞き手による後続発話内容の予測の関係、という3つの側面から、フィラーに関する定量的な研究を行った。まず、CSJ(日本語話し言葉)の講演の一

部をデータとし、分散分析とクラスタリングの手法を用いて、フィラーの使用率と場の改まり度、話者の性別・年齢との関係について量的分析を行った。分析の結果、場の改まり度から見ると、学術的なプレゼンテーションよりカジュアルなプレゼンテーションのフィラーの総使用率が高いことが分かった。フォーマルな場面では「えー」「えっと」が頻繁に使われる一方、インフォーマルな場面では「あの一」と母音の延長がより多く使われる。また、話者の性別・年齢によって多用されるフィラーの種類が異なっていると指摘している。次に、出現位置とフィラーの使用率に関して、節境界のフィラーの出現率を対象とし、「境界仮説」と「複雑さ仮説」<sup>2</sup>を検証した。分析の結果、談話境界の使用率は文境界より高く、後続節中の語数が多いほどフィラーの出現率が高いことが分かった。そしてこの結果は、「境界仮説」と「複雑さ仮説」を支持していると述べている。最後に、フィラーの存在と聞き手による後続発話内容の予測との関係について実験的に検証した。分析の結果、複雑な句の前にフィラーと休止がある場合には反応時間が短かった。日本語母語話者と中国人日本語学習者を対象として同様な実験を実施した結果、短期滞在者の反応にはフィラーや休止の効果が見られなかった一方、中期滞在者の反応には母語話者と同様な結果が得られた。

Watanabe は、「場面の改まり度」「性別・年齢」「出現位置」とフィラーの出現率及び種類の関係、母語話者と学習者が複雑性仮説をコミュニケーションの方略として利用していることを実証的に示している。本研究は、Watanabe と同様に、場面の改まり度と出現位置からフィラー使用の特徴を考察する。Watanabe と本研究の細かい相違点は次の通りである。Watanabe は節境界、文境界、談話境界とフィラーの出現率の関係を検証したのに対し、本研究は発話頭、発話中、発話末に位置するフィラーの機能を分析する。また、Watanabe は学術的なプレゼンテーション(学会講演)とカジュアルなプレゼンテーション(模擬講演)によって場面の改まり度とフィラーの出現率の関係を分析したのに対し、本研究はテレビインタビュー番組の場面と雑談の場面に出現しているフィラーの機能を比較対照する。大工原(2010)は、Watanabe の場面の分け方を批判し、学会講演と模擬講演の対立は「超フォーマル」と「フォーマル」の対立であり、「フォーマル」と「カジュアル」の対立と認定するのは不適切であると指摘している。

中島(2011)は『女性のことば・職場編』(1997)に収録されている談話資料をデータとして、自然談話におけるフィラーの諸相、即ちフィラーの種類とその類型及びフィラーの出現実態、そして、フィラーの機能について分析した。まず、中島(2011)は、野村(1996)及び山根(1997)を参照した上で、フィラーを「それを取り去っても伝達する文・談話の

---

<sup>2</sup> 「境界仮説」とは、境界が深いほどフィラーの出現率が高いということである。「複雑さ仮説」とは、後続構成素が長く複雑なほどフィラーの出現率が高いということである。(Watanabe, 2009 参照)

命題内容に変化を及ぼさないもの」(中島, 2011:182)と定義した。また、フィラーの類型は、山根(2002)の分類を踏まえ、「母音型」、「コソア型」、「エート型」、「ナンカ型」、「マー・モー型」、「ンー型」、「ハイ型」、「ヤー型」、「ヘー・ホー型」、「ホラ型」、「デ型」、「ネー型」という12類型に分けた。さらに、フィラーの出現実態は、出現数、出現率、出現位置、場面差、世代差の下位項目に分けて、それぞれのフィラーの数値をまとめた。最後に、フィラーの機能に関して、中島(2011)は先行研究を踏まえ、自然談話の用例からの観察より、フィラーの機能を次の5つに分けた。

- ① 「発話境界の明示、発話の切り出し、話し手の発話権の維持、前の発話の補正の機能」
- ② 「発話中のポーズ(間)を埋めるためにフィラーでその間をつなぎ、次の発話の展開を整える間つなぎ語としての機能」
- ③ 「話し手の心的態度の表出の機能」
- ④ 「言いよどみの機能」
- ⑤ 「発話開始と発話終了を示す機能」 中島(2011:194-195)

また、フィラーの出現位置とその機能の関わりに関して、以下の結論が挙げられた。

- ① 「発話の冒頭に現れるフィラーは、談話進行を管理する上で大きな機能を担っている。」(発話境界の明示、発話の切り出し、発話権維持、前の発話の補正、話し手の心的態度の表出)
- ② 「発話中に出現するフィラーは発話展開に関与する機能を担う。」(間つなぎ語、注意喚起、話し手の心的態度の表出)
- ③ 発話末に位置するフィラーは「言いよどみ・言い差しの標識として使われる」。(言いよどみ・言いさし、発話終了) 中島(2011:195-211)

中島(2011)は、自然談話の用例を分析することにより、発話頭、発話中、発話末の機能を明らかにした。ところが、中島(2011)についても山根(2002)と同様の問題を指摘できる。例として挙げられた気づきと驚きの表出の「ア」「アー」「アッ」「エッ」、納得を示す「アー」等は、フィラーとしての性格が強いか、または応答詞としての性格が強いか、疑問に思われる。つまり、フィラーと応答詞の境目が明確化されていない。もう1つの問題点として、フィラーの出現実態について、いくつかの下位項目に分けてその出現回数を計算したが、数値に留まっており、その差異が生じる原因が考察されていない。

#### 2.1.4 会話分析の分野における研究

会話分析のアプローチからフィラーの振る舞いについての研究としては、西阪(1999)、串田(1999)、平本(2011)、高木・森田(2015)が代表的である。西阪(1999)は「あの一」の相互行為上の働きを分析した。串田(1999)は実例を通して、「助け船」と「お節介」の構成及び人々が会話への参与の仕方を考察した。平本(2011)は発話ターン開始部に位置する「なんか」を取り上げ、ターンテイキングの組織化での働きを分析した。高木・森田(2015)は質問に対する反応の開始部分に現れる「ええと」の相互行為上の働きを明らかにした。具体的には以下の通りである。

西阪(1999)は、「あの一」が相互行為を組織するために利用可能な資源としてどのような役割を果たすか、また「あの一」を用いることで相互行為上どんな活動を成し遂げるか、について明らかにした。実例の分析を通じて、次のような2つの規則をまとめた。

##### 規則(1a)

話し手がその発言を「あの一」(等)によって有標化するときには、話し手にとって、自分の発言が「受け手に合わせたデザイン」という観点からそれが適切であるかどうか不確定であることが、公然化される。 西阪(1999:88)

##### 規則(2)

その当該の相互行為では、特定のことがらを「受け手に合わせてデザイン」しながら適切に語っていくうえで困難があるとき、話し手は、その困難を解決するために、その発言を「あの一」(等)によって有標化してもよい。 西阪(1999:89)

串田(1999)は、「あの一」「えー」「それでー」等の「フィラー」による「言葉探し」という手続きを用いて、物語における不確かさを示すと指摘している。フィラーによる言葉探しは、多くの場合、発話ターンを維持することを示し、聞き手の注意を自分の発話に向けることを要請する。しかし、尻上がりの抑揚による知識の承認の要請という手続きの付け加え及び「知る者」あるいは「知らない者」というカテゴリー集合の所属により、視線を相手に向けていない内部探索としての言葉探しの場合でも聞き手から外部探索と聞くことも可能であると述べている<sup>3</sup>。したがって、このようなシークエンス環境では、聞き手が「助け船」を与えることは不適切な介入ではないと指摘している。

<sup>3</sup> Goodwin(1987)は、視線や表情等の非言語要素により、言葉探しを内部探索と外部探索に分けた。思案中の顔と空に向けた視線の場合を内部探索とし、聞き手に向けた視線の場合を外部探索としている。

平本(2011)は、ターンテイキングの組織化では、ターン開始要素「なんか」の働きを分析した。結果として、以下の規則を記述している。

規則：特定の一人の次話者選択がなされていない条件では、「なんか」により開始されたターンが他者の同時開始と重複したなら、「なんか」を利用したほうが脱落する。

平本(2011:207)

発話ターンの開始部に「なんか」を配置することにより話者性の「弱さ」が示されるという相互行為上の手続きが利用される理由は、会話における「最小限の間と最小限の重複」への指向であると述べている。脱落した発話がターンを譲った相手の発話が完了した時点で再開することもできるため、開始要素としての「なんか」の機能は単純な「発話権取得」ではなく「発話権仮取得」であると述べている。

高木・森田(2015)は、質問に対する反応の開始部分に出現する「ええと」が相互行為上どのような働きを担うかを解明した。「ええと」が反応のターンの開始部で用いられることは、「単なる「時間稼ぎ」や発話産出過程の認知的プロセスの反映ではなく、質問に対する反応を産出する上での「応答者」としてのスタンスを標示している」(高木・森田, 2015:93)。具体的に次の3つの環境で観察された。

- ① 質問が求めている特定のあるいは厳密な情報を「慎重に」提示する応答の開始部分
- ② 質問にどのように応えているのかがただちには明確でない応答の開始部分
- ③ 質問に示された質問者の推測に反する応答の開始部分

高木・森田(2015:106)

### 2.1.5 個々のフィラーの機能についての研究

本節では、各形態のフィラーの機能についての先行研究を概観する。個々のフィラーを調査し、その機能的な振る舞いや生起環境等を観察した研究が数多く存在している。「まあ」を対象とした加藤(1999)、「なんか」を対象としたエメット(2001)、「あの一」、「その一」を対象とした大工原(2008)、様々な形態のフィラーについて記述を行った小出(2009)はその代表的なものである。

加藤(1999)は、川上(1993, 1994)の研究を踏まえて、「まあ」の「応答型用法」「展開型用法」の分類を再検討し、日本語の中での位置付けを明らかにした。

まず、「応答型用法」は、判定要求、認定要求、説明要求といった3種類の質問文、行動要求表現文及び平叙文・詠嘆文に対して返答する際、「まあ」が発話の冒頭で用いられることで様々な役割を果たすと述べている。第1に、質問文に対して返答する場合



の共通点は、「まあ」が消極的な肯定を表しているという点である。相違点としては、「判定要求文の場合は一語で応答詞の役割を果たし、認定要求質問文の場合はためらいが現れ、説明要求質問文の場合は答えたくないという気持ちが強く現われている(加藤, 1999:25)」と記述している。第2に、行動要求表現文に対する返答の場合、「まあ」は相手の期待、依頼に対して十分に応えられない可能性があるという気持ちを伝える役割があると指摘している。第3に、聞き手が無理に反応する必要がない平叙文・詠嘆文の場合では、「まあ」の使用により、相手が良くない状況にあるという事実を一応認めながら、それほどでもないと否定的な対応をする働きがあると述べている。

次に、「展開型用法」について、「まあ」が主に「きっかけ・導入」「補足説明」「間つなぎ」「締めくくり・結論」等の環境に現れていると指摘した。このような環境に出現する「まあ」は主に以下の2つの表現効果がある

- ① 会話をスムーズに展開させる。(導入、締めくくり時に)
- ② 聞き手の注意を引きつけ、より正確な、より詳しい情報を聞き手に伝える。

加藤(1999:29)

「応答型用法」と「展開型用法」に共通する基本機能は「とりあえずの反応」と述べている。また、「まあ」と「やっぱり」「あの一」を比べることで、機能に関して次のようにまとめている。

- ① 「まあ」には聞き手の立場に立って相手をなだめる効果がある。
- ② 「まあ」には行動要求表現文への返答として、相手の期待、依頼に対して十分に応えることができないかもしれないという気持ちを伝える作用があるが、「まあ」の方が「やっぱり」よりも、評価的にマイナスの内容の文を、相手にストレートではなく和らげて伝えることができる。

加藤(1999:33)

最後に、「まあ」の日本語の中での位置づけに関しては、日本人が相手の心情を損なわないように「はい」「いいえ」といった断定表現を避けて、「ぼかし」表現「まあ」を頻繁に使用すると指摘している。

加藤(1999)は、事例に基づき、展開型用法の「まあ」が現れる環境からいくつかの機能をまとめた。しかし、そこで挙げられた事例は必ずしもその結論を支持していない。例えば、次の例を見よう。

例 2-12 (新幹線に乗ったまま車庫に入ってしまったことについて)

酒井:それで、うちの父親があの一まあ、毎日あの一、駅の改札口のところに迎えにきていますけども、うちの娘が来ないんだよなあと言って、駅員さんとか皆に聞いて、シャッターが、こうシャッターというか、それ閉まっちゃうんですね。加藤(1999:26)

加藤(1999)は、「うちの父親があの一、うちの娘が来ないんだよなあと言って」だけで十分であるが、聞き手によく分かってもらえるように、「毎日あの一、駅の改札口のところに迎えにきていますけども」を付け加えることにより補足説明していると述べている。したがって、ここの「まあ」はこれまでの話だけでは説明が不十分であるため、「とりあえずの反応」をし、より正確かつ詳しい情報を提供することを知らせる標識として機能していると指摘した。1つ目の問題点は、「まあ」と「あの一」が同時に現れているため、必ずしも「まあ」だけが「補足説明」という役割を果たすと断言できない点である。2つ目の問題点は、上の例の分析では、「補足説明」の部分(2重線)がなくても十分であるという分析は「まあ」の機能の解釈(これまでの話だけでは説明が不足しているため、より詳しい情報を提供し補足説明する)と矛盾している。

エメット(2001)は、インターアクションルマーカ―「なんか」は次の6つの場面に使用されると述べる。

- ① 発話を組み立てる場面
- ② 情報の不明確さを示す場面
- ③ 言質を避ける場面
- ④ 控えめな態度を示す場面
- ⑤ 躊躇した態度を示す場面
- ⑥ 否定的なコメントを和らげる場面

「なんか」が上述の6つの場面でよく現れること、及び公的な場面ではあまり使われないことから、話者は注意深く考えて話を進める必要はないが良好な対人関係を配慮する必要があると述べている。また、フォーマルな場面や会話参加者が親しい関係でない場面で「なんか」を使用すると、「信憑性が疑われたり、社会人としての立場の自覚がないという印象を与えたりして、逆効果を生み出す可能性もある(エメット, 2001:214)」と指摘している。

大工原(2008)は指示詞系フィラー「あの一」・「その一」がア系・ソ系指示詞の性

質を保持していると仮説を立て、アンケート調査とコーパスの調査の結果により、検証を行った。まず、金水・田窪(1992)<sup>4</sup>の研究を踏まえて、「あの一」は「自分の意図や気持ちを十分にふまえて言語形式を製作する」という行動に対応し、「その一」は「言語的文脈を十分にふまえて言語形式を製作する」という行動に対応すると指摘している。

「その一」とソ系指示詞の連続性は、「その一」には「再提出型」「推論型」「不定型」という用法<sup>5</sup>があり、それぞれ「話題を戻す」「言いにくさ」「言い訳っぽさ」という談話管理的効果を生じると述べている。また、「あの一」等のア系指示詞は本来の意味が希薄化しており、言語形式製作中であれば基本的に常時発話可能であると述べている。また「その一」には「不定型」という用法があるため、「言い訳っぽさ」のニュアンスが生じると指摘した。これはあくまで主観的な判断に過ぎず、実際の会話例に基づき検証したほうがより客観性があると思われる。また、指示詞系フィラーには「この一」「その一」「あの一」があるが、「この一」を除外する理由は明記されていない。

小出(2009)は何種類かの形態のフィラーの性質について記述した。まず、指示詞由来の「この一」「その一」「あの一」の性質について以下のようにまとめた。

#### 「この一」の性質

発話時に、ある表現内容が心的に思い浮かべられているが、その内容を表す形式が確定していないとき、その内容を指す。

#### 「その一」の性質

後続する発話内容が、話し手にとって非関与的(話し手に関りが無い、あるいは、聞き手・話し手双方に関りのない)領域のものであること、あるいは、話し手の独占的な関与を主張のできないものであることを示す。

#### 「あの一」の性質

話し手が自分の発想から発話を展開することの前触れをする。これは、それまでの談話の流れに関りなく持ち出されることもあるので、場合によっては、それまでの談話の流れを中断することもある。

小出(2009:15)

---

<sup>4</sup> 金水・田窪(1992)は「談話管理理論」の立場から、ア系指示詞は「直接経験領域」(D-領域)を、ソ系指示詞は「間接経験領域」(I-領域)を探索領域として指定すると述べる。「直接経験領域」とは知覚情報や出来事記憶内の情報が帰属する領域であり、「間接経験領域」とは対話中の情報を一時的に格納する領域である。

<sup>5</sup> 大工原(2008)は、「再提出型」とは旧情報を再提出する用法であり、「推論型」とは推論によってほぼ導入されたとみなしうる事物に言及する用法であり、「不定型」とは「曖昧指示用法」即ち「ちょっとそこまです」のように確たる指示対象を持たない用法であると述べる。

また、「このー」「そのー」「あのー」の談話内の機能は次のように整理された。

このー：ひとまとまりの内容の開始部の表示

そのー：談話参加者と談話内容の領域との関係表示

あのー：コミュニケーションの開始、談話の展開、談話形式に関する対人的調整

小出(2009:16)

次に、「こう」の性質と機能を以下のようにまとめた。

「こう」の性質・機能

心的に思い浮かべられたイメージ(表現対象)について、そのイメージを心的に走査しながら、それを表現する形式の模索が行なわれていることを示す。そのイメージは、ひとつのことがら、あるいはそれを構成する要素等、ひとつのイメージとして把握できる程度の大きさであると考えられる。結果として、表現は得られないこともあるし、また、得られたとしても必ずしも確定的なものではないという含意が生ずる。小出(2009:17)

また、副詞から派生したフィラーの「まあ」は、暫定性表示という機能を持ち、「注釈」「例示」「見解表示」「発話ポイント表示」「引用」「談話の区切りを示す」という発話行為につけられると述べている。

そして、フィラーの「なんか」の用法を次のように整理した。

発話内容の方向予告：由来の不透明な主張を述べることのゆるい予告

談話の方向修正：現在の話題と関連の不透明な話題の導入

対人的配慮表示：導入情報と話し手のかかわりの曖昧化・間接化

談話への割り込み：現在の話題との関連のない話題の導入 小出(2009:22)

第5に、「もう」のフィラーとしての用法は次の3つに分けられた。

- ① 話題の事柄の成立を当然のことと見る姿勢と連動する用法
- ② 話題の事柄が特筆すべき経験であるとする姿勢と連動する用法
- ③ 心情表現としての「もう」－①、②の中間の「もう」 小出(2009:23-24 一部改変)

専用系のフィラー「えーと」の基本的な性質は以下である。

#### 「えーと」の基本的な性質

「えーと」は、心内に発話に必要な情報、あるいは、表現形式が形成されていないことに気づき、その空白を埋めるために、情報形成あるいは表現形式形成のための心的活動に入ろうとする状態にあることを示すのである。 小出(2009:25)

また、「えーと」は次の機能を持つと述べている。

#### 「えーと」の機能

- ① 談話プランとのかかわりを表示すること。
- ② それまでの心内の作業内容をクリアすること。 小出(2009:25)

「えー」の性質は以下の5つに分けられた。

- ① 新しい談話の開始、話題の開始(旧話題からの転換)を示す。
- ② 談話の新しい局面への移行を示す。
- ③ 談話の中心プランに沿った発話であることを示す。
- ④ 質問を受けた時等、内容や表現を調整するための心的スペースを作り出す。
- ⑤ 反応を遅延させ、時間的な距離(スペース)を作り出す。 小出(2009:28-29)

小出(2009)は、フィラー化の要因は発話処理に心的な負担(認知的なものと同人的なもの)がかかることであるという専用系フィラー(「えーと」「えー」)の使用は、基本的に認知的な負担と関わっており、派生系フィラー(「あの一」「まあ」「なんか」「もう」等)の使用は主に対人的な負担と関係していると述べる。これは単なる各形態のフィラーの性質から導いた結論であり、実際の会話ではどのように使われているかがまだ明らかにされていないため、根拠付けを欠いていると思われる。

## 2.2 中国語フィラーに関する先行研究

中国語フィラーに関する研究は、日本語フィラーほどなされていないのが現状であり、また、日本語でフィラーと呼ばれるものは、中国語では談話標識と呼ばれることが多い。

日本語では、専用系フィラー「えー」「えーと」以外に指示詞、副詞<sup>6</sup>から派生したのもも多用されている。それに対し中国語では、専用系フィラー「嗯:(en:)」「呃:(e:)」<sup>7</sup>以外に指示詞、接続詞<sup>8</sup>から派生したものが多く使用されている。本節では、副詞、接続詞等から談話標識への文法化過程と、個々の中国語談話標識の用法を概観する。

### 2.2.1 中国語談話標識の形成経路についての研究

中国語の談話標識に関する研究では、主に副詞、接続詞等から本来の意味が希薄になり、談話や文の一貫性を維持するための談話標識への文法化過程について多くの知見が蓄積されてきた。代表的な研究として、接続詞に由来する談話標識の機能及び文法化の要因を論じた方(2000)、動詞や副詞等の文法化過程を記述した董(2007)、李(2012)がある。

方(2000)は、6つの自然会話データを用いて、「接続詞の意味の希薄化<sup>9</sup>」「意味が希薄になった接続詞の談話標識機能」「意味が希薄になった接続詞の非対称分布と認知」という3つの側面から談話標識としての接続詞の用法を分析した。まず、「接続詞の意味の希薄化」は個別的な現象ではなく、出現頻度の高い接続詞は談話標識として使用されている比率も高い。例えば、「所以(suo yi)<sup>10</sup>」「不过(bu guo)<sup>11</sup>」「然后(ran hou)」「但是(dan shi)」等は談話標識としての使用率が高く、それぞれ50.1%、40%、36.3%、33.3%を占めている。次に、「意味が希薄化した接続詞の談話標識機能」について、談話標識としての接続詞には「発話構築機能」「言語行為機能」という2つの機能があるとし、さらに「発話構築機能」を「前景化<sup>12</sup>」と「話題転換」に、「言語行為機能」を「話者交替」と「発話権維持」に分けている。最後に、「談話標識としての接続詞の非対称分布」について、物事の順序としての後半のこと、推測、結果を表す接続詞は文法化しやすい。その要因として、第1に中国語の語順は時間の順序であり、即ち出来事が起こる順序を反映しているため、第2に原因は有標であり後半の結果は無標であるため、と述べている。

方(2000)の研究は、接続詞の文法化過程及びその要因について量的及び質的分析を行

<sup>6</sup> 副詞由来の日本語フィラーとしては「まあ」「なんか」「もう」「ちょっと」等がある。

<sup>7</sup> 「:」は長音を表す。

<sup>8</sup> 接続詞由来の中国語フィラーとして「然后(ran hou)」がある。日本語に訳すと「その後」になる(中日大辞典, 2010:1428 参照)

<sup>9</sup> 方(2000:459)では「语义弱化(semantic reduction)」と記述されている。

<sup>10</sup> 中国語の「所以(suo yi)」は直訳すると日本語の「だから」「それで」に相当する。(中日大辞典, 2010:1637 参照)

<sup>11</sup> 中国語の「不过(bu guo)」と「但是(dan shi)」は逆接続詞で、直訳すると「ただ」「でも」「しかし」「しかも」になる。(中日大辞典 2010:142 参照)

<sup>12</sup> 方(2002)は、「前景化」には「話題を立てる」機能と「話題を取り戻す」機能があると述べている。

った。談話標識としての接続詞の機能に関する記述には妥当性を欠く部分があると思われる。まず、それぞれの機能についての説明が不明瞭な点がある。次に、例を挙げて談話標識の機能に関する分析が十分になされていない点があり、その根拠付けも欠けると思われる。例えば、「前景化」の下位分類「話題を取り戻す」に関して次の例が挙げられている。中国語の会話の日本語訳に関して、原文の網掛けの表現に後続する括弧の中のものは直訳した日本語で、日本語の訳文は引用者による意識である。

#### 例 2-13

01 B: 还、还有窝头<sup>13</sup>没有?

02 A: 有窝头、对、那窝头就是、黄金塔啊。

(中略)

03 A: 所以(だから)、呃、这::对、窝头、窝头还有。 方(2000:464 一部改変)

訳

01 B: 「窝头」はま、まだある?

02 A: 「窝头」はまだある。そうか、あの「窝头」はゴールドタワーだよ。

(中略)

03 A: で、え、その一—そうか、「窝头」、「窝头」まだある。

例 2-13 で省略した部分は「窝头(wo tou)」の作り方についてのやりとりである。方(2000)は、03 行目の「所以」は本来の意味が希薄になり、01 行目の話題を取り戻す効果があると述べている。しかし、ここで「話題を取り戻す」という機能をするのは「所以」であるか、または続く「对(dui)」であるか、疑問が残る。

董(2007)は、「谁知道(shui zhi dao)<sup>14</sup>」と「别说(bie shuo)<sup>15</sup>」の談話標識への文法化過程を記述した。まず、「谁知道」は以下のような経路で文法化している。

「谁知道」の経路:

「フレーズ(短语)」 > 「認識様態のモダリティを表す副詞的なフレーズ(认知情态副词性固定语)」 > 「談話標識」

「谁知道」は「フレーズ(短语)」 > 「認識様態のモダリティを表す副詞的なフレーズ(认

<sup>13</sup> 「窝头」はとうもろこし粉から作られた饅頭で、中国の北部地区でよくある食べ物である。

<sup>14</sup> 「谁知道」を日本語に訳すと「誰が知っているか」「誰が知るものか」になる。

<sup>15</sup> 「别说」を日本語に訳すと「言うまでもない」「どころか」になる。

知情态副词性固定语)」>「談話標識(话语标记)」という経路で文法化している。認識様態のモダリティを表す「谁知道」は、ある出来事が起こるかどうかの不確定性を表明している。一方、談話標識としての「谁知道」は、聞き手(読み手)の注意を喚起する機能があると指摘している。次に、「别说」の文法化過程には2つの経路がある。

「别说」の経路1:

「動詞的なフレーズ(动词短语)」>「動詞」>「強調副詞」>「接続詞」

「别说」の経路2:

「動詞的なフレーズ(动词短语)」>「談話標識」

談話標識としての「别说」は聞き手(読み手)の立場や心情を考慮したため、間主観性の言語的性格があり、聞き手への注意喚起という役割を果たしていると述べている。

李(2012)は、「别说」「完了(wan le)<sup>16</sup>」「就是(jiu shi)<sup>17</sup>」の文法化過程を論じた。まず、談話標識「别说」の機能に関して、李は董(2007)の聞き手への注意喚起という主張は十分に説明されていない部分があると指摘している。複文の後半の文の開始部、あるいは中間部にある「别说」は注意喚起という役割を果たしているが、複文の頭に位置する「别说」は注意喚起という効果はないと指摘している。李は、「别说」はどの位置に出現してもその先行部分は物事を叙述していて、後続部分は発話者の個人の立場を表していると述べている。また、「别说」の文法化過程について、董(2007)が主張している2つの経路を融合して1つの経路にまとめている。

「别说」の経路3:

「動詞的なフレーズ(动词短语)」>「強調副詞」>「接続詞」>「談話標識」

つまり、「談話標識」としての「别说」は「動詞的なフレーズ」からではなく、「接続詞」から文法化してきたと述べている。その要因は、「接続詞」と「談話標識」は機能上共通しているためである。「接続詞」は文と文あるいは発話節と発話節を接続する要素である。一方、「談話標識」は談話単位を関連づける役割がある。次に、「完了」と「就是」の文法化過程について、以下の経路を示した。

<sup>16</sup> 「完了」は「完了する」、「修了する」を表す。(中日大辞典 2010:1733 参照)

<sup>17</sup> 「就是」は「動詞」として使用される時、同意することを示し、「副詞」として使用される時、強調を表す、強く肯定する、2つの動作・行為が継起する等を表し、「接続詞」として使用される時、譲歩を示す。(中日大辞典 2010:912 参照)



「完了」の経路:

「動詞」 > 「接続詞、副詞」 > 「談話標識」

(動作の終了) > (出来事の終了) > (言語行為の終了)

「就是」の経路:

「フレーズ」 > 「副詞」 > 「接続詞」 > 「談話標識」

李(2012)は、「接続詞」と「談話標識」の機能上の共通点から「動詞」「副詞」等が「接続詞」的な用法に変化した後、さらに「談話標識」へ文法化していると指摘している。李の「動詞」や「副詞」等の文法化過程及び要因に関する記述は説得力があると思われる。

## 2.2.2 個々の中国語談話標識についての研究

個々の中国語談話標識の機能を中心に取扱い代表的研究として、指示詞から派生した「这个(zhe ge)」「那个(na ge)」<sup>18</sup>の違いに焦点を当てた許(2008)、刘(2009)、殷(2009)、劉(2009)、指示詞と疑問詞の組み合わせ「那什么(na shen me)」<sup>19</sup>を対象とした朱・史(2014)、接続詞から派生した「然后(ran hou)」を対象とした王(2004)、許(2009)、副詞から派生した「就是(jiu shi)」を対象とした姚・姚(2012)がある。

許(2008)は、指示詞から派生した「那(个)」の機能について考察を行った。発話頭あるいは発話節の境界に位置する「那(个)」は新しい話題を開始する機能を持っており、発話節の境界に位置する「那(个)」は話題転換の機能を果たし、発話節の中に位置する「那(个)」は言葉探しという役割を果たすと述べている。発話節の境界に出現する話題開始の「那(个)」と話題転換の「那(个)」の違いは指向性に起因する。前者は聞き手指向であり、聞き手に応答または反応を要求するのに対し、後者は話し手指向であり、「那(个)」の使用は当該の話題が終了したからではなく新しいアイデアが突然話し手の頭に浮んだからである。そして、多くの場合、言葉探しの「那(个)」は緊張している心理活動を投射していると指摘している。

以上の分析では、いくつかの問題点が生じる。まず、談話標識「那(个)」の機能につ

<sup>18</sup> 中国語の「这个(zhe ge)」と「那个(na ge)」を日本語に直訳すると、「この」「これ」と「その」「それ」「あの」「あれ」になっている。(中日大辞典, 2010:1218, 2123 参照)

<sup>19</sup> 「那什么(na shen me)」は指示詞「那」+疑問詞「什么」の組み合わせである。日本語に直訳すると、「あの何」や「その何」になっている。文法化して談話標識として使用される時、日本語の「あのなんか」や「そのなんか」に相当している。(中日大辞典, 2010:1525 参照)

いての記述は取り上げられた実例しか説明できない。例えば、話題開始の「那(个)」は必ずしも聞き手の応答要求ではない場合もある。次に、高木(2008:139)は談話標識の機能には、「談話全体の一貫性を構築していくための「テキスト構成的機能」と、会話参加者の間でフェイス(面子)を損ねることを緩和するために使われる「対人的機能」(林編, 2008:139)」があると述べているが、许(2008)では「那(个)」が「対人的機能」を持っているかどうかはまだ明らかにされていない。さらに、指示詞から派生した談話標識の「那(个)」が本来の指示詞の性質を帯びているかどうか曖昧なままである。

刘(2009)は談話標識「这个」と「那个」について分析し、それらの機能を整理した。まず、談話の開始に出現する「这个」と「那个」は「発話の切り出し」の機能を持ち、発話頭(談話の開始ではない)に出現する「这个」と「那个」は「発話権受取」として機能すると述べている。「这个」と「那个」の「発話権受取」の機能を細分化すると、「这个」は「順接」という役割をし、「那个」は「逆接」という役割を果たす。次に、発話中に位置する「这个」と「那个」は「発話権占有」と「発話権維持」という機能を持つ。さらに、「这个」と「那个」の出現率とその影響因子について、先輩から後輩へ、先生から学生への発話では「这个」が多用されるのに対し、後輩から先輩へ、または平等な関係の発話では「那个」が多く用いられることが明らかにされた。

劉(2009)は、刘(2009)は用例の半分以上を同じ人物の発話から取り上げており、その分析結果は特定の人物の個人的な使用実態しか反映していないと批判し、談話標識である「这个」と「那个」の機能を「テキスト構成的機能」と「対人的機能」から考察を行った。結果として、「这个」は「話題管理<sup>20</sup>(テキスト構成)」、「言いよどみ(テキスト構成)」、「プレファレンス<sup>21</sup>(対人)」、「話者交替(対人)」という4つの機能を果たしているとした。「那个」は、「这个」の4つの機能に加えて、「修復・訂正(テキスト構成)」、「呼びかけ(対人)」という機能も持つと述べている。

殷(2009)は、指示詞から派生した「这个」と「那个」の機能と使用の影響因子について考察を行った。談話標識として使用される「这个」と「那个」は指示詞の用法から影響を受けていると指摘し、その機能を「談話機能」と「言語行為機能」に分け、さらに「談話機能」を「発話構築」「修復」「話題を立てる」「話題の展開」「話題を取り戻す」「話題の転換」という6つに、「言語行為機能」を「発話開始」「話者交替」「発話権維

---

<sup>20</sup> 劉(2009)では、「話題管理」というのは新たな話題を開始する時、あるいは、それに転換する時に、「这个」と「那个」を使用することにより、唐突感を避けて、より自然になるということであると記述している。

<sup>21</sup> 劉(2009:194)では、プレファレンスとは、「相手からの質問や頼みに対し、語用論的に好まれる返答と好まれない返答の慣例のことである。DMの「这个」と「那个」は好まれない返答の慣例として多く用いられている」と述べている。

持」という3つに細分化している。自然会話とテレビドラマの会話データを用いて指示詞としての「这个」と「那个」及び談話標識としての「这个」と「那个」の使用分布を分析した結果は以下の通りである。まず、「这个」は主に指示詞として使用されている一方、「那个」は主に談話標識として使用されている。次に、「这个」は先輩から後輩への発話に多用されている一方、「那个」は後輩から先輩へ、または平等関係の発話に多用されている。そして、話し手は表現対象を心理的にそのまま復元しようとする時、「这个」の使用率は「那个」より明らかに高い。「这个」と「那个」の使用する人間関係について、刘(2009)も同様の結果を記している。また、話し手の心理的な要因について、2.1.5節で紹介した小出(2009)の「こう」の用法と似通っている。問題点として、殷は「这个」と「那个」の違いをある程度明らかにしたものの、その「談話機能」と「言語行為機能」の差異についての記述はない。また、それぞれの機能の下位分類の根拠付けが欠けていると思われる。

朱・史(2014)は談話標識「那什么」の機能を「発話困難に対応する方略」「発話の一貫性を維持する方略」に大別し、前者は「言葉探し」「言い淀み」「和らげ」という3つに、後者は「話題導入」「話題継続」「話題転換」「修復」という4つに下位分類している。中国語談話標識の研究は、そのほとんどが「テキスト構成的機能」を巡ってなされてきたが、朱・史は「那什么」が「和らげ」という「対人的機能」を持っていると指摘している。

王(2004)は接続詞「然后」が文法化している要因に関して、以下の3点を述べている。

- ① 北京語「完了」からの影響を受けている可能性がある。両者はともに時間的な前後関係を表しているためである。
- ② 本来の意味と話し手の心理活動等の因子から影響を受けている可能性がある。具体的には、話し手が考えながら、聞き手にとって理解しやすく一貫性をもたらす発話の構築に努力していることを表す。
- ③ 言語接触の影響を受けている可能性がある。例えば、英語の「and」「then」「and then」等が影響を与えている。

しかし、これらの結論は、自然会話データではなく大学生の意識調査結果から結論を導かれており、妥当性・信頼性を欠いているのではないと思われる。

许(2009)は、接続詞から派生した「然后」の談話機能について考察を行い、「然后(ran hou)」は「前後関係」「列挙標記」「話題開始」「その他」という機能があると指摘している。まず、「前後関係」とは、時間的な前後関係ではなく論理的な前後関係(出来事、

動作、行為等)を表し、「前後関係」の機能を持つ「然后(ran hou)」は、接続詞でもないし談話標識でもなく、その中間的なものという。次に、「列挙標記」の「然后(ran hou)」は、先行する事または物に接続し、次に同類の事または物が続くことを聞き手に知らせる機能を持つ。そして、「話題開始」の「然后」は、言いたいことがまだあり、また前後関係がないことを表すと指摘している。「話題開始」について、「発話権維持」という説明の方がより相応しいのではないかと思われる。

姚・姚(2012)は談話標識「就是」の機能を「応答標識」「発話の切り出し」「間を埋める」という3つに分類している。「応答標識」とは、話し手が相手の発話に同意を示す。「発話の切り出し」は、話題を提示し、聞き手の注意を喚起することを表す。そして、「間を埋める」機能は、考える時間を稼いで発話権を維持すること、あるいは聞き手の注意を後続発話内容に引き込む機能である。

中国語の談話標識に関する研究は、まだ初歩的な段階である。先行研究では、個々の談話標識の機能に関して、首尾一貫性を保つための「テキスト構成的機能」は分析されているのに対し、ポライトネスに関わる「対人的機能」はあまり言及されていない。また、談話標識全体を対象とした研究とその量的な研究は、管見の限り、見られない。

## 2.3 先行研究の問題点及び本研究の立場

以上、日本語フィラーと中国語フィラーについての先行研究及びその問題点を整理した。話し言葉には時間的制約があるため、途切れなく発話を産出することは不可能である。ゆえに、音声コミュニケーションではフィラーが不可欠な要素になる。フィラーの使用の特徴について、これまで多くの知見が蓄積されてきている。中国語フィラーに関する研究はまだ初歩的段階であるが、日本語フィラーに関する研究は、国語学、心理言語学、コーパス言語学、会話分析等各分野にわたって、様々な研究がなされてきている。本節では、先行研究の問題点・不足点を指摘し、本研究の立場を示す。

第1に、フィラーの定義と機能に関する問題点が挙げられる。フィラー全体を対象とした談話分析的な研究である、2.1.3節で紹介した山根(2002)の研究は、データが充実しているに加えて、音声面、出現位置、役割、属性という様々な側面からフィラーの使用実態を明らかにする点が高く評価できる。しかし、2.1.3節でも述べたように、フィラーの定義と役割の分類に疑問と思われる点がある。例えば、まず、同意、納得等の合図がフィラーであるか応答表現であるかは判断が困難である。即ち、フィラーと応答表現の境界は不明瞭である。そこで、フィラーの定義を厳密にする必要があると思われる。次に、「話し手の情報処理能力を表出する機能」は「発話の調子の整え」「間つなぎ」「時間稼ぎ」に下位分類されているものの、これらの下位機能の差異についての詳細な説明

はない。さらに、発話の中のフィラーがどのような役割を持っているかは恣意的な判断が見られ、その根拠付けが必要となる。これらの問題に対して、本研究は、山根(2002)を踏まえてフィラーの定義と機能の下位分類を再検討する。

第2に、フィラーの研究方法に関する問題点が挙げられる。大工原(2010)はフィラーに関する研究を外部観察的アプローチと認知主義的アプローチに分けた。外部観察的アプローチでは実例・帰納的方法<sup>22</sup>が採られ、認知主義的アプローチでは作例・演繹的方法<sup>23</sup>が採られると述べている。大工原(2010)は、主に認知主義的アプローチの作例・演繹・質的方法を採用し、その欠点を補うために適宜補助的に実例・帰納的方法、量的方法を用いた。これに対して、本研究は主に量的・質的方法及び実例・帰納的方法を採用し、大工原(2010)と異なる角度から日本語フィラーと中国語フィラーの比較対照を行う。これにより、大工原(2010)では観察されなかった点を発見できると考えられる。

第3に、使用データに関する問題点が挙げられる。川田(2010)は主にCSJコーパス<sup>24</sup>とBillboardコーパスをデータとしてフィラーを分析した。CSJコーパスは、独話のデータは合計604.3hであるのに対して、インタビューや対話のデータは合計12.2hしかない。また、この2つのデータのフィラーの出現回数を見ると、独話では428,879回であるのに対して、対話の場合は8,032回に留まっている。さらに、Billboardコーパスは合計約3.5hであるが、主にポスター発表の音声データであるため対話とは言えないだろう。これに対して、本研究では日本語と中国語の会話を分析データとするだけでなく、日中接触場面の会話におけるフィラーも分析し、独話では観察できないフィラー使用の特徴を解明することを目的とする。

第4に、中国語フィラーの研究の偏りの問題点が挙げられる。日本語フィラーの先行研究では、様々な形態のフィラーに注目し、その特徴を統合的に記述した論考が数多く存在している。一方、中国語フィラーの先行研究では、指示詞系フィラーと接続詞から派生してきたフィラーについての論考が多く、中国語フィラー全般を包括的に捉えるものはまだ少ない。そこで本研究では、自然会話における中国語フィラーの振る舞いを捉えようとするを目的の1つとする。

第5に、対照研究におけるフィラーの機能の不均衡という問題点が挙げられる。日本語フィラーの研究では、「発話内容を調整する機能」と「対人関係を調整する機能」という2つの視点から考察がなされてきている。一方、中国語フィラーの研究では、主に

---

<sup>22</sup> 「実例・帰納的方法」とは、「談話の文字化資料を用いて、そこで起こっていることを記述するアプローチである(大工原2010:47)」。

<sup>23</sup> 「作例・演繹的方法」とは、「理想的発話(作例)の自然さやニュアンスに関する内省判断をデータとして、仮説を構築し、それを検証する方法である(大工原2010:47)」。

<sup>24</sup> CSJコーパスは国立国語研究所話し言葉コーパスである。

フィラーの「発話内容を調整する機能」について論が進められてきた。しかし、言語コミュニケーションではフィラーは会話のストラテジーとして多用されているため、「対人的機能」を考察することも不可欠であろう。そこで本研究では、機能を「発話内容・構成調整機能」「対人関係調整機能」という2つに大別し、機能の観点から日中フィラーの用法について対照分析を行う。具体的には、発話の出現位置、場面の改まり度という側面から分析する。

第6に、中国人日本語学習者による日本語フィラーの使用の分析に関して不足している点が挙げられる。日本人母語話者の日常会話を観察すると、流暢に話している時も、全く絶え間なく話を続けるということはない。また、一般的に、沈黙すると不安を抱きやすいと言われる日本語母語話者は、常に「あの一」「えーと」「なんか」「まあ」等を発話に入れてポーズを埋めることが多い。一方、中国人日本語学習者<sup>25</sup>の場合、日常会話で使用されるフィラーの種類も使用頻度も、日本語母語話者ほど巧みに使われているとは言えない。初級の中国人日本語学習者は、言葉を検索する時、そのまま沈黙するか、中国語の「那个」「嗯」を入れるか、または最も典型的な「あの一」「えーと」を使う。本研究では、接触場面の会話データを分析することによって、日本語母語話者と中国人日本語学習者の日本語フィラーの使用差異を明らかにし、中国人日本語学習者が日本語フィラーを効果的に使用できない原因を明らかにする。

## 2.4 フィラーの定義

先行研究では様々なフィラーの定義が存在している。その定義には「談話標識」「感動詞」「あいづち」と関わっているものが多い。例えば、「談話標識」との関わりについて、Cameron(2001)は、「談話標識」をフィラーと呼ぶ場合があり、「フィラーとは、自分の言いたいことがよく分からない時、あるいは実際には何も言うことがない時に、自分の話を「埋める」(fill out)ための装置である」(Cameron, 2001:169)としている。同時に、「談話標識」の特徴は、分離可能であり、発話から取り出しても発話の基本的な文法構造や命題の意味が変わらないものであるとも言う。そして、「談話標識」は時に「意味のないもの」や「フィラー」(fillers)とされることもあると述べている。また「感動詞」との関わりについて、定延(2010)はフィラーと「感動詞」はほぼ重なり、実質的内容が希薄で生起位置が統語的に制限されない語群を指すと述べている。さらに「あいづち」との関わりについて、山根(2002)は「あ」という気づき・同意・納得等の合図をフィラーと認定しているのに対して、小出(2009)は「あ」をフィラーから外して

---

<sup>25</sup> 中国人日本語学習者とは中国語を母語とする日本語学習者を指す。

いる。石川(2010)は情報の受容(情報の獲得)の「あ」はあいづちであると述べている。このように、フィラーと「談話標識」「感動詞」「あいづち」は重なっているところがあり、その境界は曖昧であると言える。以下では、先行研究を踏まえ、フィラーと「談話標識」「感動詞」「あいづち」との相違点を示し、本研究のフィラーの認定基準を設定する。

#### 2.4.1 フィラーと談話標識

本節では、「談話標識」とフィラーについての先行研究を概観し、両者の違いを説明する。フィラーと談話標識の違いを明確に論じている研究は、管見の限り見当たらない。小出(2009:14)は、山根(2002)等の先行研究を参考にし、フィラーは「談話標識(談話の組織を形成する要素)でもない」と述べている。この記述だけではフィラーと「談話標識」を区別することは難しいと思われる。

Schiffrin(1987)は談話標識であるかの判断に、明確な定義ではなくそのプロトタイプ条件を設けている。Schiffrin(1987:328)は次のような条件を挙げている。

- ① it has to be syntactically detachable from a sentence.  
(統語的に文(句)から分離できること)
- ② it has to be commonly used in initial position of an utterance.  
(発話の開始部分によく使用されていること)
- ③ it has to have a range of prosodic contours (e.g. tonic stress and followed by a pause, phonological reduction).  
(多様な韻律的表現があること)
- ④ it has to be able to operate at both local and global levels of discourse, and on different planes of discourse (this means that it either has to have no meaning, a vague meaning, or to be reflexive (of the language, of the speaker)).  
(談話の局所的と全体的レベル及び異なる談話面で運用できること)

つまり、機能的な観点から、「談話標識」は談話単位を関連づける、即ち談話の文脈的調整を担うものと規定されている。藤井(2013)は、Schiffrin(1987)が典型的な事例として分析した英語の oh、well、no や so、because、and、but、or、y' know 等は、日本語では「ああ」「あら」「あれ」「まあ」等のいわゆる間投詞と呼ばれるものや「だから」「だって」「で」「でも」「けど」「あるいは」等のいわゆる接続語と呼ばれる結束

性標識語であると述べている。Fraser (1996)は、「談話標識」を先行する談話と次のメッセージの関係を示すものであると定義している。また、Heine (2013:1209)は「談話標識」の認定基準について次のような条件を設定している。

- ① they are syntactically independent from their environment.  
(統語的にその環境から独立していること)
- ② they are typically set off prosodically from the rest of the utterance.  
(通常、韻律的に他の発話から区切られていること)
- ③ their meaning is non-restrictive.  
(その意味は非制限的である)
- ④ their meaning is procedural rather than conceptual-propositional.  
(概念・命題的ではなく、手続き的であること)

フィラーの定義に関して、山根(2008:131)<sup>26</sup>はフィラーを「発話の一部分を埋める音声現象や語句のことを指し、それ自身は命題内容、及び、他の発話との(狭義)応答関係・接続関係・修飾関係を持たない」ものと定義した。水上・山下(2007)は山根(2002)<sup>27</sup>を参考にしてフィラーを再定義した。

それ自身命題内容をもたず、発話文の構成上、排除しても意味に影響を及ぼさないもので、(1) 他との応答・修飾・接続関係にないもの(2) 他との応答関係にあっても逡巡を示すもの(3) 情動的感動詞や言い差し(途切れ)とは異なるもの。

水上・山下(2007:591 一部改変)

小出(2009)は山根(2002)等の研究を参考にし、フィラーの操作的規定について以下のように述べている。

- a. 実時間的に発話やその他の行動に伴って現れる音声である。
- b. それ自身は命題的な内容を持たないし命題とのかかわりも持たない。
- c. 文のモダリティ要素でもないしモダリティ要素との関わりを持たない。
- d. 談話標識(談話の組織を形成する要素)でもない。

<sup>26</sup> 林宅男編(2008)『談話分析のアプローチ理論と実践』に収録されている。

<sup>27</sup> 山根(2002:49)はフィラーを「それ自身命題内容を持たず、かつ他の発話と狭義の応答関係・接続関係・修飾関係にない、発話の一部分を埋める音声現象」と定義した。



- e. 単独では文としての価値を持たない。
- f. 当該の言語の中で、一定の音声形式を持つ。
- g. 出力時に、出力を支えるために（内容形成、調整、対人的な配慮と調整等のために）発せられる音声である。 小出（2009:34）

以上の先行研究を踏まえると、音韻的、統語的、意味的な特徴からは「談話標識」とフィラーに明確な差異が見られない。一方、機能的な特徴から見ると、「談話標識」は談話の文脈的調整を担うものである(Schiffrin, 1987)のに対し、フィラーは発話の出力を支えるために（内容形成、調整、対人的な配慮と調整等のために）発せられる音声である(小出, 2009)。つまり、フィラーは話し手が発話権を行使している間に発話の内容や構成を調整するために使用されている。また、表現形式について、「だから」「だって」「でも」「けど」「あるいは」等の文脈の結束性を標識する用語は、本研究ではフィラーと認定しない。

#### 2.4.2 フィラーと感動詞

本節では、先行研究を概観しながら、フィラーと感動詞の相違点を説明する。定延(2010)はフィラーと「感動詞」はほぼ重なり、実質的内容が希薄で生起位置が統語的に制限されない語群を指すと述べている。フィラーと「感動詞」の差異は論じられていない。田窪・金水(1997)は感動詞・応答詞を「入出力制御系」と「言いよどみ系」に分類した。具体的には以下の通りである。

##### <入出力制御系>

応答1: ああ、はい、はあ、ええ、うん、ふん(下降イントネーション)

応答2: いいえ、いえ、いや、いや、いやいや

意外・驚き1: は、はあ、え、ええ、へえ、ふん(上昇イントネーション)えっ、はっ、  
ふんっ

意外・驚き2: あれ、あら、おや

意外・驚き3: おお、わあ、おっ、わっ

発見・思い出し: あ、あっ、はっ

気付かせ・思い出させ: ほら、そら、それ

評価中: ふうん、へえ、ほお(緩やかな上昇また高平調)

迷い: ううん(平坦または緩やかな下降)

嘆息: あ(/は)あ、お(/ほ)お、う(/ふ)うん(緩やかな下降) 田窪・金水(1997:263-264)

### <言いよどみ系>

非語彙的形式：え、ええ、単語末母音の長音化

語彙的形式：

内容計算：ええ(っ)と、ううんと

形式検索：あの(一)、その(一)、この(一)

評価：ま(あ)、なんというか、なんか、やっぱり

田窪・金水(1997:273)

山根(2002)、水上・山下(2007)、小出(2009)のフィラーの定義を踏まえて、まず、フィラーと認定できないものとして、他の発話と応答関係がある「応答1」「応答2」、「情動的感動詞」<sup>28</sup>である「意外・驚き1」「意外・驚き2」「意外・驚き3」「発見・思い出し」、非言語音である「嘆息」がある。次に、フィラーと認定できるものとして、聞き手に気づかせたり思い出させたりする機能を持っている「ほら」「そら」「それ」等は、聞き手の注意を喚起し、発話内容に引き込む効果があり、話し手が情報出力時に、対人的な調整のために発せられる音声であるため、フィラーと認定できる。また、何らかの評価を出力するまでの間の予告的な標識である即ち「迷い」の「ふうん」「へえ」等と、相手の発話を完全に理解した上でそれに対する解答が何からの理由で即座に出せない場合の「ううん」と<言い淀み系>の感動詞は、情報出力時に内容形成または対人的な配慮を調整するためにはせられる音声であるため、フィラーと認定できる。

以上の分析に基づき、「情動的な感動詞」を除き、一定の音声形式を持っている感動詞はフィラーと認定することができる。

### 2.4.3 フィラーとあいづち

本節では、先行研究を踏まえて、フィラーとあいづちの相違点を説明する。堀口(1997:42)は、あいづちを「話し手が発話権を行使している間に、聞き手が話し手から送られた情報を共有したことを伝える表現」と定義している。あいづちの機能として、①「聞いている信号」(「はい」「ええ」)、②「理解している信号」(「ああ」「ええ」「わかった」)、③「同意の信号」(「はい」「うん」)、④「否定の信号」(「いえ」「いいえ」)、⑤「感情の表出」(「ほー」「へーえ?」「まじー」という5つにまとめている。また、あいづちの表現形式として、①「あいづち詞」(「はい」「ええ」「ん」「そう」「ほんと」等)、②「繰り返し」、③「言い換え」、④「その他」(先取り、非言語行動)という4つ

<sup>28</sup> 水上・山下(2007)は、森山(1996)の研究を踏まえて、話者自身の気づき・驚きの感情表現は言葉探しや記憶操作のような心的過程とは異なるため、フィラーとして認定できないと述べている。

が挙げられている。

フィラーとあいづちには共通した表現形式があるため、場合によって明確に区別することができない。まず、発話頭に現れる「はい、ええ」は相手の情報を受けた信号の場合、あいづちと認定する。しかし、質問を受けた後の「えー、ええ」はフィラーと認定する。例えば、以下の例が挙げられる。

#### 例 2-14

I:それは、話す時に困りますか?それとも、聞く時に困りますか?

CN1:えー、普通のなんか、聞くとか、話すとか、あんまり外来語は使わないですね。

(日中 I・1)<sup>29</sup>

次に、発話頭に位置する「ああ」は情報提供の後に出現する場合、情報を受容した信号になり、本研究ではフィラーと認定しない。例えば、以下の例が挙げられる。

#### 例 2-15

CN1:読む時は、時々見ますけど。

I:あー。

(日中 I・1)

最後に、発話末に現れる「はい、ええ」について、あいづちかフィラーか、研究によって異なる立場が見られる。例えば、以下の例が挙げられる。

#### 例 2-16 <作例>

A:夏休みは、海外旅行へ行きました、はい。

山根(2002)と中島(2011)は発話末の「はい」をフィラーと認定し、発話終了を示す機能を持っていると指摘している。一方、田窪・金水(1997)は、文末の「はい、ええ」は「応答詞」の一種で、相手に対して出力したことを承認する標識であり、即ちこちらの出力が終わったのでそちらに移りたいという信号として機能すると述べている。これは、小出(2009)が指摘しているように、出力時に出力を支える即ち内容形成や対人関係を調整するために発せられる音声ではないため、本研究ではフィラーから除外した。

<sup>29</sup> 日中接触場面のインタビュー会話を「日中 I」と略す。後ろの数字は資料 1・2・3 を表す。

#### 2.4.4 本研究におけるフィラーの定義

以上、フィラーと「談話標識」「感動詞」「あいづち」との境界が曖昧であることが分かった。廣瀬(2012)は、体系的な談話標識に関する研究がなされていなかった理由として、その定義が定まらず、どのような言語表現を含めるのかというコンセンサスがなかったためであると指摘している。大工原(2010)は、トップダウンにどこまでフィラーとするかを厳密に決めるのがかなり無理であると述べている。本研究では、水上・山下(2007)と小出(2009)のフィラーの定義を踏まえて、以下のようなプロトタイプ条件を設定する。

- ① 指示詞、副詞、接続詞等に由来するものの、本来の意味が希薄になっている上に、他との修飾・接続関係がない。
- ② それ自身命題内容をもたず、意味的に発話全体に影響を与えない。
- ③ 出現位置が構造的にも統語的にも制限されない。
- ④ 発話出力時、何らかの困難がある場合に発せられた音声である。
- ⑤ 談話標識(文脈の結束性を標識する用語)とは異なる。
- ⑥ 意外・驚き・発見・思い出し等の情動的感動詞ではない。
- ⑦ 基本的には他との応答関係がない、たとえあったとしても逡巡を示すものである。

タグ付けの仕方について、2名の判定者が、フィラーのプロトタイプ条件に従って7つの条件を全てあるいは部分的に満たすように、文字化したデータを参照しながらフィラーの判定を行った。タグ付けに不一致が起こった場合は、協議の上、最終的な判定をした。

#### 2.5 日本語フィラーと中国語フィラーの類型

日本語にも中国語にもフィラーは多数存在しているが、上述したように、フィラーはそれ自身の意味が希薄である。ゆえに、外国語に翻訳することは難しく、また外国語におけるフィラーを習得することはかなり難易度が高いものである。本節では、先行研究におけるフィラーの分類を踏まえて、本研究の日本語と中国語のフィラーの類型を整理する。

数多く存在しているフィラーの種類の分類は、塩沢(1979)、山根(2002)と中島(2011)の研究がある。塩沢(1979)は日本語の Hesitation について考察し、それを3種類9型に分類した。第1種は、①無言型、②のぼし型、③ひきつづき母音型、④母音型のようなもともと意味のないものである。第2種は、⑤連体型を代表として、本来意味を持つ

が、Hesitation として使われる時はその意味を失う語である。第3種は、⑥副詞型、⑦代名詞型、⑧感動詞「そうね」型、⑨アノネ型というような本来意味をもち、その意味が役割に関係ある語であるとしている。これに対して、山根(2002)では、フィラーの種類を音声面から分類し、「母音型」、「あいまい母音型」、「エート型」、「コーソー型」、「コソア型」、「ナンカ型」、「ネー型」、「ハイ型」、「マー」、「モー型」、「シー型」の11類型にまとめている。さらに、中島(2011)は山根(2002)の分類を踏まえて、フィラーを「母音型」「コソア型」「エート型」「ナンカ型」「マー・モー型」「シー型」「ハイ型」「ヤー型」「ヘー・ホー型」「ホラ型」「デ型」「ネー型」という12類型に分けた。

塩沢(1979)は本来の意味を持つかどうかという基準によってフィラーを分類した。フィラー化する前の本来の性質による分類をすると、日本語フィラーに対応する中国語フィラーも上手く整理することができる。そこで、本節では、塩沢(1979)のフィラーの分類法を参照して、日本語と中国語に頻出しているフィラーを以下のように整理する。

表 2-2 日本語フィラーと中国語フィラーの類型

	日本語フィラー <sup>30</sup>	中国語フィラー <sup>31</sup>
①指示詞型	「あの一」類、「その一」類、「この一」類	「这:」 <sup>32</sup> 類、「那:」類、
②副詞型	「まあ」類、「なんか」類、「もう」類、「ちよっと」類、「こう」	「就是」類、「这样」、「什么」類
③感動詞型	「ほら」	「啊:」「哎」
④接続詞型	「で一」類	「然后:」類
⑤応答詞型	「うん」類	「对」、「哦:」類
⑥有声休止 <sup>33</sup>	「えーと」類、「んー」類、単語末尾の母音の長音化(「あー」「えー」等)	「嗯:」類、「呃:」類、「哼:」、「啊:」類

<sup>30</sup> 「あの一」類:あの一、あの一、あの一ね 「その一」類:その、その一 「この一」類:こう、この、この一 「なんか」類:なんか、なんかね 「もう」類:もう、もうね 「ちよっと」類:ちよっと、ちよっとね 「まあ」類:ま、まあ、まあね 「で一」類:で、で一 「うん」類:うん、うーん 「えーと」類:えー、えーと、えーと、えーと 「んー」類:んー、うーん

<sup>31</sup> 「这:」類:这、这:、这个、这个:、这种、这样 「那:」類:那、那:、那个、那个:、那种、那什么 「哦:」類:哦、哦: 「然后:」類:然后、然后: 「嗯:」類:嗯、嗯: 「呃:」類:呃、呃: 「就是」類:就是说、也就是说 「什么」類:什么、什么的 「啊:」類:啊、啊:

<sup>32</sup> 中国語フィラーの長音は「:」で表す。

<sup>33</sup> 全てのフィラーが有声休止と扱われることができるが、本稿では本来意味を持つものと持たないものを区別するため、本来意味が持たないフィラーを「有声休止」に分ける。

## 2.6 フィラーの機能

### 2.6.1 先行研究におけるフィラーの機能及びその分類

「談話標識」の機能について、浜口(2008)は談話の全体の一貫性を構築していくための「テキスト構成的機能」と、会話参加者の間でフェイス(面子)を損ねることを緩和するために使われる「対人的機能」に分けている。一方フィラーの機能について、山根(2002)は、「話し手の情報処理能力を表出する機能」「テキスト構成に関わる機能」「対人関係に関わる機能」に大きく分けている。「話し手の情報処理能力を表出する機能」はさらに「発話の調子の整え」「間つなぎ」「時間稼ぎ」に細分化されている。しかし、廣瀬(2012)は、「談話標識」の「談話・会話構造に関わる機能」の下位分類として、談話・会話の順番の保持、時間稼ぎ、沈黙を埋めるという機能があると指摘している。また、2.4節で述べたように、フィラーは談話・会話の文脈を調整するより、話し手が発話権を行使している間に発話の内容や構成を調整するという機能を果たしている。そこで本研究では、フィラーの機能を大きく「発話内容・構成調整機能」「対人関係調整機能」という2つに分類する。それぞれの機能の下位項目に関する先行研究をまとめたものは、以下の表 2-3 の通りである。ただし、フィラーの機能の分類は網羅的なものではなく、代表的な先行研究で共通して認められているものが挙げられている。

表 2-3 日本語フィラーと中国語フィラーの機能に関する先行研究

機能 先行研究	発話内容・構成調整機能						対人関係調整機能				
	言葉探し	換言・修復	発話権維持	補足説明	話題転換	情報の不明確表明	和らげ	ためらい	共感・なだめ	注意喚起	発話権奪取
塩沢(1979)	●						●	●		●	
小出 (1983, 2009)	●				●	●	●	●			
川上 (1993, 1994)	●						●	●	●		
定延・田窪 (1995)	●										
田窪・金水	●						●				

(1997)											
加藤(1999)	●			●							
エメット (2001)	●					●	●	●			
山根(2002)	●	●	●				●	●	●	●	
富樫(2002)							●	●	●		
水上・山下 (2007)			●								
中島(2011)	●	●	●				●	●		●	
高木・森田 (2015)	●						●				
方(2000)			●		●						●
许(2008)	●				●						
刘(2009)		●									●
劉(2009)	●	●			●		●			●	●
殷(2009)		●	●		●						●
朱・史(2014)	●	●	●		●		●	●			

第1に、大区分「発話内容・構成調整機能」の下位項目を検討する。「言葉探し」、「換言・修復」、「発話権維持」は両言語ともに認めている機能である。まず、「換言・修復」に関して、原田(2016)は、Levelt(1989)が指摘した自己開始自己修復の中の“error repair”と“appropriateness repair”の違いの重要性を踏まえて、それぞれに対応する用語を「訂正」、「言い換え」に設定し、以下のように定義した。

訂正(correcting):

置き換える前の要素で表される意味と置き換えた後の要素で表される意味が相互排他的となるよう要素を置き換える操作。

言い換え(rephrasing)

置き換える前の要素で表される意味と置き換えた後の要素で表される意味は必ずしも相互排他的とはならず、置き換えの前後で表現の選択が変わったり視点が変わったりするよう要素を置き換える操作。原田(2016:154)

加藤(1999)が指摘している「まあ」の「補足説明」という機能、即ちより正確で詳しい情報を聞き手に伝えるという表現効果は、「言い換え」に含まれると思われる。次に、「発話権維持」に関して、中国語フィラーの先行研究では、言葉を探しながら発話権を維持していると記述されている(方, 2000; 殷, 2009; 朱・史, 2014 等)。水上・山下(2007:601)は、フィラーは本来的に「発話権維持」という機能を持っているというBrown(1977)の主張を踏まえて、フィラーを使用することは発話権を奪われないようにするためより、発話することが期待されている話し手が沈黙を回避するために「続く発話内容は不確定あるいは言いにくい内容なのだが発話継続の意思はあって、その生成作業中である」ことを示すと述べている。一方、山根(2002)によると、「発話権維持」のためのフィラーは、情報を小出しにしている際に聞き手が打つあいづちの後に現れるものである。あいづちは聞いていることを示すあるいは話し手の発話を促進する効果をもたらすだけでなく、話し手の発話を中断させる効果があると指摘している。しかし、山根の「発話権維持」に関する記述の妥当性について疑問に思われる点がある。例えば、山根(2002:142)は以下の例を挙げ、「あの一」「え一」の「発話権維持」という機能を記述している。

#### 例 2-17

D: もとはと言えばアイヌの

E: ええ

D: **アノ一** カムイユカラ

E: はい

D: **エ一** ことに大変刺激を受けた

山根(2002:142)

例 2-17 では、E のあいづち「ええ」「はい」は先行している D の発話の末尾との重なりがなく、またあいづちの続きに E が発話を開始しようという意図も観察されないため、このあいづちによって、相手の発話を中断して発話権を取ろうとしているかどうか判断することは難しい。聞いていることを表明して次の発話を促しているのとも思われる。そこで、聞き手のあいづちに続いている話し手のフィラー「あの一」「え一」は、発話権を奪われないようにするためよりも、むしろ発話権を行使している話し手が、聞き手からのあいづちを受けて、発話のリズムを整えて発話継続の意思を聞き手に伝えると考えられる。つまり、「発話権維持」ではなく「発話継続表明」のではないだろうか。そして、「話題転換」に関しては、2.2 節で述べたように、中国語の先行研究で「談話標



識」の機能として多く論じられている。「談話標識」は談話・テキストの首尾一貫性に  
関与する機能である(Halliday&Hasan, 1976;Schiffrin, 1987;Fraser;2009 等)。「話題転  
換」は、発話の内容や構成を調整するという機能であるよりは、談話全体の構築を調整  
するという機能であると考えられる。また、日本語フィラーの先行研究では「話題転換」  
という機能はあまり言及されていない。最後に、「情報の不明確表明」に関しては、エ  
メット(2001)、小出(2009)は「なんか」の用法を分析し、情報の不明確さを示す場面  
によく使用されており、由来の不透明な主張、話し手と直接の関わりがない情報等を述  
べることを聞き手に表明すると述べている。本研究の中国語のインタビュー番組の会話デ  
ータは、司会者にとってゲストに関わる情報が不明確な場合にフィラーがよく用いら  
れていることが観察された。そこで、以上の分析に基づき、本研究ではフィラーの「発  
話内容・構成調整機能」を「言葉探し」「換言・修復」「発話継続表明」「情報の曖昧化」  
という4つの下位項目に分類する。

第2に、大区分「対人関係調整機能」の下位項目を検討する。日本語フィラーと中国  
語フィラーの先行研究で共通して認めている機能は「和らげ」「ためらい」「注意喚起」  
である。まず、「和らげ」は、聞き手に配慮することを表し、不同意表示、否定的なコ  
メント等言いにくい内容を和らげることである(山根, 2002;小出, 2009;高木・森田, 2015  
等)。「和らげ」としてのフィラーの表現形式は、「あの一」(田窪・金水, 1997;西阪, 1999;  
山根, 2002;小出, 2009 等)、「その一」(堤, 2008)、「ええと」(高木・森田, 2005)、「なん  
か」(エメット, 2001)、「まあ」(川上, 1993;富樫, 2002 等)、「这个(zhe ge)」「那个(na ge)」  
(劉, 2009;葛, 2017)、「那什么(na shen me)」(朱・史, 2014)等がある。次に、「ためらい」  
は、「自己防衛的な機能」(廣瀬, 2012)であり、つまり、聞き手に配慮するよりは、話し  
手が自分の事情を考慮してあまり言及したくない内容について、情報の明確性を隠すや  
直接的な応答を回避することである(塩沢, 1979;川上, 1993;山根, 2002; 朱・史, 2014 等)。  
「ためらい」としてのフィラーの表現形式は、「まあ」(川上, 1993;富樫, 2002 等)、「なん  
か」(エメット, 2001)、「那什么(na shen me)」(朱・史, 2014)等がある。そして、「共  
感・なだめ」は、相手の事情を共感し、感情をなだめるということである(川上, 1993;  
山根, 2002;富樫, 2002)。また、山根(2002)、小出(2009)は、「もう」は話し手の心情の  
昂ぶりを示し、聞き手の注意を喚起しながら発話内容に引き込むようにする効果がある  
と述べている。本研究では、フィラーの「共感・なだめ」「注意喚起」「発話内容への引  
き込み」を「共通理解」とする。最後に、「発話権奪取」は中国語フィラーの先行研究  
でしか論じられていない。フィラーを用いて相手の発話を遮る行為を緩和すること  
である。平本(2011)は、次の話者が選択されていない際、「なんか」により開始されたター  
ンが他者の同時開始と重複した場合、「なんか」を用いた話者の発話が脱落すると述べ

ている。つまり、ターンの開始要素としての「なんか」の機能は、単純な「発話権取得」ではなく、「発話権仮取得」である。フィラーを使用することは、相手の発話に割り込んで発話権を奪取する行為を和らげる効果があると考えられる。

## 2.6.2 本研究におけるフィラーの機能及びその分類

先行研究のフィラーの機能の分類を踏まえて、本研究では「対人関係調整機能」を「和らげ」、「ためらい」、「共通理解」、「発話権奪取」という4つの下位項目に分類する。フィラーの機能の分類及び定義は以下の表2-4に示す。

表2-4 フィラーの機能の分類及び定義

機能	下位項目	定義	主な表現形式
発話内容構成調整機能	言葉探し	適切な発話内容を探すために、フィラーを用いて言いよどみながら考える時間を稼ぐことである。	単語末尾母音の長音化、「あの一」類、「その一」類、「なんか」類、「で一」類、「まあ」類、「えーと」類、「这:」類、「那:」類、「就是」類、「嗯:」類、「呃:」類、「然后:」類、「什么」類等
	換言・修復	聞き手がより理解しやすいように説明するため、フィラーを前触れとして換言する。換言する前後の発話の意味は変わっていない。あるいは、話し手が言い間違えた時、フィラーによって、先行発話を一旦中断し言い直すことである。	「あの一」類、「这:」類、「那:」類、「就是」類、「呃:」類等
	発話継続表明	発話権を行使している話し手は聞き手からのあいづちを受けて、発話のリズムを整えながら発話継続の意思を聞き手に伝えることである。	「あの一」類、「その一」類、「なんか」類、「えーと」類、「で一」類、「然后:」類、「那:」類、「啊:」類等
	情報の曖昧化	由来の不透明な情報や話し手と直接な関わりがない情報を述べる、または聞き手の情報領域に踏み込む時、フィラーを用いて情報を曖昧化することである。	「なんか」類、「这:」類、「嗯:」類、「呃:」類、「什么」類等

対人関係調整機能	和らげ	聞き手のフェイスを損なわないように、問いかけ、不同意表明、否定的なコメント等をする場合に、フィラーによって言いにくい発話内容を和らげることである。	「あの一」類、「その一」類、「えーと」類、「なんか」類、「まあ」類、「这:」類、「那:」類、「呃:」類、「就是」類等
	ためらい	聞き手に配慮するよりは、話し手は自分の事情を考慮して、あまり言及したくない内容について、躊躇して直接的な応答を回避することである。	「あの一」類、「まあ」類、「なんか」類、「その一」類、「こう」、「那:」類、「对」、「就是」類、「呃:」類等
	共通理解	話し手は聞き手の会話参加意欲を高めるために、フィラーによって聞き手を発話内容に引き込むようにする。あるいは、相手の主張や立場等に共感を示したり相手をなだめたりして、共通理解を組み立てながら談話を滑らかに進行させることである。	「もう」類、「こう」、「あの一」類、「まあ」類、「那:」類、「啊:」類、「哎」等
	発話権奪取	相手の発話に割り込んで発話権を奪取する、または次の話者として選択されていない時にフィラーによって発話権を取得することである。	「あの一」類、「なんか」類、「这:」類、「那:」類、「然后:」類等

以下では、「発話内容・構成調整機能」と「対人関係調整機能」という2つの機能の下位項目の日本語と中国語の例を挙げる。

### 2.6.2.1 発話内容・構成調整機能

#### ① 言葉探し

例 2-18

KT: じゃあそんなあの、本当にすごかった、武道館の、あの、ナオトさんの、あの、VTR がありますんで、

NI: はい。

(徹子の部屋・4)

例 2-19

JL: 所以说那头两年、那、那个、那个(あの、あの一、あの一)、很多人都怀疑我、我自己也、啧、自责自己、哎呀、这一步可能弄不好、整错了。

訳<sup>34</sup>

JL:だから最初の2年間、あの、ええ、あの一、たくさんの人に疑われ、自分も、(舌打ち)自分を責めます。この一歩は間違えたかもしれません。

② 換言・修復

例 2-20(換言)

KT:土屋さおりさんって、あの、お嬢さん、女優さんもしてらっしゃいましたよね。

NH:はい、してました。昔ね。(徹子の部屋・1)

例 2-21(換言)

YL:你从小是一个叛逆的女孩子吗?

ZX:其实我挺乖的、叛逆是:从:开始上舞蹈学校、就是那个:(つまりあの:)、十几岁的叛逆期开始

YL:嗯。(楊瀾訪談録・1)

訳

YL:小さい頃から反抗的な女の子でしたか?

ZX:実はおとなしかったです。反抗的になったのは一ダンススクールに通い始めてから一、あの一、10代の反抗期から

YL:うん。

例 2-22(修復)

NI:あの、歌、いや、あの、ジャーナリストだ。

KT:うん。(徹子の部屋・4)

例 2-23(修復)

YL:为什么?

ZX:(笑)因为我觉得那种:感觉是我很喜欢的。嗯、我就是对感情毫无保留、我特别纯粹的:那个:(あの:)感觉是我很喜欢的。(楊瀾訪談録・1)

訳

YL:なぜですか?

<sup>34</sup> 中国語フィラーを日本語に訳す時、中国語の原文では、中国語フィラーを直訳した日本語を括弧の中に記す。日本語の訳文では言語環境に基づいて意識する。

ZX: (笑い) あの一(恋愛の)気持ちがすごく好きだから、えーと、恋愛に対してはいつもありのままの自分を見せて、特別に純粋なあの一ー感覚が私はとても好きなのです。

### ③ 発話継続表明

例 2-24<sup>35</sup>

KT: ということですからね。それから、あの、今度その、あなたのこの旅が映画になる?

NI: そうなんですよ。

KT: ええ。

NI: その、2ヶ月前にエチオピアに行って、

KT: ええ。

NI: あの、ハマロ族って行って、こう、あの裸の (徹子の部屋・4)

例 2-25

HH: 对我来说、我、不是特别喜欢: 上电视

YL: 嗯。

HH: 然后(それから)、我、更喜欢在不露面的时候做一些事情。

YL: 嗯。 (楊瀾訪談録・3)

訳

HH: 私にとって、私、テレビに出るのがあまり好きではなくて

YL: うん。

HH: で、私、表に出ない時に何かやるのがもっと好きです。

YL: うん。

### ④ 情報の曖昧化

例 2-26

A1F: 女はさあ、なんか、結婚はこんな人とか、

B1F: でも、恋愛はこういう人★がいいみたいな。

A1F: →そうそうそう★そうそうそうそう←なんか理想とげんじ★つが違うじゃん。

B1M: →えへえー?←

<sup>35</sup> 聞き手はあいづちを打つが、まだ発話権を取ってないことである。

B1F: →全然違うよね? ←たぶん

A1F: ち★がう

(Sakura02)

例 2-27

YL: 你曾经说过、你说这个(この)、(笑)好像如果再做选择、不一定要选做演员这一行、觉得演员演一出戏、也是一个自我毁灭的过程、吭、说得挺悲情的。

ZX: 因为、当演员、其实是有些时候要去破坏自己的。 (楊瀾訪談録・1)

訳

YL: あなたは前言いましたが、その一、(笑い)もしもう一回選択するなら、芸能人になることを選ぶとは限らないと言ったようですね。芸能人は芝居をするのは自分を破壊することです。ね、とても悲しい話ですね。

ZX: 芸能人は、実は時々自分を破壊しないといけないですから。

## 2.6.2.2 対人関係調整機能

### ⑤ 和らげ

例 2-28

KT: お嬢さんからお手紙のやりとりとかしてらっしゃる?

NH: あんまり手紙はないですね。

KT: ほんと。

NH: メールとか。

KT: そうね。サンキューっていうカードです。ちょっと、あの、いいですか? サオリさんご紹介して。いい?

NH: はい。

(楊瀾訪談録・1)

例 2-29

YL: 听说在拍这个『霸王别姬』的时候、当时你的、这个(この)、姐姐、是得: 乳腺癌去世是吧?

GL: 嗯

(楊瀾訪談録・2)

訳

YL: 「霸王别姬」を撮った時、あの時、あの一、お姉さん、乳腺癌で一亡くなつたと聞いたけど、そうですか?

GL: うん。

⑥ ためらい

例 2-30

NI:あの、まず、最初のデビューというのが

KT:うん。

NI:実はもう 11 年、12 年前ぐらいでして、

KT:ええ。

NI:はい。で、まあ、えー、鳴かず飛ばずといますか。

KT:あそう。

NI:上手くいかず、

KT:うん。

NI:はい、んで一、ん一、そこからですね、ちょっとやっぱ上手くいかなくて歯が行くて、ま、挫折といますか、そこから、あの、七、八カ月間、一人暮らしの部屋で、こうずっと、体育座りをしているようなひきこもり状態

(徹子の部屋・4)

例 2-31

YL:但我也看到有说、你也有过、呃::打长途电话回去、然后就是、一个劲儿地叫爸爸、却什么都不说★的时候。

ZX:→对对←对对、嗯。

YL:这也是你独特的表达方式吗?

ZX:可能这么多年来的一个感觉、对(そう)、就(つまり)那天就是(つまり)、就这样啦。

(笑)对(そう)、打电话、对(そう)、那天我记得

YL:嗯。

(楊瀾訪談録・1)

訳

YL:しかし、あなたは、ええ、お父さんに電話をかけて、ひたすらお父さんと呼んでいるけれども、何も言わない時もある。

ZX:はい、はい、はいはい、うん。

YL:これは独特な伝え方ですか。

ZX:これはこの数年間に渡る一つの感覚かもしれません。うん、であの日はあの一、(笑い)、うん、電話をかけました。うん、あの日のことまだ覚えています。

YL:うん。

⑦ 共通理解

例 2-32

KK:おせち料理なんですけれども

KT:ええ。

KK:これを食べないで、そのおそばだけ食べる。

KT:おそばが好きな。

KK:好き

KT:うーん。

KK:でももう弱って、今日はもう体がきつい、沈みそうっていう時に、じゃあのキムチ  
のそば食べるって言うと、もうパって目が輝いて。

KT:キムチそば

KK:は。

KT:すごい。

(徹子の部屋・3)

例 2-33

YL:说说你第一次到、刚刚到北京的时候、你的感觉。

ZX:第一次就觉得、哎(あ)、很兴奋、那种(あのよう)、看什么东西都是、咦、咦(笑)  
就那种(笑)

YL:(大笑)所以那个时候你觉得、哎呀、我要是有一天能做到像谁那样就不错了、有没有这样的一种目标?

ZX:没有。

(楊瀾訪談錄・1)

訳

YL:最初、北京に着いたとき、あなたが感じたことを教えてくださいませんか。

ZX:最初は、もう、すごく興奮していたと思います。あの一、何を見ても、え↑、え  
↑(笑い)つまりあの(笑い)

YL:(大笑い)だからあの時あなた、あ、いつか私もあの方のようになれたらいいなあ、  
こういう目標はありますか?

ZX:ないです。

⑧ 発話権奪取

例 2-34

A1F:女はさあ、なんか、結婚はこんな人とか、

B1F:でも、恋愛はこういう人★がいいみたいな。

A1F:→そうそうそう★そうそうそうそう←なんか理想とげんじ★つが違うじゃん。



B1M: →えへえー?←

B1F: →全然違うよね?←たぶん

A1F: ち★がう

B1M: →そうなの?←

C1M: あ、★そうなんだ。ああ、じゃあ、俺一緒かもしれない。

B1M: →そんな変わってくるの?←一緒じゃない?

C1M: なんか、付き合ったらー、

B1F: そのまま

C1M: 行きたいなあってゆう

(Sakura02)

#### 例 2-35

B5M: 这奥运会时你要★是

A5M: →奥←运会时、这: 这将达到一个饱和程度。这个这个

B5M: 五湖四海的★都: 都来

A5M: →这个(この)、虽然←就两: 两周吧两周多吧、对吧

B5M: 两周得多。

(BEIF05)

#### 訳

B5M: オリンピックの時も★し

A5M: →オ←リンピックの時、えっとーえっと、(北京にいる人が) 飽和状態に達します。えっと、えっと、

B5M: 世界各国の(人)★みんなー、みんなが来て。

A5M: →あの一、それにしても←ただに一、2 週間でしょう 2 週間ちょっとでしょう、そうでしょう。

B5M: 2 週間以上。

高木・森田(2015)も述べたように、以上の例は、「発話内容・構造調整機能」と「対人関係調整機能」の複数の下位項目に当てはまると見なされることもあり、それぞれの下位項目はお互いに排他的ではなく複数の機能を持つ可能性がある。この場合、2名以上の日本語母語話者と中国語母語話者が協議し、より顕著に現れている機能の例として取り上げている。

## 2.7 本章のまとめ

本章では、日本語フィラーと中国語フィラーに関する先行研究を概観した。特に、日本語フィラーの研究は多岐にわたるため、その特徴と用法をまとめるのは容易ではない。

そこで、本章では、第1に、日本語フィラーを国語学、心理言語学、コーパス言語学、会話分析という4つの分野に分けて再整理した。その上で、個々のフィラーの用法についてもまとめた。また、中国語フィラーの研究は量的に少ないため、代表的なものを概観した。第2に、先行研究におけるフィラーの定義を踏まえて、本稿のフィラーを定義した。第3に、フィラーがもともとの意味を持つかどうかにより、日本語フィラーと中国語フィラーを再分類した。第4に、例を挙げながら、フィラーの機能を「発話内容・構成調整機能」「対人関係調整機能」という2つに分けてそれぞれまとめた。「発話内容・構成調整機能」では「言葉探し」「換言・修復」「発話継続表明」「情報の曖昧化」を取り上げ、「対人関係調整機能」では「和らげ」「ためらい」「共通理解」「発話権奪取」を取り出して紹介した。

### 第3章 本研究の会話データ

フィラーは基本的には話し言葉に現れる言語現象であるため、自然な会話をデータとして分析する必要がある。また、フィラーの使用は会話場面の改まり度に左右される。発話内容の適切さ及び情報の正確さが要求される場面では、フィラーを多用する傾向がある。そのため、本研究では、フォーマルな場面とインフォーマルな場面に分けて、日本語フィラーと中国語フィラー使用の特徴を分析する。この2つの場面の会話データに基づいて、発話内容と情報の管理及び会話参加者の相互関係の管理に、フィラーがいかなる役割を果たしているかについて分析する。加えて、日中接触場面の会話データを分析することにより、中国人日本語学習者の日本語フィラーの使用状況を明らかにすることで、中国の日本語教育現場に示唆を与えることができる。

本章では、日本語フィラーと中国語フィラーの使用特徴及び中国人日本語学習者の日本語フィラーの習得状況を明らかにするために、本研究で取り扱う日本語データと中国語データの特徴を説明する。3.1では日本語データの特徴を説明する。本研究で取り扱った日本語会話データは、インタビュー番組「徹子の部屋」<sup>36</sup>から収集された談話資料と自然会話コーパス「Sakura」に収録されている日本人大学生の雑談である。3.2では中国語データの特徴について説明する。中国語会話データは、インタビュー番組「楊瀾訪談録」<sup>37</sup>の録画を文字化して使用した。「楊瀾訪談録」と「徹子の部屋」のインタビューの形式は類似しており、基本的に司会者1名とゲスト1名の形で談話が進められる。また、日本語自然会話コーパス「Sakura」に対応する中国語自然会話コーパスは「BEIFコーパス」<sup>38</sup>である。3.3では、『日本語資料集』<sup>39</sup>に収録されている日本語母語話者と中国人日本語学習者の自然会話と筆者が収集したデータの特徴を説明する。3.4は本章のまとめである。

各章で使用したデータの種類は以下の表3-1の通りである。

表3-1 各章で使用したデータの種類

章	データ
第4章	「徹子の部屋」・「Sakura」

<sup>36</sup> 東出朋氏が書き起こした会話データである。松村・王編(2013)に収録されている。

<sup>37</sup> 筆者が書き起こしたデータである。データのトランスクリプトはJefferson(2004)に準拠する。

<sup>38</sup> 「BEIFコーパス」とは、遠藤智子氏が代表を務めた研究プロジェクト「Stance-taking in Mandarin conversation」及び「中国語におけるスタンス表明と補文の統語的性質」で収集した動画資料および書き起こし資料である。

<sup>39</sup> 松村瑞子研究室が収集したデータである。

第5章	「楊瀾訪談録」・「BEIF コーパス」
第6章	日中接触場面における自然会話

本研究は、フォーマルな場面とインフォーマルな場面で日中両言語のフィラー使用の特徴を解明することが目的である。場面の改まり度以外に、性別、年齢、会話参加者の上下関係という因子がフィラーの使用に影響を与えているため、これらの影響因子を考慮する必要がある。

### 3.1 日本語データ

本節では、インタビュー番組「徹子の部屋」と自然会話「Sakura」を説明する。

#### 3.1.1 インタビュー番組-「徹子の部屋」-

本節では、インタビュー番組「徹子の部屋」の特徴を説明する。フォーマルな場面における日本語フィラーの使用実態を明らかにするために、インタビュー番組「徹子の部屋」の文字化資料を分析データとする。この番組を分析対象と選択した理由は2点ある。

第1に、このインタビュー番組は、ニュース番組でのインタビューとは異なり、司会者がゲストについて調べてからインタビューの主な内容を事前に準備し、また、ゲストも質問される内容についてある程度分かっている。それにもかかわらず、司会者は脚本に沿ってインタビューを進めていくのではなく、ゲストの返答に応じて話題をさらに掘り下げたり、別の話題に導いたりして、様々な工夫を凝らしている。会話参加者は考えながら発話しなければならないため、フィラーを多用すると推測される。

第2に、この番組は司会者とゲストによる2人の会話であり、語る内容もゲストの仕事や生活等の身近な話題であるため、インタビュー番組であっても談話スタイルが自然談話と近い。一方、視聴者が存在している公式的な場面であるため、会話参加者が発話する際には情報の正確さと場への適切さも考慮しなければならない。

インタビュー番組「徹子の部屋」の1回あたりの放送時間は約30分で、延べ時間数約120分である。会話参加者らの内訳を以下の表3-2に示す。

表3-2 日本語会話データ「徹子の部屋」の内訳

資料	ゲスト(略)	性別	年齢・上下 <sup>40</sup>	職業	発話数 <sup>41</sup>	放送日
----	--------	----	---------------------	----	-------------------	-----

<sup>40</sup> 年齢は、番組が放送された年にゲストの年齢である。上下は、司会者との上下関係を指す。

<sup>41</sup> 発話数は、発話者が発話権を取ってから、相手に発話権を渡す(あるいは取られる)までの範囲を1つの発話とする。オーバーラップが発生した箇所は2つの発話と数える。

1	中原ひとみ (NH)	女	76・同	役者	621	2013/01/22
2	工藤夕貴 (KY)	女	42・下	役者・歌手	451	2013/01/25
3	桂菊丸 (KK)	男	72・同	タレント	429	2013/04/03
4	ナオト・インティライミ (NI)	男	33・下	歌手	604	2013/01/14

フォーマルな場面のフィラーの使用状況を分析するため、番組に登場するゲストの性別、年代、司会者との上下関係に考慮を入れる。性別は、男女2名ずつで、年代は若年層と中高年層が含まれている。また、司会者の黒柳徹子との上下関係<sup>42</sup>は、同等関係と下位関係2名ずつである。

### 3.1.2 自然会話-「Sakura」-

本節では、日本語自然会話コーパスとしての「Sakura」<sup>43</sup>の特徴を説明する。データベース「TalkBank」に収録されている「Sakura」は、4人の大学生の雑談を文字化した談話資料である。会話の話題は、あらかじめ決められているのではなく、会話参加者たちは途中でトピックを自由に変えることができる。また、録画をすることは事前に会話参加者たちに告知されている。本研究では、「Sakura01」から「Sakura05」までの5つの録画データを文字化した資料を分析データとした。この5つのデータは、それぞれ20代前後の男性2名と女性2名の自由会話である。録画の途中で別の訪問者の発話が収録される場合もあるが、この箇所は分析対象外とする。会話参加者のIDは「Sakura」のデータベースの規定を援用した。会話参加者らの内訳は以下の表3-3の通りである。

表 3-3 日本語データ「Sakura」の内訳

資料	会話参加者	発話数	録画時間
Sakura01	G3M、H3M、K3F、L3F	840	26分
Sakura02	C1M、B1M、A1F、B1F	1353	35分30秒
Sakura03	J3M、K3M、H3F、I3F	1014	11分45秒
Sakura04	C1M、E1M、H1F、B1F	1040	26分25秒

<sup>42</sup> 上下関係の判定は、登場するゲストの年代が司会者とほぼ同じ場合は「同」とし、司会者より高ければ「上」とし、司会者より低ければ「下」とする。司会者徹子より年代が高いゲストはほとんどいない。

<sup>43</sup> MacWhinney, B. (2007). The TalkBank Project. In J. C. Beal, K. P. Corrigan & H. L. Moisl (Eds.), *Creating and Digitizing Language Corpora: Synchronic Databases, Vol. 1.* (pp. 163-180). Houndmills: Palgrave-Macmillan.

Sakura05	I3M、G3M、L3F、E3F	769	27分20秒
----------	-----------------	-----	--------

会話参加者の表記は、1番目のアルファベットと2番目の数字が参加者を区別するものであり、最後のMとFはそれぞれ男性(Male)と女性(Female)を表す。各資料の録画時間は約12分から36分までの幅があり、合計107分程度の会話データである。

## 3.2 中国語データ

本節では、インタビュー番組「楊瀾訪談録」と自然会話「BIEF コーパス」を説明する。

### 3.2.1 インタビュー番組-「楊瀾訪談録」-

本節では、インタビュー番組「楊瀾訪談録」の特徴を説明する。フォーマルな場面における中国語フィラーの使用特徴を明らかにするために、インタビュー番組「楊瀾訪談録」の文字化資料を用いて分析を行う。この番組を選んだ理由は、フィラーの日中対照分析にあたって使用するデータの属性を統一する必要があり、「徹子の部屋」と「楊瀾訪談録」は参加者という点で形式的に対照することができる番組だと思われるためである。まず、これらの番組の司会者はともにそれぞれの国で著名な人物で、司会者としての経験も豊富である。事前に用意された質問であっても、現場の状況やゲストの話把握しながら話題を展開していくことができる。また、番組に登場するゲストは役者、歌手、作家等様々な領域で活躍する人物で、インタビューの内容もゲストの身近なことに関係し、穏やかな雰囲気インタビューが進められる。さらに、両方とも司会者1名とゲスト1名という形式のインタビュー番組である。

インタビュー番組「楊瀾訪談録」の1回あたりの放送時間は約30分であり、データの合計は120分程度である。筆者自らが文字化した。視聴者にゲストのことをよく理解させるために番組の途中ではゲスト紹介が挟まれるが、この箇所は分析対象外とする。会話参加者らの内訳は以下の表3-4の通りである。

表3-4 中国語データ「楊瀾訪談録」の内訳

資料	ゲスト(略)	性別	年齢・上下	職業	発話数	放送日
1	周迅(ZX)	女	38・下	役者	295	2012/05/25
2	巩俐(GL)	女	49・同	役者	273	2014/05/04
3	韩寒(HH)	男	24・下	作家・レーサー	245	2006/11/12

4	王健林(JL)	男	61・上	企業家	354	2014/03/09
---	---------	---	------	-----	-----	------------

登場人物の年齢、性別、司会者との上下関係は「徹子の部屋」とほぼ同様である。男女2名ずつ、年齢も若年層と中高年層が含まれている。司会者の楊瀾との上下関係は、上位関係1名で、同等関係1名で、下位関係2名である。

### 3.2.2 自然会話-「BEIF コーパス」-

本節では、中国語自然会話コーパス「BFIF コーパス」を説明する。「BEIF コーパス」は中国の大学教師と大学生を対象として収録された映像付きの会話データである。インフォーマルな場面における日中フィラーの使用を対照するために、日本語データ「Sakura」と同様に、中国の大学生の雑談場面を4つ取り上げて分析資料とする。会話参加者らにはカメラの設置が事前に告知され、また会話の話題は定められておらず、話題の変更も自由である。4つのデータの会話参加者は全て2人ずつである。最初の準備段階の会話部分及び最後の挨拶部分は分析対象としない。会話参加者らの内訳は以下の表3-5の通りである。

表 3-5 中国語データ「BEIF コーパス」の内訳

資料	会話参加者	発話数	録画時間
BEIF04	A4F、B4F	757	51分16秒
BEIF05	A5M、B5M	730	44分12秒
BEIF08	A8M、B8M	463	41分45秒
BEIF11	A11F、B11F	745	50分03秒

4つのデータは全て男性と男性1名ずつあるいは女性と女性1名ずつの会話である。会話参加者の表記は、画面の左側の話者をA、右側の話者をBとし、真ん中の数字は選ばれた資料の番号と同様にした。最後のアルファベットMとFは、それぞれ男性と女性を表す。各資料の録画時間は40分から51分であり、合計187分の会話データである。

### 3.3 日中接触場面における会話データ

本節では、第6章で使用する接触場面における日本語母語話者と中国人日本語学習者の会話データを説明する。

中国人日本語学習者の日本語フィラーの使用特徴を明らかにするため、日中接触場面

の会話データを基に、分析を行う。会話データには、筆者が収集したものと『平成 26 年度日本語資料集』に収録されている「インタビューにおける日本語母語話者と日本語学習者間の会話」<sup>44</sup>の日本語母語話者と中国人日本語学習者間の会話という 2 種類がある。以下では、それぞれの会話データを説明する。

### 3.3.1 インタビューにおける日本語母語話者と中国人日本語学習者間の会話データについて

インタビューにおける日本語母語話者と中国人日本語学習者の会話データは、日本語母語話者と中国人日本語学習者 1 対 1 の談話資料である。調査者（日本語母語話者）は調査協力者（中国人日本語学習者）に対して、和製英語の意味をどの程度正確に推測できるかを調査する意味推測テストを行った。その後、調査協力者に外来語学習過程とターゲット語の意味及び推測の過程を尋ねるというフォローアップインタビューを実施した。本研究で用いるデータは、このフォローアップインタビューの文字化資料である。データの内訳は以下の表 3-6 の通りである。

表 3-6 「インタビューにおける日本語母語話者と中国人日本語学習者間の会話データ」の内訳

資料	調査協力者 <sup>45</sup>	実施日	場所
1	CN1	2014 年 8 月 26 日	K 大学内 3 階講義室
2	CN2	2014 年 9 月 4 日	K 大学内 3 階講義室
3	CN3	2014 年 9 月 18 日	K 大学内 学生食堂

(松村・王編 2014:25 一部改変)

### 3.3.2 自然会話における日本語母語話者と中国人日本語学習者間の会話データについて

本節では、筆者が収集した日中接触場面の会話データを説明する。

#### 3.3.2.1 データの特徴

自然談話での日本語母語話者と中国人日本語学習者間の会話データの特徴は以下の 3 点である。

第 1 に、会話参加者の最も自然な談話を記録するため、会話参加者の人数、会話のテ

<sup>44</sup> 鈴之原秀平氏が書き起こしたデータである。松村・王編(2014)に収録されている。

<sup>45</sup> CN は中国人日本語学習者を指す。調査者(日本語母語話者)は I と表記する。



ーマ及び場所が決められておらず、録音の後に会話参加者に研究用会話データとする許可をもらうという形でデータを収集した。

第2に、会話場面は、ホームパーティーとバイト先での雑談というインフォーマルな場面と、研究室ゼミでのディスカッションというフォーマルな場面がある。

第3に、日中接触場面のデータを分析する目的は、中国人日本語学習者の日本語フィラーの使用特徴、母語話者のように会話ストラテジーとして使用しているかどうか、円滑な人間関係を運ぶためにポライトネスへの配慮があるかどうかを考察することである。そこで、日本滞在期間が2～10年で、日本の大学に在籍している、あるいは卒業した大学院生を調査対象者とした。

### 3.3.2.2 収集する方法及び会話参加者の属性

日中接触場面の会話データは、2012年から2014年にかけて、調査対象者の性別、年齢、上下関係という因子を限定せずに、福岡市で録音した自然談話である。合計8つのデータで、録音時間は合計150分程度である。会話参加者(日本語母語話者と中国人日本語学習者)の属性は、以下の表3-7、表3-8の通りである。

表 3-7 日本語母語話者の属性

発話者コード	性別	年代 <sup>46</sup>	職業
JF1	女	50代	大学教授
JF2	女	20代	大学院生
JF3	女	20代	大学院生
JF4	女	20代	大学院生
JM5	男	30代	大学院生
JM6	男	20代	大学院生
JM7	男	30代	大学院生
JF8	女	20代	大学院生
JM9	男	20代	フリーター

表 3-8 中国人日本語学習者の属性

発話者コード	性別	年代	職業
CF1	女	20代	大学院生

<sup>46</sup> 会話参加者の年代は全て録音当時の年代を表示している。

CF2	女	20代	大学院生
CF3	女	20代	大学院生
CF4	女	20代	大学院生
CF5	女	30代	大学教師
CF6	女	20代	大学院生
CF7	女	20代	大学院生
CF8	女	20代	大学院生
CF9	女	20代	大学院生
CM10	男	30代	フリーター
CF11	女	20代	大学院生
CF12	女	20代	大学院生

表記は、日本人を J、中国人を C、男性を M、女性を F で表示し、その後ろに番号をつけた。ただし、例 1 のベトナム人の女性 (VF1) と例 8 の韓国人の女性 (KF1) の発話は、分析対象外とする。

### 3.4 文字化の基準

録音資料を文字化する際には、『女性のことば・職場編』(1997)を参考にして、以下の基準を用いた。

#### ① 長音の表記について

- 長音記号「ー」→語尾を長く伸ばした発音（日本語の場合）

例 JF2:いけないから、んー、そのやり方で出しているのは、最近はあるでしょうね。最近っていうか、ここに 1 年というので、はやっているかもしれないで、ちょっとそれを見てくださいかね。

CF1:はい。

- 長音記号「:」→語尾を長く伸ばせば伸ばすほど「:」の数が増える（中国語の場合）

例 YL:想学会吗?

ZX:呃::不想

#### ② イントネーションについて

上昇「↑」、疑問下降は「？」で示す。

例 JF2:あ、理想↑

CF1:理想?

JF2:理想です。それ、あるかも、あるところもあると思います。おともな夫婦、その、子供もいって、夫婦生活もあって、で、その、ああ、幸せっていう人たちは、★何パーセントかな。少ないじゃないかな。

③ 発話が重なっている場合について

発話の途中で、次の話者の発話が始まった場合、次の話者の発話が始まった時点「★」で示す。また、前の話者の発話に重なった部分は始まりを「→」、終わりを「←」で示す。

例 CF4:今、表にしなくて、あのう、先生、はい、あげる、みたいのも言わない、先生も、もういらないとか★いや、いいよ。

CF5:→言わない、当たり前←

④ 発話途中のあいづちについて

話し手の発話の途中で聞き手のあいづちが話し手の発話と重なる時に、そのあいづちを（ ）に入れる。

例 CF5:いや。人によっては、ま、もらえたくない人もいるけれども(JF2:うん)まあ、そういうふうなっているから、たぶん

JF2:もらわざるを得ない

⑤ 引用について

引用の内容は「 」に入れる。

例 JF2:「今度の映画監督って誰だっけ?えーと、ああ、あのー」とかでしょう。

CF1:うん。

⑥ 笑いについて

発話の途中や終了時点で、発話者が笑った場合、発話内や、発話末に<笑い>とする。発話終了時の、話者を含む複数の笑いは発話末に<笑い・複>とする。

例 JF2:学生はこっちでも、★そっちでも

JF1:→両方にも←謝る

JF2:両方でも謝る、こっちでも (笑い)

⑦ プライバジーについて

会話資料に出現した人名、企業名は全部英語のローマ字で表記する。

例 JF5: ああ、すみません、Iさん、すみません、ちょっと読んでください。

CF8: え? 読むっというの。↑

⑧ その他

聞き取り不明の箇所は「###」で示す。

例 JF3: あ、CD

JF4: あ、それはもう、###、すー、え、今のところ、今。

### 3.5 本章のまとめ

本章では、本研究が用いる会話データについて説明した。3.1では、日本語データとしてインタビュー番組「徹子の部屋」と自然会話「Sakura」の特徴について、3.2では、中国語データとしてインタビュー番組「楊瀾訪談録」と自然会話「BEIF コーパス」を説明した。第4章と第5章では、上述のデータを基に、機能から見た日本語フィラーと中国語フィラー使用の差異を示した。3.3では、日本語母語話者と中国人日本語学習者間の自然会話データを説明した。3.4では、会話データの文字化基準を説明した。本研究で用いるデータを大きく分けると、日本語データ、中国語データ、日中接触場面の会話データという3種類がある。場面の改まり度によって、インタビュー、教室内のディスカッションというフォーマルな場面と雑談というインフォーマルな場面があり、どの場面でも双方向型対面会話である。

## 第4章 日本語フィラーの使用の特徴

日本語フィラーに関する研究は、主に各形態のフィラーの機能、出現位置と機能の関わりという観点から考察されている。「あの一」「えーと」「まあ」等の語がフィラーとして使われる際、それは発話の統語構造にも発話全体の意味伝達にも関与しない。例えば、「すみません、図書館はどう行けばいいですか。」と「あの一、すみません、えー、図書館はどう行けばいいですか。」という2つの発話を見ると、「あの一」「えー」を挿入しても発話全体の意味は変わらない。また、フィラーの出現位置は統語的に制限されていない。山根(2002)は、講演、留守番電話、対話、電話という4種類の談話に出現しているフィラーを考察し、談話の種類と音声面、出現位置、役割、属性との関係を明らかにした。山根は様々な側面から多形態のフィラー使用の特徴を分析しているが、場面の改まり度がフィラーの使用にどのような影響を与えているかは論じていない。本章では、日本のインタビュー番組及び自然会話をデータとし、フォーマルな場面とインフォーマルな場面に分けて、発話頭、発話中、発話末に出現するフィラーの頻度を調査し、出現位置、場面の改まり度とその機能との関わりについて量的・質的分析を行う。

まず、4.1では、フォーマルな場面とインフォーマルな場面に分けて、発話の各位置でのフィラーの出現数と割合を明らかにする。次に、4.2では、フィラーの出現位置ごとの機能について量的に分析する。それから、4.3では、具体例を観察しながら各位置に出現するフィラーの機能を分析する。4.4では、出現位置と場面の改まり度がフィラーの使用にどのような影響を与えているかについて分析・考察を行う。4.5は本章のまとめである。

### 4.1 各位置における日本語フィラーの使用実態

本節では、フォーマルな場面とインフォーマルな場面に分けて、発話の各位置でのフィラーの出現数及び割合を明らかにする。出現位置によるフィラーの使用頻度は表4-1の通りである。

表4-1 各位置における日本語フィラーの使用頻度(割合%)

出現位置 \ 場面	フォーマルな場面 (割合%)	インフォーマルな場面 (割合%)
発話頭	96(15%)	115(32%)
発話中	547(84%)	224(63%)

発話末	9(1.4%)	19(5.3%)
合計	652	358

出現位置から見ると、フォーマルな場面、インフォーマルな場面ともに、発話中に位置するフィラーの使用頻度が最も高く、発話末が最も低い。この2つの場面はほぼ同じ合計時間<sup>47</sup>だが、フォーマルな場面におけるフィラーの使用数が圧倒的に多く、インフォーマルな場面の約2倍である。2つの場面のデータの合計時間数を割ると、フォーマルな場面では1分あたりのフィラーの出現数は約5つで、インフォーマルな場面では1分あたりの出現数は3つである。平均出現数は、フォーマルな場面がインフォーマルな場面より多い。

#### 4.2 各位置における日本語フィラーの機能についての使用概況

本節では、第2章で記述したフィラー機能の分類を踏まえ、各場面と各位置に出現する日本語フィラーの機能を量的に分析する。フィラーの機能は、「発話内容・構成調整機能」と「対人関係調整機能」の2つに大きく分類できる。さらに、「発話内容・構成調整機能」は「言葉探し」「換言・修復」「発話継続表明」「情報の曖昧化」に、「対人関係調整機能」は「和らげ」「ためらい」「共通理解」「発話権奪取」に下位分類した。以下表4-2では、フィラーの機能及びそれぞれの下位分類の定義を再提示する。

表4-2 フィラーの機能の分類及び定義(表2-4再掲)

機能	下位項目	定義	主な表現形式
発話内容構成調整機能	言葉探し	適切な発話内容を探すために、フィラーを用いて言いよどみながら考える時間を稼ぐことである。	単語末尾母音の長音化、「あー」類、「そのー」類、「なんか」類、「でー」類、「まあ」類、「えーと」類、「这:」類、「那:」類、「就是」類、「嗯:」類、「呃:」類、「然后:」類、「什么」類等

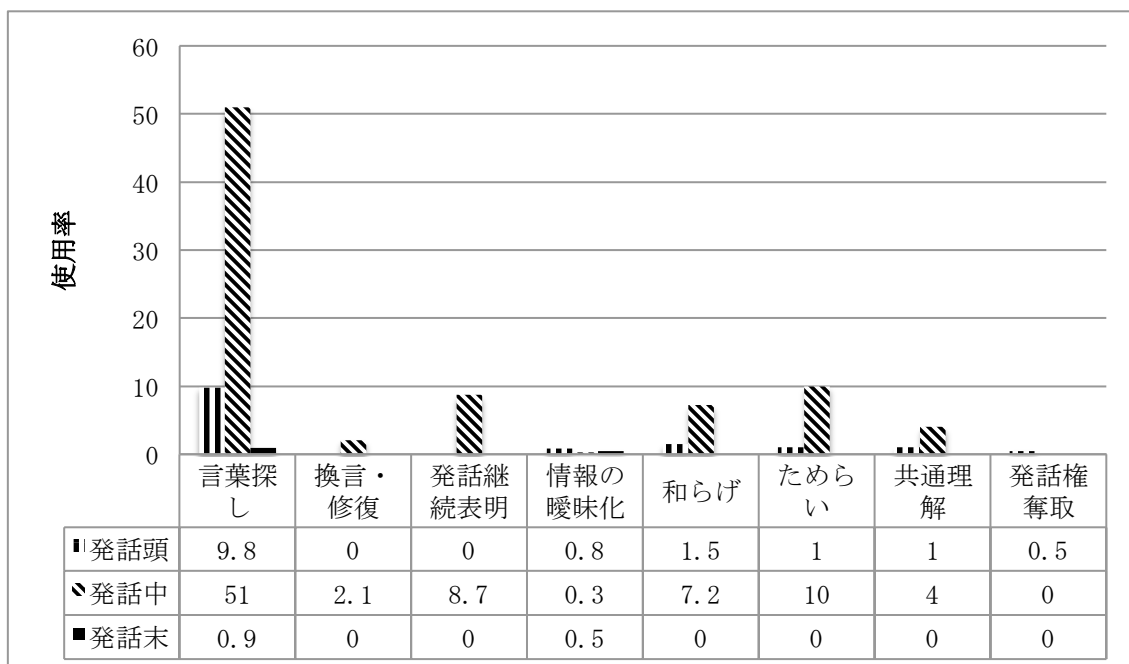
<sup>47</sup> フォーマルな場面（『徹子の部屋』）のデータの合計時間は約120分であり、インフォーマルな場面（『sakura』）のデータの合計時間は約110分である。

	換言・修復	聞き手がより理解しやすいように説明するため、フィラーを前触れとして換言する。換言する前後の発話の意味は変わっていない。あるいは、話し手が言い間違えた時、フィラーによって、先行発話を一旦中断し言い直すことである。	「あの一」類、「这:」類、「那:」類、「就是」類、「呃:」類等
	発話継続表明	発話権を行使している話し手は聞き手からのあいづちを受けて、発話のリズムを整えながら発話継続の意思を聞き手に伝えることである。	「あの一」類、「その一」類、「なんか」類、「えーと」類、「で一」類、「然后:」類、「那:」類、「啊:」類等
	情報の曖昧化	由来の不透明な情報や話し手と直接な関わりがない情報を述べる、または聞き手の情報領域に踏み込む時、フィラーを用いて情報を曖昧化することである。	「なんか」類、「这:」類、「嗯:」類、「呃:」類、「什么」類等
対人関係調整機能	和らげ	聞き手のフェイスを損なわないように、問いかけ、不同意表明、否定的なコメント等をする場合に、フィラーによって言いにくい発話内容を和らげることである。	「あの一」類、「その一」類、「えーと」類、「なんか」類、「まあ」類、「这:」類、「那:」類、「呃:」類、「就是」類等
	ためらい	聞き手に配慮するよりは、話し手は自分の事情を考慮して、あまり言及したくない内容について、躊躇して直接的な応答を回避することである。	「あの一」類、「まあ」類、「なんか」類、「その一」類、「こう」、「那:」類、「对」、「就是」類、「呃:」類等
	共通理解	話し手は聞き手の会話参加意欲を高めるために、フィラーによって聞き手を発話内容に引き込むようにする。あるいは、相手の主張や立場等に共感を示したり相手をなだめたりして、共通理解を組み立てながら談話を滑らかに進行させることである。	「もう」類、「こう」、「あの一」類、「まあ」類、「那:」類、「啊:」類、「哎」等
	発話権奪取	相手の発話に割り込んで発話権を奪取する、または次の話者として選択されていない時にフィラーによって発話権を取得することである。	「あの一」類、「なんか」類、「这:」類、「那:」類、「然后:」類等

表 4-3 は、場面、出現位置とその機能別の日本語フィラーの使用回数と割合を示している。

表 4-3 場面、出現位置とその機能別の日本語フィラーの使用回数(割合<sup>48)</sup>)

機能		場面	フォーマルな場面			インフォーマルな場面		
			発話頭	発話中	発話末	発話頭	発話中	発話末
発話内容構成調整	言葉探し		64 (9.8%)	332 (51%)	6 (0.9%)	68 (19%)	179 (50%)	13 (3.6%)
	換言・修復			14 (2.1%)			3 (0.8%)	
	発話継続表明			57 (8.7%)			13 (3.6%)	
	情報の曖昧化		5 (0.8%)	2 (0.3%)	3 (0.5%)	8 (2.2%)	11 (3%)	2 (0.6%)
対人関係調整	和らげ		10 (1.5%)	47 (7.2%)		10 (2.8%)	9 (2.5%)	
	ためらい		7 (1%)	68 (10%)		6 (1.7%)	4 (1.1%)	
	共通理解		7 (1%)	27 (4%)		11 (3.1%)	6 (1.7%)	4 (1.1%)
	発話権奪取		3 (0.5%)			11 (3.1%)		



<sup>48</sup> 割合は各出現位置における各機能のフィラー使用回数をフィラーの総使用回数で割った結果である。



図 4-1 出現位置と機能別の日本語フィラーの使用率(フォーマルな場面)

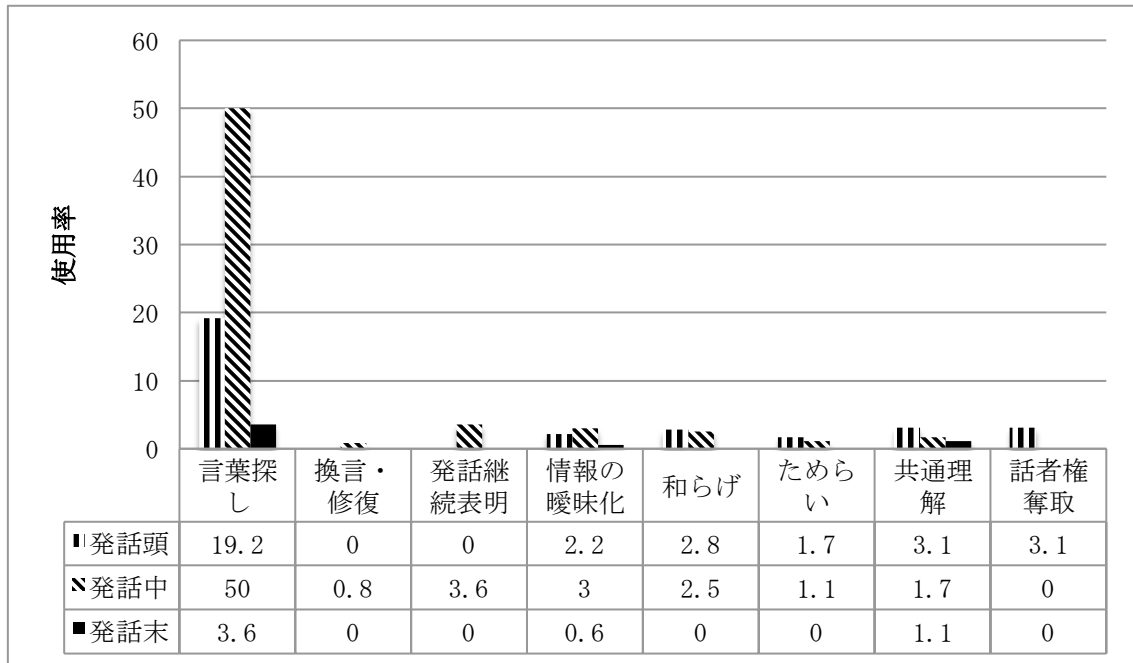


図 4-2 出現位置と機能別の日本語フィラーの使用率(インフォーマルな場面)

表 4-3 に示された量的分析の結果から、次のことが分かった。

- フォーマルな場面での各位置の日本語フィラー使用の特徴
  - ① 発話頭: 「言葉探し」の使用率が一番高い。
  - ② 発話中: 「言葉探し」の使用率が 51% を占め、圧倒的に高い。続いて、「発話継続表明」「和らげ」「ためらい」の使用率はそれぞれ 8.7%、7.2%、10% で、明確な差異は見られなかった。
  - ③ 発話末: 「言葉探し」「情報の曖昧化」しか用いられていない。
  
- インフォーマルな場面での各位置の日本語フィラー使用の特徴
  - ① 発話頭: フォーマルな場面と同様に、「言葉探し」の使用率が 19.2% で、最も高い。
  - ② 発話中: 「言葉探し」の使用率が一番高く、50% を占めている。「発話継続表明」「情報の曖昧化」「和らげ」「ためらい」「共通理解」の使用率はほぼ同じで、明確な差異は見られなかった。
  - ③ 発話末: 「言葉探し」「情報の曖昧化」「共通理解」しか使われていない。それぞれの使用率は 3.6%、0.6%、1.1% である。

### 4.3 各位置における日本語フィラーの機能

本節では、フォーマルな場面とインフォーマルな場面に分けて、具体的な例を観察しながら各位置に出現するフィラーの機能を分析する。塩沢(1979)と中島(2011)では日本語フィラーの出現位置と機能の関わりについて述べている。塩沢(1979)は主に「注意喚起」と「発話内容を検索する」という2つの機能について、発話頭と発話中を分析した。中島(2011)はフォーマルな場面で各位置のフィラーの機能を検討した。本節では、先行研究を踏まえ、フォーマルな場面とインフォーマルな場面の談話資料を基に、具体的な会話例を観察しながら、各出現位置の日本語フィラーの機能を分析する。

#### 4.3.1 発話頭における日本語フィラーの機能

塩沢(1979)は、Hesitation について、沈黙を避ける働き以外に、出現位置からその役割を検討した。話し手の交替時、即ち発話ターンの開始部に位置する Hesitation は、「相手の注意を引く」「答えを考える間を補う」「口に出すのを躊躇する」という役割があると述べている。中島(2011)は、発話頭に出現するフィラーは談話進行を管理する機能を担っていると指摘している。つまり、発話頭に出現するフィラーは、後続する発話の構造や意味等に影響せず、「次にどんな発話行動を行うか」に関して何らかの働きをする。以下では、フォーマルな場面とインフォーマルな場面に分けて、談話管理の観点から発話頭に出現する代表的な日本語フィラーの役割を分析する。

##### 4.3.1.1 発話頭における日本語フィラーの機能<フォーマルな場面>

「言葉探し」

例 4-1

- 01 KT: へー、でもお正月にみんなで楽しく。なに、福笑いっていうのやったの。なん  
      だったんですかあれは。
- 02 KK: あの一、おふくろが来て、ちょうどヘアセットして
- 03 KT: あこれお母様。 (徹子の部屋・3)

例 4-2

- 01 KT: でも途中で、どう、どういうわけで音楽の方に行ったんですか。
- 02 NI: あの一、同じく、中学二年生の時から
- 03 KT: ええ
- 04 NI: 曲を作り始めっていて (徹子の部屋・4)

例 4-1 と例 4-2 では、ゲストは司会者に質問された後迅速に次の発話内容を整理できず、「あの一」を挿入して、発話を組み立てる、あるいは言葉を検索する時間を稼いでいる。

#### 「情報の曖昧化」

##### 例 4-3

- 01 KT:それで嫁姑がすごく上手くいってるのが、やっぱストレスがないんですって。
- 02 KK:いやー、もう、あの一、20年前の、嫁姑戦争の時は、地獄でしたね。
- 03 KT:やっぱりそうなんですって、大変だったんですって？
- 04 KK:今天国です。
- 05 KT:なんかおみおつけ、お作りになるのも、奥さまと、あのお母様とが違うモノ作って、両方食べなきゃいけなかつたりしたんですって。
- 06 KK:朝起きて食事、おふくろが作る料理で、味噌汁を食べてるじゃないですか。白味噌ですよ。
- 07 KT:うん。
- 08 KK:で女房が起きてきて、あーあたしが味噌汁作ってあげる。赤味噌なんですよ。名古屋だから、朝から赤白味噌汁の両方飲まなきゃいかんでしょ。
- 09 KT:うーん。 (徹子の部屋・3)

01 行目の司会者 KT の発言の背景は、以前にゲスト KK の妻にインタビューしたことがあるため、KK の家族関係、特に嫁姑関係について知識がある。KK は 02 行目で昔の嫁姑戦争時代に言及し、04 行目で「今天国です」と言い、01 行目で KT が言ったことを認める。注目するのは、05 行目の「なんか」である。ここで KT が KK の家族について言及する前に「なんか」を入れるのは、KT の後続情報についての不明確さを示している。逆に、KK は完全に情報優位性を持っている。「なんか」は情報の不明確さを示す場面に使われ、導入情報との関わりを曖昧化・間接化したりする役割がある(エメット 2001、小出 2009 参照)。

#### 「和らげ」

##### 例 4-4

- 01 KT:でもこの頃ね、あの、芸能人で、そんなにいっぱいじゃないですけどね、なんかモノを習いに行って、その先生と結婚したって方が最近ここにね、考えられないでしょ、山田花子さんがトランペット習いに行った。
- 02 KY:は一。
- 03 KT:トランペットの先生と結婚したの。で熊谷真美さんは、マミさんはあまりに字が下手だったんで、書道習いに行って、書道の先生と結婚したのよ。
- 04 KY:なんかやっぱり先生って魅力があるんでしょうね。 (徹子の部屋・2)

例 4-4 では、司会者 KT は、習い事先の先生と結婚した芸能人が多いという話題を切り出した(01 行目)。03 行目までその具体例を挙げている。それを聞いたゲスト KY は「なんかやっぱ先生って魅力があるんでしょうね」という自分の主張を述べると同時に、末尾の「でしょうね」によって相手の共感を求めている。ここでは、自分の主張を相手に押し付けないように、あるいは、相手の共感を得やすくなるように、発話頭に「なんか」をいれて語気を和らげる。

「ためらい」

#### 例 4-5

- 01 KT:え、あなたがコンサートなさいました六日前に、
- 02 NI:はい。
- 03 KT:え、徹子の部屋コンサートっていうのをやったんです。
- 04 NI:へーへー。
- 05 KT:まあ<sup>49</sup>、私は歌わないんですけど、ま、一応、徹子の部屋コンサートっていう名前前で、まあ司会、ていうかトークしたりなんかしたりですけど、
- 06 NI:ええ。 (徹子の部屋・4)

03 行目の KT の「徹子の部屋コンサートっていうのをやったんです」という発言の後、ゲスト NI は「へーへー」という驚きの感情を表す反応を出している。この反応に対して、05 行目で KT は誤解を避けるために、NI の想定と異なったことを語る前に、「まあ」を入れる。また、後続発話の節と節の間に「まあ」が 2 回あること、「～けど」という接続助詞で終結したことから、KT の謙遜している気持ちが窺える。魏(2015)は、「ま(一)」

<sup>49</sup> 『平成 25 年度日本語資料集』に収録されている「徹子の部屋」の文字化資料では「まあ」と表記されているが、本稿では「まあ」類に属するため、便宜上「まあ」と記述する。

には評価、主張、見解、判断、説明等を慎重に、謙遜して述べるという基本的意味があると述べている。

「共通理解」

例 4-6(例 4-3 再掲)

- 01 KT:それで嫁姑がすごく上手くいってるのが、やっぱストレスがないんですって。
- 02 KK:いやー、もう、あの一、20年前の、嫁姑戦争の時は、地獄でしたね。
- 03 KT:やっぱりそうなんですって、大変だったんですって？
- 04 KK:今天国です。
- 05 KT:なんかおみおつけ、お作りになるのも、奥さまと、あのお母様とが違うモノ作って、両方食べなきゃいけなかったりしたんですって。
- 06 KK:朝起きて食事、おふくろが作る料理で、味噌汁を食べてるじゃないですか。白味噌ですよ。
- 07 KT:うん。
- 08 KK:で女房が起きてきて、あーあたしが味噌汁作ってあげる。赤味噌なんですよ。名古屋だから、朝から赤白味噌汁の両方飲まなきゃいかんでしょ。
- 09 KT:うーん。 (徹子の部屋・3)

例 4-6 では、02 行目で KK は「もう、あの一」を言い淀みながら 20 年前は地獄だったと述べる。この「いやー」は「しかし」に類似し、先行発話を否定するよりは、逆接として機能していると思われる。今天国だとしても昔は非常に辛い経験があったという情報を提供し、KT に共通理解を求めている。03 行目で KT はすぐに共感を示している。

#### 4.3.1.2 発話頭における日本語フィラーの機能<インフォーマルな場面>

「言葉探し」

例 4-7

- 01 C1M:なんか猫すごいかわいそうなイメージしかない。
- 02 E1M:なんで？
- 03 C1M:えなんか。
- 04 E1M:放し飼いみたい？
- 05 C1M:んーなんかさあ一、親戚の家で飼ってるの猫。なんか(笑い)、猫って結構自

由に動き回るじゃんね。

06 B1F: うんうん。

(Sakura04)

例 4-7 の前では、男女 4 人は「犬派か猫派か」について話が盛り上がっている。01 行目で、C1M は猫はとてもかわいそうなイメージがあると述べ、E1M はすぐにその理由を尋ねている(02 行目)。C1M は「えなんか」を言いながら言葉を探しているが、発話権をまだ取得していない。E1M は 04 行目で「放し飼いみたい」と自分の推測を尋ねている。C1M は再び「んーなんかさあー」を長く言い淀んで、考える時間を稼いでいる。

「情報の曖昧化」

例 4-8

01 K3F: ギャルは卒業したの?

02 H3M: ギャルはね、面倒くせいやって。

03 K3F: (笑い)

04 G3M: ★**なんか**相手にされなさそうだからさあ、諦めたんでしょ。

05 L3F: →なんか(笑い)←

06 K3F: そうだー、諦めたのか。

07 H3M: 違う違う違う

(Sakura01)

例 4-8 では、会話参加者 4 人は異性に求める条件という話題について話している。この例の前には H3M がギャルに憧れていたという話があり、01 行目で K3F は H3M に対して「ギャルは卒業したの」という質問を切り出して、H3M は単なるギャルは面倒くさいと答え、具体的な理由までは言及していない。04 行目で G3M は「なんか」で発話を開始し、その理由を推測し、発話の末尾に「でしょ」を付け加え、H3M に確認を要求している。H3M は 07 行目で「違う」を 3 回繰り返し、G3M の推測を強く否定する。このように、相手の情報を推測する時に、「なんか」を使用することで、情報に対する不確定性を示す効果があると考えられる。

「ためらい」

例 4-9

01 B1F: まずいものがまずい。

02 B1M: うーん

- 03 C1M: **なんか**、うちの親が、結構うまいんだよ?**なんか**、  
 04 B1F: あー★ん  
 05 A1F: →うん←  
 06 B1M: おーん。  
 07 C1M: **その一**、看護師をやってて、  
 08 B1F: ん。  
 09 A1F: あ一緒だ(笑い)  
 10 C1M: ★**その一**、**なんか**、**その一**調理場で**なんか**(A1F: うん)やってたらしいから、な  
     んかいろいろ料理覚えて、そこで★結構うまいんだよ?だからそれを考えると。  
 11 B1F: →(笑い)ねー?← →んー← あおーーー (Sakura04)

この例では、相手に求める条件として料理が重要であることについて話している。03、07、10 行目で C1M は、自分の親が料理上手なこととその理由を述べている。身内の自慢を避けようとしている時に、「なんか」と「その一」が交替して使用されている。堤(2008)は、慎重な言語編集作業を行う必要がある時に、「あの一」より「その一」が多用される傾向があると述べている。

#### 「発話権奪取」

##### 例 4-10

- 01 A1F: 女はさあ、なんか、結婚はこんな人とか、  
 02 B1F: でも、恋愛はこういう人★がいいみたいな。  
 03 A1F: →そうそうそう★そうそうそうそう←なんか理想とげんじ★つが違うじゃん。  
 04 B1M: →えへえー?←  
 05 B1F: →全然違うよね?←たぶん  
 06 A1F: ち★がう  
 07 B1M: →そうなの?←  
 08 C1M: あ、★そうなんだ。ああ、じゃあ、俺一緒かもしれない。  
 09 B1M: →そんな変わってくるの?←一緒じゃない?  
 10 C1M: **なんか**、付き合ったらー、  
 11 B1F: そのまま  
 12 C1M: 行きたいなあってゆう (Sakura02)

例 4-10 では、男性 2 人は「恋愛と結婚は一緒である」という立場で 1 つの集団となり、女性 2 人は「恋愛と結婚は一緒ではない」という立場で 1 つの集団となって、話が盛り上がっている。08 と 09 行目で C1M と B1M は男性集団としての立場を示している。07 と 09 行目の B1M の発話に 3 つの疑問符が付いていることは、自分の立場を表明しつつ女性 2 人にその理由説明を求めているニュアンスが伝わると考えられる。A1F あるいは B1F が発話権を取るのが最適な場所(10 行目)で、C1M は「なんか」によって発話権を奪取している。

#### 4.3.2 発話中における日本語フィラーの機能

発話中のフィラーの機能は、「次の発話内容を考えることを示す」(塩沢, 1979)と「発話展開に関与する機能を担う」(中島, 2011)と指摘している。以下では、例を観察しながら発話中に出現するフィラーの機能を分析する。

##### 4.3.2.1 発話中における日本語フィラーの機能<フォーマルな場面>

「言葉探し」

例 4-11

- 01 KT: うん。で、結婚なすったけどなかなかお子さんおできにならなくて、で恵まれて、そいじゃあもう。
- 02 NH: はい。40 いくつで、
- 03 KT: 40 いくつで、初産。
- 04 NH: はい
- 05 KT: 初産。
- 06 NH: ええ。だから、結構難産。
- 07 KT: あそうだったの。
- 08 NH: はい。
- 09 KT: 心配だったでしょう、娘が。
- 10 NH: そうですね。
- 11 KT: ねえ、子供産むなんて。あ、かわいい。まあね。今おかあさんもこんなかわいいおリボンのようなものつけたりなんかしていいわよね。
- 12 NH: はい。
- 13 KT: うん可愛いお嬢さま、頭になんかつけて。この頃ほんとにこういういろんなものあるからね。おもしろい。でもあれなんですって。あの、あの、江原さんの



ことは、あれ、なんて呼ばせてるんだっけ。

14 NH:じじちゃま。

(徹子の部屋・1)

01-10 行目では 2 人は NH の娘の初産とそれが難産だったことについて話している。11-13 行目では KT は子供のリボンを評価する。その後、13 行目の「でもあれなんですって」の逆接接続詞「でも」は、後続発話が先行発話と相反する事柄を述べることを投射するものとして使われるのではない。後続発話が先行発話と関連がないことから、この「でも」は話題転換の標識として用いられている。ここで注目するのは、「でもあれなんですって」の直後の「あの、あの」である。これは、「あれなんですって」と共起することによって、「言葉探し」(word searching)という働きをすることが分かる。小出(2009)は、フィラー化した「あの」が指示詞性質、つまり探索対象のある探索指示から、探索行為だけが付随するものへ変化していると述べている。ここでは、「あのー」の「言葉探し」という機能は、探索指示が一部継承されていると考えられる。

例 4-12

01 KT:今日のお客様、14 歳の時初めてお目にかかせていただきました。

02 KY:はい。

03 KT:ま女優さんとしてですけど、それから、まあ、ハリウッドでもご活躍なつたんですが、今は、あの<sup>50</sup>富士山の裾野の方で農業をやって大好きな農業をやってらして、それから、あの、映画にも出てらっしゃるし、でそれで、ご結婚もなつたという、工藤夕貴さん。色々伺います。どうも。

04 KY:ありがとうございます。

(徹子の部屋・2)

例 4-12 は発話中に出現するフィラーの特徴の 1 つである。発話が長くなればなるほど、情報を一気に出すのではなく、3 種類のフィラーを入れながら、次の発話内容を検索していることを表す。

「発話継続表明」

例 4-13

---

<sup>50</sup> 「あの富士山の裾野の方」の「あの」はここでフィラーと認定する。理由として、「富士山」は唯一のものである、また会話で初めて出現しているため、「あの」は文脈指示の指示詞となることが難しいと思われる。

- 01 KT:そういうことですからね。それから、あの、今度その、あなたのこの旅が映画になる？
- 02 NI:そうなんですよね。
- 03 KT:ええ。
- 04 NI:その、2ヶ月前にエチオピアに行って、
- 05 KT:ええ。
- 06 NI:あの、ハマロ族って行って、こう、あの裸の
- 07 KT:ええ。
- 08 NI:ええ、あの、少数民族と一緒に生活したりとか
- 09 KT:へー。
- 10 NI:でまたコロンビアこないだ一ヶ月前に訪れたりとか、
- 11 KT:うん。 (徹子の部屋・4)

例 4-13 では、NI は、発話節の間に KT に何回もあいづちを打たれ、04、06、08、10 行目でそれぞれ「その」「あの」「ええ、あの」「で」という異なる種類のフィラーを巧妙に使用しながら発話権を維持している。聞き手があいづちを打った後は発話権が奪われる可能性が最も高い。理由としては、まず、会話では中途終了型発話文<sup>51</sup>がよく使われ、聞き手にとっては話し手がすでに発話が終えたと誤解する可能性が高いことが挙げられる。次に、日本語母語話者は相手の発話の途中、特に発話節の後であいづちを打つ習慣があることが挙げられる。話し手にとっては、聞き手に発話権を取られそうな場所である。会話データを分析したところ、あいづちの後のフィラーの多用がよく見られる。特に「で」は最も多く用いられている<sup>52</sup>。

#### 「換言・修復」

#### 例 4-14

- 01 KT:土屋さおりさんって、あの、お嬢さん。女優さんもしてらっしゃいましたよね。
- 02 NH:はいしてました。昔ね。
- 03 KT:お孫さん。でもあなたの御主人の江原真二郎さんもお変わりのない方で、この

<sup>51</sup> 中途終了発話文とは、文法的にはまだ不完全な文であるが、会話の中での意志伝達には言い終わっているものである。

<sup>52</sup> 「徹子の部屋」という会話データでは、あいづちの後のフィラーの種類と出現数を統計した結果は、「「そのー」類 1 回、「えーと」類 3 回、「なんか」11 回、「まあ」類 11 回、「あの一」類 24 回、「でー」類 60 回である。

方もね。

- 04 NH: そう。
- 05 KT: こうやって拝見してると。
- 06 NH: そうですか。
- 07 KT: ねえ、ほんとに。もうこの方お忙しい方で、今舞台しょっちゅう出てらっしゃる。
- 08 NH: はい。
- 09 KT: 方なんで。でお孫さんはあどけなく、あんなふう。でもやっぱり、目の形なんかあなたそっくりね、なんかね。
- 10 NH: そうですか。
- 11 KT: うーん、すごいかわいい。でもお嬢さんは、あの、さおりちゃんは？
- 12 NH: ええ。
- 13 KT: 二歳くらいからずっとコマーシャルとかなんか出てらしたんでね
- 14 NH: そうです。はい。

例 4-14 は「換言」の例で、2 人は NH の娘、夫そして孫のことについて話している。01 と 11 行目の「あの」の前後の名詞は、同様に NH の娘を指している。

#### 例 4-15

- 01 KT: でもサクラがそんなにふうに咲くなんてね。
- 02 NH: はい。
- 03 KT: やっぱ土が良くないとね。
- 04 NH: そうですね、だから、あのお部屋が、あの二階がリビングなんですけど、そこからちょうどお花見できるんですよ。
- 05 KT: あら、じゃあもうしばらくそこにいらしたら？
- 06 NH: その方がいいかも分かんないですね。
- 07 KT: ちょっとここで。 (徹子の部屋・1)

例 4-15 は「修復」の例で、この例の前では、NH が古い家の庭に桜とバラを植えたためそこから引っ越したくなくなったという内容である。01-03 行目で、KT は桜がそのように立派に咲くのはやはり土がいいからだと言え、NH はあいつちを打ってから話を展開する(05 行目)。下線の「あの」の前後の発話では、「あの」の直後の発話は先行発話を修復している。「二階がリビングなんですけど」と言いたかったが、「お部屋が」と言

ってしまったため、「あの」によって言い直したというものである。このようにフィラーをすることは、聞き手の理解の助けになると思われる。

「和らげ」

例 4-16

- 01 KT:お嬢さんからお手紙のやりとりとかしてらっしゃる?  
02 NH:あんまり手紙はないですね。  
03 KT:ほんと。  
04 NH:メールとか。  
05 KT:そうね。サンキューっていうカードです。ちょっと、あのいいですか?サオリさんご紹介して。いい?  
06 NH:はい。  
07 KT:マミーへ。あ、ほんとだ、マミーだ。「マミーへ。慌てないで、たまにはゆっくりに。無理しないでね。なんでもない毎日が、ホントはとっても幸せだってこと。ありがとう。いつも感謝しています。さおり。」  
08 NH:はい。ありがとう。 (徹子の部屋・1)

01-04 行目では、娘と手紙のやりとりをしているかという KT の質問に対し、NH は、手紙は少なくメールで行うと答えた(04 行目)。05 行目で KT は、NH の娘から NH に対する手紙をこの場で読んでいいかどうか、本人に尋ねている。つまり、01-04 行目は、05 行目の許可求めの予備活動であると言える。05 行目で KT が「いいですか?サオリさんご紹介して。いい?」という質問を出す前に、「ちょっと」と「あの」が前置きとして使われている。岡本・斉藤(2004:70)は、「ちょっと」と類似した意味を持つ「少し」を用いることによって、文内容を軽減し、婉曲的な表現に変える働きがあると述べている。「ちょっと」と共起する「あの」も、対人的配慮という働きをしていると推測できる。つまり、ここでは、「あの」と「ちょっと」によって、聞き手の負担を和らげようとしている。

「ためらい」

例 4-17

- 01 KY:え、付き合っじゃなくて結婚↑って思うんですけど、

- 02 KT: うんうん。
- 03 KY: その時はなんかすごく怖いイメージがあったので、
- 04 KT: うん。
- 05 KY: なんか、付き合っただけじゃなくて結婚って聞けるような感覚がなかったんですよ、あ、はいっみたいな感じで、なんかいきなりこう知らないうちに渦に巻き込まれていて、知らないうちになんか、あ、結婚しよう。
- 06 KT: でもいやじゃなかったのよね、あなたはね?それはきっとね、その人はね。
- 07 KY: あ、すごいやっぱり。
- 08 KT: やだったらやだっていうだろうからさ。 (徹子の部屋・2)

例 4-18

- 01 KT: で、お習いになっていらっしゃるうちに、うちにだんだん?
- 02 KY: いや、それがですね。あの、うちの旦那はどちらかというと、男ず、が好きな男の人で、女の人とか、結構硬派なタイプなので、なんか、こう、じょ、女子はあまり寄せ付けない、的な、こう、
- 03 KT: あそう。 (徹子の部屋・2)

例 4-19

- 01 KY: なんかあの、なんていうんですかね、山があったり谷があったりはもちろんしますけど、
- 02 KT: うん。
- 03 KY: ただ、自分はどちらかというと子供の時から芸能界できて
- 04 KT: そうそう。
- 05 KY: で一度は結婚失敗したりしてですね。
- 06 KT: そうですってね。
- 07 KY: はい。やはりこう自分の人生、あの何があってもあの自分、が自分を支えていくんだっていう、やっぱりその、その原点はもちろん今でもあるんですけども、あの、やっぱりこう、男の人に負けたくないっていうか、やはりそういうところがあったような気はするんですけど、あの、自分が初めてその、うちの今の旦那とあって、あ、女性は女性でもいいんだとか
- 08 KT: ちょっと頼ったり、
- 09 KY: ええ。
- 10 KT: 相談したり、相手が言うことはそうかそうしようかなと思ったり、うん、そう

いうのは悪くない。

(徹子の部屋・2)

例 4-17 では、KY は現在の夫に「結婚しよう」と言われた後、「なんか」を何回も入れながら、当時の心理状態を述べている。例 4-18 の 02 行目では、KY は「あの」「なんか」「こう」を使いながら自分の夫がどんなタイプの人かについて話している。例 4-19 では、KY が芸能界に入ってから現在の夫に会うまでの話をしている。ここでは、「なんか」「あの」「その」「こう」が何度も用いられている。インタビューというフォーマルな場面では、ゲストは司会者の質問に答える義務がある。3つの例では、「結婚」、「夫」、「一度結婚を失敗した後」という、あまり詳細に言及したくない話題について質問された時、KY は 3 種類のフィラーを何回も挿入し、躊躇した態度を相手に察知させている。

「共通理解」

例 4-20

- 01 KT: ねー、それでお母様 100 歳でお元気で。で今お母様老人ホームの方に。  
02 KK: はい、今施設の方をお願いしているんですけどね。  
03 KT: ええ  
04 KK: これがもう元気で、もう 98 歳で絵手紙やって、  
05 KT: そう  
06 KK: 99 歳で書道をやって  
07 KT: ね。  
08 KK: 今は英語、英会話やってます。  
09 KT: そうです、英会話ってのはすごいですよね。外国の方とこれからお話になろうっていう寸法でしょうからね。  
10 KK: そして 100 歳で新たに今、あの、歌を歌ってますから、みんなでもう、だいたい唱歌とか童謡なんか 20 曲ぐらい  
11 KT: そう、100 歳。  
12 KK: 100 歳。

(徹子の部屋・3)

例 4-21

- 01 KK: これお正月、今年のお正月。  
02 KT: すごい！ええ。  
03 KK: おせち料理なんですけれども

- 04 KT:ええ。
- 05 KK:これを食べないで、そのおそばだけ食べる。
- 06 KT:おそばが好きな。
- 07 KK:好き
- 08 KT:うーん。
- 09 KK:でもう弱って、今日はもう体がきつい、沈みそうっていう時に、じゃあのキムチのそば食べるって言うと、もうパって目が輝いて。
- 10 KT:キムチそば
- 11 KK:は。
- 12 KT:すごい。 (徹子の部屋・3)

上の2つの例では、司会者KTとゲストKKはKKの母親について話している。例4-20では、KKの母親が今100歳で元気であり、老人ホームで色々なことを勉強していることが話題になっている。KKは母親が絵手紙、書道、英会話、歌を習っていることを列挙することにより、母親の元気を説明している。04行目と10行目で「もう」が3回も使用されており、KKは自分の感情を強めて、相手を自分側に引き込む効果があると考えられる。KTは単なるあいづちを打つのではなく、09行目で褒めた後に、自分の感想を付け加えたり、また11行目で「そう、100歳」と反応し、10行目で「100歳」と繰り返したりすることから、KKの母親の元気を認めている。これは相手の発話に積極的に参加していることが窺える。

例4-21では、KKは母親がどれだけそばが好きかということと話している。01行目から08行目まで、KKの母親は正月におせちを食べずにそばだけを食べているという話をしている。09行目で、「もう」を入れながら、具体的な事例を話し、これは聞き手を自分の話しに引き込む働きをしている。

例4-20と例4-21では、KKは「もう」を使用し、自分の気持ち・感情を込めて話しながら、相手の共通理解を求め、談話を滑らかに進行させている。

#### 4.3.2.2 発話中における日本語フィラーの機能<インフォーマルな場面>

「言葉探し」

例4-22

- 01 H3M:色気
- 02 K3F、L3F:<笑い・複>

- 03 H3M: もう一個、後何だっけ、それだけしか無かつちゃっけ、俺★は
- 04 G3M: →いや←いやいや。後なんか家庭的とかなんかいろ★いろあるじゃん。
- 05 H3M: →家庭的とか←言っとったね。
- 06 G3M: うん、まあ、そんな所。 (Sakura01)

例 4-22 では、「異性に求める条件」について会話参与者 4 人がそれぞれ自分の提案を出している。発話内容を検索するために、「なんか」を 2 回使用して、考える間を繋いでいる。

「発話継続表明」

例 4-23

- 01 G3M: 今もさあ、バイトさあ、眼科ってすごいさあー、いやじゃない。
- 02 I3M: いやだねー。
- 03 G3M: ね、プレッシャーっていうか★さあ
- 04 L3F: →いや←だ。だってさ、一生、これからさあ、★ずっと関わっていくのにさあ。
- 05 G3M: →そう←
- 06 L3F: もう?★みたいって
- 07 G3M: →もうー←
- 08 L3F: ★なんか、
- 09 G3M: →うーん←
- 10 L3F: でも、そんな★感じがする。
- 11 G3M: →なんかだって、毎←日実習、毎日じゃないけどさあ
- 12 E3F: うん。
- 13 G3M: なんか、毎週実習があるみたいじゃん。
- 14 E3F: でも、なんか、その、N もその眼科に、すごいもう(とけ)込んでるから、★今、だからやっててもー、全然苦にならない。
- 15 G3M: →あーー← (Sakura05)

例 4-23 では、眼科でのバイトがいやであるという G3M の感想(01、03 行目)に対し、I3M と L3F が同意を示している(02、04、06 行目)。L3F は、I3M のように「いやだね」という共感を示すだけでなく、その理由まで述べている。G3M も「そう」(05 行目)と反応し、さらに「もうー」(07 行目)と繰り返して L3F の理由に強く同意を示してい



る。08 と 09 行目で、L3F の「なんか」と G3M の「うーん」がオーバーラップして、「うーん」と述べた G3M の後続発話が脱落し、L3F は発話権を維持することに成功した。11 行目では、G3M の発話ターンが完了してもいい場所で、E3F があいづちを打っている。13 行目では、G3M は「なんか」を利用して発話権を維持しようとしている。

#### 「共通理解」

##### 例 4-24

- 01 K3M: で、すー、あるトンネルがあつて、なんか知らんけど、あの、高速が、高速じゃなく、★道路の下、あの、ところがあつて、そこから、★ワンワンワンワンって両サイドから
- 02 I3F: →はあ、はあ、はい、はい← →(大笑い)←
- 03 一同: 笑い
- 04 J3M: はさみこまれた? (大笑い)
- 05 K3M: はさみこまれたんだって、野犬に。
- 06 H3F: 噛まれた?
- 07 K3M: 噛まれてない、もう、必死★に逃げたよ、こうやって、チャリで。
- 08 I3F: →笑い、ちょっと待って、おもしろすぎる。←
- 09 一同: 笑い (Sakura03)

例 4-24 では、K3M は自分が野犬に襲われた時の様子を再現し、ほかの 3 人は K3M の話を聞いて大笑いしている。J3M と H3F はその後の状況を尋ねる (04、06 行目)。K3M は返答した後、今度は逃げる様子を描写している (05、07 行目)。ここで「もう」を挿入することで、話し手は感情を入れながら聞き手を自分の発話内容に引き込み、共通理解を組み立てる効果があると考えられる。山根 (2002) と小出 (2009) は、「もう」は心情表現として、心情の高まりという役割があると指摘している。

#### 「情報の曖昧化」

##### 例 4-25 (例 4-10 再掲)

- 01 A1F: 女はさあ、なんか、結婚はこんな人とか、
- 02 B1F: でも、恋愛はこういう人★がいいみたいな。
- 03 A1F: →そうそうそう★そうそうそうそう←なんか理想とげんじ★つが違うじゃん。

- 04 B1M:→えへえー?←  
05 B1F:→全然違うよね?←たぶん  
06 A1F:ち★がう  
07 B1M:→そうなの?←  
08 C1M:あ、★そうなんだ。ああ、じゃあ、俺一緒かもしれない。  
09 B1M:→そんな変わってくるの?←一緒じゃない?  
10 C1M:なんか、付き合ったらー、  
11 B1F:そのまま  
12 C1M:行きたいなあってゆう (Sakura02)

例 4-25 では、恋愛と結婚の話題について話している。A1F が「女は結婚がこんな人がいい」(01 行目)と言った後に B1F が、A1F の後半の発話を予測し、すぐに「でも、恋愛はこういう人がいいみたい」と補足している(02 行目)。03 行目で、A1F は、「そう」を 7 回繰り返す形で B1F の発言に強く同意を示す。このように、A1F と B1F は同じ立場に立って女性としての恋愛結婚観を示している。その後、B1M と C1M は男性の立場から異なる考え方を示す。A1F は女性の恋愛結婚観を語っているとしても、あくまでも自分の考え方にすぎず、自分の発言が適切であるかどうか分からない時、「なんか」によって情報の不明確性を聞き手に示している(01、03 行目)。

「和らげ」

例 4-26(例 4-23 再掲)

- 01 G3M:今もさあ、バイトさあ、眼科ってすーごいさあー、いやじゃない。  
02 I3M:いやだねー。  
03 G3M:ね、プレッシャーっていうか★さあ  
04 L3F:→いや←だ。だってさ、一生、これからさあ、★ずっと関わっていくのにさあ。  
05 G3M:→そう←  
06 L3F:もう?★みたいって  
07 G3M:→もう←  
08 L3F:★なんか、  
09 G3M:→うーん←  
10 L3F:でも、そんな★感じがする。  
11 G3M:→なんかだって、毎←日実習、毎日じゃないけどさあ

- 12 E3F: うん。
- 13 G3M: なんか、毎週実習があるみたいじゃん。
- 14 E3F: でも、**なんか**、**その**、Nもそこの眼科に、すごいもう(とけ)込んてるから、★  
今、だからやっても一、全然苦にならない。
- 15 G3M: →あー← (Sakura05)

G3M、I3M、L3F は眼科でのバイトが嫌であることについて話している (01-12 行目)。E3F はあいづちを打つ以外に会話に参加していない。14 行目で、逆接の接続詞「でも」により発言を始める。後続の発話内容はほかの 3 人に不同意を示すため、「なんか、その」を挿入して相手を傷つける恐れがある発話を緩和している。堤 (2008) は、言い出しにくいような内容を発言する場合に、相手を傷つけないように、「その」を用いることで、その配慮を聞き手に伝えることができると述べている。

「ためらい」

#### 例 4-27

- 01 L3F: でだ、だって、普通に彼女がいること。★遊んじゃだめ?
- 02 K3F: →うん、遊ぶよ。←
- 03 H3M: あー、それは、ん
- 04 L3F: どう違う。
- 05 K3F: うん、友達のこと。
- 06 L3F: だって
- 07 H3M: むこう意識してるかもしれない。
- 08 K3F: してないしてない。べ★つにしてた、
- 09 G3M: →それでも分← ★からんじゃん。
- 10 K3F: →そう←そう、別にしてたとしても、★まあ、友達だと思っているから
- 11 L3F: →うちらには関係ない(笑い)←
- 12 K3F: 関係ないし。 (Sakura01)

例 4-27 の直前までで、H3M は男女 2 人きりで遊ぶのが不思議であることを表明した。K3F と L3F は普通に遊んでもいいという反対の意見を持ち、H3M になぜだめかとその理由を求めている (01-05 行目)。男のほうが意識しているかもしれない (07 行目) という H3M の理由に対し、K3F と G3M はすぐに反応している (08-12 行目)。発話が重複しながら

ら、お互いに協力して会話する形で H3M に対する不同意表明とその理由付けを完成した。K3F は、「まあ」を挿入しながら更なる理由までも述べている(10 行目)。「まあ」の「とりあえずの反応」、即ち「概言」という基本的な性質から、川上(1993:72)は「いろいろ問題はあるにしても、ここではひとまず大まかに引きくくって述べる」という効果があると述べており、大工原(2010:139)は「内心のわだかまりにこだわりを残し、それを但し書きする用法」と指摘している。10 行目で「まあ」を挿入することによって、ほかに理由があるにしても、さらに詳しく言及したくない時に、明確な応答を回避する効果がある。

### 4.3.3 発話末における日本語フィラーの機能

以下では、発話末における日本語フィラーの機能を分析する。

#### 4.3.3.1 発話末における日本語フィラーの機能<フォーマルな場面>

「言葉探し」

例 4-28

- 01 NH: バラが好きなんで、バラも植わってるんで、でもう五月になると、もう五月はほとんど切り花。あのー
- 02 KT: 切り花。
- 03 NH: 花屋さんから買わないで、
- 04 KT: あー、お花。
- 05 NH: うちの花で、すましています。 (徹子の部屋・1)

例 4-29

- 01 NI: これ砂漠をずっと###くらい。
- 02 KT: そう。
- 03 NI: 徹夜で歩いた時ですね。
- 04 KT: へー。
- 05 NI: ボロボロです。
- 06 KT: パレスチナ
- 07 NI: はい、ピエロの、あの、
- 08 KT: あほんとだ。うん。
- 09 NI: 旅人のピエロ達と一緒にショーをやりましたね。

10 KT: うーん、すごい。すごいじゃん、なんか食べてる。 (徹子の部屋・4)

例 4-28 の直前で、NH は自宅の庭に様々な木が植えられていることについて話している。01 行目で NH はバラについて話した後、「あの」を言いながら言葉を探している心的状態を表している。KT は「切り花」と繰り返し、自分が関心を持っている様子を相手に示し、後続発話を促進している。

例 4-29 で 2 人は、NI が世界旅行で撮った VTR を見ながら話している。01 行目から 05 行目までは NI が発話権を持ち、KT と観客に VTR の内容を説明している。06 行目で KT が「パレスチナ」という国の名前を出し、NI が「はい」と反応し、内容説明に戻り、発話末に「あの」を入れながら検索中という内部状態を相手に知らせている。KT の「あほんとだ」(08 行目) という反応は、自分が VTR で見たことと NI の直前の説明が一致していることを確認している。

「情報の曖昧化」

例 4-30

01 KT: それからあのまあ、インドとかあとアラブとかさっきずっとおっしゃいましたけど、ま中東とか、そういう人たちとこうなんか触れてみたいってずっと思ってたんですって、**なんか**

02 NI: そうですね、なんかやっぱすごい人懐っこかったりとか

03 KT: うん (徹子の部屋・4)

例 4-30 の前では、会話参与者 2 人は NI がモロッコ、パレスチナ、ブラジル等で色々な人々と出会って、経験したことについて話している。01 行目で、KT は「それから」と言い、前の出来事に基づいてゲストがインドとアラブ等へ旅行する理由を推測した。その発話の末尾に「なんか」をつけて、自分の推測の不明確さを表している。NI はすぐに「そうですね」と反応し、KT の推測を肯定している。

#### 4.3.3.2 発話末における日本語フィラーの機能<インフォーマルな場面>

「共通理解」

例 4-31

01 H3M: これから実習だよ、**もうー**。

02 G3M: ★疲れたね。

03 L3F: →え? ←あ、クリニック。

04 K3F: あー、クリニック?

05 H3M: ねっむい、やばい。

(Sakura01)

例 4-31 では、H3M は「もうー」を付け加える形で自分の心情を表し、相手からの共通理解を求めている(01 行目)。G3M はすぐに「疲れたね」と反応し、共感を示しながら、相手をなだめている(02 行目)。

ここまで、日本語母語話者の日本語フィラー使用の特徴について、場面の改まり度、出現位置、機能という 3 つの側面から量的及び質的な分析を行った。

#### 4.4 日本語母語話者による日本語フィラー使用の特徴

本節では、機能と出現位置、機能と場面の改まり度との関わりを考察する。

##### 4.4.1 機能と出現位置の関わり

発話頭に位置するフィラーの使用は、「言葉探し」というフィラーの本質の役割の使用率が最も高い一方、良好な人間関係を維持しながら、円滑にコミュニケーションが遂行されるストラテジーとして使われている。これは、西阪(1999)、高木・森田(2015)が指摘した通りである。まず、話し手の立場からは、自分に直接に関与しない情報(情報の曖昧化)や、あまり詳しく語りたくないこと(ためらい)や、相手の面子を損ねる可能性があること(和らげ)等に言及する際に、フィラーを使用することで、話し手が慎重に発話を組み立てる姿勢を相手に察知させる働きがある。次に、聞き手の立場からは、発話を開始する時に、相手への共感を示すこと(共通理解)で、相手と同じ立場に立っていることを主張する効果がある。加藤(1999)では、「まあ」には相手の立場に立ってなだめる効果があると述べられている。また、多人数の会話では次の話者が選択されない場合、会話参加者はしばしばフィラーによって発話権を取得することがある。このように、発話の開始部では、話し手と聞き手が協力して、お互いに配慮しながら、フィラーを相互行為上の「道具」として、何らかの活動を成し遂げることができることが観察された。

発話中に位置するフィラーは、フォーマルな場面でもインフォーマルな場面でも、「発話内容・構成調整機能」の使用率は「対人関係調整機能」より高い。「言葉探し」の使用率は、発話頭と発話末に比べると、発話中の使用率が明らかに上回っている。これは、発話内容伝達過程、つまり言語編集及び情報処理作業の過程で話し手に考える時間が必

要とされるためである。中島(2011)は、発話中に出現しているフィラーは間つなぎ語として、次に発話の展開を整える一方、聞き手への注意を喚起したり、話し手の心的態度を表出したりして、発話展開に関与する機能があると述べている。

発話末に位置するフィラーは、主に「言葉探し」として使用されている。

#### 4.4.2 機能と場面の改まり度の関わり

前節では、フォーマルな場面(インタビュー)とインフォーマルな場面(雑談)に分けて、日本語フィラーがコミュニケーションを円滑に進めるためにいかに用いられているか、それぞれの機能の下位項目を立てて例を示しながら分析を行った。以下、分析結果を踏まえて、2つの場面における会話の制度性の特徴とフィラー機能との関わりについて考察する。

第1に、日常の自然会話と比較したテレビのインタビュー番組の特殊性が、司会者とゲストのフィラーの使用にどのような影響を与えているかを考察する。テレビ番組のインタビューは、非公開のインタビューと異なり、司会者とゲストはそれぞれ質問をし、答える義務があるだけではない。司会者側から見ると、ゲストのことに興味を持っている視聴者のために、事前に情報を調べたり、質問リストを準備したりする必要がある。また、視聴率を上昇させるために価値のある情報をより多く引き出す必要があり、ゲストに配慮しながら質問をすることが要求される。ゲスト側から見ると、自分のプライバシーに関する情報をどの程度公開するかを考えて、発話を構築する必要がある。

フィラーの機能の下位項目の使用割合を見ると、「発話継続表明」、「和らげ」、「ためらい」は、フォーマルな場面がインフォーマルな場面より使用割合が高い(図 4-1、図 4-2 参照)。その理由として、以下の3点が挙げられる。

1 つ目は、「発話継続表明」としてのフィラー使用は、ゲストの返答が長くなる場合には、司会者は適切どころであいづちを打って相手の話をきちんと聞いていることを示している。話し手は聞き手からのあいづちを受けて、話のリズムを整えながら発話全体の一貫性を保つ、または意思伝達を完了させるために、フィラーを使用することで発話継続の意思を聞き手に表明する。

2 つ目は、「和らげ」としてのフィラー使用は、司会者は質問自体がゲストにとって答えにくいことを事前に予測し、対人関係に配慮する上でフィラーを付け加えている。フィラーの挿入によって、強制的に明確な回答を求めているわけではなく、回答するかどうかまたはどの程度の情報を提供するかをゲストに委ねる効果がある。相手に対する配慮の度合いが高くなればなるほど、フィラーの挿入が多くなる。ゲストにとっては、否定的な、またはプライバシーに関わる話題について詳細な情報提供を回避することも

できる。一方、司会者は、ゲストの物語に対する評価を示す際に、自己主張を相手に押し付けすぎないように、フィラーを使用し発話を緩和している。これは、相互行為上「受け手に合わせてデザイン」しながら語っていく上で困難がある時、「あの一」（等）によってその発言を有標化する（西阪, 1999）という知見と一致している。

3 つ目は、「ためらい」としてのフィラー使用は、ゲストが公に言及したくないことについて、フィラーの使用によって明確な回答を避ける効果がある。高木・森田(2015)は、応答の開始部分に「ええと」を利用することで、質問にどのように応えるのかがただちに明確でないことを相手に伝える効果があると指摘している。加藤(1999)は、「まあ」には行動要求表現文への返答として、相手の依頼、期待に十分に答えられないという気持ち伝える作用があると述べている。

第2に、カジュアルな雰囲気では会話するインフォーマルな場面で、会話参加者がフィラーを会話ストラテジーとしてどのように用いているか、量的な分析結果を踏まえて考察する。

まず、図 4-2 を見ると、「和らげ」と「ためらい」としてのフィラー使用率はフォーマルな場面より低い。雑談はインタビューのように質問をする側と答える側を決められていないため、情報をより多く引き出したり、より詳細に提供したりすることは求められていないのである。また、会話参加者は初対面ではなく、社会的にも平等な関係であり、対人関係に対する配慮もそれほど要求されていない。

次に、話し手が不確定な情報、(例えば、第三者から聞いた聞き手の情報や自分自身の経験に基づいた推測等)を出す際に、発話の前や途中でフィラー(特に「なんか」)を多用している(図 4-2 参照)。聞き手の情報領域に踏み込むため、「なんか」を挿入することで、情報の間接化・曖昧化を示すことができるためである。それと同時に、聞き手への確認要求も含まれている。

最後に、「共通理解」としてのフィラーがフォーマルな場面より多用されているのは、雑談場面の会話参加者が、それぞれの集団(男女2名ずつ)が会話を進めていく際にフィラーを使用することで共通理解を表すためであろう。また、「もう」というフィラーの挿入は、話を進める際に、それを面白くしたり、会話を盛り上げようとしたりするため、他のメンバーからの共感を求め、会話への参加度を高める働きがある。

#### 4.5 本章のまとめ

本章では、日本語母語話者によるフィラー使用の特徴を解明するため、出現位置と機能、場面の改まり度と機能との関わりについて、例を挙げながら分析・考察を行った。4.1では、それぞれの場面では、各位置のフィラーの使用率について量的な分析を行い、



どの場面でも発話中の使用率が最も高く、発話末の使用率が一番低いという結果が得られた。4.2と4.3では、出現位置と場面の改まり度から、日本語フィラーの機能についての量的分析を行った上で、それぞれに例も示した。4.4では、出現位置と場面から、フィラー使用についての質的分析をした。その結果、以下の4点が明らかになった。

- ① 発話産出過程で何らかの困難がある時に、言葉を検索する心的操作に入る標識としてのフィラーは、発話頭、発話中、発話末に出現している。
- ② 発話頭に位置するフィラーは主に良好な人間関係を維持しながらコミュニケーションを円滑に遂行する機能がある。
- ③ 発話中に位置するフィラーの機能に関しては、話し手は言葉を探す以外に、発話内容を調整したり、対人関係を管理したりして、発話の構成、談話の展開及び聞き手への配慮を意識しつつフィラーを使用する。
- ④ 発話末に位置するフィラーは、1)発話内容を検索するための時間稼ぎ、2)情報の不明確さを示す、3)相手からの共通理解を要求するという効果を出す。

さらに、特殊性のあるインタビュー場面と、会話参加者がそれぞれの集団になって会話を進行させる雑談場面では、場つなぎ、言葉探しという基本機能を有するフィラーは、人間関係を調整する戦略として、聞き手指向だけではなく、時には話し手自身への配慮も考えられ、結果的にコミュニケーションを円滑に進行させる効果がある。



## 第5章 中国語フィラーの使用の特徴

第4章では、日本語フィラーの出現位置と機能との関わりについて分析・考察を行った。中国語フィラーに関しては、主に個々のフィラー化する過程及び機能についての研究(李, 2012; 殷, 2012; 朱・史, 2014 等)がなされている。フィラーの出現位置と機能との関わりについての研究はまだ見当たらない。本章では、日本語フィラーの使用の特徴と対照するため、中国のインタビュー番組と自然会話をデータとして、フォーマルな場面とインフォーマルな場面に分けて、発話頭、発話中、発話末に出現する中国語フィラーの頻度を明らかにし、出現位置、場面の改まり度とその機能との関わりについて量的・質的分析を行う。

まず、5.1 ではフォーマルな場面とインフォーマルな場面に分けて、発話の各位置でのフィラーの出現数と割合を明らかにする。次に、5.2 ではフィラーの出現位置とその機能との関わりについて量的に分析する。それから、5.3 では具体的な例を観察しながら各位置に出現するフィラーの機能を分析する。5.4 では出現位置と場面の改まり度がフィラーの使用にどのような影響を与えているかについて分析・考察を行う。5.5 は本章のまとめである。

### 5.1 各位置における中国語フィラーの使用実態

本節では、フォーマル場面とインフォーマル場面に分けて、発話の各位置でのフィラーの出現数と割合を明らかにする。出現位置によるフィラーの使用頻度は表 5-1 の通りである。

表 5-1 各位置における中国語フィラーの使用頻度(割合)

出現位置 \ 場面	フォーマルな場面 (割合%)	インフォーマルな場面 (割合%)
発話頭	56 (11%)	62 (6%)
発話中	441 (88%)	844 (86%)
発話末	6 (1%)	73 (8%)
合計	503	979

中国語フィラーの使用は、日本語フィラーの使用と同様に、どの場面でも発話中の使用頻度が最も高く、続いて発話頭、発話末という順になっている。フォーマルな場面で

は、発話中のフィラーの出現数は全体 503 回のうち、441 回で 88%を占めている。一方、インフォーマルな場面では、全体 979 回のうち、844 回で 86%を占めている。発話頭と発話末の割合と比べると圧倒的に多い。2 つの場面のデータの合計時間数<sup>53</sup>を割ると、フォーマルな場面では 1 分あたりのフィラーの出現数は約 4 つで、インフォーマルな場面では 1 分あたりのフィラーの出現数は約 5 つである。インフォーマルな場面の平均出現数はフォーマルな場面のより少し多い。

## 5.2 各位置における中国語フィラーの機能についての使用概況

本節では、第 2 章で記述したフィラー機能の分類を踏まえ、各場面と各位置に出現する中国語フィラーの機能を量的に分析する。以下、フィラーの機能及びそれぞれの下位分類の定義を再提示する。

表 5-2 フィラーの機能の分類及び定義(表 2-4 再掲)

機能	下位項目	定義	主な表現形式
発話内容・構成調整機能	言葉探し	適切な発話内容を探すために、フィラーを用いて言いよどみながら考える時間を稼ぐことである。	単語末尾母音の長音化、「あの一」類、「その一」類、「なんか」類、「で一」類、「まあ」類、「えーと」類、「这:」類、「那:」類、「就是」類、「嗯:」類、「呃:」類、「然后:」類、「什么」類等
	換言・修復	聞き手がより理解しやすいように説明するため、フィラーを前触れとして換言する。換言する前後の発話の意味は変わっていない。あるいは、話し手が言い間違えた時、フィラーによって、先行発話を一旦中断し言い直すことである。	「あの一」類、「这:」類、「那:」類、「就是」類、「呃:」類等

<sup>53</sup> フォーマルな場面(『楊瀾訪談録』)のデータの合計時間は約 120 分で、インフォーマルな場面(『BEIF コーパス』)のデータの合計時間は約 187 分である。

	発話継続表明	発話権を行使している話し手は聞き手からのあいづちを受けて、発話のリズムを整えながら発話継続の意思を聞き手に伝えることである。	「あの一」類、「その一」類、「なんか」類、「えーと」類、「で一」類、「然后:」類、「那:」類、「啊:」類等
	情報の曖昧化	由来の不透明な情報や話し手と直接な関わりがない情報を述べる、または聞き手の情報領域に踏み込む時、フィラーを用いて情報を曖昧化することである。	「なんか」類、「这:」類、「嗯:」類、「呃:」類、「什么」類等
対人関係調整機能	和らげ	聞き手のフェイスを損なわないように、問いかけ、不同意表明、否定的なコメント等をする場合に、フィラーによって言いにくい発話内容を和らげることである。	「あの一」類、「その一」類、「えーと」類、「なんか」類、「まあ」類、「这:」類、「那:」類、「呃:」類、「就是」類等
	ためらい	聞き手に配慮するよりは、話し手は自分の事情を考慮して、あまり言及したくない内容について、躊躇して直接的な応答を回避することである。	「あの一」類、「まあ」類、「なんか」類、「その一」類、「こう」、「那:」類、「对」、「就是」類、「呃:」類等
	共通理解	話し手は聞き手の会話参加意欲を高めるために、フィラーによって聞き手を発話内容に引き込むようにする。あるいは、相手の主張や立場等に共感を示したり相手をなだめたりして、共通理解を組み立てながら談話を滑らかに進行させることである。	「もう」類、「こう」、「あの一」類、「まあ」類、「那:」類、「啊:」類、「哎」等
	発話権奪取	相手の発話に割り込んで発話権を奪取する、または次の話者として選択されていない時にフィラーによって発話権を取得することである。	「あの一」類、「なんか」類、「这:」類、「那:」類、「然后:」類等

表 5-3 は、場面、出現位置とその機能別の中国語フィラーの使用回数と割合を示している。

表 5-3 場面、出現位置とその機能別の中国語フィラーの使用回数(割合%)

場面	フォーマルな場面	インフォーマルな場面
----	----------	------------

機能		位置					
		発話頭	発話中	発話末	発話頭	発話中	発話末
発話 内容 構成 調整	言葉探し	32 (6.4%)	264 (52%)	7 (1.4%)	26 (2.7%)	671 (69%)	67 (6.8%)
	換言・修復		17 (3.4%)			29 (3%)	
	発話継続表明		55 (11%)			83 (8.5%)	
	情報の曖昧化		9 (1.8%)			5 (0.5%)	
対人 関係 調整	和らげ	10 (2%)	32 (6.4%)			18 (1.8%)	
	ためらい	14 (2.8%)	60 (12%)			44 (4.5%)	
	共通理解		4 (0.8%)				
	発話権奪取				36 (3.7%)		

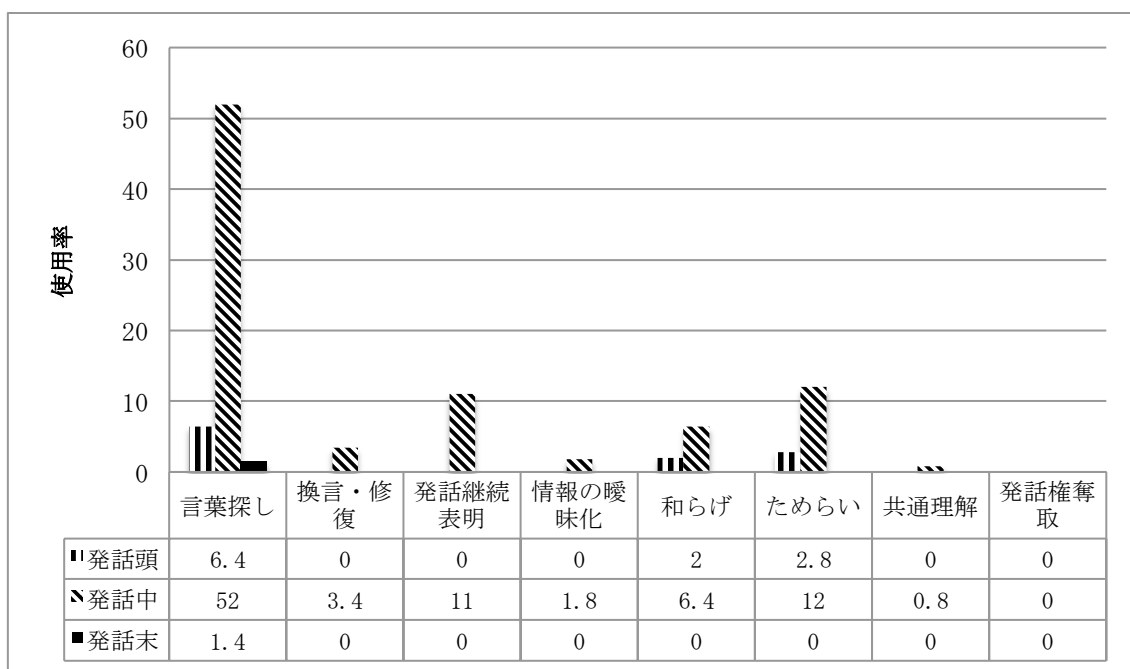


図 5-1 出現位置と機能別の中国語フィラーの使用率（フォーマルな場面）

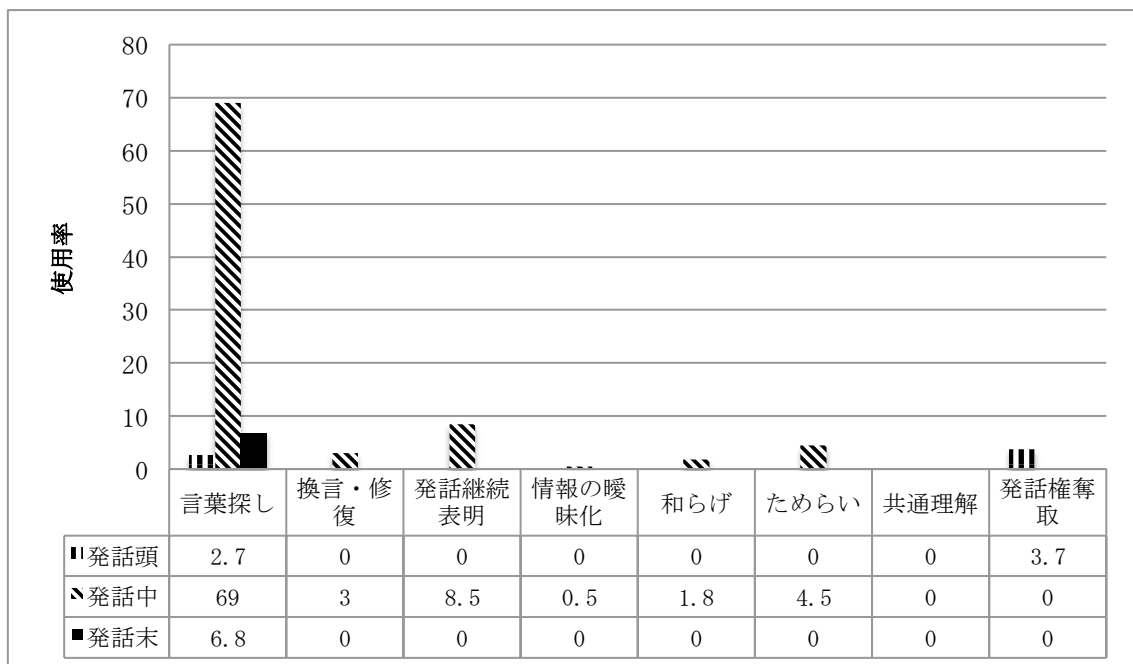


図 5-2 出現位置と機能別の中国語フィラーの使用率（インフォーマルな場面）

表 5-3 に示された量的な分析結果から、次のことが分かった。

- フォーマルな場面で各位置の中国語フィラーの使用特徴
  - ① 発話頭：「言葉探し」「和らげ」「ためらい」しか使用されていない。
  - ② 発話中：フィラーの機能のバリエーションが最も豊富であり、「言葉探し」の使用率が 52%を占めて圧倒的に高い割合である。続いて、使用率が比較的に高いのは「発話継続表明」「和らげ」「ためらい」で、それぞれ 11%、6.4%、12%を占めている。「換言・修復」「情報の曖昧化」「共通理解」も用いられているが、使用率はそれほど高くない。
  - ③ 発話末：「言葉探し」だけ使用されている。
  
- インフォーマルな場面で各位置の中国語フィラーの使用特徴
  - ① 発話頭：「言葉探し」（2.7%）と「発話権奪取」（3.7%）だけが使用されている。
  - ② 発話中：フォーマルな場面と同様に、「言葉探し」の使用率が最も高く、69%である。次に、「換言・修復」「発話権継続表明」「ためらい」の使用率がそれぞれ 3%、8.5%、4.5%を占めており、「情報の曖昧化」「和らげ」の使用率を上回っている。
  - ③ 発話末：「言葉探し」（6.8%）だけ用いられている。

### 5.3 各位置における中国語フィラーの機能

本節では、フォーマルな場面とインフォーマルな場面に分けて、実例を観察しながら各位置に出現する中国語フィラーの機能を分析する。

#### 5.3.1 発話頭における中国語フィラーの機能

まず、フォーマルな場面とインフォーマルな場面について、発話頭に出現する代表的な中国語フィラーの機能を分析する。

##### 5.3.1.1 発話頭における中国語フィラーの機能<フォーマルな場面>

「言葉探し」

例 5-1

- 01 YL: 什么时候你觉得工作和生活的矛盾是最突出的?  
02 GL: 呃:: (え::)、是这个 travel、就是:我是觉得、我这一辈子都拿着一个箱、拿着这几个箱子到处乱跑。这个旅行太多了、完了就没有、没有家的感觉。

(楊瀾訪談録・2)

訳

- 01 YL: 仕事と生活の矛盾が一番際立っているのはいつだと思いますか?  
02 GL: えー、これはこの travel、つまりー、私は一生キャリアケースをもって、走り回っています。この旅行が多すぎる、で、ない、家の感覚がないです。

例 5-1 では、ゲスト GL は YL の質問に直ちに回答できない時、「呃::」(え::)と音声の伸ばして、内容検索中という心的操作に入っていることを聞き手に示す。

「和らげ」

例 5-2

- 01 YL: 你现在真的把赛车当成一个专业在做了、是吗?而不是说、像一开始、很多人会觉得你是在玩票而已。  
02 HH: 呃:: (え::)、关键这、这东西吧、不好、不好玩票、你别的東西能玩票、我觉得写东西啊、或者:唱歌倒是都能玩票、因为你没法分辨好坏、你死活认着我是好的那没办法、但是  
03 YL: 笑

(楊瀾訪談録・2)



訳

- 01 YL: 今、本気でレースを専門としてやっている、でしょう? ただ遊んでいる、多くの人は最初そう思っていましたけど。
- 02 HH: あのー、重要なのは、これ、これ(レース)は、遊んだりできないことです。ほかのことならできますが、ものを書くとか、あるいは一、歌を歌うとかは遊んだりできますけど、なぜなら、いいか悪いか判断できないからです。どうしてもいいと思込まれたら、それで仕方ないじゃない、でも
- 03 YL: (笑い)

例 5-2 の背景は、HH は出版した小説が大人気になった後、高校を退学して作家として活躍し、またレースもしているということである。YL は本気でレースをしているかどうかと尋ね、さらには「ただ遊んでいる」のではないかという推測を述べている(01 行目)。これは HH に対するマイナスな評価であるため、続けて「多くの人はそう思っている」と付け加え、中立的な姿勢を示している。HH は、自分に向けられた yes/no クエスションに対してははい、またはいいえと明確には返答せず、YL の推測に反対することを表明する前に「呃::」(え::)を入れて、慎重に回答を組み立てていることを聞き手に示す。これは相手の面子をつぶすことを防ぐため、フィラーによって不同意表明を和らげている。高木・森田(2015)は質問者の推測に反する返答の開始部分に位置する「ええと」は、単なる時間稼ぎではなく「応答者」としてのスタンスを標示していると述べている。

「ためらい」

例 5-3

- 01 YL: 你没有失去耐心的时候吗?
- 02 JL: 呃::呃、呃(え::え、え)、当然有失去耐心了、(YL: 嗯。) 我们有好几次就是说这个事看来做不成了、但后来我又想、唉、这样、嘖、再努力一下、呃::、反正我给大家讲，就是花时间嘛。
- 03 YL: 嗯 (楊瀾訪談録・4)

訳

- 01 YL: 根気が切れる時はないですか?
- 02 JL: うーん、ええ、あの、当然ありますよ。(YL: うん。) 何回も、つまり、もうだめだなあと、でもその後、考え直してみたら、え、こう、もっと努力したら、え::、

みんなに言いましたけど、どうせ時間の問題でしょう。

03 YL: うん。

(楊瀾訪談録・4)

例 5-3 の前では、JL が経営している企業の海外営業が順調ではないことについて話している。YL は具体的なことを聞いた後、「根気が切れる時はないですか?」と質問している(01 行目)。JL は yes/no クエスチョンに対してすぐに回答せず、「呃::呃、呃」(え::え、え)と長く言い淀んでから肯定の答えを出している。海外営業に困難がある時、経営者が根気を失ったかどうかは企業イメージに繋げるため、安易にははい、またはいいえと答えるのではなく、困難に立ち向かう方法を後続する必要がある。回答の開始部にフィラーを挿入することによって、JL は企業イメージを保つために慎重に発話を考えていることが窺える。

### 5.3.1.2 発話頭における中国語フィラーの機能<インフォーマルな場面>

「言葉探し」

例 5-4

01 B11F: 最可悲的是、我觉得:、百分之九十的人都没有找到最适合自己的、一辈子都没有找到自己最适合自己的那个职位、岗位。

02 A11F: 比如说

03 B11F: 就:就是说(つ:つまり)、比如说、就、像昨天 J 老师说的那个

04 A11F: 嗯。

05 B11F: 那是说什么来着。性格没有好坏、说、就是怕你没找到:合:合适自己的职业。

(BEIF11)

訳

01 B11F: 一番悲しいのは、90%の人は自分に最も相応しい仕事を見つけられなかった、一生見つけられないと思うけど。

02 A11F: 例えば

03 B11F: あ、あの一、例えば、つ、昨日 J 先生がおっしゃったように、

04 A11F: うん。

05 B11F: 何でしたっけ。性格がいいか悪いかということではない、自分に相応しい仕事が見つからないのが怖いって。

B11F は、90%の人が自分に相応しい仕事を一生見つけられないことは一番悲しいと述

べた(01行目)。その後、A11Fはその補足説明を求めている(02行目)。B11Fは質問に対して直ちに返答できず、「就:就是说」(つ:つまり)と述べ、考える時間を稼ぐために言い淀んでいる。「就是」は本来副詞(就)と動詞(是)が連結した複合語である。李(2012)は、「就是」は複合語から副詞へ、そして接続詞、談話標識という過程で文法化し、談話標識として用いられる時には「就是说」や「也就是说」という形式が多いと述べている。

#### 「発話権奪取」

例 5-5(例 2-35 再掲)

- 01 B5M: 这奥运会时你要★是  
02 A5M: →奥←运会时、这:这将达到一个饱和程度。这个这个  
03 B5M: 五湖四海的★都:都来  
04 A5M: →这个(この)、虽然←就两:两周吧两周多吧、对吧  
05 B5M: 两周得多。 (BEIF05)
- 訳
- 01 B5M: オリンピックの時も★し  
02 A5M: →オ←リンピックの時、えっと:えっと、(北京にいる人が)飽和状態に達します。えっと、えっと、  
03 B5M: 世界各国の(人)★みんな一、みんなが来て。  
04 A5M: →その、それにしても←ただに一、2週間でしょう2週間ちょっとでしょう、  
そうでしょう。  
05 B5M: 2週間以上。

例 5-5 では、会話参加者 2 人は北京オリンピックで世界中から多くの人北京に来ることについて話している。03 行目で B5M の発話がまだ終了していないうちに、A5M は「这个」(この)によって発話権を奪取している。04 行目の冒頭の「这个、虽然」が 03 行目の末尾の「都:都来」とオーバーラップして、B5M は途中で発話を終えた。A4M はそのまま発話を継続している(04 行目)。ここで A5M が B5M の話が終わる前に発話権を取るとは、すでに B5M の言いたかったことが分かっているからである。04 行目で A5M は、人が多いという良くない状況を認めながら 2 週間だけなら大丈夫だという立場を示し、B5M の不安を解消する。

### 5.3.2 発話中における中国語フィラーの機能

次に、発話中に出現する中国語フィラーの機能を分析する。

#### 5.3.2.1 発話中における中国語フィラーの機能<フォーマルな場面>

「言葉探し」

例 5-6

- 01 ZX: 因为是英文、然后呢、我的那个发音、就是说、周迅那个发音、就在外国人来讲、  
很难发★出来
- 02 YL: →很难发←对
- 03 ZX: 就说我的时候、根本就、
- 04 YL: ★听不到是谁(笑い)
- 05 ZX: →听不、听不懂、对对对←我就还在那儿待着呢、★然后、那个、呃(それから、  
あの、ええ)、就我的翻译就说: hey、[it's you]、it's you。当时拿着奖杯、  
心情、有一种莫名其妙的失落感。
- 06 YL: →呃、呃← (楊瀾訪談録・1)
- 訳
- 01 ZX: 英語だから、それで、私のあの発音、つまり、周迅の、あの発音は、外国人に  
とって、発音★しにくい。
- 02 YL: →発音し←にくい、はい
- 03 ZX: つまり、私(の名前を呼ばれた)時、全く
- 04 YL: ★誰か聞こえなかった
- 05 ZX: →聞こえても、聞こえても分からなかった、うんうんうん←、私はそのまま待  
っていたんですよ。で、あの、ええ、私のあの通訳が「hey、it's you、it's you。」  
と言ったんです。トロフィーを持っている間、気持ちが、落ち込みました。
- 06 YL: →うんうん←

例 5-6 は、ゲスト ZX がパリの映画祭で最優秀女優賞をもらったことについて話している。01-04 行目で、ZX はパリで賞を受ける際に自分の名前は外国人にとって発音しにくいため、呼ばれても全然分からなかったと述べた。そして 05 行目で、トロフィーをとった後には気持ちが落ち込んだことを伝える。05 行目に「然后」(それから)、「那个」(あの)及び「呃」(ええ)等のいくつかのフィラーが連続して出現することから、言葉を探しているという心的操作を表している。

「換言・修復」

例 5-7

- 01 YL: 你是每一次都特别特别投入的一个人。  
02 ZX: 对、我没有办法、就是说、哦、我看一会儿、那种(笑)  
03 YL: 但是因此也会比较容易受伤、会不会下一次学得聪明一点。  
04 ZX: 学不会(笑)  
05 YL: 想学会吗?  
06 ZX: 呃::不想。  
07 YL: 为什么?  
08 ZX: 因为我觉得那种:感觉是我很喜欢的。嗯、我就是对感情毫无保留、我特别纯粹的  
那个:: (あのような::) 感觉是我很喜欢的。 (楊瀾訪談録・1)

訳

- 01 YL: あなたは毎回(恋愛に)とても没頭するタイプ。  
02 ZX: はい、どうしても、つまり、あ、恋をすると、そのように(笑い)  
03 YL: でも、傷つきやすくなるから、今度は(恋愛に対して)もっと冷静に対処すること  
とはできませんか。  
04 ZX: できません。(笑い)  
05 YL: できるようになりたいですか?  
06 ZX: えーなりたくありません。  
07 YL: なぜ?  
08 ZX: あのー(恋愛の)気持ちがすごく好きだから、えーと、恋愛に対してはいつもあ  
りのままの自分を見せて、特別に純粋なあのー感覚が私はとても好きなので  
す。

例 5-7 の直前で、YL は ZX の恋愛観を尋ねた。そして「あなたはいつも恋愛に没頭しているタイプだ」ということを ZX に確かめる口調で述べ (01 行目)、ZX はそれを肯定している (02 行目)。YL が再び「より傷つきやすくなるから、今度はもっと冷静に対処するか」と尋ねたところ、ZX は「できない。」(04 行目)、「できるようにもなりたくない」(05 行目)、「恋愛に対してはいつもありのままの自分を見せたい、純粋な感覚が好きだ」(08 行目)と答えて、自分の恋愛観を表明する。注目するのは 08 行目「あのような::」の前後の文脈である。日本語の訳文では特に違和感はないかもしれないが、中国

語の語順は日本語の語順と異なるため、「那个::」（あのような::）の後半は前半と統語的に接続できない。ZXは前半で「我特别纯粹的感觉。（私は純粋な感覚がすごく好きだ。）」、「我(喜欢)特别纯粹的感觉。（私はとても純粋な感覚が好きだ。）」と言いたかったが、主語の後ろに動詞「喜欢」ではなく目的語を述べてしまった。そこで、「那个::」（あの::）によって、後方発話の修復を行っている。

「発話継続表明」

例 5-8

01 HH: 对我来说、我、不是特别喜欢: 上电视

02 YL: 嗯。

03 HH: 然后(それから)、我、更喜欢在不露面的时候做一些事情。

04 YL: 嗯。

05 HH: 然后:(それから:) 可能那时候的: 网络速度更新速度也快、当、当年可能都得一个月、我发表在文学杂志上、(YL: 嗯) 然后、那个人看见了想了一个月。过一个月我再发表出来。

06 YL: 嗯。 (楊瀾訪談録・3)

訳

01 HH: 私にとって、私、テレビに出るのがあまり好きではなくて

02 YL: うん。

03 HH: で、私、表に出ない時に何かやるのがもっと好きです。

04 YL: うん。

05 HH: で一、あの時の一ネット速度更新速度が速いかもしれません、当、当時は1か月(掛かる)、私は文学雑誌に発表して、(YL: うん)で、あの人見て1か月考えて、また1か月後私(の文章が)発表されます。

06 YL: うん。

例 5-8 の直前では、インターネットでみんなが自由に議論できるようになるに伴い、HH は時に反逆の言葉で他人を攻撃することがあると話していた。HH は、表現意欲は最大限に満たされたのではないかと YL に尋ねられた後、部分的に肯定し、01、03、05 行目でその理由を述べている。02、04 行目で YL に 2 回あいづちを打たれたが、2 回とも「然后」(それから)によって発話継続の意思を相手に伝えている。

「情報の曖昧化」

例 5-9(例 2-27 再掲)

01 YL: 你曾经说过、你说这个(この)、(笑) 好像如果再做选择、不一定要选做演员这一行、觉得演员演一出戏、也是一个自我毁灭的过程、吭、说得挺悲情的。

02 ZX: 因为、当演员、其实是有些时候要去破坏自己的。 (楊瀾訪談録・1)

訳

01 YL: あなたは前に言いましたが、あの、(笑い)もしもう一回選択するなら、芸能人になることを選ぶとは限らないと言ったようですね。芸能人が芝居をするのは自分を破壊することです。ね、とても悲しい話ですね。

02 ZX: 芸能人は、実は時々自分を破壊しないといけないですから。

01 行目でYLは、ゲストZXが以前言ったことをまとめ直した後、「とても悲しい話ですね」と自分の評価を付け加えた。YLが直接質問するのではなく興味のある話題に言及することは、ZXにその話題を展開させるための方略だと言える。ZXが言ったことを述べる前に、「这个」(この)を入れるのは、完全に情報優位性を持っているZXに対して情報の不明確さを示している。また、情報が確実でなければ、ZXがそれを否定することも容易になる。串田(1999)は、フィラーによる「言葉探し」という手続きは、物語に対する不確かさを聞き手に示すと指摘している。

「和らげ」

例 5-10(例 2-29 再掲)

01 YL: 听说在拍这个『霸王别姬』的时候、当时你的、这个(この)、姐姐、是得:乳腺癌去世是吧?

02 GL: 嗯 (楊瀾訪談録・2)

訳

01 YL: 「霸王别姬」<sup>54</sup>を撮った時、あの時あなたの、あの、お姉さん、乳腺癌で一亡くなったと聞いたけど、そうですか?

02 GL: うん。

---

<sup>54</sup> 人気映画の名前である。

例 5-10 では、YL は GL にとってマイナスな話題を切り出すため、「这个」(この)によって発話を和らげている。

「ためらい」

例 5-11(例 2-31 再掲)

01 YL:但我也看到有说、你也有过、呃::打长途电话回去、然后、是、一个劲儿地叫爸爸、却什么都不说(ZX:对对)的时

02 ZX:对对、嗯

03 YL:这也是你独特的表达方式吗?

04 ZX:可能是这么多年来的一个感觉、对(そう)、就(つまり)那天就是(つまり)、就这样啦。(笑)对(そう)、打电话、对(そう)、那天我记得

05 YL:嗯。

06 ZX:对、一直在叫、爸爸、爸爸、然后就哭、这样。

07 YL:嗯。 (楊瀾訪談録・1)

訳

01 YL:しかし、あなたは、ええ、お父さんに電話をかけて、ひたすらお父さんと呼んでいるが、何も言わない時もある。

02 ZX:はい、はい、はいはい、うん。

03 YL:これは独特な伝え方ですか。

04 ZX:これはこの数年間に渡る一つの感覚かもしれません。うん、で、あの日はあの、(笑い)うん、電話をかけた、うん、あの日まだ覚えている。

05 YL:うん。

06 ZX:はい、ずっと、パパ、パパを呼んでいる。そして泣いている。こう、「どうしたの?」とお父さんが聞いたら、「大丈夫、大丈夫」と、

07 YL:うん。

例 5-12

01 YL:为什么呢?得奖还有失落感?

02 ZX:那时候会明白、哦、得奖很开心。

03 YL:嗯。

04 ZX:对、但是得奖还是要一样地去工作啊。去:

05 YL:你打算不工作啊?(笑)



- 06 ZX:不是不工作、就是说没有什么改变。
- 07 YL:这次获奖的意义会更大一些吗?
- 08 ZX:因为我、这么多年了嘛、那、呃:(あの、え:)也是:自己没有上过学校、啊、我的老师就是每个剧组的导演。对我来讲、这是一个比:上过学校的演员更深的一个肯定。(楊瀾訪談錄・1)

訳

- 01 YL:なぜ?受賞したのに、なぜ何かなくなった感覚があるのですか。
- 02 ZX:その時、分かったのは、あ、受賞したからとてもうれしかったんですが。
- 03 YL:うん。
- 04 ZX:うん、受賞しても仕事をしなきゃいけないじゃないですか、しー
- 05 YL:働かないつもり?
- 06 ZX:働かないというわけではありません。そこは何も変わっていません。
- 07 YL:では今回の受賞はあなたにとって何か意味があったんですか?
- 08 ZX:だから、私は女優になってから、長い年月が経っています。あの一、え一、それで一自分は専門学校へ行ったことがないんですね、私の先生は撮影チームの監督です。私にとって、これが、学校に通った俳優よりもっと積極的に認められた点なんです。

例 5-11 では、01 行目の「呃:」は、これから相手のプライバシーについて質問する際に意図的に挿入され、相手の不愉快な気持ちを緩和し、また、自分の失礼を相手に了承してもらうため、発話を和らげる働きをする。04 行目では「对」、「就」、「就是」という 3 つのフィラーが短い文節の間に現れ、話者の躊躇感が窺える。即ち個人的なことに詳しく言及したくないことが推測できる。

例 5-12 では、07 行目で、YL は「今回の受賞はあなたにとって意味があったのですか?」と ZX に尋ねる。ZX は、自分は専門学校へ行ったことはなく監督が自分の先生であり、監督によって積極的に認められたことを語っている。ここで注目するのは 08 行目の「自分は専門学校へ行ったことがない」の前で「那」(あの)「呃:」(え:) という 2 つのフィラーを挟んでいること、そして「也是:」(それも:) の語尾が延びていることである。このことから、ほとんどの俳優が専門学校へ行ったことがあるのに対し、自分は学校へ行っていないと告白することに対する躊躇感が窺える。

「共通理解」

例 5-13(例 2-34 再掲)

- 01 YL: 说说你第一次到、刚刚到北京的时候、你的感觉。
- 02 ZX: 第一次就觉得、**哎(あ)**、很兴奋、**那种(あのような)**、看什么东西都是、咦、咦  
(笑) 就那种 (笑)
- 03 YL: (大笑) 所以那个时候你觉得、哎呀、我要是有一天能做到像谁那样就不错了、有  
没有这样的一种目标?
- 04 ZX: 没有。 (楊瀾訪談錄・1)
- 訳
- 01 YL: 最初、北京に着いたとき、あなたが感じたことを教えてくださいませんか。
- 02 ZX: 最初は、**もう**、すごく興奮していたと思います。**あの一**、何を見ても、え↑、  
え↑ (笑い) つまりあのような (笑い)
- 03 YL: (大笑い) だからあの時あなた、あ、いつか私もあの方のようになれたらいい  
なあ、こういう目標はありますか?
- 04 ZX: ないです。

01 行目でYLは、初めて北京に着いた時に感じたことについて質問した。ZXは「すごく興奮していた」と答え、さらに「哎」(あ)、「那种」(あのような)を付加して、言葉で伝えられないぐらいの興奮をYLに理解してもらおうとしていることが窺える。03行目だが、発話の前にYLは大笑いで共感を示している。

### 5.3.2.2 発話中における中国語フィラーの機能<インフォーマルな場面>

「言葉探し」

例 5-14

- 01 B4F: 你知道 Z 那个:: 那个什么:: 就是:: (あの::、あのなんか:: つまり::) 第:: 那个鸦  
片战争时候那个
- 02 A4F: 不知道啊。
- 03 B4F: Y(人名) 知道吧。
- 04 A4F: 不知道。
- 05 B4F: 历史书那个第:: 呃、中国近代史第一章鸦片战争的时候。
- 06 A4F: 嗯。 (BEIF04)
- 訳
- 01 B4F: Z(地名)、**あの一**、**あの一**、**なんか一**、**あの一**、**だ一一**あの一阿片戦争の時  
あの一、知っていますか。

- 02 A4F:知らないわ。
- 03 B4F: Y(人名)知っていますか。
- 04 A4F:知らない。
- 05 B4F:歴史教科書、あのだいいーえ、中国近代史第1章の阿片戦争。
- 06 A4F:うん。

例 5-14 で B4F は、阿片戦争に関するある話題を切り出す時に、歴史教科書の何章だったかが思い出せず、「那个::那个什么::就是::」(あの::、あのなんか::つまり::) という3種類のフィラーを使用して情報を探している。考える時間が長くなるとフィラーの使用回数が多くなる。

「修復・換言」

例 5-15

- 01 B4F: 那个山的话、那个::呃(あの::ええ)、学校那些桥就是完全就是那种:古典的那种石桥嘛。然后、我们
- 02 A4F: 大学也没这么好啊。
- 03 B4F: 对啊、就是他们很多说就是比很多大学:
- 04 A4F: 嗯。
- 05 B4F: 要漂亮很多嘛。
- 06 A4F: 嗯嗯。 (BEIF04)

訳

- 01 B4F: あの山なら、あのー、ええ、学校のあれらの橋は、完全にあのー古風なあの石橋。で、私たち
- 02 A4F: 大学はそんなにきれいではないのに。
- 03 B4F: そう、つまりたくさんの人が言ってたけど、多くのだいがくーより
- 04 A4F: うん。
- 05 B4F: かなりきれいだけど。
- 06 A4F: うんうん。

01 行目で、B4F は「学校那些桥」(学校のあれらの橋)と言いたかったが、「あの山なら」が出てしまい、「那个::呃」(あの::ええ)によって修復をしている。「那个::呃」を入れると急に主語を変える唐突感を避けることができ、聞き手にとっても理解しやすく

なる。

「発話継続表明」

例 5-16

- 01 B4F:我原先不是在那个::老家那边、念、念小学嘛。
- 02 A4F:嗯。
- 03 B4F:啊、然后(あ、それから)后来、那个、6 年级的时候、不是、毕业。因为小学的话你就是、因为它义务教育嘛。
- 04 A4F:嗯。
- 05 B4F:然后(それから)直接升上去那就就是、当地的一所中学嘛、大概就是那种很普通的一种中学。
- 06 A4F:嗯嗯嗯嗯。
- 07 B4F:然后(それから)我们可以考嘛
- 08 A4F:嗯嗯。 (BEIF04)

訳

- 01 B4F:私はもともとあの一一実家の小学校に通っていたの。
- 02 A4F:うん。
- 03 B4F:ん一、で、その後、あの、6 年生の時、違う、卒業。小学校ならさあ、つまり、義務教育だからさあ
- 04 A4F:うん。
- 05 B4F:でそのまま上がったら、あの、つまり、地元にある中学校でさあ、大体はあの、とても普通の中学校。
- 06 A4F:うんうんうんうん。
- 07 B4F:で私たちは試験<sup>55</sup>を受けることができるからさあ。
- 08 A4F:うんうん。

例 5-16 では、B4F は小学校から高校への進学過程を話している。A4F は B4F の長い発話の途中に 4 回のあいづちを打った。B4F は A4F からのあいづちの後に「然后」(それから)を挿入して発話権を維持している。聞き手にあいづちを打たれると同時に発話権を奪われる可能性があるため、話し手はすぐにフィラーによって発話が完了していない

---

<sup>55</sup> 高校の入学試験を指す。

ことを聞き手に示して発話権を維持する。この現象は日本語にも観察され、フィラーの形態として特に「で」類が最も多く用いられている。「然后」(それから)はもともと接続詞であり、本来の意味が希薄化し、自然会話で談話標識としてよく使われている。方(2000)は、接続詞から文法化した談話標識の中で「然后」の出現率が高いと指摘している。许(2009)は、談話標識「然后」の特徴を分析し、発話者が物語を語る時や発話が長くなる時に「然后」の使用がよく観察されると述べている。この出現位置を踏まえると、「然后」は長い発話の中に位置しており、「言葉探し」という役割を果たすより発話権を維持する効果が顕著である。

### 「情報の曖昧化」

#### 例 5-17

- 01 B4F: 山上有几座炮、就是以前那个遗留下来、还有一个 L(人名) 纪念堂嘛。
- 02 A4F: 嗯。
- 03 B4F: 然后 L(人名) 像<sup>56</sup>什么的(なんか)、然后后边几座 X 碑什么的(なんか)、然后学校里到处都是那种:、就是那种:、那个什么、亭台水榭阁楼的那种、那种东西嘛
- 04 A4F: 啊、嗯。 (BEIF04)
- 訳
- 01 B4F: 山の中にいくつかの砲があって、以前から残されてた。あと L 記念堂もあるさ
- 02 A4F: うん。
- 03 B4F: で L 像なんか、で、後ろにいくつかの X 碑なんか、で学校のあちこちはあの一、つまりあの一、あのなんか、亭や楼閣のような、のようなものさ。
- 04 A4F: あ、うん。

例 5-17 の直前では、B4F は A4F に自分の高校の概要や施設等について話している。01、03 行目で、学校が位置する山の中にある遺跡を紹介している。03 行目で、L 像と X 碑の後ろに「なんか」を付加することは、ほかにもまだあるが記憶が不明瞭であるため、聞き手にその情報の不明確さを示している。

### 「和らげ」

---

<sup>56</sup> L 像とは、L という方の外見を真似て造ったものである。

例 5-18

- 01 B8M:反正我觉得:::我就是这样。就属于:特别容易喜欢女生。
- 02 A8M:嗯、那就是:(あのつまり:)、如果你、就是(つまり)、你现在、有过恋爱史吗? 现在。
- 03 B8M:有啊:、我第一##的:、小学的、小学、第一、第一次写那情书的时候就是小:小学的时候嘛。 (BEIF08)

訳

- 01 B8M:どうせ私はこのような(人間だ)と思うけど。女の子が好きになりやすいタイプ。
- 02 A8M:うん。あの、まあ、もしあなた、まあ、あなたはこれまで、恋愛経験がありますか?これまで
- 03 B8M:ありましたよー。一番目##の一、小学校の、小学校、初め、初めてラブレターを書いた時は、しょうー小学校のとき。

例 5-18 の背景として、A8M と B8M は同じ大学に通っているルームメイトで、大学に入ってから知り合い、それ以前のことはお互いに全く知らないということがある。01 行目で、B8M は女の子が好きになりやすいタイプと述べ、A8M はそれを聞き関心を抱いた。そこで、相手のプライバシーを直接聞くのはあまり良くないと考え、「恋愛経験がありましたか」を言い出す前に、フィラーを入れて言い淀んだり、質問の形式を変えたり(最初は「もしあなた」と言い、それから「あなたはこれまで」に変更する)している。単刀直入ではなく、長い準備活動を経てから質問をするのは、話し手が対人関係に配慮して、相手に負担をかけないように発話を緩和しているためである。

「ためらい」

例 5-19

- 01 B8M:那你谈一谈你的恋爱史吧。你是不是小学三年级就开始写情书啊?
- 02 A8M:这些都没有、其实我、我是一个就是说那种(つまりあのような)、其实感情在心里面的人、但是我很少就是说(つまり)、说内心那种感情的事情、我很少说出来。 (BEIF08)

訳

- 01 B8M:ちょっと恋愛経験を教えて。小学校3年生からラブレターを書き始めたんですか。
- 02 A8M:これらは全てではないよ。実際僕は、僕はまあ、あの一、実際に感情を心に隠

しているタイプですよ。でも僕はあまり、まあ、心に隠されている感情を、あまり話さない。

例 5-18 は例 5-19 の続きである。B8M の「小学生の時、初めてラブレターを書いた」という話を聞いた後、A8M の恋愛経験をさらに尋ね、3 年生からラブレターを書き始めたかどうかを確認している(01 行目)。A8M は直ちに B8M の推測を否定し、「ない」と答えている。それから、B8M の誤解を解消するために、フィラーを入れながら、自分が感情に対してどんな人間であるかを説明している(02 行目)。答えられる範囲だけを答えて、あまり語りたくないこと(恋愛経験)はぼかして、明確な回答を回避している。

### 5.3.3 発話末における中国語フィラーの機能

最後に、2 つの場面で発話末に出現する中国語フィラーの機能を分析する。

#### 5.3.3.1 発話末における中国語フィラーの機能<フォーマルな場面>

「言葉探し」

例 5-20

01 JL: 呃、那个时候出去闯、呃::前面还栽了跟头，还被别人骗了一次。

02 YL: 哦，还被骗了★一次

03 JL: →骗了一次←

04 YL: 骗了多少钱呢?

05 JL: 嗯: 骗了:: 骗了大概几千万。

06 YL: 嗯哦。

07 JL: 就是签了协议、什么都是正正规规的公司、也是对的、项目也是对的、啊、把协议签了、结果、结果吧那个钱打到这个帐上去的时候、这小子、呃呃、这个(ええ、この)

08 YL: 嗯、没了。

09 JL: 拿了钱就跑了。 (楊瀾訪談録・4)

訳

01 JL: ん、あの時(お金を稼ぐために)外へ出て、えー最初は順調ではなかったので、失敗しました。一回騙されたこともあります。

02 YL: そう、一回★騙されましたか。

03 JL: →一回騙された。←

04 YL: いくら騙されましたか?

05 JL: うーん、大体何千万でした。

06 YL: そうですか。

07 JL: つまり契約を結んで、何もかもきちんとしている会社で、プロジェクトもきちんとしている、あ、契約書にサインしました。結局、結局はね、お金を振り込んだ時、あいつ、ええ、その一

08 YL: 逃げました。

09 JL: お金を持って逃げました。

例 5-20 の直前では、会社を所有する JL が新たな市場を開拓するために事業領域を北から南に移動したという話である。01-06 行目では、南方に来た最初の時に一度騙された経験を語っている。07 行目の「呃呃、这个」(ええ、この) は後続発話内容を探していることを示している。YL は、JL の話を聞き、最後まで聞かなくてもある程度後続内容を予測することができる。JL が言い淀んでいる時に予測した内容を言い出し、発話の完成に協力している(07 行目)。

### 5.3.3.2 発話末における中国語フィラーの機能<インフォーマルな場面>

「言葉探し」

例 5-21 (例 5-5 再掲)

01 B5M: 这奥运会时你要★是

02 A5M: →奥←运会时、这:这将达到一个饱和程度。这个这个(このこの)

03 B5M: 五湖四海的★都:都来

04 A5M: →这个、虽然←就两:两周吧两周多吧、对吧

05 B5M: 两周得多。

(BEIF05)

訳

01 B5M: オリンピックの時も★し

02 A5M: →オ←リンピックの時、えっと一、えっと、(北京にいる人が) 飽和状態に達します。そのその、

03 B5M: 世界各国の(人)★みんな一、みんなが来て。

04 A5M: →この、でも←ただに一、2 週間でしょう 2 週間ちょっとでしょう、そうでしょう。

05 B5M: 2 週間以上。



例 5-21 では、02 行目の末尾で、A5M が「这个这个」（このこの）と言いながら後続発話内容を検索している。B5M は A5M が言葉を探している途中で発話を開始し(03 行目)、A5M の発話はその時点で終了した。04 行目で、A5M は発話が中断された時のフィラー「这个」を再利用して発話権を奪取している。ここでは、02 行目の「这个这个」は話し手が自ら発話終了を示して発話権を相手に譲渡するのではなく、後続内容を探すために言い淀んでいる。

#### 5.4 中国語母語話者による中国語フィラー使用の特徴

ここまで、中国語母語話者による中国語フィラー使用の特徴を、出現位置、場面の改まり度、機能という 3 つの側面から量的及び質的な分析を行った。以下、機能と出現位置、機能と場面の改まり度との関わりを考察する。

##### 5.4.1 機能と出現位置の関わり

発話頭に位置する中国語フィラーは、「言葉探し」「和らげ」「ためらい」「発話権奪取」として使用されている。まず、フォーマルな場面でもインフォーマルな場面でも 1 対 1 の会話であるため、「言葉探し」としてのフィラーは、質問に対する応答の開始部分にだけ用いられている。このフィラーは対人関係調整とは関係なく、単純に、質問にどのように答えるかがただちに分からない、あるいは言語産出上なんらかの困難が生じる時に使われる。次に、「和らげ」と「ためらい」はともに、良好な人間関係を維持するために用いられている。前者は、話し手が質問をする時に聞き手の面子を損なわないように、あるいは負担をかけないように、ストラテジーとして発話の開始部分にフィラーを入れて全体を和らげている。後者は、本来すぐに答えられる「yes/no」クエスションに対して、回答の最初に「はい」か「いいえ」で明確に応答せず、フィラーによって直接的な回答を回避している。答えたくない話題ということを手相に察知させている。最後に、「発話権奪取」としてのフィラーは、聞き手(第 2 話者)が発するフィラーは話し手(第 1 話者)の発話の末尾と重なっている。結果的に、話し手(第 1 話者)の発話が強制的に終わり、聞き手(第 2 話者)は発話権を奪取することに成功して話者交替が生じる。

発話中に位置する中国語フィラーは、フィラーの基本機能としての「言葉探し」は発話中での使用率が一番高く、発話頭と発話末に比べて遥かに上回っている。続いて、「発話継続表明」「和らげ」「ためらい」の使用率も比較的が高い。つまり、発話中に位置するフィラーの使用数は最も多く、バリエーションも最も豊富である。発話者は円滑にコミュニケーションを運ぶために、フィラーを用いて、考える時間を稼いだり、発話の内容や構成を調整したり、対人関係に配慮したりしている。

発話末に位置する中国語フィラーは、「言葉探し」しか使用されていない。

#### 5.4.2 機能と場面の改まり度の関わり

以下では、量的分析結果を踏まえて、フォーマルな場面(インタビュー)とインフォーマルな場面(雑談)を分けて、会話の制度性の特徴からフィラーの機能について考察を行う。

第1に、テレビインタビューの会話の制度性はフィラーの使用にどんな影響を与えているかを考察する。第4章で、インタビュー番組の特殊性を具体的に述べた。簡潔に言えば、司会者側は質問をする義務がある一方、ゲスト側は質問を答える義務がある。両者はそれぞれ相手との対人関係や観客の存在を意識しながら、発話内容を適切に構築する必要がある。

中国語フィラーの機能の下位項目の使用割合(図 5-1、図 5-2 参照)を見ると、「発話継続表明」「和らげ」「ためらい」は、インフォーマルな場面よりフォーマルな場面の使用割合が高い。その理由として、以下の3点が挙げられる。

1 つ目は、「発話継続表明」としてのフィラー使用は、自然会話と異なりインタビュー番組ではゲストは自分の意志で話題を開始したり物語を語ったりすることができず、司会者の質問に答えなければならない。さらに、司会者と観客に合わせて考えながら発話しているため、フィラーの挿入や間を置くことが頻繁に起こる。司会者は会話をスムーズに進行させるため、あいづちも頻繁に打つ。日本語と同様に、中国語の会話データでもあいづちを打たれた後にフィラーで発話継続の意思を表明するという現象が観察された。

2 つ目は、「和らげ」としてのフィラー使用は、司会者側がゲストの気持ちを配慮して、答えにくい質問や相手の面子を損ねる質問を出す前に、フィラーによって発話を緩和している。ゲスト側は、司会者の推測あるいは立場を否定する時にフィラーによって不同意表明を和らげる。これは、インタビュー番組では、視聴率を考慮して、司会者は視聴者の代表として、ゲストのプライバシーに関わる話題やゲストが好まない話題を尋ねることも要請されているためだと思われる。

3 つ目は、「ためらい」としてのフィラーは主にゲストによって用いられている。ゲストは自分の都合を考慮して、あまり言及したくないことについてフィラーを入れて言い淀みながら、発話をぼかして明確な回答を回避する。日本語でも中国語でもフォーマルな場面で「ためらい」としてのフィラーの使用率が高い。それは、インフォーマルな場面よりフォーマルな場面に語りにくい話題が多いためだろう。

第2に、インフォーマルな場面でのフィラー使用の特徴について、量的な分析結果に

基づいて考察を行う。

まず、「情報の曖昧化」「和らげ」「ためらい」「共通理解」としてのフィラー使用率が低い。「情報の曖昧化」は、上で述べたように、雑談場面では情報の明確さがインタビュー場面ほど要求されていない。「和らげ」と「ためらい」の使用率が低いのは、日本語と同様に、場面による影響である。雑談場面では会話参与者2人は上下の関係ではなく、親疎関係でも疎ではないため、対人関係をそれほど配慮しながら会話をする必要がない。「共通理解」は、フォーマルな場面の発話中に出現し、話し手の心情の高ぶりによって、相手の注意を喚起しながら発話内容に引き込む、即ち相手からの共通理解を求めていると解釈できる。日本語のように、フィラーによって相手に共感を示すという現象は観察されなかった。

次に、インフォーマルな場面では、「発話権を奪取する」として使われている。これは、話し手が発話している途中で、聞き手は話し手の言いたいことを理解して最後まで聞かず、フィラーによって発話権を奪取する。なお、この現象は、日本語には観察されなかった。

## 5.5 本章のまとめ

本章では、中国語母語話者による中国語フィラー使用の特徴を解明するため、談話管理の観点から、出現位置と機能、場面の改まり度と機能との関わりについて、例を挙げながら分析・考察を行った。5.1では、フォーマルな場面とインフォーマルな場面での各位置のフィラーの使用率について量的な分析を行い、両場面でも発話中の使用率が一番高く、発話末の使用率が一番低いという日本語フィラーの使用実態と同様な結果が得られた。5.2と5.3では、出現位置と場面の改まり度から、フィラーの機能の量的な分析を行い、さらに例を示しながら質的分析をした。5.4では、出現位置と機能の関わり、場面と機能の関わりという2つの側面から、中国語フィラー使用の特徴について分析・考察を行った。その結果、以下の4点が明らかになった。

- ① 日本語フィラーの使用と同様に、「言葉探し」としての中国語フィラーは発話のどの位置にも現れる。
- ② 発話頭に位置する中国語フィラーは、良好な人間関係を保ちながらコミュニケーションをスムーズに運ぶ機能をする。特に「言葉探し」「和らげ」「ためらい」「発話権奪取」のフィラーの使用率が高い。
- ③ 発話中に位置する中国語フィラーは、「発話内容・構成調整機能」と「対人関係調整機能」としてのフィラー使用は、ほかの位置に比べて最も豊富に使われている。

④ 発話末に位置する中国語フィラーは、「言葉探し」として使用されている。

また、場面の改まり度と機能の関わりに関して、インタビュー番組の制度性は中国語フィラーの使用に影響を及ぼしている。「和らげ」「ためらい」のフィラーの使用率はインフォーマルな場面の使用率を上回っている。

## 第6章 日本語フィラーと中国語フィラーの使用の相違点

日本語にも中国語にもフィラーは存在しているが、その使用の特徴には異なる部分が多い。日本語フィラーに関しては、これまで様々な研究が行われてきた。まず、田中(1981)は、言い淀みを「反復」「言い直し」「有声休止」「無声休止」「その他の言い淀みタイプ」に分類し、それぞれのタイプについての分布の特徴を明らかにした。次に、談話管理理論のアプローチでは、フィラーは話し手の心的操作に関わるものとして扱われている(定延・田窪, 1995; 富樫, 2002)。またフィラーの機能に関しては、「時間稼ぎ」「発話権維持」「相手の注意を引く」「文の調子を整える」「話を和らげる」等の機能を持つことが指摘されている(塩沢, 1979; 小出, 1983; 水上・山下, 2007; 中島, 2011 等参照)。一方、中国語のフィラーに関しては、主に談話標識としての機能から分析が行われている。劉(2009)、刘(2008)、许(2008, 2009)の研究によると、中国語のフィラーは「話題管理」「修復・訂正」「言い淀み」「話題開始」「話題転換」等の機能を持つ。一見すると発話内容と無関係に見えるフィラーだが、実は発話内容・構成調整と対人関係調整という重要な役割を担っている。

第4、5章では、出現位置と機能の関わり、場面の改まり度と機能の関わりという2つの側面から日本語フィラーと中国語フィラーの使用の特徴を論じた。本章では、まず、その分析結果に基づき、日中フィラーの使用の特徴を比較対照させ、総合的な考察を行う。次に、日中接触場面の会話データに基づき、日本語母語話者(以下、JNS と略す)と中国人日本語学習者(以下、CJL と略す)の日本語フィラーの使用実態を比較する。6.1では、フォーマルな場面とインフォーマルな場面に分けて、各位置における日中フィラーの使用実態をまとめる。6.2では、フォーマルな場面とインフォーマルな場面に分けて、日中フィラーの使用の共通点と相違点を明らかにする。6.3では、「発話内容・構成調整機能」と「対人関係調整機能」には、日中フィラー使用の相違点及びその要因を考察する。6.4では、先行研究を概観し、日本語学習者のフィラー使用状況を整理する。6.5では、第2章の日本語フィラーの分類に基づき、JNS と CJL による各類型のフィラーの使用数と割合を算出する。6.6では、日中接触場面の会話データを分析し、JNS と CJL の日本語フィラーの機能別の使用数及び割合を数値で示す。6.7では、発話内容・構成調整、対人関係調整という2つの機能から JNS と CJL による日本語フィラー使用差異を抽出し、会話例を分析する。6.8では、CJL の間の日本語フィラーの使用差異について会話例を観察しながら分析をする。6.9は本章のまとめである。

## 6.1 各位置における日中フィラーの使用実態

第4章と第5章では、各位置の日本語フィラーと中国語フィラーの出現数及び割合を明らかにした。本節では、フォーマルな場面とインフォーマルな場面に分けて、それぞれの数値をまとめる。フォーマルな場面の使用実態は表6-1の通りである。インフォーマルな場面の使用実態は表6-2の通りである。

表6-1 各位置における日中フィラーの使用頻度(フォーマルな場面)

位置 \ 対象	日本語(割合%)	中国語(割合%)
発話頭	96(15%)	56(11%)
発話中	547(84%)	441(88%)
発話末	9(1.4%)	6(1%)
合計	652	503

表6-2 各位置における日中フィラーの使用頻度(インフォーマルな場面)

位置 \ 対象	日本語(割合%)	中国語(割合%)
発話頭	115(32%)	62(6%)
発話中	224(63%)	884(86%)
発話末	19(5.3%)	73(8%)
合計	358	979

表6-1、表6-2に示された量的分析の結果から、次の2点を指摘することができる。

- ① フォーマルな場面では、日本語フィラーと中国語フィラーはともに発話中の使用率が最も高く、過半数を占めている。続いて、発話頭の使用率はそれぞれ15%、11%で、発話末の使用率が一番低い。つまり、各位置のフィラー使用率に関しては、両言語には明確な差異が見られなかった。
- ② インフォーマルな場面では、フォーマルな場面と同様に、両言語ともに発話中の使用率が最も高く、日本語フィラーの使用率は63%で、中国語フィラーの使用率は86%である。続いて、日本語フィラーの場合は、発話頭の使用率は発話末より明らかに高い。一方、中国語フィラーの場合は、発話頭と発話末の使用率に明確な差異が見られなかった。

## 6.2 日中フィラーの使用の相違点

本節では、第4章と第5章の分析結果に基づき、フォーマルな場面とインフォーマルな場面で出現位置とその機能別の日中フィラーの使用回数と割合をまとめる。

### 6.2.1 フォーマルな場面における日中フィラー使用の相違点

まず、フォーマルな場面では、出現位置と機能別の日中フィラーの使用率は、第4章の図4-1、第5章の図5-1を再提示する。日本語フィラーの使用率は図6-1、中国語フィラーの使用率は図6-2の通りである。

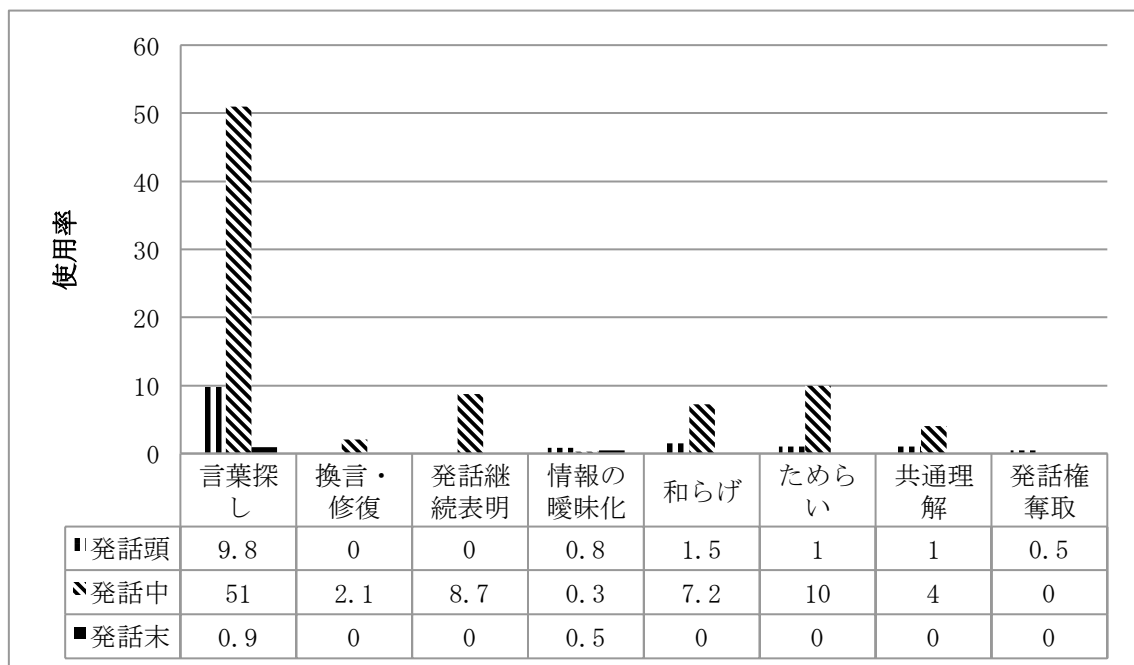


図6-1 出現位置と機能別の日本語フィラーの使用率

(フォーマルな場面) < 図4-1 再掲 >

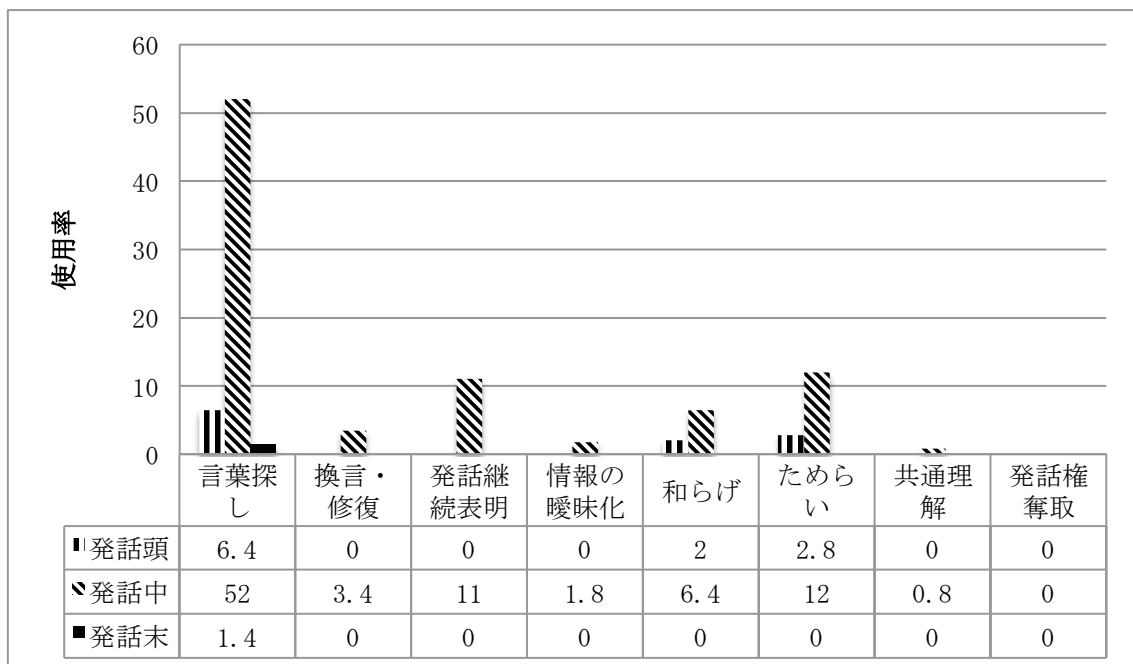


図 6-2 出現位置と機能別の中国語フィラーの使用率  
(フォーマルな場面) <図 5-1 再掲>

図 6-1、図 6-2 に示された量的分析の結果から、次のことが分かった。

① 【共通点】

「言葉探し」は両言語とも全ての位置に出現している。使用率に関して、「発話中」>「発話頭」>「発話末」という順になっている。

「換言・修復」「発話継続表明」は両言語ともに発話中に出現し、使用率の差があまり見られない。

「和らげ」と「ためらい」は両言語とも発話頭と発話中に出現し、「発話中」>「発話頭」である。また、「ためらい」の総使用率は「和らげ」より高い。

② 【相違点】

「情報の曖昧化」は、日本語フィラーは各位置に出現しているのに対し、中国語フィラーは発話中しか出現していない。ただし、総使用率の差があまり見られない。

「共通理解」は、日本語フィラーは発話頭と発話中に出現している一方、中国語フィラーは発話中だけ出現している。その使用率は 0.8%で、日本語フィラーの総使用率(5%)より明らかに低い。

「発話権奪取」は日本語フィラーだけ出現している。ただし、その使用率(0.5%)は極めて低い。



フォーマルな場面では、「発話内容・構成調整機能」としての日中フィラー使用には明確な差異が見られなかった。「対人関係調整機能」の下位項目を見ると、「和らげ」と「ためらい」は、出現位置からの使用率も全体的な使用率も共通している一方、「共通理解」には、それぞれの相違点が明確に見られる。

### 6.2.2 インフォーマルな場面における日中フィラー使用の相違点

次に、インフォーマルな場面の分析結果に基づき、出現位置とその機能別の日中フィラーの使用回数と割合をまとめる。出現位置と機能別の日中フィラーの使用率は、第4章の図4-2、第5章の図5-2を再提示する。日本語フィラーの使用率は図6-3、中国語フィラーの使用率は図6-4の通りである。

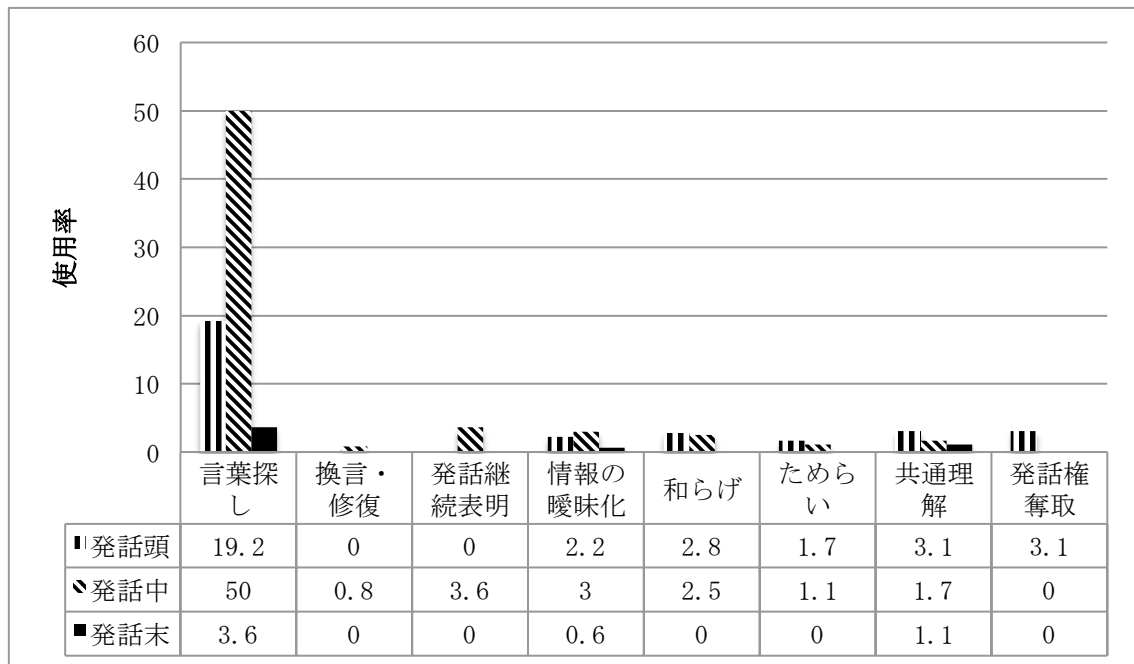


図6-3 出現位置と機能別の日本語フィラーの使用率

(インフォーマルな場面) <図4-2再掲>

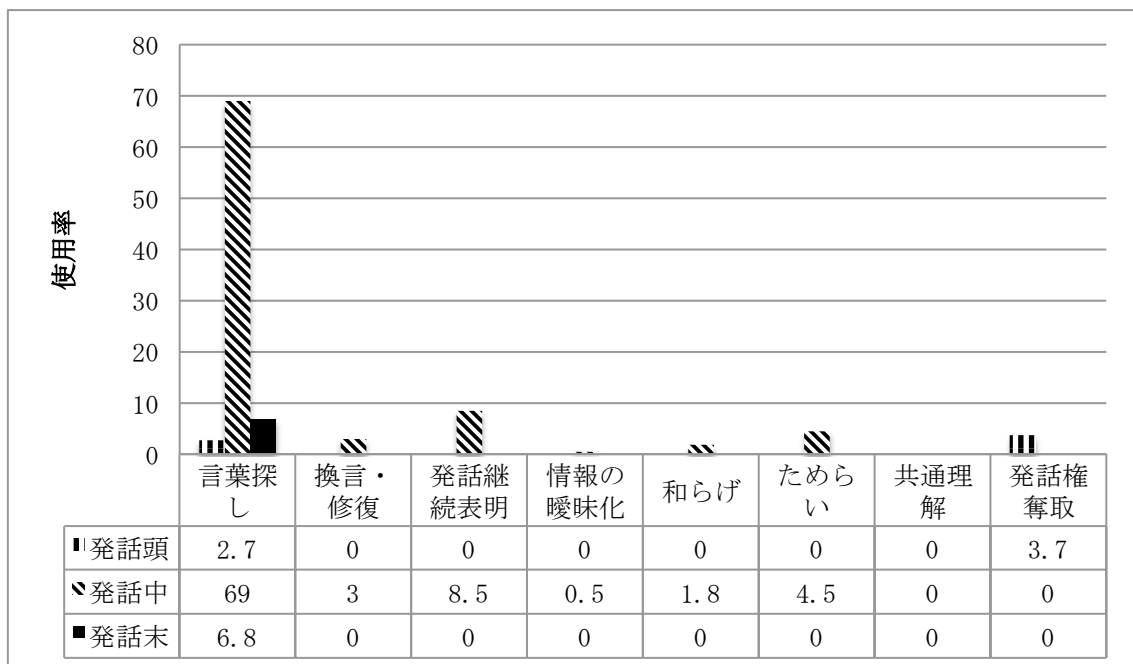


図 6-4 出現位置と機能別の中国語フィラーの使用率  
(インフォーマルな場面) <図 5-2 再掲>

図 6-3、図 6-4 に示された量的分析の結果から、以下のことが分かった。

① 【共通点】

「言葉探し」は、両言語ともに全ての位置に出現している。使用率に関しては、日本語フィラーは「発話中」>「発話頭」>「発話末」、中国語フィラーは「発話中」>「発話末」>「発話頭」という順になっている。

「換言・修復」「発話継続表明」は両言語とも発話中に出現し、使用率の差があまり見られない。

「発話権奪取」は両言語ともに出現している。

② 【相違点】

「情報の曖昧化」は、日本語フィラーは各位置に出現している一方、中国語フィラーは発話中しか出現していない。また、日本語フィラーの総使用率(5.8%)は中国語フィラー(0.5%)より明らかに高い。

「対人関係調整機能」の総使用率に関して、日本語フィラーは 17.1%であるのに対し、中国語フィラーは 10%である。日本語フィラーの使用率が高い。

「和らげ」と「ためらい」は、日本語フィラーは発話頭と発話中に出現している一方、中国語フィラーは発話中しか出現していない。

「共通理解」は、日本語フィラーは各位置に出現している一方、中国語フィラー

ほどの位置にも出現していない。

インフォーマルな場面でも、フォーマルな場面と同様に、「発話内容・構成調整機能」には明確な差異が見られなかったが、「対人関係調整機能」には明らかな差異が出ている。日中フィラーの総使用率を見ると、中国語ではフィラーを対人関係調整のストラテジーとして日本語ほど使用していないことが分かる。「共通理解」としてのフィラーの使用は、フォーマルな場面と類似している。加えて、インフォーマルな場面では中国語フィラーの使用は1例も観察されなかった。

### 6.3 機能から見た日中フィラー使用の相違点

本節では、前節の分析に基づき、フィラーの「発話内容・構成調整機能」と「対人関係調整機能」から日中フィラー使用の相違点とその要因について考察を行う。

#### 6.3.1 「和らげ」と「ためらい」から見た日中フィラー使用の相違点

「和らげ」は聞き手の気持ちや面子を配慮して発話を和らげるのに対し、「ためらい」は話し手自身の気持ちや面子を配慮して発話内容を曖昧化していることを聞き手に察知させる。そこで、本節ではこの2つの機能を対照的に考察する。

日本語フィラーと中国語フィラーの「和らげ」と「ためらい」の使用率を見ると、フォーマルな場面では、両言語ともに「ためらい」の使用率は「和らげ」より高い。これは、第4章と第5章で述べたように、テレビインタビュー番組では、ゲストは司会者の質問に対して、公的に言及したくないことについて、フィラーによって回答を曖昧化する、または直接的な回答を回避することができて、それを司会者に察知させる。一方、インフォーマルな場面(雑談)では、日本語フィラーの使用率は「和らげ」>「ためらい」である一方、中国語フィラーの使用率は「ためらい」>「和らげ」である。つまり、円滑なコミュニケーションを遂行するために、日本語では聞き手のフェイスを保つために発話内容を緩和する「聞き手中心」であるのに対し、中国語では聞き手に配慮するよりは自己防衛のために応答を曖昧化・間接化する「話し手中心」であると言える。例えば、それぞれ日本語の例(例6-1)、中国語の例(例6-2)が挙げられる。

例6-1(例4-16再掲)

- 01 KT:お嬢さんからお手紙のやりとりとかしてらっしゃる?
- 02 NH:あんまり手紙はないですね。
- 03 KT:ほんと。

- 04 NH: メールとか。
- 05 KT: そうね。サンキューっていうカードです。ちょっと、あのいいですか? サオリさんご紹介して。いい?
- 06 NH: はい。
- 07 KT: マミーへ。あ、ほんとだ、マミーだ。「マミーへ。慌てないで、たまにはゆっくり。無理しないでね。なんでもない毎日が、ホントはとっても幸せだったこと。ありがとう。いつも感謝しています。さおり。」
- 08 NH: はい。ありがとう。 (徹子の部屋・1)

#### 例 6-2 (例 5-19 再掲)

- 01 B8M: 那你谈一谈你的恋爱史吧。你是不是小学三年级就开始写情书啊?
- 02 A8M: 这些都没有、其实我、我是一个就是说那种(つまりあのような)、其实感情在心里面的人、但是我很少、就是说(つまり)、说内心那种感情的事情、我很少说出来。 (BEIF08)

訳

- 01 B8M: ちょっと恋愛経験を教えて。小学校3年生からラブレターを書き始めたんですか。
- 02 A8M: これらは全てではないよ。実際僕は、僕はまあ、あの一、実際に感情を心に隠しているタイプですよ。でも僕はあまり、まあ、心に隠されている感情を、あまり話さない。

### 6.3.2 「共通理解」から見た日中フィラー使用の相違点

「共通理解」としてのフィラー使用に関しては、日本語フィラーは発話頭と発話中に出現している一方、中国語フィラーは発話中しか出現していない。総使用率を見ると、日本語フィラーは5%であるのに対し、中国語フィラーはただ0.8%に留まっている。会話は話し手と聞き手が共に作り上げるものである。「共通理解」には、話し手は聞き手を自分側に引き込み、聞き手の会話への参加意欲を高めて共感を求めるという側面がある一方、聞き手は話し手の主張や立場等に共感を示したりなだめたりして、共通理解を組み立て、談話を滑らかに進行させる側面もある。

日中両言語の会話データの分析結果によると、日本語では、ゲストは「もう」を用いて自分の気持ち・感情を強めて話しながら司会者の共通理解を求める一方、司会者は「まあ」を用いてゲストへの共感を示す。このように、会話参加者はお互いに協力して会話を構築している。一方中国語では、「共通理解」としてのフィラー使用は4例しか見ら

れなかった。この4例は全て、ゲストが自分の出来事を語る時、フィラーを入れて心情の高まりを表し司会者の共感を求めるものである。例えば、それぞれ日本語の例(例6-3、例6-4)、中国語の例(例6-5)が挙げられる。

#### 例 6-3

- 01 KT: まそりやすごいですよ。30カ国って言うんですから、色んな国。え、それ  
とにか、あの、まバスくらいは使うの？
- 02 NI: 基本、あの、飛行機よりもバスで、
- 03 KT: うん
- 04 NI: 陸路で移動することが多かった、多かったですよ。
- 05 KT: どうでしょうね。飛行機だとお金がかかりますものね。
- 06 NI: そうですね。はい。
- 07 KT: **まあ**、とにか、大変たくさんの国に行ってらっしゃってね、**まあ**、びっくりするくらいなんですけども、相当心臓も強くないとね。
- 08 NI: うーん、まあ
- 09 KT: そいで意志も強くないとね。 (徹子の部屋・4)

#### 例 6-4

- 01 KT: でも面白いはね。その、ま、一回目はお家の中で。
- 02 NH: はい、そう。
- 03 KT: ただ転んだの？その時はけがなかったの？
- 04 NH: が、膝っこぞうを転んでぐらいで。
- 05 KT: 転んだぐらいで。
- 06 NH: だからそれが三月なんですよ、全部。
- 07 KT: へー。
- 08 NH: 二度ある事は三度あるってよく言いました。
- 09 KT: ほんとにね。
- 10 NH: 三もありました。
- 11 KT: **まあね**、でもそういう事、本当はずみってね。何でもない時は、なん、ただね。私もそうなんです、こう勢いがねなんかあなたもそうだと思うんだけどね。
- 12 NH: うん。 (徹子の部屋・1)

#### 例 6-5(例 2-33 再掲)

- 01 YL: 说说你第一次到、刚刚到北京的时候、你的感觉。
- 02 ZX: 第一次就觉得、**哎(あ)**、很兴奋、**那种(あのよう)**、看什么东西都是、咦、咦  
(笑) 就那种 (笑)
- 03 YL: (大笑) 所以那个时候你觉得、哎呀、我要是有一天能做到像谁那样就不错了、有没有这样的一种目标?
- 04 ZX: 没有。 (楊瀾訪談録・1)
- 訳
- 01 YL: 最初、北京に着いたとき、あなたが感じたことを教えてくださいませんか。
- 02 ZX: 最初は、**もう**、すごく興奮していたと思います。**あの一**、何を見ても、え↑、え↑ (笑い) つまりあのよう (笑い)
- 03 YL: (大笑い) だからあの時あなた、あ、いつか私もあの方のようになれたらいいなあ、このいう目標はありますか?
- 04 ZX: ないです。

日本語では、例 6-3 のように、「まあ」は「とにかく」「いずれにしても」等と共に、後続発話には評価する内容やいいことを取り上げて、相手に共感を示している。あるいは、例 6-4 のように、相手のことを聞いた後、「まあね」と言いながら先行発話に対する理解を示し、さらに自分が経験した共通の出来事を語る。一方中国語では、フィラーを用いて相手に共感を示す例は観察されなかった。全ては例 6-5 のように、自分の心情の高ぶりによって相手の共感を求めるフィラーのみ観察された。

また、司会者は、共感を示すことによって積極的にゲストの話の話を聞いている姿勢を示していると同時に、ゲストへ物語の更なる展開も促進していると言える。

### 6.3.3 「発話権奪取」から見た日中フィラー使用の相違点

Sacks et al. (1974) は、話者が交替する可能性がある場所を「話者移行最適な場所 (transition relevant place; TRP)」と呼んでいる。話者交替システムには大きく以下のような 2 つのルールがある。

#### ルール 1

- a. 現在の話し手が次の話し手を選択する。

現在の話し手が次の話し手を選択したら、現在の話し手は発話をやめ、選択された次の話し手が発話権をとり、発話する義務がある。

- b. 次の話し手が自ら発話権を取る。

現在の話し手が次の話し手を選択しなかったとしたら、最初に話し始めた者が発話権を取得する。

c. 現在の話し手が続けて話す。

現在の話し手が次の話し手を選択せず、他の会話参加者が自ら発話権を取らない場合は、現在の話し手が続けて話す。ただし、話す義務がない。

ルール 2

もしルール 1c が適用されたら、次の話者移行最適な場所でルール 1a-1b-1c が再適用される。

山田(1999)は、Sacks 他が提唱した会話の順番取りシステムを踏まえて、2つのタイプの割り込みという会話現象が観察されたと述べている。1つ目は、順番取りシステムが規範的にはたらいっている時、割り込みは順番の潜在完結点で生じている。2つ目は、規範的な順番配分規則を破る時、割り込みは順番の潜在完結点以外で生じる。

本研究での「発話権奪取」とは、フィラーを用いることによって発話権取得が行われ、話者が交替することが成し遂げられるということである。日中の会話データの分析に基づき、両言語ともにフィラーによって発話権を奪取している。しかし、発話権奪取の仕方が異なっている。日本語の場合は、「発話権奪取」は Sacks 他が提唱した話者交替ルールから逸脱している。次の話者として選択されなかった場合、自ら発話権を取り、発話を開始する。例えば、4人の大学生による雑談(例 6-6)では、男性と女性がそれぞれ集団になって会話している。女性2人(A1F、B1F)は恋愛と結婚が違うという立場に立っているのに対し、男性2人(B1M、C1M)は恋愛と結婚が同じであるという立場に立っている。09行目で、B1Mは発話末が上昇イントネーションで女性2人に問いかけている。ただし、2人の誰かを明確に指定していない。10行目で、次の話者と選択されていないC1Mは「なんか」によって発話権を奪取し、発話を開始する。

例 6-6(例 4-10 再掲)

- 01 A1F: 女はさあ、なんか、結婚はこんな人とか、
- 02 B1F: でも、恋愛はこういう人★がいいみたいな。
- 03 A1F: →そうそうそう★そうそうそうそう←なんか理想とげんじ★つが違うじゃん。
- 04 B1M: →えへえー?←
- 05 B1F: →全然違うよね?←たぶん
- 06 A1F: ち★がう
- 07 B1M: →そうなの?←

- 08 C1M: あ、★そうなんだ。ああ、じゃあ、俺一緒かもしれない。  
 09 B1M: →そんな変わってくるの?←一緒じゃない?  
 10 C1M: なんか、付き合ったらー、  
 11 B1F: そのまま  
 12 C1M: 行きたいなあってゆう (Sakura02)

中国語の場合は、「発話権取得」は、主に Sacks 他が提唱した話者交替ルールから逸脱している。つまり、2人の大学生による雑談では、「話者移行最適な場所(transition relevant place; TRP)」ではない場所でフィラーによって割り込んで、オーバーラップが発生している。あるいは、話し手がフィラーを言いながら言葉を探している途中で、フィラーによって発話権を奪取する。以下の例 6-7 が挙げられる。

例 6-7 (例 2-35 再掲)

- 01 B5M: 这奥运会时你要★是  
 02 A5M: →奥←运会时、这:这将达到一个饱和程度。这个这个  
 03 B5M: 五湖四海的★都:都来  
 04 A5M: →这个(この)、虽然←就两:两周吧两周多吧、对吧  
 05 B5M: 两周得多。 (BEIF05)

訳

- 01 B5M: オリンピックの時も★し  
 02 A5M: →オ←リンピックの時、えっと:えっと、(北京にいる人が) 飽和状態に達します。えっと、えっと、  
 03 B5M: 世界各国の(人)★みんな:、みんなが来て。  
 04 A5M: →あの一、それにしても←ただ一、2週間でしょう2週間ちょっとでしょう、  
 そうですね。  
 05 B5M: 2週間以上。

久米他(2000)は、中国人と日本人のコミュニケーション・スタイルの特徴について、中国人の会話では割り込みがよく見られ、会話独占も見られるのに対し、日本人の会話では割り込みが少ないが、会話独占が見られると述べている。「発話権奪取」による割り込みが多いことから、中国語母語話者は日本語母語話者より自己主張が強い傾向が見られる。張(2010:113)は、日中の自己主張のスタイルの特徴として、「中国人が熱意・責任感・義務的に主張しているのと比べて、日本人は個人の立場をわきまえ、控えめに



方略的に主張をしている」と述べている。

#### 6.4 先行研究における日本語学習者のフィラーの使用状況

本節では、先行研究を概観し、日本語学習者による日本語フィラーの使用状況を整理する。

まず、尾崎(1981)は、3人の日本語学習者のインタビュー場面の会話を観察し、3人とも話をぼかす効果がある「まあ」「なんか」「もう」「むしろ」を話のリズムを取る遊び言葉のように使用していると述べている。また、学習者の日本語フィラー使用では、単純な事柄を述べる時に「あの」「まあ」等の間投詞を多用すると逆に耳障りというマイナスな印象を与えることになると指摘している。

次に、学習者の日本語レベルとフィラー使用の分布との関係性に関して、小出(2010)は、日本語学習者を初級上、中級上、上級、超級に分けて、それぞれのグループのフィラー使用分布を調べて、以下のようにまとめている。

日本語学習者のレベルごとの出現フィラーの推移傾向：

- ①初級：母音延引系(「アー」類)
- ②中級：指示詞系「あの一」
- ③上級：副詞系「まあ」「もう」、母音延引系「えー」「えーと」
- ④超級：指示詞系「こう」 (小出 2010 : 100)

最後に、日本語母語話者と中国人日本語学習者の日本語フィラー使用の相違点に関して、周(2012)は、依頼行動で日本語母語話者と中国人日本語学習者が使用したフィラーの特徴及び相違点の生起要因について考察を行った。結果をまとめると、①母語話者は学習者よりフィラーの使用数が多い、②母語話者が多用しているフィラーは、学習者はそれほど多用していない(例えば「ちょっと、んー」、「まあ」「もう」)、③母語話者がそれほど多く使用していないフィラーを学習者がよく使っている(例えば、「ええと」や「ええっとねえ」等の「エエト系」)の3点が挙げられた。このような相違の要因として、「チョット」系、「マア」系、「モウ」系という副詞の形式のフィラーは話者の個性と深く結びつく、癖のような存在であるため、母語話者のように活用することが難しいと述べている。

以上、日本語学習者のフィラー使用特徴、日本語レベルとフィラー使用の分布との関係性、日本語母語話者と中国人日本語学習者のフィラー使用の相違点という3つの側面から日本語学習者によるフィラーの使用状況の先行研究を概観した。副詞系の「まあ」

「もう」「ちょっと」は学習者にとって習得しにくい一方、フィラーの不自然な運用も存在していることが分かった。

## 6.5 JNS と CJL による各類型日本語フィラーの使用状況

本節では、日中接触場面の会話データに基づき、JNS と CJL による各類型のフィラーの使用数と割合を算出する。まず、第2章で記述した日本語フィラーの分類を再提示する。日本語会話データでよく観察されるフィラーは以下の6類型に分けられる。

- ① 指示詞型（「あのー」類、「そのー」類、「このー」類）
- ② 副詞型（「なんか」類、「もう」類、「ちょっと」類）
- ③ 感動詞型（「まあ」類、「ほら」）
- ④ 接続詞型（「でー」類）
- ⑤ 応答詞型（「はい」、「うん」）
- ⑥ 有声休止（「えーと」類、「んー」類）

次に、この分類に基づき、JNS と CJL による各類型のフィラー使用数及び割合を示す。表 6-3 の通りである。

表 6-3 JNS と CJL による各類型のフィラーの使用数と割合

話者		JNS	CJL
類型			
指示詞型	「あのー」類	48 (12.8%)	105 (22.3%)
	「そのー」類	41 (11%)	14 (3%)
	「このー」類	4 (1.1%)	6 (1.3%)
	小計	93 (24.9%)	125 (26.6%)
副詞型	「なんか」類	52 (13.9%)	188 (40%)
	「まあ」類	81 (21.7%)	50 (10.6%)
	「もう」類	15 (4%)	18 (3.8%)
	「ちょっと」類	20 (5.3%)	7 (1.5%)
	「こう」	18 (4.8%)	8 (1.7%)
	小計	186 (49.7%)	271 (57.7%)
感動詞型	「ほら」	2 (0.5%)	1 (0.2%)

接続詞型	「でー」類	41 (11%)	20 (4.3%)
応答詞型	「はい」	1 (0.3%)	2 (0.4%)
	「うん」	0 (0)	9 (1.9%)
	小計	1 (0.3%)	11 (2.3%)
有声休止	「えーと」類	41 (11%)	32 (6.8%)
	「んー」類	10 (2.7%)	10 (2.1%)
	小計	51 (13.6%)	42 (8.9%)

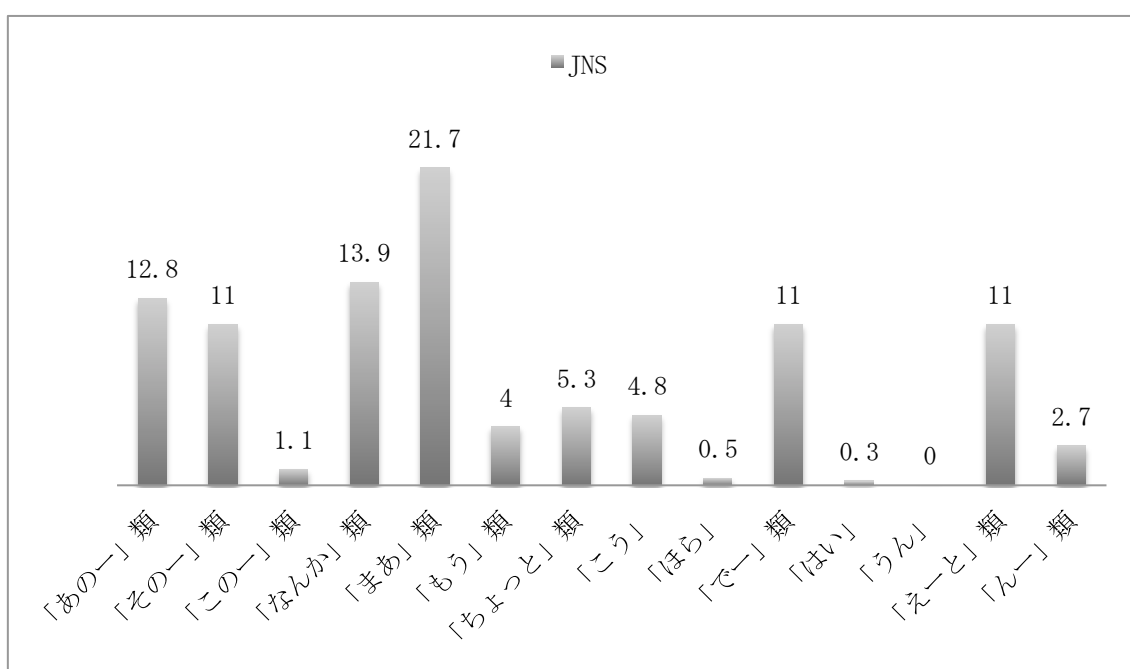


図 6-5 JNS による各類型のフィラーの使用割合

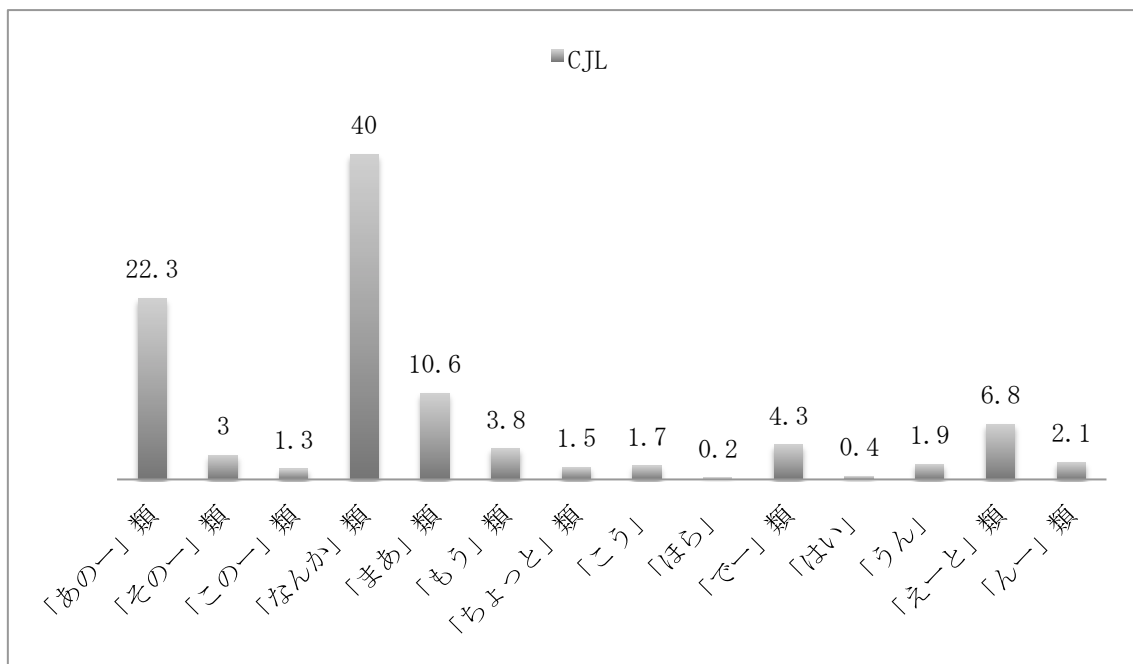


図 6-6 CJL による各類型のフィラーの使用割合

表 6-3 及び図 6-5 と図 6-6 の分析結果から、以下の 5 点が分かった。

- ① JNS は様々なバリエーションのフィラーを使っている。
- ② CJL はフィラーの使用に偏りが見られた。例えば、「あの一」類、「なんか」類を多用している。
- ③ JNS の使用率がより高いフィラー：「その一」類、「まあ」類、「ちょっと」類、「こう」、「で一」類、「えーと」類
- ④ CJL の使用率がより高いフィラー：「あの一」類、「なんか」類、「うん」類
- ⑤ JNS と CJL の使用率がほぼ同じであるフィラー：「この一」類、「もう」類、「ほら」、「はい」、「んー」類

以上の結果に基づき、CJL は「その一」「まあ」「ちょっと」「こう」「えーと」を JNS のように使用していないことが分かった。これは、小出(2010)が指摘した、学習者の日本語レベルとフィラー使用の推移傾向にも一致している。「まあ」、「えーと」、「こう」は、上級または超級レベルに達するとより上手に使えると述べている。本研究の調査対象の CJL は日本滞在歴が 3 年から 5 年までの人が多く、日本語レベルは中上級であると思われる。

## 6.6 機能に基づく JNS と CJL の日本語フィラーの使用実態

本節では、第2章で記述したフィラーの機能の分類を踏まえて、JNS と CJL の機能別の使用数及び割合を数値で示す。

表 6-4 JNS と CJL による日本語フィラーの機能別の使用数と割合

機能		話者	JNS	CJL
発話内容・構成調整機能	言葉探し		254 (68%)	346 (74%)
	換言・修復		9 (2.4%)	2 (0.4%)
	発話継続表明		29 (7.8%)	75 (16%)
	情報の曖昧化		15 (4%)	17 (3.6%)
	小計		307 (82.3%)	440 (94.2%)
対人関係調整機能	和らげ		43 (11.5%)	3 (0.6%)
	ためらい		3 (0.8%)	9 (1.9%)
	共通理解		16 (4.3%)	6 (1.3%)
	発話権奪取		4 (1.1%)	9 (1.9%)
	小計		66 (17.7%)	27 (5.8%)

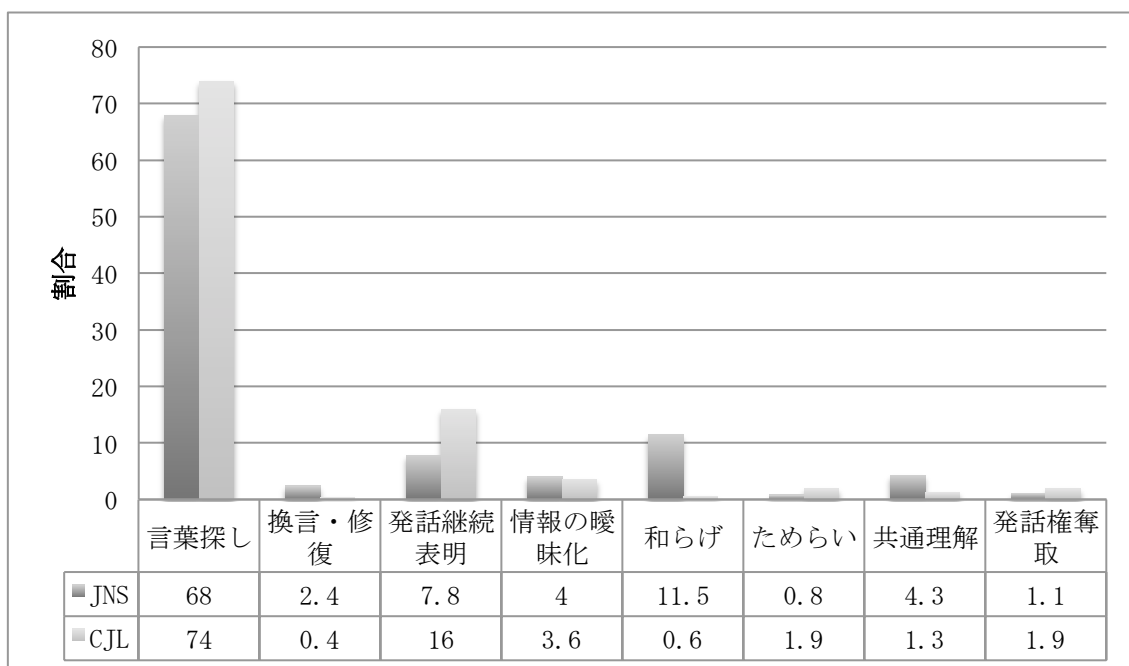


図 6-7 JNS と CJL による日本語フィラーの機能別の使用割合

表 6-4 及び図 6-7 の分析結果から、以下の 3 点分かる。

- ① JNS と CJL と共に「発話内容・構成調整機能」の使用率が「対人関係調整機能」より高い。
- ② 「発話内容・構成調整機能」について、「発話継続表明」の使用率は CJL のほうが高い。一方、「換言・修復」の使用割合は JNS のほうがやや高い。
- ③ 「対人関係調整機能」について、まず、「和らげ」の使用率は、JNS が CJL を遥かに上回っている。次に、「共通理解」の使用割合は JNS のほうがやや高いのに対し、「ためらい」は CJL のほうがやや高い。最後に、「発話権奪取」の使用率はほぼ同様である。

JNS と CJL による機能別のフィルター使用の相違点から見ると、まず、CJL の「発話継続表明」の使用率が高い要因として、日中接触場面のインタビュー会話では、インタビュイーとしての CJL は語彙の意味を説明する時、インタビュアーとしての JNS により頻繁にあいづちを打たれている。フィルターを多用して発話のリズムを整えながら、発話継続の意思を相手に伝えるためであると考えられる。次に、フィルターを会話ストラテジーとして使う際、JNS は相手の心情を配慮して発話を和らげたり共感を示したりしているような「聞き手指向」のフィルター使用傾向であるのに対し、CJL は自分自身の事情を考慮して応答を曖昧化・間接化しているような「話し手指向」のフィルター使用傾向であると言える。

## 6.7 機能別に基づく JNS と CJL の日本語フィルター使用の特徴

本節では、発話内容・構成調整機能、対人関係調整機能という 2 つの機能から JNS と CJL によるフィルター使用の相違点を抽出し、実際の例を示して分析を行う。

### 6.7.1 発話内容・構成調整機能に基づく JNS と CJL の日本語フィルター使用の特徴

まず、「言葉探し」としての JNS と CJL の日本語フィルター使用の相違点を分析する。以下は JNS の「言葉探し」の例である。例 7-1 はゼミでのディスカッションの場面で、JF1 は CF2 の発表に対してアドバイスを述べている。

例 6-8

- 01 CF4: で、学生は先生に謝るんですか。
- 02 JF2: 学生はこっちでも、★そっちでも

- 03 JF1:両方にも←謝る。
- 04 JF2:両方でも謝る、こっちでも(笑い)
- 05 JF1:うん、うん、ていうようなのがあるんですよ、なんかね、こう、こういう、その、ほら、もちろん類型も必要だし、その誠実条件と本質条件もいるんだけど、なんか、そういうこう、こう、具体的な場面に目指して、違いがあるんですよ。  
(略)
- 06 CF2:はい。 (日中自然会話・3)<sup>57</sup>

例 6-8 では、日本語による謝罪が日本語学習者に理解できないことがあると話している。例の直前まで、学生がミスをした時には、学生と指導教員が共に学長に謝ると話した。05 行目で、考える時間が長くなればなるほど、「なんかね、こう、こういう、その、ほら」という 5 種類のフィラーを巧み転換して時間を稼いでいる。このように思考時間が長い場合、同形態のフィラーを繰り返したりいくつかのフィラーを重複して挿入したりすると、逆に堅苦しい印象を与えてしまう。これは、流暢さを欠いた発話を自然に聞こえるようにする方略の 1 つと言える。さらに、接続助詞「けど」の後ろに「なんか」「こう」を入れて発話のペースを整え、言語表現を検索している心的操作に入っていることを示す。こうすると、聞き手にも落ち着いた感じが伝わるだろう。

続いて、CJL の「言葉探し」の例を示す。例 6-9 は JF3 が教師を、CF7 が学生を演じる日本語模擬授業である。録音を流した後、教師 JF3 は学生 CF7 に録音の内容を復唱させている。

#### 例 6-9

- 01 JF3:何か聞こえましたか。
- 02 CF7:えーと、第二地域の方が、あの一、きよだ、ああ、巨大な文明から、えーっと、制度を取り入れて、えーっと、例えば、中国から一、は、ああ、発生した、封建制度を、えーっと、日本で、全国を統一され、そして、えーっと一、長い歴史を通して、えーっと、成立される、ました。先生、ここで、わからないところなんですけど
- 03 JF3:はい。 (日中自然会話・4)

例 6-9 では、CF7 は JF3 の質問に対して、まず、「えーと」を発することによって、

<sup>57</sup> 「日中自然会話・3」は筆者自ら収集した「自然会話における日本語母語話者と中国人日本語学習者間の会話」の会話例 3 を指す(付録参照)。

応答する前に短い検索時間を稼いでいる(02 行目)。そして、一発話が終わった後、フィラーを挿入するのではなく、文節と文節の間にフィラーを入れながら言い淀んでいる。使用されているフィラーは「えーと」、「あー」、「ああ」という 3 種類しかない。JNS の発話のように何種類ものフィラーが連続して出現するのではなく、同じ種類のフィラーを繰り返しながら発話の中に入れ込む形である。このような発話は、話し手のフィラーの種類の少なさや日本語の流暢さの不足という印象を聞き手に与えている。また、話し手が緊張しているという様子も窺われる。

このように、時間を稼ぎたい場合、JNS は何種類かフィラーを巧妙に交替させ、思考時間が長い際にはフィラーを連続して取り入れる形で話をスムーズに進めていく一方、CJL は文節の間、あるいは単語の間に、「あー」「えーと」のような日常生活で最も頻繁に使われているフィラーを 1 つずつ入れながら発話を進行させるという違いが見られる。

次に、「発話継続表明」としての JNS と CJL の日本語フィラー使用の相違点を分析する。表 6-4 の数値を見ると、「発話継続表明」としてのフィラー使用は明確な差異が見られた。以下では、聞き手のあいづちの後に出現している話し手のフィラーに注目し、JNS と CJL はフィラーを用いてどのように発話権の継続を表明しているかを分析する。

#### 例 6-10 (JNS による発話継続表明の例)

- 01 I:なるほど、わかりました。じゃあ、  
02 CN3:はい。  
03 I:ちょっと、これ、この間受けてもらったテストなんですけど、  
04 CN3:はい。  
05 I:ま、文脈がないものですね。  
06 CN3:あー、はいはいはい。  
07 I:で、このー、丸が、えーついでるもの、  
08 CN3:はい。 (日中インタビュー・3)<sup>58</sup>

#### 例 6-11 (CJL による発話継続表明の例)

- 01 I:うーん。なるほど。じゃあ、最後、この 3 つですけど。75 番(ガッツポーズ)  
02 CN1:「ガッツ」はたぶん、勝利するときの  
03 I:うん。

<sup>58</sup> 「日中インタビュー・3」はインタビューにおける日本語母語話者と中国人日本語学習者間の会話データの資料 3 を指す(表 3-6 参照)。



- 04 CN1: **なんか**、その、ポーズですね。
- 05 I: あー。
- 06 CN1: 写真撮るときに、
- 07 I: うん
- 08 CN1: **なんか**、勝利のポーズ。
- 09 I: それは、どこから、どうしてどう思いましたか？
- 10 CN1: **えー**、ガッツ、なんか、それは、なんか、ガッツといたら、
- 11 I: うん。
- 12 CN1: **なんか**、勝利の、そのときなんか、とても嬉しいな、
- 13 I: うん。 (日中インタビュー・1)

例 6-10 と例 6-11 は、JNS(I)のCJL(CN1、CN3)に対するインタビューの会話から抽出した断片である。例 6-10 は JNS による「発話継続表明」の使用例である。聞き手にあいづちを打たれた後、「まあ」、「で」(05、07 行目)という異なる形態のフィラーによって発話継続の意思を表明して発話を続けている。一方、例 6-11 は CJL による「発話継続表明」の使用例である。CJL はあいづちを打たれた後、「なんか」「えー」を用いて発話の継続意思を表明している。「なんか」は 3 回使用されている。JNS のフィラー使用に比べると、CJL が「なんか」を繰り返して使用することは、聞き手に違和感を感じられる可能性がある。

### 6.7.2 対人関係調整機能に基づく JNS と CJL の日本語フィラー使用の特徴

「対人関係調整機能」の下位項目を見ると、「和らげ」「ためらい」「共通理解」は JNS と CJL の相違点が見られる。会話データの分析結果からは、「和らげ」「ためらい」「共通理解」として使われている数多くの形態のフィラーとして、「まあ」が過半数を占めている。「まあ」の機能と対人関係調整との関わりに関して、加藤(1999)は、「とりあえずの反応」という基本機能を有する「まあ」は、①聞き手の立場に立ってなだめる効果がある、②相手の依頼や期待に十分に応えない気持ちを伝える作用があり、更なるマイナスな内容を和らげて伝える効果がある、と述べている。富樫(2002)は、「まあ」の本質的機能は心内での計算処理過程の曖昧性を示すこと、さらに「まあ」は「聞き手への働きかけ」という本質的機能から派生する効果があることを指摘している。派生的効果とは、具体的には①聞き手の感情を和らげるあるいはなだめる効果、②はっきり言いたくない情報を隠すことができる効果である。以上の先行研究を踏まえると、「まあ」は「発話を和らげる」(和らげ)、「言及したくないことを隠す」(ためらい)、「相手をな

だめる」(共通理解) という3つの機能を持ち、人間関係を調整するためによく使用されるとまとめることができる。以下では、対人関係調整機能に基づくJNSとCJLのフィルター使用の相違点を明らかにするために、それぞれの「まあ」の例を取り上げて分析する。まず、JNSによる「まあ」の例である。

例6-12

- 01 JF1: うん、①ま、それ、ちょっと見てみたらいいのかな。これ、②まあ、もちろんその、あれなんだけど、それ以上のものがちょっとないので、で、これから広げるとしたら、なんか、③まあ、Kさんはそう、そんなにしてなかったんですよ、その中の表情とかなんかっていうふうなので、すごく面白くそう、その顔の表情をやっていたんですよ。顔、なかなかちょっと、で、もう、その後、だから、顔の表情は、もう、これ以上やってもいいだなあ、その時、やめていたんですよ。(笑い)それは、そのところでやめたんですけど、あ、う、一応、その時には、その顔の表情とかっていうふうなのを使っていたんですよ。
- 02 CF2: はい。
- 03 JF1: なんだけど、④まあ、そうじゃないところでも、こういう場合に上司が謝るとか、謝らないとかっていうのも、ちょっと全然違う↑ところなので、なんかね、そういうところに焦点を当てて、たくさん例文を取る。
- 04 CF2: はい。 (日中自然会話・3)

例6-12はゼミのディスカッション場面で、JF1はCF2の研究に対してアドバイスを与えている。この断片の直前でJF1はCF2に対して、ドラマから抽出された謝罪場面について日本人と台湾人を対象にアンケートを実施し、その反応の相違点を分析するというアドバイスを出した。01と03行目で、4ヶ所に「まあ」が出現している。「①ま」は、JF1が提案を出す前に、自分の意見を相手に押し付けないように発話を和らげる効果がある。「②まあ」の後続内容を見ると、相手のフェイスを損ねる発言ではないため、単に言葉を探していると言える。「③まあ」は聞き手がこれまでしてこなかったと述べる前に位置しており、聞き手にとって好ましくない話題に触れる前に「まあ」を挿入して発話を和らげ、聞き手への損害を減少させている。「④まあ」の前の発話(01行目の後半)でJF1は、CF2がすでに研究対象から外した顔の表情も研究対象に含めたほうがおもしろいという自分の主張・意見を述べている。03行目で、「なんだけど」という逆接表現の後に、「④まあ」を入れて、相手と異なる立場に立つことを避け、発話を和らげて、さらに後続発話でCF2の現在の研究方向を認めている。

例 6-13

- 01 I: 中国語、母語の人がちょっと低かったですよ。他の人よりも、  
02 CN2: うーん。  
03 I: ま、母語の影響なのか、なんかのかっていうのを、今ちょっと、考察しているところなんですけど、  
04 CN2: うーん。 (日中インタビュー・2)

例 6-13 の 01 行目で I は、CN2 に対して、中国語母語話者の外来語の意味推測テストの点数が低かったことを述べるのは相手のフェイスを脅かす恐れがあるため、03 行目で「ま」を入れて話を和らげている。

例 6-14

- 01 I: ちょっと、それで、いろいろ今日、インタビューをしたいと思ってまして、まずですね、その、カタカナ語、外来語の学習、(CN2: うん。)の中でも、まあ、読む、こととか、書くこととか、聞くこと話すことあるじゃないですか?  
02 CN2: うーん。  
03 I: その中でなんか、とくに難しいとか、思う、点はありますか?  
04 CN2: ###  
05 I: まあ、ま、なんか一般的にでもいいですよ。  
06 CN2: 一般的?  
07 I: うん。  
08 CN2: どっちも難しいような、気がします。 (日中インタビュー・2)

例 6-14 では、I は CN2 に外来語学習の難点について質問している(01-03 行目)。04 行目の CN2 の発話は不明瞭だったが、05 行目の I の発話からはその時点で I が望む答えが出てこなかったことが予測できる。05 行目の「まあ、ま」の後続発話は 04 行目の CN2 による回答を否定するニュアンスが伝わるため、その前に「まあ、ま」を挿入することは和らげの効果を持っている。

次は、CJL による「まあ」の例である。

例 6-15

- 01 CF6: 私の母は病院で働いていますけど、彼、あ、彼女に、(笑い) お母さんによりますと、実は、な、お金とか、何もくれなくても、★ちゃんとやるんですけど、

お母さん

- 02 VF5<sup>59</sup>:→ちゃんとやるんですけど←うん、うん、うん  
03 JF2:お金は別に、いりませんとは言わない、  
04 CF1:言わない  
05 CF5:ははは、(笑い・複)  
06 JF2:まあまあ、くれるんだったら、★どうもどうも  
07 CF4:→くれるんだったら、そうそう←  
08 CF5:いや、人によっては、**ま**、もらいたくない人もいるけれども (JF2:うん) **まあ**、  
　　そういうふうになっているから、たぶん  
09 JF2:もらわざるを得ない。  
10 CF5:実際同じかも (日中自然会話・1)

例 6-15 は、ホームパーティーで、医者と患者の家族の間に不審なお金のやり取りがあることを話している。CF6 は自分の母親が病院で働いていることから、実際にお金をあげなくてもちゃんと治療してくれると述べ(01 行目)、VF5 はそれを理解した。JF2 の「お金は別に、いりませんとは言わない」という発話は、「もし患者がお金をくれる場合は、要りませんとは敢えて言わないで受け取る」と解釈され、つまり、CF6 が言ったことを全て認めるわけではないことが察知される。そして、会話参加者は病院での陰のお金の扱いについて議論が盛り上がり、結局、現在の病院では患者が医者に裏でお金を渡すことは暗黙の了解のようにになっているという結論が導かれた。08 行目で、前の「ま」は「いや」の後に用いられ、不同意を示す前に、「聞き手の心情を損なわないように話を和らげる」効果がある。08 行目の後ろの「まあ」は、JF2 によるあいづちの直後に出現し、「発話継続表明」という機能を果たしていると思われる。

例 6-16

- 01 I:じゃ 60 番(ペーパードライバー)  
02 CN3:ペーパードライバー…、あ、なんか地図を使って、  
03 I:うん。  
04 CN3:あの一、本当は行けないけど、**まあ**、その、あ、違う、それは違う、あの一、  
　　運転免許持っているけど、でも本当は、**ま**、車を実際運転したことなくて、  
05 I:うん。

---

<sup>59</sup> VF5 はベトナム話者であり、本研究では分析対象としない。

例 6-16 では、I は CN3 に「ペーパードライバー」の意味を尋ねている。04 行目で 2 つの「まあ」は調子を整え、考える時間を稼ぐために使われている。

表 6-4 を見ると、JNS の「対人関係調整機能」としての使用率は 17.7%であるのに対し、CJL はただ 5.8%に留まっている。この結果からは、CJL が JNS ほどフィルターを対人関係調整のストラテジーとして使っていないことが分かる。その 1 つの要因として、CJL は対人関係調整と関わる「まあ」をあまり使用していないためだと考えられる。対人関係調整として使用されている各形態のフィルターの数値として、「まあ」の使用頻度は、JNS が約 58%であるのに対し CJL は 0.9%のみである。

### 6.7.3 まとめ

6.7 では、「発話内容・構成調整」と「対人関係調整」という 2 つの機能に基づき、JNS と CJL のフィルター使用の相違点について分析を行なった。結果は以下の 3 点にまとめられる。

- ① JNS は考える時間が長くなればなるほど何種類かのフィルターを交替させながら挿入しているのに対し、CJL は情報を小出しにして日常的に最も頻繁に使われているフィルターを 1 つずつ入れながら発話を進行させる。
- ② 連続してあいづちが打たれた時、JNS は異なる形態のフィルターを使用している一方、CJL は同一形態のフィルターを繰り返して使用している。
- ③ 対人関係調整に関しては、JNS はフィルターを良好な人間関係を保つためのストラテジーとして使用している。一方、CJL は JNS ほどうまく使用していない。

以上、CJL と JNS による日本語フィルター使用の相違点について縦断的な分析を行なった。

### 6.8 CJL による日本語フィルターの使用実態

本節では、CJL の間にフィルター使用の相違点があるかどうかを横断的に分析する。場面、会話形式という影響因子を排除するため、調査者 (JNS) I の調査協力者 (CJL) CN1、CN2、CN3 に対するインタビューの会話を分析データとする。CN1、CN2、CN3 によるフィルター使用の相違点を明らかにするのが目的である。

まず、それぞれのフィルター使用回数について、CN1 は 104 回、CN2 は 23 回、CN3 は 150 回であった。調査者 I は、3 人に対して外来語の意味推測テストのフォローアップイン

タビュを実施した。CN2 は、フィラー全 23 回のうち、「なんか」類が 20 回で、「えー」、「あー」、「うーん」が各 1 回である。CN2 は、フィラーの種類が少なく、「なんか」が頻繁に使われており、これはある種の口癖と言えるだろう。そこで、CN2 は分析対象外にする。

次に、6.5 で示されているフィラーの分類に基づき、CN1 と CN3 による各類型のフィラーの使用割合を示す。

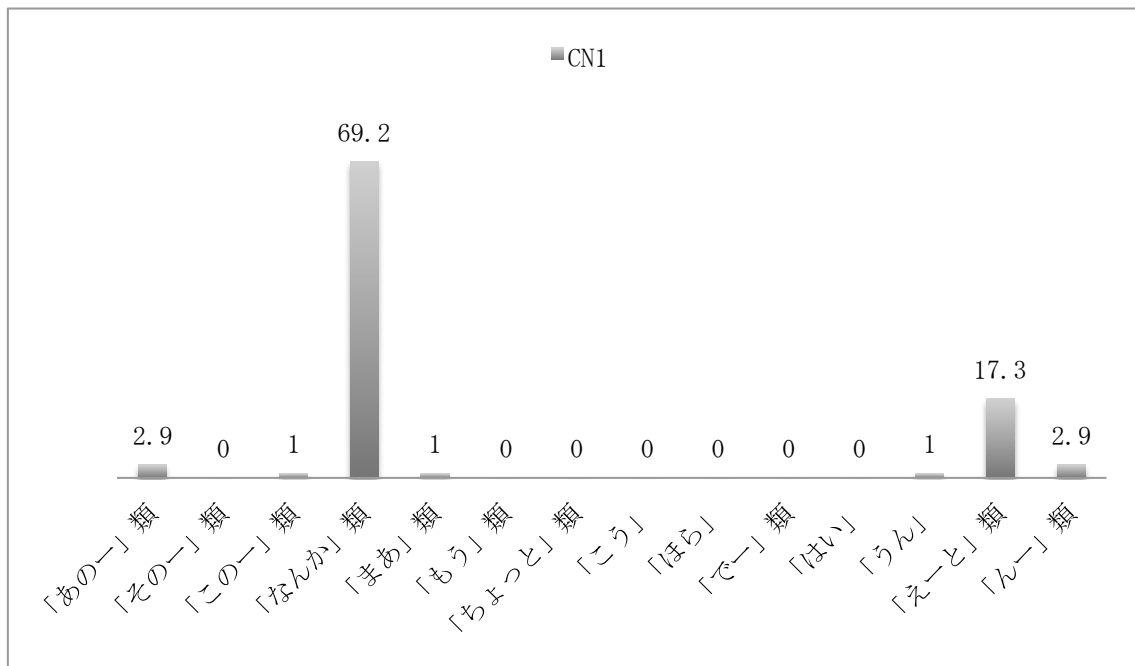


図 6-8 CN1 による各類型のフィラーの使用割合

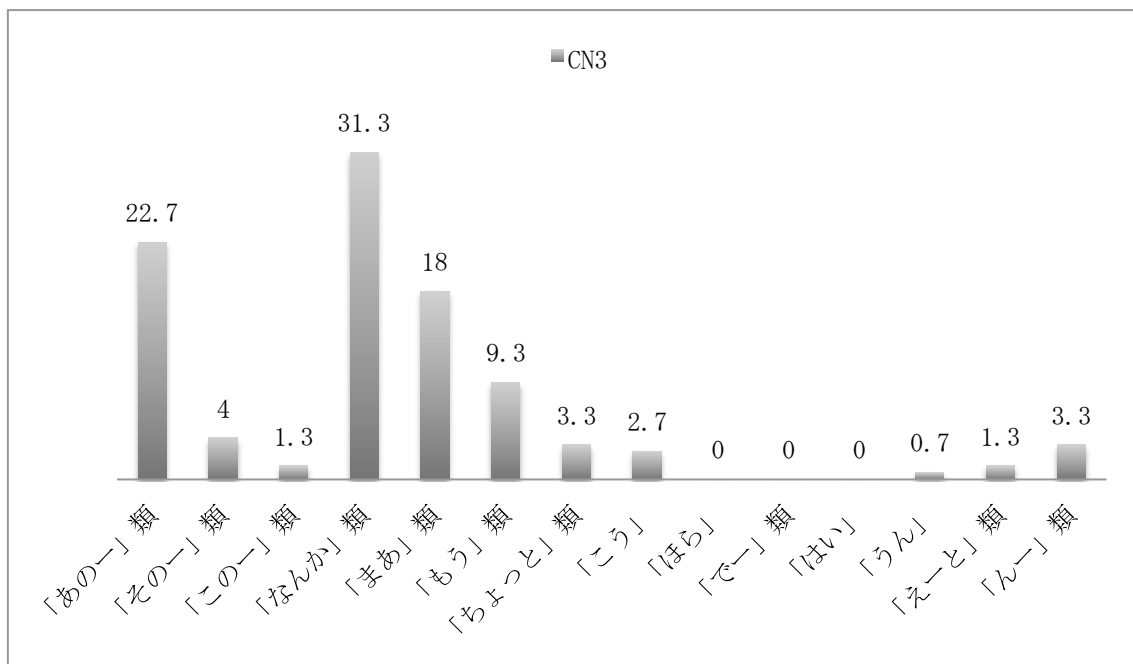


図 6-9 CN3 による各類型のフィラーの使用割合

CN1 のフィラーの使用は、図 6-8 から、かなり偏っていることと言える。使用されているフィラーの 7 類型のうち、「なんか」類 (69.2%) と「えーと」類 (17.3%) を除き、残りの 5 類型の使用割合は非常に低い。それに対して、CN3 のフィラーの使用を示した図 7-5 は、図 6-9 の CJL による各類型フィラーの使用分布 (図 6-5 参照) と類似している。CN3 によるフィラーの使用は、CN1 に比べてバリエーションが豊富で、JNS の使用分布により近いとも言える。CN1 より CN3 の発話には違和感を感じられず、母語話者により近く聞こえると推測される。以下では、CJL による使用率が高い「言葉探し」と「発話継続表明」のフィラーに注目し、CN1 と CN3 のフィラー使用の相違点を分析する。

### 6.8.1 「言葉探し」としての日本語フィラーの使用実態

本節では、質問に対する応答の開始部分に位置するフィラーを中心に、CN1 と CN3 の使用実態を解明する。質問された後、応答の開始部分のフィラーは主に「言葉探し」として使われている。2 人の会話データを分析すると、以下の相違点が観察された。その内訳は表 6-5 の通りである。

表 6-5 CN1 と CN3 による応答の開始部分のフィラーの使用概況

話者	使用しているフィラーとその回数
----	-----------------

CN1	「えーと」類 4 回、「えーとね、うーん」 2 回、「えー、なんか」 1 回、「なんか」 1 回、「なんか、えーっと」 1 回（合計 9 回）
CN3	「なんか」 5 回、「まあ」 2 回、「まあ、このー」 2 回、「まあ、なんか」 1 回、「なんか、うん」 1 回、「なんか」 1 回、「あー、なんか」 1 回、「あのー」 1 回（合計 14 回）

以下、CN1 と CN3 によるフィラーの使用例を示す。例 6-17 から例 6-19 までは CN1 の例で、例 6-20 から例 6-22 までは CN3 の例である。

#### 例 6-17

- 01 I: じゃあ、この「デイサービス」っていうのは、簡単に言ったら、どんな意味だと?  
 02 CN1: えー、なんか「デイ」なら (日中インタビュー・1)

#### 例 6-18

- 01 I: うーん、日本語で言うと?  
 02 CN1: えーっとね、「検査」? (日中インタビュー・1)

#### 例 6-19

- 01 I: 夜の人? 夜の人って、どんな人ですか?  
 02 CN1: なんか、仕事かな? (日中インタビュー・1)

#### 例 6-20

- 01 I: 話すときとかどうですか? 話すときとか、聞くときとか、外来語難しいですか?  
 02 CN3: 難しいですね。  
 03 I: 難しい?  
 04 CN3: あのー、ちっちゃい「ツ」とか。 (日中インタビュー・3)

#### 例 6-21

- 01 I: うん。それは、どうして?  
 02 CN3: なんか、うん、テレビでよく、  
 03 I: テレビでよく聞きますか?  
 04 CN3: うん、よくき、 (日中インタビュー・3)



例 6-22

01 I: どうして?

02 CN3: まあ、この一、例えば、この会社のゆう、唯一の人、(日中インタビュー・3)

CN1 の応答部分は主に「えーと」で開始されている。ほかの形態のフィラーと共起する場合、それは「なんか」と「うーん」の2種類である。一方、CN2 の応答部分は「あの一」、「あー」、「なんか」、「まあ」で開始され、フィラーの組み合わせも CN1 より豊富である。つまり、CN3 は CN1 より自然にフィラーを使用していると言える。例えば、「まあ」という母語話者が多用している副詞型フィラーも巧妙に使っている。

### 6.8.2 「発話継続表明」としての日本語フィラーの使用実態

図 6-7 から、「言葉探し」を除き、CJL の「発話継続表明」としてのフィラーの使用率はかなり高く、JNS を上回っていることが分かった。本節では、CN1 と CN3 による「発話継続表明」としてのフィラーの使用実態を解明する。具体的には、前節と同様に、「発話継続表明」として使われているフィラーの種類とそれぞれの使用数を算出し、2 人のフィラーの使用分布を明らかにする。会話データを分析すると、以下の相違点が観察された。その内訳は表 6-6 の通りである。

表 6-6 CN1 と CN3 による「発話継続表明」としてのフィラーの使用概況

話者	使用しているフィラーとその回数
CN1	「なんか」15 回、「あの一」1 回、「えーっと」1 回、「その」1 回、「なんか、その」1 回 (合計 19 回)
CN3	「なんか」8 回、「あの一」7 回、「で」2 回、「まあ」2 回、「こう」2 回、うーん」1 回、「その一」1 回、「あ、えーっと」1 回、「もう」1 回、「もう、ちょっと、あの一」1 回、「なんか、こう」1 回、「あー、なんか」1 回、「その、なんか」1 回、「なんか、その」1 回 (合計 30 回)

以下、CN1 と CN3 によるフィラーの使用例を示す。例 6-23 から例 6-25 までは CN1 の例で、例 6-26 から例 6-28 までは CN3 の例である。

例 6-23

- 01 CN1:いくつかあの、外来語がでてきて、  
02 I:うん。  
03 CN1:それを、調べて、  
04 I:うん。  
05 CN1:なんかよく使われている。 (日中インタビュー・1)

例 6-24

- 01 CN1:えっ、「日(にち)」、あの一、「デイ」はd、a、yの「デイ」なら、  
02 I:うん。  
03 CN1:あの一、「日(にち)」ですね。  
04 I:うん。 (日中インタビュー・1)

例 6-25

- 01 CN1:コネは、なんか、えーっと、うん、これはなんか、何回も、  
02 I:うん。  
03 CN1:えーっと、文章の中で見たことあるので、  
04 I:うん。 (日中インタビュー・1)

例 6-26

- 01 CN3:1つとしては、まあ、英語を、その、もともとの英語に似てる部分もあって、  
02 I:うん。  
03 CN3:で、違う部分もちろん、まあ、あるじゃないですか。  
04 I:うんうん。 (日中インタビュー・3)

例 6-27

- 01 CN3:濁音とか。  
02 I:うん。  
03 CN3:うーん、自分が話すときは、まだ大丈夫ですけど、  
04 I:うん。  
05 CN3:あの、聞き  
06 I:聞くとき?  
07 CN3:聞くときは、ちょっと、向こうが、  
08 I:うん。 (日中インタビュー・3)

例 6-28

01 CN3: たぶん、これじゃない?とか、推測して、

02 I: うん。

03 CN3: まあ、それでも、わからん、だったら、

04 I: うん。

05 CN3: まあ、携帯

06 I: 携帯で見る? (日中インタビュー・3)

CN1 は、フィラーの使用総数 19 回のうち「なんか」を 15 回用いている。また、使用しているフィラーの形態及び各形態の組み合わせは、5 種類だけである。一方、CN3 はフィラー使用総数 30 回で、そのバリエーションも豊かである。さらに、CJL の使用率が低い指示詞型フィラー「その」と副詞型フィラー「まあ」、「もう」、「こう」、「ちょっと」を単独で使用したり、ほかの形態のフィラーと組み合わせて使用したりして、母語話者のように用いていると言える。

### 6.8.3 まとめ

6.8 では、日中接触場面のインタビュー会話のデータに基づき、CN1 と CN3 による各形態のフィラーの使用割合を算出し、さらに CJL の機能別のフィラー使用割合上位 2 位までの「言葉探し」、「発話継続表明」を中心に、CN1 と CN3 のフィラー使用実態を比較した。その結果は、以下の 3 点にまとめられる。

- ① フィラーの使用回数は、CN3 (150 回) が CN1 (104 回) より多い。
- ② フィラー使用のバリエーションに関して、CN1 には偏りが見られ、7 類型しか使用していない。一方、CN3 はバリエーションが豊富で、11 類型のフィラーを使用している。CN3 によるフィラーの全体的な使用分布を見ると、CJL の分布と類似している。
- ③ CN3 は、「まあ」「もう」「ちょっと」「こう」という、本来 CJL の使用割合が低い副詞型フィラーを多用している。また、フィラーを連続して挿入する時、フィラーの形態を変えたり、各形態のフィラーを自由に組み合わせて使用したりしている。

CN1 と CN3 は日本語レベルが同じ<sup>60</sup>であるとしても、質的には同じではない。CN1 は使用しているフィラーの類型が少ないのに加え、単一形態のフィラー「なんか」を繰り返して用いており、ここから違和感が感じられ、落ち着かないというマイナスな印象を与えることになる。一方 CN3 は、使用しているフィラーの類型が多く、バリエーションも豊富であり、さらに母語話者のように各形態のフィラーを交替しつつ使用したり、CJL にとって難しい副詞型フィラーをうまく使用したりしている。こうして発話全体が自然になり、日本語コミュニケーション能力も実際のレベル以上に聞こえる。

## 6.9 本章のまとめ

本章では、第1に、フォーマルな場面とインフォーマルな場面に分けて、日本語フィラーと中国語フィラーの機能上の相違点について分析・考察を行なった。「発話内容・構成調整機能」に関しては、日本語フィラーと中国語フィラーの使用にあまり差異が見られなかった。「対人関係調整機能」に関しては、フォーマルな場面では、日本語母語話者は「共通理解」を中国語母語話者より多用している。インフォーマルな場面では、それぞれの対人関係調整機能の使用率を比べると、中国語母語話者は日本語母語話者ほどフィラーを対人関係調整ストラテジーとして使用していないことが分かった。

このような相違点が生じる要因として、文化的・社会的な背景が異なると考えられる。まず、フォーマルな場面では、日本語母語話者は中国語母語話者より相手から共感を求めたり相手へ共通理解を示したりして対人関係に配慮し、お互いに協力して会話を作り上げる。次に、インフォーマルな場面では、良好な人間関係を保ちながら円滑なコミュニケーションを遂行するために、日本語母語話者は聞き手に配慮する「聞き手中心」であるのに対し、中国語母語話者は聞き手に配慮するよりは自分の事情を考慮してフィラーによって応答を曖昧化する「話し手中心」である。また、「発話権奪取」には、中国語母語話者は日本人母語話者より「割り込み」による「発話権奪取」が多く観察されたことから、中国語母語話者はより自己主張が強いと言えるだろう。

第2に、日中接触場面の会話データに基づき、JNS と CJL の日本語フィラー使用の相違点を明らかにした。6.4 では、先行研究を概観し、日本語学習者によるフィラーの使用状況を整理した。6.5 では、JNS と CJL による各類型のフィラーの使用数と割合を算出して、CJL は副詞型フィラー「まあ」、「もう」、「ちょっと」、「こう」をあまり使用していないことが分かった。6.6 では、JNS と CJL のフィラーの機能別の使用数及び割合

---

<sup>60</sup>日中接触場面のインタビュー会話のデータは銚之原秀平氏書き起こしたものである(松村・玉編(2014)参照)。銚之原(2016)では、日本語習熟度テスト SOP90 の結果に従い、調査協力者 CJL の日本語能力に有意差が見られなかったと指摘されている。

を数値で示した。6.7では、「発話内容・構成調整」と「対人関係調整」という2つの機能から、JNSとCJLのフィルター使用の相違点について分析・考察を行なった。「発話内容・構成調整機能」に関しては、JNSとCJLのフィルター使用の差異があまり見られなかった。一方、「対人関係調整機能」に関しては、CJLはフィルターを良好な人間関係を保つ会話ストラテジーとしてそれほど意識していないことが明らかになった。6.8では、CJLの間のフィルター使用の相違点について分析した。



## 第7章 結論

本研究では、まず、日本語フィラーと中国語フィラーの使用の特徴を明らかにした。次に、場面、出現位置、機能という3つの側面から日本語フィラーと中国語フィラーの使用の特徴を比較し、その相違点をまとめた。さらに、日中フィラー使用の相違点を社会的・文化的な要因から考察を行なった。最後に、日中接触場面の会話データに基づき、日本語母語話者と中国人日本語学習者の日本語フィラーの使用状況、中国人日本語学習者の間の日本語フィラーの使用状況を比較した。本章では本研究をまとめ、その意義、今後の課題、そして日本語教育への展望を述べる。

### 7.1 本研究の要約

第1章では、研究背景、研究目的及び論文全体の構成を述べた。日本語フィラーと中国語フィラーの機能を比較対照するのが本研究の目的である。

第2章では、先行研究概観と本研究の立場を示した。まず、日本語フィラーと中国語フィラーに関する先行研究を概観した。日本語フィラーに関する研究について日本語学、心理言語学、コーパス言語学、会話分析、個々のフィラーの用法という5つのアプローチから整理した後、中国語フィラーに関して、副詞、接続詞等から談話標識への文法化過程と、個々の中国語談話標識の用法を概観した。次に、先行研究の問題点を指摘し、本研究の立場を示した。最後に、本研究のフィラーの定義、日本語フィラーと中国語フィラーの類型及びフィラーの機能の分類を述べた。

第3章では、本研究で使用した日本語のデータ、中国語のデータ及び日中接触場面のデータの特徴を説明した。また、データの収集法と文字化基準を紹介した。日本語のデータと中国語のデータをそれぞれフォーマルな場面とインフォーマルな場面に分けた。フォーマルな場面のデータは、テレビのインタビュー番組「徹子の部屋」と「楊瀾訪談録」である。インフォーマル場面のデータは、「Sakura」と「BEIF コーパス」から抽出したもので、ともに大学生による雑談である。日中接触場面のデータは、筆者自ら収集したものと『日本語資料集』に収録されているものを使用した。

第4章では、出現位置、機能、場面という3つの側面を中心に、日本語フィラー使用の特徴について分析した。フィラーの機能を「発話内容・構成調整機能」と「対人関係調整機能」の2つに分けて、さらにそれぞれに下位分類を立て、会話例を観察して分析を行った。「言葉探し」としてのフィラーはどの位置にも現れる。発話頭に位置するフィラーは、主に人間関係を配慮しながらコミュニケーションを円滑に遂行させる機能がある。発話中に位置するフィラーは、発話の構成、談話の展開及び聞き手への配慮を意

識して使用されている。発話末にフィラーを付加することは「言葉探し」、「情報の曖昧化」、「共通理解」という効果を持つ。場面と機能の関わりに関しては、テレビのインタビュー場面と雑談場面の制度性の特徴からフィラー使用の差異について分析・考察を行った。

第5章では、中国語フィラーに関する観察・分析をした。第4章と同様の側面から中国語フィラー使用の特徴を論じた。発話頭に位置するフィラーは、良好な人間関係を保ちながらコミュニケーションをスムーズに運ぶ機能をする。特に「言葉探し」、「和らげ」「ためらい」、「発話権奪取」のフィラーの使用率が高い。発話中に位置するフィラーは、言葉を探すことや発話内容を調整すること、また対人関係を調整することというように、ほかの位置に比べて最も豊富に使われている。発話末に位置するフィラーは、「言葉探し」として使用されている。

第6章では、第1に、出現位置、場面、機能から日本語フィラーと中国語フィラーの使用の特徴を比較対照させ考察を行った。具体的には、フォーマルな場面とインフォーマルな場面に分けて、各位置における日中フィラー使用の類似点と相違点を整理し、機能から両言語におけるフィラー使用の差異を考察した。「発話内容・構成調整機能」としてのフィラー使用は類似しており、「対人関係調整機能」としてのフィラー使用に関しては、日本語フィラーの使用は「聞き手中心」であるのに対し、中国語フィラーの使用は「話し手中心」である。「発話権奪取」では、中国語母語話者は日本人母語話者より「割り込み」による「発話権奪取」が多く観察された。第2に、日中接触場面では日本語母語話者と中国人日本語学習者の日本語フィラーの使用実態を明らかにした。まず、母語話者と学習者の各フィラー類型の使用頻度を算出した。次に、母語話者と学習者の日本語フィラーの機能別の使用数及び割合を示した。それから、「発話内容・構成調整」、「対人関係調整」という2つの機能から母語話者と学習者による日本語フィラー使用と学習者の間の相違点を抽出し、会話例を示して説明を行った。

## 7.2 本研究の意義

上記の要約に基づき、本研究の意義を以下の2点にまとめる。

第1に、量的・質的分析を通じて、談話管理の観点から、日本語フィラーと中国語フィラーの使用特徴について比較対照を行った。これまで研究対象とされてこなかった日中フィラー全体に関する機能上の相違点を体系的に示した。従来の研究では、主に個々のフィラーの表現効果について分析・考察が行われていた。日本語フィラー全体の機能についての研究はまだ少ない。また、中国語フィラー全体の機能を論じた研究は、管見の限り見当たらない。日本語フィラーと中国語フィラーの使用の特徴を明らかにした本



研究の結果は、日本語・中国語教育への応用が期待できる。

第2に、中国人日本語学習者の日本語フィラー使用の特徴を明らかにした。これまで、学習者による日本語フィラー使用の特徴、学習者の日本語コミュニケーションを向上させるための指導法についての研究は多くなされているが、中国人日本語母語話者による日本語フィラーの誤用や不自然な運用の分析は少なかった。日本語学習者数が圧倒的に多い中国人日本語学習者に対する日本語教育への基礎研究として意義深いと考える。

### 7.3 今後の課題

本節では、今後の課題を以下の4点にまとめる。

第1に、個々のフィラーの機能に関する日中対照をする。本研究では、日中フィラー全体を対象として機能上の相違点についての比較対照を行なった。会話例の分析には根拠が不十分な部分はまだあり、今後は質的分析を深める必要がある。また、フィラーだけではなく、フィラー化する前、即ち品詞としての用法が対応している日中フィラーの使用の特徴についての検討を加える必要がある。例えば、指示詞からフィラー化した「あのー」「そのー」「このー」と「这个」「那个」、接続詞からフィラー化した「で」と「然后」等に着目し、本来の品詞としての用法との関わり、また相互行為上の表現効果という視点から日中対照を行う。

第2に、本研究で観察された、対人関係調整に関わる日中フィラーの機能の相違点について、今後はそれぞれの下位項目に焦点をあてて分析・考察を深める必要がある。例えば「和らげ」に関して、不同意表明、依頼等、フィラーとよく共起する表現、つまりフィラーがよく現れる言語環境に注目して日中対照を行う。

第3に、本研究のフォーマルな場面の会話データはテレビのインタビュー番組の文字化資料を使用した。ゲストによって使用されたフィラーだけではなく、司会者によって使用されたフィラーも分析対象にした。この点は、司会者個人のフィラー使用の特徴が分析結果に強く影響を与えていると思われる。今後は、テレビのインタビュー番組に限らず、会議での討論、教室内のディスカッション、テレビの多人数談話番組等の会話データを収集し、より一般性のある量的分析を行う。

第4に、今回は日本に滞在している中国人日本語学習者を分析対象とした。今後は日本に留学したことがない中国人日本語学習者のフィラー使用の状況を調査する。さらに、初級、中級、上級を分けて中国人日本語学習者のフィラー使用実態を明らかにし、それぞれの日本語レベルに合わせたフィラーの指導法の提案を検討する。

## 7.4 日本語教育への展望

日本語フィラーについての研究はこれまで数多くなされてきたが、フィラーの導入を第二言語習得の一環として捉える研究は少なかった。これは、無意味語であるフィラーは、意思伝達に全く影響を与えていないと一般的に考えられるためであろう。また、文化や言語の違いで、日本語フィラーを学習者に理解・習得させるのは容易なことではない。日本語では曖昧表現が数多く用いられているという点から見れば、フィラーが日常会話に欠かせない存在であるということは認めなければならない。そこで、以下の2点を日本語教育に提言する。

第1に、言語はその社会の文化を反映しているため、日本語を学ぶ前に、日本文化への理解が欠かせない。中国の日本語教育現場で言語を文化より先に導入している点に問題があると思われる。学習者に五十音図を教えると同時に、その背景にある日本社会と日本人の価値観等を紹介することは、日本語の習得や活用への助けになるだろう。

第2に、日本語母語話者が無意識的に使っているフィラーは日常会話で極めて重要な存在であるが、語彙のように実質的な意味を持たず、形態が多く統語的なルールがないため、特別に取り上げて学習者に説明することは日本語教育で極めて難しい課題である。一方、フィラーは会話内容を調整するだけでなく人間関係を良好に保つことにも大きな役割を果たしていることを考慮すれば、フィラーの重要性を学習者に認識させるべきである。また、フィラーが多く使われている生教材を通じて、なるべく様々なフィラーの形態を学習者に触れさせ、それぞれの表現効果を説明することは、コミュニケーション能力を向上させるための最も効率的な方法であると考えられる。

## 参考文献

### 日本語文献(五十音図順)

- 愛知大学中日大辞典編纂所編(2010)『中日大辞典』大修館書店
- 東照二(1997)『社会言語入門—生きた言葉のおもしろさにせまる』研究社出版
- 井出祥子(2006)『わきまへの語用論』大修館書店
- 岩崎勝一・大野剛(1999)「『文』再考-会話における『文』の特徴と日本語教育への提案-」佐々木幸子(編)『言語学と日本語教育-実用的言語理論の構築を目指して-』pp. 129-144 くろしお出版
- 石川創(2010)「あいづちとの比較によるフィラーの機能分析」『早稲田日本語研究』19 pp. 61-72
- 井上優(2013)『相席で黙っていられるか-日中言語行動比較論-』岩波書店
- 磯野英治・上仲淳(2016)「日本語学習者がターン交替時に使用するディスコースマーカ-ー-日本語母語話者との比較-」『日本語研究』36 pp. 87-95
- 梅林博人(1993)「言いよどみ語と留学生への日本語指導」『千葉大学留学生センター雑誌』1 pp. 92-96
- エメット啓子(2001)「『なんか』-会話への積極的参加を促すインターアクションルマーカ-ー-」南雅彦・アラム佐々木幸子(編)『言語学と日本語教育Ⅱ』pp. 201-217 くろしお出版
- 尾崎明人(1981)「外国人の日本語の実態(2)上級日本語学習者の伝達能力について」『日本語教育』45 pp. 41-52
- 岡本佐智子・斎藤シゲミ(2004)「日本語副詞『ちょっと』における多義性と機能」『北海道文教大学論集』5 pp. 69-71
- 葛欣燕(2015)「機能に基づく日本語フィラーの使用実態-中国人日本語学習者と日本語母語話者との対照に着目して-」『地球社会統合科学研究』2 pp. 35-44
- 葛欣燕(2016a)「日本語フィラーと中国語フィラーの使用実態-出現位置と機能の関わりから-」『東アジア日本語・日本文化研究』21 pp. 15-30
- 葛欣燕(2016b)「日本語と中国語におけるフィラー使用の対照研究-男女差に着目して-」『2016 外国語文教學與跨文化研究國際學術研討會 會議論文集』 pp. 27-38
- 葛欣燕(2017a)「日中談話に見られる文内挿入とフィラーの役割」『東アジア日本語・日本文化研究』22 pp. 43-55
- 葛欣燕・松村瑞子(2017b)「指示詞型フィラーの用法についての日中対照研究-日本語「あの一」と中国語「那个 nage」の機能を中心に-」『九州大学大学院言語文化研究院言語文化論究』38 pp. 41-58

- 葛欣燕(2017c)「日中接触場面におけるフィラー使用の特徴」『日语教育与日本学研究-2016年日本学国际研讨会暨中国日语教学研究会年会论文集-』 pp. 68-73
- 加藤豊二(1999)「談話標識『まあ』についての一考察」『日本語学・日本語教育論集』6 pp. 21-36
- 川上恭子(1993)「談話における『まあ』の用法と機能(一)-応答型用法の分類-」『園田国文』 pp. 69-78
- 川上恭子(1994)「談話における『まあ』の用法と機能(二)-展開型用法の分類-」『園田国文』 pp. 69-79
- 川田拓也(2006)「スケールに作用する表現としての『まあ』」『第9回日本語語用論学会大会発表論文集』2 pp. 33-40
- 川田拓也(2007)「日本語談話における『まあ』の役割と機能について」『言語学と日本語教育V』 pp. 175-189 くろしお出版
- 川田拓也(2010)『日本語フィラーの音声形式とその特徴について-聞き手とのインタラクシヨンの程度の指標として-』京都大学博士学位論文
- 金水敏(1983)「感動詞」『研究資料日本古典文学(12)文法』 pp. 131-134 明治書院
- 魏春娥(2015)「談話におけるフィラー『ま(一)』の待遇差に関する予備的考察」『東アジア研究』13 pp. 75-93
- 串田秀也(1999)「助け船とお節介-会話における参与とカテゴリー化に関する一考察-」好井裕明・山田富秋・西阪仰(編)『会話分析への招待』 pp. 124-147 世界思想社
- 串田秀也(2006)『相互行為秩序と会話分析:「話し手」と「共一成員性」をめぐる参加の組織化』世界思想社
- 串田秀也・林誠(2015)「WH 質問への抵抗-感動詞『いや』の相互行為上の働き-」友定賢治(編)『感動詞の言語学』 pp. 169-211 ひつじ書房
- 久米昭元・徳川厚子・徐一平(2000)「コミュニケーション様式の日米中比較研究-小集団討論の質的分析を通して-」研究代表者井上和子『先端的言語理論の構築とその多角的な実証(4-B)』 pp. 625-672
- 現代日本語研究会(編)(1999)『女性の言葉・職場編』ひつじ書房
- 国語学会編(1955)『国語学辞典』東京堂出版
- 国立国語研究所(1960)『話しことばの文型(1)-対話資料による研究』秀英出版
- 小出慶一(1983)「言い淀み」水谷修(編)『講座日本語の表現(3)話しことばの表現』 pp. 81-88 筑摩書房
- 小出慶一(2009)「現代日本語の意味・用法の広がりに関する記述的研究-多機能化, フィラー, フィラー化-」『日本アジア研究』6 pp. 1-37

- 小出慶一(2011)「日本語学習者の発話に見られるフィラー『こう』について」『埼玉大学紀要・教養学部』46(2) pp.99-112
- 小出慶一(2014)「日本語の反応詞について:『あ』はどんな機能を持つか」『埼玉大学紀要・教養学部』49(2) pp.61-74
- 小西円(2018)「日本語学習者の習熟度に見たフィラーの分析」『国立国語研究所論集』15 pp.91-105
- 佐久間鼎(1983)『現代日本語法の研究』改定版 くろしお出版
- 定延利之(1993)「談話構造とフィラー」『日本語シンポジウム 言語理論と日本語教育の相互活性化予稿集』津田日本語教育センター
- 定延利之・田窪行則(1995)「談話における心的操作モニター機構-心的操作標識『ええと』と『あの(一)』-」『言語研究』108 pp.74-93
- 定延利之(2002)「『うん』と『そう』に意味はあるか」定延利之(編)『「うん」と「そう」の言語学』 pp.75-111 ひつじ書房
- 定延利之・中川朋子(2005)「非流ちょう性への言語学的アプローチ-発音の延伸、とぎれを中心に-」串田秀也・定延利之・伝康晴(編)『シリーズ文と発話1 活動としての文と発話』 pp.209-228 ひつじ書房
- 定延利之(2005a)「『表す』感動詞から『する』感動詞へ」『言語』34(11) pp.33-39
- 定延利之(2005b)「感動詞と内部状態の結びつきの明確化に向けて」友定賢治(編)『感動詞の言語学』 pp.3-14 ひつじ書房
- 定延利之(2007a)「話し手は言語で感情・評価・態度を表して目的を達するか?-日常の音声コミュニケーションから見えてくること-」『自然言語処理』14(3) pp.3-15
- 定延利之(2007b)「日本人が空気をすするとき」定延利之・中川正之(編)『シリーズ言語対照第1巻・音声文法の対照』 pp.129-147 くろしお出版
- 定延利之(2010)「会話ではフィラーを発するということ」『音声研究』14 pp.27-39
- 塩沢孝子(1979)「日本語の Hesitation に関する一考察」F. C. パン(編)『社会言語学シリーズNo.2 ことばの諸相』 pp.151-166 文化評論出版
- 周莉(2012)「依頼のロールプレーにおけるフィラー」『日本語言語文化研究』16 pp.17-28
- 須藤潤(2008)「『うん』系感動詞の韻律的特徴に関する一考察-『受け入れ』にかかわる意味・機能をめぐって-」『ポリグロシア』15 pp.99-108
- 高木智世・森田笑(2015)「『ええと』によって開始される応答」『社会言語科学』18(1) pp.93-110
- 高村めぐみ・野原ゆかり(2010)「日本語学習者が生成するフィラーとポーズの関係」『外

- 国語教育研究』13 pp. 66-77
- 田窪行則(1992)「談話管理の標識について」文化言語学編集委員会(編)『文化言語学: その提言と建設』 pp. 96-106 三省堂
- 田窪行則(1994)「音声対話の言語学モデル-談話管理標識としての感動詞の分析-」『音声言語情報処理』1(3) pp. 15-22
- 田窪行則・金水敏(1996)「複数の心的領域における談話管理」『認知科学』3(3) pp. 59-74
- 田窪行則・金水敏(1997)「応答詞・感動詞の談話的機能」音声文法研究会(編)『文法と音声』 pp. 257-279 くろしお出版
- 田中敏(1981)「日本語発話における言い淀み現象の分類と特徴づけ」『心理学研究』52(4) pp. 231-218
- 大工原勇人(2005)「『まあ』の強調的用法の生起条件」友定賢治(編)『感動詞の言語学』 pp. 97-113 ひつじ書房
- 大工原勇人(2010)『日本語教育におけるフィラー指導のための基礎研究-フィラーの定義と個々の形式の使い分けについて-』神戸大学博士学位論文
- 張麗(2010)「話者交替にみられる中国人と日本人の『自己主張』のスタイル-小集団ディスカッションを通して-」(その2)『大正大學研究紀要・人間學部・文學部』 pp. 100-116
- 土屋菜穂子(2013)「日本語学習者のインタビュー応答時における言いよどみ使用」『第3回コーパス日本語学ワークショップ予稿集』 pp. 153-160
- 堤良一(2008)「談話中に現れる間投詞アノ(一)・ソノ(一)の使い分けについて」『日本語科学』23 pp. 17-36
- 伝康晴・渡辺美知子(2009)「音声コミュニケーションにおける非流暢性の機能」『音声研究』13(1) pp. 53-64
- 東郷雄二(2000)「談話モデルと日本語の指示詞コ・ソ・ア」『京都大学総合人間学部紀要』7 pp. 27-46
- 富樫純一(2001)「情報の獲得を示す談話標識について」『筑波日本語研究』6 pp. 19-41
- 富樫純一(2002a)「談話標識『まあ』について」『筑波日本語研究』7 pp. 15-31
- 富樫純一(2002b)「談話標識『ふーん』の機能」『日本語文法』2(2) pp. 95-111
- 富樫純一(2002c)「『はい』と『うん』の関係をめぐって」定延利之(編)『「うん」と「そう」の言語学』 pp. 127-157 ひつじ書房
- 富樫純一(2005)「肯定・検索・問い返し-感動詞『ええ』の統一的記述を求めて」『文藝言語研究・言語篇』48 pp. 77-93
- 中島悦子(2008)「自然談話に現れるフィラー-自然談話録音資料に基づいて-」『国士館

- 大学 アジア・日本研究センター紀要』7 pp. 1-23
- 中島悦子(2011)『自然談話の文法-疑問表現・応答詞・あいづち・フィラー・無助詞-』  
おうふう
- 西阪仰(1999)「相互行為の資源としての言いよどみ」好井裕明・山田富秋・西阪仰(編)  
『会話分析への招待』 pp. 71-100 世界思想社
- 西阪仰(2005)「複数の発話順番にまたがる文の構造-プラスティスとしての文法II-」串  
田秀也・定延利之・伝康晴(編)『活動としての文と発話』 pp. 63-89
- 野村美穂子(1996)「大学の講義における文科系の日本語と理科系の日本語-『フィラー』  
に注目して-」『文教大学教育研究所紀要』5 pp. 91-99
- 野田尚史(2015)「日本語非母語話者の感動詞の不自然な運用」友定賢治(編)『感動詞の  
言語学』 pp. 149-165 ひつじ書房
- 橋本進吉(1948)『国語法研究』著作集 岩波書店
- 畠弘巳(1982)「コミュニケーションのための日本語教育」『言語・十周年記念臨時増刊  
号』11(13) pp. 56-71
- 畠弘巳(1988)「外国人のための日本語会話ストラテジーとその教育」『日本語学』3(7)  
pp. 100-117
- 浜口崇(2008)「談話標識 (discourse marker)」林宅男(編)『談話分析のアプローチ-  
理論と実践』 pp. 139-141 研究社
- 林誠(2005)『「文」内におけるインターアクション-日本語助詞の相互行為上の役割を  
めぐって-』串田秀也・定延利之・伝康晴(編)『シリーズ文と発話1 活動としての文  
と発話』 pp. 1-26 ひつじ書房
- 原田幸一(2016)「同一発話順番内での置き換えにおける中断部を構成する言語的要素の  
記述的研究」『社会言語科学』19(1) pp. 151-165
- 平本毅(2011)「発話ターン開始部に置かれる『なんか』の話者性の『弱さ』について」  
『社会言語科学』14(1) pp. 198-209
- 廣瀬浩二(2012)「談話標識を巡って」『鳥根大学外国語教育センタージャーナル』7  
pp. 1-28
- 藤井聖子(2013)「条件構文の談話標識化の諸相」『第4回コーパス日本語学ワークショ  
ップ予稿集』 pp. 27-34
- 古家聡(2010)「日本的コミュニケーション・スタイルのマクロ的再解釈-日本人集団主  
義説をもとに-」『ヒューマン・コミュニケーション研究』38 pp. 173-192
- 銚之原秀平(2016)「日本語学習者による和製英語の意味推測-母語背景と文脈拘束性が  
及ぼす影響-」『東アジア日本語・日本文化研究』21 pp. 97-113

- 堀口純子(1985)「話しことばに迫る」林四郎(編)『応用言語学講座第1巻日本語の教育』  
pp. 250-268 明治書院
- 堀口純子(1990)「上級日本語学習者の対話における聞き手としての言語行動」『日本語教育』71 pp. 16-32
- 松下大三郎(1930)『標準日本口語法』中文館書店
- 松村瑞子・王丹丹(編)(2013)『平成25年度日本語資料集』九州大学大学院比較社会文化学  
化学府日本社会文化専攻・日本語教育講座
- 松村瑞子・王丹丹(編)(2014)『平成26年度日本語資料集』九州大学大学院比較社会文化学  
化学府日本社会文化専攻・日本語教育講座
- 水上悦雄・山下耕二(2007)「対話におけるフィラーの発話権保持機能の検証」『認知科学』14(4) pp. 588-603
- 宮永愛子・大浜るい子(2011)「道教え談話におけるフィラーの働き-『あの』に注目して-」『日本語教育』149 pp. 31-38
- メイ等, 泉子・K(1993)『会話分析』くろしお出版
- メイ等, 泉子・K(1997)『談話分析の可能性-理論・方法・日本語の表現性-』くろしお出版
- 山口堯二(1984)「感動詞・間投詞・応答詞」『研究資料日本文法』4 pp. 126-157 明治書院
- 山下暁美(1990)「話し言葉におけるいわゆる“無意味語”」『講座日本語教育』25 pp. 108-118
- 山田孝雄(1936)『日本文法學概論』宝文館出版
- 山田富秋(1999)「会話分析を始めよう」好井裕明・山田富秋・西阪仰(編)『会話分析への招待』pp. 1-35 世界思想社
- 山根智恵(1997)「話しことばにおけるフィラー-留守番電話の談話と電話の会話の資料をもとに-」『平成9年度日本語教育学会春季大会予稿集』
- 山根智恵(2002)『日本語の談話におけるフィラー』くろしお出版
- 山根智恵(2007)「談話構造とフィラー」『日本語用論学会大会研究発表論文集』3 pp. 331-334
- 楊虹(2008)「中日接触場面の話題転換-中国語母語話者に注目して-」『言語文化と日本語教育』30 pp. 31-40
- 横森大輔・遠藤智子他(2014)「日本語を第一言語とする英語学習者の比較的自発的な発話におけるフィラーに見られるいくつかの特徴」『日本英語教育学会第43回年次研究集会論文集』pp. 89-96



- 劉 羸 (2009) 「中国語の談話標識である『这个』・『那个』の機能について」『LSJ Proceedings』 139 pp. 192-197
- 渡辺実(1971)『国語構文論』 塙書房

#### 中国語文献(アルファベット順)

- 曹秀玲(2010) 从主谓结构到话语标记-“我/你 V”的语法化及相关问题,《汉语学习》5 pp. 38-50
- 董秀芳(2007) 词汇化与话语标记的形成,《世界汉语教学》1 pp. 50-61
- 方梅 (2000) 自然口语中弱化连词的话语标记功能,《中国语文》5 pp. 459-480
- 方梅(2002) 指示词“这”和“那”在北京话中的语法化,《中国语文》4 pp. 343-383
- 刘丽艳(2006a) 跨文化交际中话语标记的习得和误用,《汉语学习》4 pp. 50-57
- 刘丽艳(2006b) 话语标记“你知道”,《中国语文》5 pp. 423-480
- 刘丽艳(2009) 作为话语标记的“这个”和“那个”,《语言教学与研究》 pp. 89-96
- 李思旭(2012) 从词汇化、语法化看话语标记的形成—兼谈话标记的来源问题,《世界汉语教学》26(3) pp. 322-337
- 冉永平(2000) 话语标记的语用学研究综述,《外语研究》4 pp. 8-14
- 王伟(2004) 试论现代汉语口语中“然后”一词的语法化,《北京第二外国语学院学报》4 pp. 69-76
- 许家金(2008) 汉语自然会话中话语标记“那(个)”的功能分析,《语言科学》7(1) pp. 49-57
- 许家金(2009) 汉语自然会话中“然后”的话语功能分析,《外语研究》2 pp. 9-15
- 殷树林(2009) 话语标记“这个”、“那个”的语法化和使用的影响因素,《外语学刊》4 pp. 92-96
- 殷树林(2012) 话语标记的性质特征和定义,《外语学刊》3 pp. 91-95
- 姚双云、姚小鹏(2012) 自然口语中“就是”话语标记功能的浮现,《世界汉语教学》26 pp. 77-84
- 张谊生(2002) “就是”的篇章衔接功能及其语法化历程,《世界汉语教学》3 pp. 80-90
- 朱军、史沛沛(2014) “那什么”的话语功能,《当代修辞学》1 pp. 83-90

#### 英語文献(アルファベット順)

- Brown, G. (1977). *Listening to spoken English*. London: Longman.
- Cameron, D. (2001). *Working with Spoken Discourse*. Sage Publication, 林宅男 (訳) (2012) 『話し言葉の談話分析』 ひつじ書房
- Fraser, B. (1996). *Pragmatic markers*. *Pragmatics* 6(2), pp. 167-190

- Heine, B. (2013). On discourse markers: Grammaticalization, Pragmaticalization, or something else? *Linguistic* 51(6), pp. 1205-1247
- Lakoff, R. (1975). Language and woman's Place. *New York: Harper and Row*, 川瀬裕子(訳)『性と言語-英語における女の地位-』有信堂高文社
- Ono, T., Iwasaki, S. (2002). Toward an understanding of 'sentence' in spoken Japanese discourse: Clause-combining and online mechanisms, 片岡邦好・井出幸子(編)『文化・インターアクション・言語』 pp. 103-131
- Sacks, H., Schegloff, E. A., Jefferson, G. (1974). A simplest systematics for the organization of turn-taking for conversation. *Language* 50, pp. 696-735
- Schegloff, E. A. (1979). The relevance of repair to syntax-for-conversation, T. Givon (ed.) *Syntax and Semantics 12: Discourse and Syntax*, pp. 261-286 *New York: Academic Press*.
- Schiffrin, D. (1987). Discourse markers. *Cambridge: Cambridge University Press*.
- Schiffrin, D. (1994). Approaches to Discourse. *Blackwell: Oxford UK & Cambridge USA*.
- Tannen, D. (1990). You just don't understand: Women and Men in Conversation. *New York: William Morrow & Co.* 田丸美寿々・金子一雄(訳)『わかりあえない理由』講談社
- Watanabe, M. et al. (2008). Filled pause as cues to the complexity of upcoming phrases for native and non-native listeners. *Speech Communication*, 50, pp. 81-94
- Watanabe, M. (2009). Features and Roles of Fill Pauses in Speech Communication: A corpus-based study of spontaneous speech. ひつじ書房

## 付録

### 会話例の抜粋(一部)

#### 第2章の会話例

##### 例 2-19

KT:加山さんがお出になった時に、もう加山さんは武道館で年が最長だなんて言われてたんだけど。

NH:はい。

KT:その後わたくしは出ましたものですから、ま、今のところは、だから、惨憺で出た方と、あの、最長、最長で出たあたしと、

NI:最短最長

KT:一緒に今日は集うということでございます。

NI:光栄でございます。

KT:じゃあそんなあの、本当にすごかった、武道館の、あの、ナオトさんの、あの、VTRがありますんで。

NI:はい。

KT:まあどんな風かっていうの、ちょっとご覧いただきますね。

##### 例 2-20

JL:所以说那头两年,那,那个,那个,很多人都怀疑我,我自己也,啧啧,自责自己,哎呀,这一步可能弄不好,整错了。

YL:□。

訳

JL:だから最初の2年間、(那,那个,那个)あの、あのー、あのー、たくさんの人に疑われ、自分も、(舌打ち)自分を責めます。この一步は間違えたかもしれません。

YL:うん。

##### 例 2-21

KT:うん。あのお嬢さんがお見えになったんだけど。

NH:はい。

KT:ご結婚なすってしばらく赤ちゃんできなかったんですって

NH:そうです。はい。

KT:土屋さおりさんって、あの、お嬢さん。女優さんもしてらっしゃいましたよね。

NH:はいしてました。昔ね。

KT:お孫さん。でもあなたの御主人の江原真二郎さんもお変わりのない方で、この方もね。

NH:そう。

KT:こうやって拝見すると。

NH:そうですか。

KT:ねえ、ほんとに。もうこの方お忙しい方で、今舞台しょっちゅう出てらっしゃる。

NH:はい。

KT:方なんで。でお孫さんはあどけなく、あんなふう。でもやっぱり、目の形なんかあなたそっくりね、なんかね。

NH:そうですか。

KT:うーん、すごいかわいい。でもお嬢さんは、あの、さおりちゃんは?

NH:ええ。

KT:二歳くらいからずっとコマーシャルとかなんか出てらしたんでね

NH:そうです。はい。

##### 例 2-22

YL:你从小是一个叛逆的女孩子吗?

ZX:其实我挺乖的,叛逆是:从:开始上舞蹈学校,就是那个:十几岁的叛逆期开始,

YL:□。

訳

YL:小さい頃から反抗的な女の子ですか?

ZX:実は大人しかったんです。反抗的になったのは:ダンススクールに通い始めたから:、就是那个:(つまりあの:)10代の反抗期から

YL:うん。

例 2-23

NI:ディスカッションだったりとかっていうのが色々あって、自分の中でもじゃああの平和のために何ができるんだろうって色々こう考えてたときに、やっぱ歌を歌いたいと、でどこで歌を歌おうと思った時に、これアラファトさん、の前だなど、ポンとひらめいちゃったんです。

KT:ええ。

NI:それからはもうあの、「アラファトさんってどこにいるの」っていうところから、あの、町の人に聞いて、でナマラという町にいる。

KT:うん、あそう。

NI:でバスを乗りついで、数時間かけて行ったりして、で、議長府に辿り着いて

KT:ええ。

NI:で、

KT:ものすごい警戒でしょ、だって。

NI:そうなんですよ。

KT:命狙われてる人ですからね、いつも。ええ。

NI:そうですね。で第一関門第二関門くらいはなんかこう????みたいに結構、挨拶と笑顔で乗り越えられていったんですけど

KT:ええ。

NI:三つ目の関門ではさすがにちょっとお前何しに来たみたいなことを銃を持った兵士に言われて

KT:うん。

NI:その時にあの、歌いに来たって言いそうになったんですけど、ちょっとなかなか、あ、そういう空気じゃないかと、

KT:うん。

NI:あの、歌、いや、あの、ジャーナリストだ、

KT:うん。

NI:って言い張りました。で、こう入ることができた。

KT:ジャーナリストだったら入れたの。

NI:そうなんです。でジャーナリストとして入ったんです。

KT:うん、それは何をなさってらしたんですか、そのアラファトさんは、その時。

NI:その時は、なんか、あの、その前日にテロがあったりとかなんかで、やっぱり声明を、アラファトさんの声明を出す、とかで色んなジャーナリストが

KT:あ声明を出すと、うんうん。

NI:はい、来てたりとかしてたので、その中の一人だったんですけど

KT:あ、じゃあ人がちょっと集まる場所だったんですね、

NI:そうなんですよ。

例 2-24

YL:你是每一次都特别特别投入的一个人。

ZX:对、我没有办法、就是说、哦、我看一会儿、那种(笑)

YL:但是因此也会比较容易受伤、会不会下一次

学得聪明一点。

ZX:学不会(笑)

YL:想学会吗?

ZX:呃::不想。

YL:为什么?

ZX:因为我觉得那种:感觉是我很喜欢的。嗯、我就是对感情毫无保留、我特别纯粹的那个::感觉是我很喜欢的。

訳

YL:あなたは毎回(恋愛に)とても没頭するタイプ。

ZX:はい、どうしても、つまり、あ、恋をすると、そのように(笑い)

YL:でも、より傷つきやすくなるから、今度は(恋愛に対して)もっと冷静に対処することはできませんか。

ZX:できません。(笑い)

YL:できるようになりたいですか?

ZX:え::なりたくありません。

YL:なぜ?

ZX:あの:(恋愛の)気持ちがすごく好きだから、えーと、恋愛に対してはいつもありのままの自分を見せて、特別に純粋な那个:::(あの::)感覚が私はとても好きなのです。

例 2-25

KT:だって名前がなんてったって太陽の祭りっていう名前なんで、い、いん

NI:インティライミ

KT:インティライミ

NI:はいありがとうございます。

KT:そういうことですからね。それから、あの、今度その、あなたのこの旅が映画になる?

NI:そうなんですよね。

KT:ええ。

NI:その、2ヶ月前にエチオピアに行って、

KT:ええ。

NI:あの、ハマロ族って行って、こう、あの裸の

KT:ええ。

NI:ええ、あの、少数民族と一緒に生活したりとか

KT:へー。

NI:でまたコロンビアこないだ一ヶ月前に訪れたりとか、

KT:うん。

NI:今の旅

KT:うん。

NI:が四月にあの公開になります。映画になります。旅歌ダイアリーという

KT:旅歌ダイアリー。

NI:はい。

例 2-26

HH:对我来说、我、不是特别喜欢:上电视

YL:嗯。

HH:然后、我、更喜欢在不露面的时候做一些事情。

YL:嗯。

HH:然后:可能那时候的:网络速度更新速度也快、当、当年可能都得一个月、我发表在文学杂志上、(YL: 嗯)然后、那个人看见了想了一个月。过一个月我再发表出来。

YL:□。

訳

HH:私にとって、私、テレビに出るのがあまり

好きではなくて

YL: うん。

HH: で、私、表に出ない時に何かやるのがもっと好きです。

YL: うん。

HH: で、あの時の: ネット速度更新速度が速いかもしれません、当、当時は1か月(が掛かる)、私は文学雑誌に発表して、(YL: うん)で、あの人見て1か月考えて、また1か月後私(の文章が)発表されます。

YL: うん。

#### 例 2-27

A1F: 女はさあ、なんか、結婚はこんな人とか、

B1F: でも、恋愛はこういう人★がいいみたいな。

A1F: →そうそうそう★そうそうそうそう←なんか理想とげんじ★つが違うじゃん。

B1M: →えへえー?←

B1F: →全然違うよね?←たぶん

A1F: ち★がう

B1M: →そうなの?←

C1M: あ、★そうなんだ。ああ、じゃあ、俺一緒かもしれない。

B1M: →そんな変わってくるの?←一緒じゃない?

C1M: なんか、付き合ったらー、

B1F: そのまま

C1M: 行きたいなあってゆう

B1F: あー

A1F: もう、なんか、結婚前提みたいな?

C1M: ん。

A1F: あー

B1M: ん。

B1F: いいよね?それなら

A1F: うーん、いいと思うー。

#### 例 2-28

YL: 你曾经说过、你说这个、(笑) 好像如果再做选择、不一定要选做演员这一行、觉得演员演一出戏、也是一个自我毁灭的过程、吭、说得挺悲情的。

ZX: 因为、当演员、其实是有些时候要去破坏自己的。

訳

YL: あなたは前言いましたが、这个(この)、(笑) もしもう一回選択するなら、芸能人になるのを選ぶとは限らないと言ったみたい。芸能人が芝居をするのは自分を破壊することです。ね、とても悲しい話ですね。

ZX: 芸能人は、実は時々自分を破壊しないといけないですから。

#### 例 2-29

KT: さてそんなところで、え、お嬢さんなんです。沙織さんから手紙がね、ちょうだいしていますね。

NH: あら、あら、ほんと?

KT: お嬢さんからお手紙のやりとりとかしてらっしゃる?

NH: あんまり手紙はないですね。

KT: ほんと。

NH: メールとか。

KT: そうね。サンキューっていうカードです。ちょっと、あのいいですか?サオリさんご紹介して。いい?

NH: はい。

KT: マミーへ。あ、ほんとだ、マミーだ。「マミーへ。慌てないで、たまにはゆっくり。無理しないでね。なんでもない毎日が、ホントはとっても幸せだってこと。ありがとう。いつも感謝しています。さおり。」

NH: はい。ありがとう。

例 2-30

YL: 听说在拍这个『霸王别姬』的时候、当时你的、这个、姐姐、是得:乳腺癌去世是吧?

GL: □

訳

YL: 「霸王别姬」を撮った時、あの時あなたの、这个(この)、お姉さん、乳腺癌で:亡くなったと聞いたけど、そうですか?

GL: うん。

例 2-31

NI: あの、まず最初のデビューというのが、

KT: うん。

NI: 実はもう 11 年、12 年前ぐらいでして。

KT: ええ。

NI: はい。で、まあ、え～鳴かず飛ばずといますか、

KT: あそう。

NI: 上手く行かず、

KT: うん。

NI: はい。んで～、ん～、そこからですね、ちょっとやっぱ上手くいなくて歯がゆくて、ま挫折といますか、そこから、あの、七八カ月間、一人暮らしの部屋で、こうずっと、体育座りをしているようなひきこもり状態

KT: ええ。

NI: になりました

KT: やっぱ挫折、一種の、もう初めっから挫折感じ…。

NI: そうですね。もう曲も作れないし、何をしても上手くいなくて

KT: うん。

NI: で、その両親も、友達にも、自分はやるぞやるぞってゆってた分、そういう状態の自分をさらけ出せれずに、

KT: うん。

NI: 電話とかももう出れなくなってしまって、一種のちょっと行方不明状態だったんですよ。その当時。

KT: 随分それわりと続くんですね、それが。

NI: そうですね。七八カ月間続いて、ただ、さすがにこのままではいけないなっていうことを思い始めた時に、自分のその夢、はなんだったってということで再認識したのが、あのワールドツアーをしたいという、

KT: うん。

NI: まあバカげた夢物語といますか、

KT: うん。

例 2-32

YL: 但我也看到有说、你也有过、呃::打长途电话回去、然后、是、一个劲儿地叫爸爸、却什么都没说(ZX:对对)的时

ZX: 对对、嗯

YL: 这也是你独特的表达方式吗?

ZX: 可能是这么多年来的一个感觉、对、就那天就是、就这样啦。(笑い) 对、打电话、对、那天我那记得

YL: 嗯。

ZX: 对、一直在叫、爸爸、爸爸、然后就哭、这样。

YL: □。

訳

YL: しかし、あなたは、ええ、お父さんに電話をかけて、ひたすらお父さんと呼んでいるが、何も言わない時もある。

ZX: はい、はい、はいはい、うん。

YL: これは独特な伝え方ですか。

ZX: これはこの数年間に渡る一つの感覚かもしれない。对、就(うん、で)あの日は就是(つまり)、(笑い) 对(うん)、電話をかけた。对(うん)、あの日まだ覚えている。

YL: うん。

ZX: はい、ずっと、パパ、パパを呼んでいる。そして泣いている。こう、「どうしたの?」とお父さんが聞いたら、「大丈夫、大丈夫」と、

YL: うん。

#### 例 2-33

KK: これお正月、今年のお正月。

KT: すごい! ええ。

KK: おせち料理なんですけれども

KT: ええ。

KK: これを食べないで、そのおそばだけ食べる。

KT: おそばが好きな。

KK: 好き

KT: うーん。

KK: でもう弱って、今日はもう体がきつい、沈みそうっていう時に、じゃあのキムチのそば食べるって言うと、もうパって目が輝いて。

KT: キムチそば

KK: は。

KT: すごい。

KK: うちの女房が作るキムチが美味しい美味しいってまた褒めるんですわ。

KT: それが上手くいってる理由。まとにかくこないだ、ほんとに久しぶりにあなたの奥さんに来ていただいたんですが。

KK: はい。

#### 例 2-34

YL: 说说你第一次到、刚刚到北京的时候、你的感觉。

ZX: 第一次就觉得、哎、很兴奋、那种、看什么东西都是、咦、咦(笑) 就那种(笑)

YL: (大笑) 所以那个时候你觉得、哎呀、我要是有一天能做到像谁那样就不错了、有没有这样的一种目标?

ZX: 没有。

訳

YL: 最初、北京に着いたとき、あなたが感じたことを教えてくださいませんか。

ZX: 最初は、哎(ああ)、すごく興奮していたと思います。那种(あのような)、何を見ても、え↑、え↑(笑い) つまりあのような(笑い)

YL: (大笑い) だからあの時あなた、あ、いつか私もあの方のようになれたらいいなあ、このいう目標はありますか?

ZX: ないです。

#### 例 2-36

B5M: 这奥运会时你要★是

O2 A5M: →奥←运会时、这: 这将达到一个饱和程度。这个这个



03 B5M:五湖四海的★都:都来

04 A5M:→这个、虽然←就两:两周吧两周多吧、  
对吧

05 B5M:两周得多。

訳

01 B5M:オリンピックの時も★し

02 A5M:→オ←リンピックの時、えっと:えつ  
と、(北京にいる人が)飽和状態に達  
す。这个这个(このこの)、

03 B5M:世界各国の(人)★みんな:、みんなが  
来て。

04 A5M:→この、でも←ただに:、2週間でし  
ょう2週間ちょっとでしょう、そうで  
しょう。

05 B5M:2週間以上。

#### 第4章の会話例

##### 例4-1

KK:今回この徹子の部屋で、うちのママが出て  
るとき見せたんです。は————、誰っ  
て、あんまり着物着て綺麗だからわからない  
の女房ってことが。

KT:そうそうお化粧もしてらっしゃるしね、え  
ーうん。誰だって。

KK:あー出てるんだってくらいで、

KT:あ、そんな?

KK:全く見ないです。

KT:へー、でもお正月にみんなで楽しく。なに、  
福笑いっていうのやったの。なんだったんで  
すかあれは。

KK:あの一、おふくろが来て、ちょうどヘアセ  
ットして

KT:あこれお母様。

KK:うん。なんかして遊ぼうって言うんで髪の毛を女房がセットした後、

KT:うん。

KK:じゃ孫がお化粧してあげるって言って、

KT:うん。

KK:福笑いをやったの。

KT:面白いわねそれこういうのやらせて平気  
なの。

KK:好きですね。このままじっと、まかせつき  
りですね。

KT:へー。

##### 例4-2

KT:中学生のとき?柏、レイソル

NI:はい。

KT:うん。そこに入って行って。

NI:そうですね。ほんとに、Jリーガーを目指  
していましたし、

KT:そうですね。あら可愛い。うん。中学  
生の頃。

NI:そうですね。レイソル時代の、はい。

KT:で、プロになる予定だったの。この頃は。

NI:いつもではいましたね。

KT:うん。

NI:はい。

KT:でも途中で、どう、どういうわけで音楽の  
方に行ったんですか。

NI:あの、同じく、中学二年生の時から、

KT:ええ

NI:曲を作り始めっていて

KT:ええ。

NI:こうオリジナル曲を。

KT:ええ

NI:で、気が付いたら高校一年の頭ではもう、その夢が、サッカーの夢と音楽の夢がこう入れ替わってたというか、それくらいやっぱ音楽の、あのー

KT:魅力に

NI:はい、取り憑かれてしまいました。

例 4-3/例 4-6

KK:好きなことだけやる。

KT:うん。

KK:やることが多いんですよ。

KT:そうですね。それで今まああなたが前から望んでらした田舎暮らしっていうんですか、熱海で、ま畑やったりとか、いい空気の中で

KK:はい。

KT:それで嫁姑がすごく上手くいってるのが、やっぱストレスがないんですって。

KK:いやー、もう、あのー、20年前の、嫁姑戦争の時は、地獄でしたね。

KT:やっぱりそうなんですって、大変だったんですって？

KK:今天国です。

KT:なんかおみおつけ、お作りになるのも、奥さまと、あのお母様とが違うモノ作って、両方食べなきゃいけないかったりしたんですって。

KK:朝起きて食事、おふくろが作る料理で、味噌汁を食べてるじゃないですか。白味噌ですよ。

KT:うん。

KK:で女房が起きてきて、あーあたしが味噌汁作ってあげる。赤味噌なんですよ。名古屋だから、朝から赤白味噌汁の両方飲まなきゃいかんでしょ。

KT:うーん。

KK:これは辛かったですね。

KT:なるほど。万事、一事が万事そうだったわけですからね。

例 4-4

KT:あの、あなたが作ってらっしゃる野菜を送ったりとかいろんなことを、カフェでもいらして、でいらっしゃいませとか色々やっってくださいってるんですってね。

KY:そうですね。商品開発とかですね。

KT:でもこの頃ね、あの、芸能人で、そんなにいっぱいじゃないですけどね、なんかモノを習いに行っって、その先生と結婚したって方が最近ここにね、考えられないでしょ、山田花子さんがトランペット習いに行った。

KY:は一。

KT:トランペットの先生と結婚したの。で熊谷真美さんは、マミさんはあまりに字が下手だったんで、書道習いに行っって、書道の先生と結婚したのよ。

KY:なんかやっぱり先生って魅力があるんでしょうね。

KT:そう。それであなた空手、空手の先生とって。だからやっぱりなんかあるんですよ。でもそれはもうきっと、

KY:縁

KT:縁ですよ。先生だからって結婚するわけじゃないですからね。

KY:そうですね。

例 4-5

KT:え、あなたがコンサートなさいました六日

前に、

NI: はい。

KT: え、徹子の部屋コンサートっていうのをやったんです。

NI: へーへー。

KT: まあ、私は歌わないんですけど、ま、一応、徹子の部屋コンサートっていう名前で、まあ司会、ていうかトークしたりなんかしたりですけど、

NI: ええ。

KT: でね、最長、年が最長

NI: へー。

#### 例 4-7

H1F: 猫もあるよね。血★統書

E1M: →あるんじゃない?←

C1M: あーるんーじゃない?

B1F: 高そうー

C1M: 猫

E1M: ねこー

C1M: なんか猫すごい可愛そうなイメージしかない。

E1M: なんで?

C1M: えなんか。

E1M: 放し飼いみたい?

C1M: んーなんかさあー、親戚の家で飼っているの猫、なんか(笑い)、猫って結構自由に動き回るじゃんね。

B1F: うんうん。

E1M: うん。

C1M: だからー、なんか箆笥だがなんどっか柱にくくりつけられてー。

E1M: 可愛そう。

#### 例 4-8

H3M: 全然、ギャルはね、やっぱ好きじゃないかも。

G3M: なにそれ。(笑い) 前ギャルが好きで言っとつ★たんじゃない

K3F: →そうだ←よ。ピチピチがいいって言ってたじゃん。

H3M: うん、なんかギャルに憧れてた。

K3F: (笑い) ギャルは卒業したの?

H3M: ギャルはね、面倒くせいやって。

K3F: (笑い)

G3M: ★なんか相手にされなさそうだからさあ、諦めたんでしょ。

L3F: →なんか(笑い)←

K3F: そうだー、諦めたのか。

H3M: 違う違う違う

#### 例 4-9

C1M: なんかさあ、ほら、相手に求める条件。

B1M: 特にはないね。

B1F: 料理はうまいとか?

C1M: あーりょう、俺、料理がうまい人じゃないといやだもん。

A1F: 家庭的な感じ?

B1M うん。

B1F、A1F: 笑い

C1M: まじで(笑い)

B1M: うーん、それは

C1M: え、それもちょっとあるよね?

B1F: まずいものはまずい。##食べれん。

B1M: あるあるある。

C1M: うーん

B1F:感じ?  
A1F:えー——?  
B1F:まずいものがまずい。  
B1M:うーん  
C1M:なんか、うちの親が、結構うまいんだよ?  
なんか、  
B1F:あ——★ん  
A1F:→うん←  
B1M:お——ん。  
C1M:そのー、看護師をやってて、  
B1F:ん。  
A1F:あ一緒だ(笑い)  
C1M:★そのー、なんか、そのー調理場でなんか(A1F:うん)やってたらしいから、なんかいろいろ料理覚えて、そこで★結構うまいんだよ?だからそれを考えると。  
B1F:→(笑い)ねー?← →ん——← あお——  
C1M:うん。  
A1F:あ————。  
B1M:う——ん。  
B1F:料理は大事な気がする。

#### 例 4-10

A1F:女はさあ、なんか、結婚はこんな人とか、  
B1F:でも、恋愛はこういう人★がいいみたいな。  
A1F:→そうそうそう★そうそうそうそう←なんか理想とげんじ★つが違うじゃん。  
B1M:→えへえ——?←  
B1F:→全然違うよね?←たぶん  
A1F:ち★がう  
B1M:→そうなの?←

C1M:あ、★そうなんだ。ああ、じゃあ、俺一緒かもしれない。  
B1M:→そんな変わってくるの?←一緒じゃない?  
C1M:なんか、付き合ったらー、  
B1F:そのまま  
C1M:行きたいなあってゆう  
B1F:あ———  
A1F:もう、なんか、結婚前提みたいな?  
C1M:ん。  
A1F:あ————。  
B1M:ん。

B1F:いいよね?それなら  
A1F:うーん、いいと思うー。

#### 例 4-24

L3F:じゃあ、先に教えて  
K3F:うん  
G3M:何って言っとった?  
H3M:優しさ。  
G3M:あ——、そうだろうだ。  
H3M:色気  
K3F、L3F:<笑い・複>  
H3M:もう一個、後何だっけ、それだけしか無かつちゃっけ、俺★は  
G3M:→いや←いやいや。後なんか家庭的とかなんかいろ★いろあるじゃん。  
H3M:→家庭的とか←言っとったね。  
G3M:うん、まあ、そんな所。  
H3M:うん。  
G3M:はい。  
L3F:ん——。  
K3F:いっぱいある。困るね。

G3M:全部言っていていいよ。

例 4-11

KT:うーん、すごい可愛い。でもお嬢さんは、あの、さおりちゃんは？

NH:ええ。

KT:2歳くらいからずっとコマーシャルとかなんか出てらしたんでね。

NH:そうです。はい。

KT:うん。で、結婚なすったけどなかなかお子さんおできにならなくて、で恵まれて、そいじゃあもう。

NH:はい。40いくつで、

KT:40いくつで、初産。

NH:はい

KT:初産。

NH:ええ。だから、結構難産。

KT:あそうだったの。

NH:はい。

KT:心配だったでしょう、娘が。

NH:そうですね。

KT:ねえ、子供産むなんて。あ、かわいい。まあね。今おかあさんもこんなかわいいおリボンのようなものつけたりなんかしていいわよね。

NH:はい。

KT:うん可愛いお嬢さま、頭になんかつけて。この頃ほんとにこういういろんなものあるからね。おもしろい。でもあれなんですって。あの、あの、江原さんのことは、あれ、なんて呼ばせてるんだっけ。

NH:じじちゃま。

KT:あ、じじちゃま。であなたのことはすごい

のね。であなたのことなんて。

NH:なんかさおりが言うには、あの、自分が私のことをマミマミって呼んでたんですよ。

KT:うん。

例 4-12

KT:今日のお客様、14歳の時初めてお目にかからせていただきました。

KY:はい。

KT:ま女優さんとしてですけど、それから、まあ、ハリウッドでもご活躍なつたんですが、今は、あの富士山の裾野の方で農業をやって大好きな農業をやってらして、それから、あの、映画にも出てらっしゃるし、でそれで、ご結婚もなすったという、工藤夕貴さん。色々伺います。どうも。

KY:ありがとうございます。

例 4-13

KT:だって名前がなんてったって太陽の祭りっていう名前なんで、い、いん

NI:インティライミ

KT:インティライミ

NI:はいありがとうございます。

KT:そういうことですからね。それから、あの、今度その、あなたのこの旅が映画になる？

NI:そうなんですよね。

KT:ええ。

NI:その、2ヶ月前にエチオピアに行って、

KT:ええ。

NI:あの、ハマロ族って行って、こう、あの裸の

KT:ええ。

NI:ええ、あの、少数民族と一緒に生活したり

とか  
KT:へー。  
NI:でまたコロンビアこないだ一ヶ月前に訪  
れたりとか、  
KT:うん。  
NI:今の旅  
KT:うん。  
NI:が四月にあの公開になります。映画になり  
ます。旅歌ダイアリーという  
KT:旅歌ダイアリー。  
NI:はい。

例 4-14

KT:うん。あのお嬢さんがお見えになったんだ  
けど。  
NH:はい。  
KT:ご結婚なすってしばらく赤ちゃんできな  
かったんですって  
NH:そうです。はい。  
KT:土屋さおりさんって、あの、お嬢さん。  
女優さんもしてらっしゃいましたよね。  
NH:はいしてました。昔ね。  
KT:お孫さん。でもあなたの御主人の江原真二  
郎さんもお変わりのない方で、この方もね。  
NH:そう。  
KT:こうやって拝見してると。  
NH:そうですか。  
KT:ねえ、ほんとに。もうこの方お忙しい方で、  
今舞台しょっちゅう出てらっしゃる。  
NH:はい。  
KT:方なんで。でお孫さんはあどけなく、あんな  
ふう。でもやっぱり、目の形なんかあなた  
そっくりね、なんかね。

NH:そうですか。  
KT:うーん、すごいかわいい。でもお嬢さんは、  
あの、さおりちゃんは?  
NH:ええ。  
KT:二歳くらいからずっとコマーシャルとか  
なんか出てらしたんでね  
NH:そうです。はい。

例 4-15

KT:だからあの、うちを売るだ引越すだとい  
いながら、またそこに苗だなんだ。  
NH:そう植えちゃって。去年もね、ね、バラ 8  
本も植えて、植えちゃって。  
KT:やっぱきれいに咲くの。  
NH:咲くんです。  
KT:やっぱ土がいいでしょうね。  
NH:そうですね、昔は畑だったから。  
KT:でもサクラがそんなにふうに咲くなんて  
ね。  
NH:はい。  
KT:やっぱ土が良くないとね。  
NH:そうですね、だから、あのお部屋が、あの  
二階がリビングなんですけど、そこからちょ  
うどお花見できるんですよ。  
KT:あら、じゃあもうしばらくそこにいらした  
ら?  
NH:その方がいいかも分かんないですね。  
KT:ちょっとここで。

例 4-16

KT:さてそんなところで、え、お嬢さんなん  
ですね。沙織さんから手紙がね、ちょうだいし  
てますね。

NH: あら、あら、ほんと？  
KT: お嬢さんからお手紙のやりとりとかしてらっしゃる？  
NH: あんまり手紙はないですね。  
KT: ほんと。  
NH: メールとか。  
KT: そうね。サンキューっていうカードです。ちょっと、あのいいですか？サオリさんご紹介して。いい？  
NH: はい。  
KT: マミーへ。あ、ほんとだ、マミーだ。「マミーへ。慌てないで、たまにはゆっくり。無理しないでね。なんでもない毎日が、ホントはとっても幸せだってこと。ありがとう。いつも感謝しています。さおり。」  
NH: はい。ありがとう。

#### 例 4-17

KT: ゴルフ？  
KY: はい。あの、たまたま喫茶店で2人になるきっかけが初めて会ったときにですね。  
KT: うん。  
KY: いきなり、結婚しようっていうふうに言われてですね。  
KT: えーびっくりしなかった？  
KY: いや、すごいびっくりしてですね。  
KT: うん。  
KY: え、付き合ってたじゃなくて結婚↑って思うんですけど、  
KT: うんうん。  
KY: その時はなんかすごく怖いイメージがあったので、  
KT: うん。

KY: なんか、付き合ってたじゃなくて結婚って聞けるような感覚がなかったんですよね、あ、はいっみたいな感じで、なんかいきなりこう知らないうちに渦に巻き込まれていて、知らないうちになんか、あ、結婚しよう。  
KT: でもいやじゃなかったのよね、あなたはね？それはきっとね、その人はね。  
KY: あ、すごいやっぱり。  
KT: やだったらやだっていうだろうからさ。  
KY: その通りです。あの、やっぱり尊敬してましたし、あの、子供の時からやっぱり芸能界で生きてきけると  
KT: そうそう、うん。

#### 例 4-17

KT: 初めてみた時からいいなと思ったの。それともだんだん、  
KY: いや、初めて見た時も、あの結構、あ、なんか、すごい、こう自分持ってるっていうか、ちょっと素敵な人だなとはもちろん思ったんですけど、あの、もう第一印象がですね、すごく嫌われてると思ったんです。  
KT: あなたが。  
KY: ええ、で、向こうも向こうで、なんか、すごいこう、ツンツンしてるって思ったらしいんですけど。  
KT: ま、女優さんだったからもあるしね。  
KY: はい、なんかこう、寄せ付けないオーラが出てたとかいうんですけど、あたしはあたしで緊張してただけなんですけよ。  
KT: であちら刑事さん、  
KY: はい  
KT: 刑事さんだったんですってね？

KY: そうなんですね。はい。

KT: で、お習いになっていらっしゃるうちに、うちにだんだん?

KY: いや、それがですね。あの、うちの旦那はどちらかという、男、が好きで男の人で、女の人とか、結構硬派なタイプなので、なんか、こう、じょ、女子はあまり寄せ付けない、的、な、こう、

KT: あそう。

#### 例 4-18

KT: なるほど。でも結婚なさってやっぱ幸せって、

KY: そうですね。なんかあの、幸せっていうのはこういうものなんだろうっていうふうに思います。

KT: よかったですね。

KY: なんかあの、なんていうんですかね、山があったり谷があったりはもちろんしますが、

KT: うん。

KY: ただ、自分はどちらかという子供の時から芸能界できて

KT: そうそう。

KY: で一度は結婚失敗したりしてですね。

KT: そうですってね。

KY: はい。やはりこう自分の人生、あの何があってもあの自分、が自分を支えていくんだっていう、やっぱりその、その原点はもちろん今でもあるんですけども、あの、やっぱりこう、男の人に負けたくないっていうか、やはりそういうところがあったような気はするんですけど、あの、自分が初めてその、うちの今の旦那とあって、あ、女性は女性でもい

いんだなとか

KT: ちょっと頼ったり、

KY: ええ。

KT: 相談したり、相手が言うことはそうかそうしようかなと思ったり、うん、そういうのは悪くない。

KY: そういうふうにも生きてもいいんだなっていうことができますね。

KT: わかりますー。

KY: はい。

#### 例 4-19

KT: なるほど。でも結婚なさってやっぱ幸せって、

KY: そうですね。なんかあの、幸せっていうのはこういうものなんだろうっていうふうに思います。

KT: よかったですね。

KY: なんかあの、なんていうんですかね、山があったり谷があったりはもちろんしますが、

KT: うん。

KY: ただ、自分はどちらかという子供の時から芸能界できて

KT: そうそう。

KY: で一度は結婚失敗したりしてですね。

KT: そうですってね。

KY: はい。やはりこう自分の人生、あの何があってもあの自分、が自分を支えていくんだっていう、やっぱりその、その原点はもちろん今でもあるんですけども、あの、やっぱりこう、男の人に負けたくないっていうか、やはりそういうところがあったような気はするんですけど、あの、自分が初めてその、うち



の今の旦那とあって、あ、女性は女性でもいいんだとか

KT:ちょっと頼ったり、

KY:ええ。

KT:相談したり、相手が言うことはそうかそうしようかなと思ったり、うん、そういうのは悪くない。

KY:そういうふうにも生きてもいいんだなっていうことができますね。

KT:わかりますー。

KY:はい。

#### 例 4-20

KK:でおふくろが弱ってきてますからね、そしてたら今こう助けてくれてる。あーだから嫁姑でもめてる人は、ま優柔不断でありながら女房を大事にした方がいいよ、っていうふうな思いはありますね。

KT:ねー、それでお母様 100 歳でお元気で。で今お母様老人ホームの方に。

KK:はい、今施設の方をお願いしているんですけどね。

KT:ええ

KK:これがもう元気で、もう 98 歳で絵手紙やって、

KT:そう

KK:99 歳で書道をやって

KT:ね。

KK:今は英語、英会話やっています。

KT:そうです、英会話するのはすごいですよ。外国の方とこれからお話になろうっていう寸法でしょうからね。

KK:そして 100 歳で新たに今、あの、歌を歌っ

てますから、みんなでもう、だいたい唱歌とか童謡なんか 20 曲ぐらい

KT:そう、100 歳。

KK:100 歳。

KT:うん、すごい、あほんとだほんとだ。えー100 歳になりました。これお誕生日の時でしょうね。

KK:そうですね。

#### 例 4-21

KK:これお正月、今年のお正月。

KT:すごい！ええ。

KK:おせち料理なんですけれども

KT:ええ。

KK:これを食べないで、そのおそばだけ食べる。

KT:おそばが好きな。

KK:好き

KT:うーん。

KK:でもう弱って、今日はもう体がきつい、沈みそうっていう時に、じゃあのキムチのそば食べるって言うと、もうパって目が輝いて。

KT:キムチそば

KK:は。

KT:すごい。

KK:うちの女房が作るキムチが美味しい美味しいってまた褒めるんですわ。

KT:それが上手くいってる理由。まとにかくこないだ、ほんとに久しぶりにあなたの奥さんに来ていただいたんですが。

KK:はい。

#### 例 4-22

L3F:じゃあ、先に教えて

K3F: うん  
G3M: 何って言っとった?  
H3M: 優しさ。  
G3M: あー、そうさそうさ。  
H3M: 色気  
K3F、L3F: <笑い・複>  
H3M: もう一個、後何だっけ、それだけしか無  
かつちゃっけ、俺★は  
G3M: →いや←いやいや。後なんか家庭的とか  
なんかいろ★いろあるじゃん。  
H3M: →家庭的とか←言っとったね。  
G3M: うん、まあ、そんな所。  
H3M: うん。  
G3M: はい。  
L3F: んー。  
K3F: いっぱいある。困るね。  
G3M: 全部言っていていいよ。  
  
例 4-23/例 4-26  
G3M: 今もさあ、バイトさあ、眼科ってすーご  
いさあー、いやじゃない。  
I3M: いやだねー。  
G3M: ね、プレッシャーっていうか★さあ  
L3F: →いや←だ。だってさ、一生、これから  
さあ、★ずっと関わっていくのにさあ。  
G3M: →そう←  
L3F: もう?★みたいって  
G3M: →もう←  
L3F: ★なんか、  
G3M: →うーん←  
L3F: でも、そんな★感じがする。  
G3M: →なんかだって、毎←日実習、毎日じゃ  
ないけどさあ

E3F: うん。  
G3M: なんか、毎週自習があるみたいじゃん。  
E3F: でも、なんか、その、Nもその眼科に、  
すごいもう(とぎ)込んでるから、★今、だか  
らやっても一、全然苦にならない。  
G3M: →あー←  
E3F: だからやっても一、全然苦にならない。  
流れでバーって行って、で帰ってきて、暇な  
時ワーってしゃべってみたいな。  
G3M: あー、いや、ストレスたまりそう。  
E3F: 全然たまらん、昨日ケーキもらって一。

#### 例 4-24

K3M: 堤防沿いを、あの一、4、5人で釣り、中  
学校のときだけどー  
未明: 中学校、結構危ないね。  
J3M: 4、5人で  
I3F: 自転車とかは座れるの?  
K3M: 自転車、自転車走っとったら、  
I3F: うーん。  
K3M: 両サイドがなんか、坂みたいの分、あの一、  
川沿いね、ネットテニグがあって、  
J3M: はいはいはいはい  
K3M: 3階になつとるの。こっちがS川、あ、T  
川とS川があって  
I3F: 笑い  
K3M: で、暗いね、よ、夜釣り行ったもんで、  
夜行くだけどー。  
I3F: (笑い)うん。  
K3M: で、すー、あるトンネルがあって、なん  
か知らんけど、あの、高速が、高速じゃなく、  
★道路の下、あの、ところがあって、そっこ  
から、★ワンワンワンンって両サイドから

I3F:→はあ、はあ、はい、はい← →(大笑い)

←

一同：笑い

J3M:はさみこまれた？(大笑い)

K3M:はさみこまれたんだって、野犬に。

H3F:噛まれた？

K3M:噛まれてない、もう、必死★に逃げたよ、

こうやって、チャリで。

I3F:→笑い、ちょっと待って、おもしろすぎ

る。←

一同：笑い

#### 例 4-27

L3F:でだ、だって、普通に彼女がいること。

★遊んじゃだめ？

K3F:→うん、遊ぶよ。←

H3M:あー、それは、ん

L3F:どう違う。

K3F:うん、友達の。

L3F:だって

H3M:むこう意識してるかもしれない。

K3F:してないしてない。べ★つにしてた、

G3M:→それでも分← ★からんじゃん。

K3F:→そう←そう、別にしてたとしても、★

まあ、友達だと思っているから

L3F:→うちには関係ない(笑い)←

K3F:関係ないし。

H3M:笑い

K3F:え?って

H3M:酷だなー。

一同笑い

H3M:酷本当。

#### 例 4-28

NH:パパが桜の、桜が好きで、庭に植えたいつ  
ていうから、「なんか毛虫が出るらしいわよ」

とかいいながら、まあ植えたんですよ。

KT:うん。

NH:四、五年前に。

KT:うん。

NH:でそれも大きくなっちゃって、桜が咲く。

KT:あそう。

NH:バラが好きなんで、バラも植わってるんで、  
でもう五月になると、もう五月はほとんど切  
り花。あの一

KT:切り花。

NH:花屋さんから買わないで、

KT:あー、お花。

NH:うちの花で、すましています。

#### 例 4-29

KT:おお、モロッコ。

NI:はい。

KT:みんな良く反応してくれますね、なんか。

NI:そうですね。なんか日本人騒いでるぞっつ  
って、みんなこう集まってきて。

KT:みんな???

NI:これ砂漠をずっと###くらい。

KT:そう。

NI:徹夜で歩いた時ですね。

KT:へー。

NI:ボロボロです。

KT:パレスチナ

NI:はい、ピエロの、あの、

KT:あほんとだ。うん。

NI:旅人のピエロ達と一緒にショーをやって

ましたね。

KT: うーん、すごい。すごいじゃん、なんか食べてる。

#### 例 4-30

KT: それからあのまあ、インドとかあとアラブとかさっきずっとおっしゃいましたけど、ま中東とか、そういう人たちとこうなんか触れてみたいってずっと思ってたんですけど、なんか

NI: そうですね、なんかやっぱすごい人懐っこかったりとか

KT: うん

NI: あと、アラブの、アラブ圏内だと、女性がこうね、

KT: そうそう。

NI: 黒い布を覆ってる、ああいう姿って、なかなか僕ら文化が違いすぎて、ちょっとあのなんでしょう、あの理解にちょっとね、その、なかなか違うものしてとらえちゃうんですけど、その、居候さしてもらってたシリアの国に、その年頃のお姉ちゃんが住んでまして、

KT: うん。

#### 例 4-31

H3M: これから実習だよ、もう一。

G3M: ★疲れたね。

L3F: →え?←あ、クリニック。

K3F: あー、クリニック?

H3M: ねっむい、やばい。

#### 第 5 章の会話例

#### 例 5-1

YL: 什么时候你觉得工作和生活的矛盾是最突出的?

GL: 呃 : : 是这个 travel, (1.6) 就是 : 我是觉得, (1.3) 我这一辈子都拿着一个箱, 拿着这几个箱子到处乱跑, (0.4) 这个旅行太多了。(0.7) 完了就没有, 没有家的感觉。(0.7) 呃 : 我也觉得, (0.6) 呃 : 嗯 : : (0.7) 这个可能会让我的生活有一些, 有的时候有一些单调, 就是我的箱子每天都是, 到了一个地方, 我, 回来家以后, 我的箱子就摆在地上, 就把它打开, (0.7) 嗯 : : 要洗的东西拿出来洗, 不洗的东西就放在里面先别动了, 过几天就走了。(0.7) 完了, 就老师觉得回家也是一个饭店的感觉, 我, 我想可能有一天, 我, 我要停止一下,

YL: 你会不会觉得就是, (0.4) 呃, 作为一个, (0.3) 呃, 一年当中可能, 呃 : 经常会出差, 而且会在一个剧组里一待待几个月的这样的一个演艺的生涯,

GL: 嗯

#### 例 5-2

YL: 你现在真的把赛车当成一个专业在做了, 是吗? 而不是说, 像一开始, 很多人会觉得你是在玩票而已。

HH: 呃 : 关键这, 这东西吧, 不好, 不好玩票, 你别的東西能玩票, 我觉得写东西啊, 或者 : 唱歌倒是都能玩票, 因为你没法分辨好坏, 你死活认着我是好的那【没办法, 但是】

YL: 【hhhhHuhh】

HH: 赛车因为, 他是一块发车的, 你快慢 : 大家看一眼都知道, 如果你是去玩票, 老, 老开在最后一个都不好意思, 因为我, 啞 : 从小参

加各种运动，在学校里面的比赛或者什么，基本上都是：第一名，所以，【哟】如果不在前面，我会特别难受，我自己不大会，嘖，允许去那里玩票。

YL 【嗯】

例 5-3

JL:包括并购 AMC 也是一样，跟管理层谈判就是很艰苦的，我们跟管理层谈了一年。

YL:嗯

JL:起码几十次谈判。

YL: =你没有失去耐心的时候吗?

JL:呃 :: 呃，呃，当然有失去耐心了，【我们有好】几次就是说这个事看来做不成了，但后来我又想，唉，这样，嘖，再努力一下，

YL: 【嗯】

JL:呃 : 反正我给大家讲，就是花时间嘛。

YL:嗯

例 5-4

A11F:我一看，我是太顽固了，我还想改一改。

B11F:是吗你有时候是有点固执

A11F:我觉得，嗯，我觉得::阻碍，是阻碍自己的发展，因为挑不出自己的那个，自己框了一个圈子。

B11F:但是有时也分，自己方面，你看你如果说有自己有主见的话

A11F:肯定有。有好处也有坏处。

B11F:是吗

A11F:嗯

B11F:像我的话，随风倒

A11F:可以让你，多长点见识。

B11F:多长点见识永远，这样的人永远都是跟在

别人后面。永远不可能有自己的::就是说，成立自己的一个::风格啊。还是说，有自己的一番事业，都是跟在别人后面###别人说什么就::

A11F:哎呀，没事儿，反正这个时候什么人，什么人自己人才能信啊。

B11F:对，这就是什么人他都需要，最可悲的是，我觉得:、百分之九十的人都没有找到最适合自己的、一辈子都没有找到自己最适合自己的那个职位、岗位。

A11F:比如说

B11F:就:就是说、比如说、就、像昨天 J 老说的的那个

A11F:□。

B11F:那是说什么来着。性格没有好坏、说、就是怕你没找到:合:合适自己的职业。

例 5-5

B5M:这奥运会时你要★是

A5M:→奥←运会时、这:这将达到一个饱和程度。这个这个

B5M:五湖四海的★都:都来

A5M:→这个，虽然←就两:两周吧两周多吧、对吧

B5M:两周得多。

A5M:两周都 8 月 8 号

B5M:你这不能 8 月 8 号来啊，你有那你这游客，你这::这弄一个月。

A5M:是是是，我说我说从开始:对对对，这一个月，这中国:尤其是北京，这个:还面临着很多问题呢还没解决，比如说，这个交通问题。

例 5-6

YL:【嗯】(0.8)其实之前,呃::第一次得到,那个:电影的奖项的时候,还是因为《苏州河》是吧?

ZX:对

YL:那时候在巴黎电影节获过一个最佳女主角的奖,

ZX:嗯

YL:那时候是刚刚出道,不久,吭,还没有,真正地成大名的时候。

ZX:因为是英文,然后呢,我的那个发音,就是说,周迅那个发音,就在外国人来讲,很难发【出来】

YL:【很难发】对

ZX:就说我的时候,根本就,

YL:【听不到是谁, hhhh】

ZX:【听不,听不懂,对对对】我就还在那儿待着呢,【然后】那个,呃,就我的翻译就说:‘hey,【it’s you】,it’s you.’”当时拿着奖杯,心情,有一种莫名其妙的失落感。

YL:【呃呃】【Huhhh】为什么呢?得奖还有失落感呢?

ZX:那时候会明白,哦,得奖很开心

YL:嗯

ZX:对,但是得奖还是要一样地去工作啊。去,

YL:@你打算不工作啊?@【hhhhh】

ZX:【不是不工】作,就是说没有什么改变。

例 5-7

YL:在这个爱情方面,我觉得,你倒是有一种,那个,曾国藩你哦精神@叫屡败屡战的那种@Huhhh好像每次我觉得,你都,呃::非常地投入,昂。

ZX:我觉得其实也不是,败的问题,对,就是因为,嗯:分开了,这个没有败或者是胜,就是,呃::在一起的就是一个过程。

YL:你是每一次都特别特别投入的一个人。

ZX:对,我没有办法,就是说,哦,我看一会儿,那种,【Huhh】

YL:【Huhhh】(0.2)但是因此也会比较容易受伤,会不会下一次学得聪明一点。

ZX:学不会 Huhh

YL:想学会吗?

ZX:呃::不想。

YL:为什么?

ZX:.hh 因为我觉得那种:感觉是我很喜欢的。嗯,我就是对感情毫无保留,我特别纯粹的那个::感觉是我很喜欢的。

例 5-8

HH:对我来说,我,不是特别喜欢:上电视

YL:□。

HH:然后,我,更喜欢在.hh不露面的时候【做】一些事情。

YL:【□。】

HH:然后:可能那时候的:网络速度更新速度也快,当,当年可能都得一个月,我发表在文学杂志上,【然后】,那个人看见了想一个月。

过一个【月我再】发表出来

YL:【嗯】 【嗯】嗯。

HH:可能没有当时那么激烈和争锋相【对】

YL: 【嗯】嗯:

例 5-9

ZX:然后那个时候的演员是巩俐和,

YL:张【国荣】

ZX: 【张】国荣

YL: 嗯

ZX: 对, 那 : 段的时间, 其实对我是非常非常重要的。

YL: 你觉得最惊奇的, 或者是你觉得最神奇的是什么?

ZX: 我记得有一场戏是 : 巩俐有一场戏是, 呃 : 用她的手去推麻将牌,

YL: 嗯

ZX: 就那个时候, 就觉得, 呃, 手, (1.1) 手也是可以有的。

YL: 呃::

ZX: 对, 那个镜头印象非常非常深, (0.9) 那个就是从她的脸下来, 到手, 就然后把那个麻将牌推掉, (0.6) 就觉得这是有气场的。

例 5-10

YL: 你曾经说过, 你说这个, .hh 好像如果再做选择, 不一定要选做演员这一行, 觉得演员演一出戏, 也是一个自我毁灭的过程, 吭, 说得挺悲情的。

ZX: 因为, 当演员, 其实是有些时候要去破坏自己的

YL: 嗯

ZX: 对, 因为你不破坏自己, 你要是坚持, 特别主观的话, 就是你永远演的就是你自己。

YL: 嗯

例 5-11

YL: 听说在拍这个《霸王别姬》的时候, 当时你的, 这个, 姐姐, (0.5) 是得 : (0.5) 乳腺癌去世【是吧?】

GL: 【嗯】

YL: 所以像在那样的一个时候, 个人的生活理由这么大的, 这个, 危机吭, 然后, (0.4) 呃 : 又在这个片场当中, 你会不会觉得人有被这种撕裂的感觉?

GL: 呃 :: 觉得自己为家庭做得还是不够, 太少了, (0.5) 嗯 :: 如果我姐姐, 如果那时候我没那么忙, 我早一点儿, (0.9) 呃 :: 可能帮助她去找医生啊或者怎么样, 多做一点的话, 可能自己心里会好受一些, 觉得 当时也是太忙了, 呃 : 那 : 嗯 : 就是不能家庭跟那个工作, 就是兼并了, 所以 :: 总是觉得做得很少, 给家里做得特别少。

例 5-12

YL: 但我也看到有说, 你也有过, 呃 :: 打长途电话回去, 然后就是, 一个劲儿地叫爸爸, 却什么都不说【的时候】,

ZX: 【对对】对对, 嗯

YL: 这也是你独特的表达方式吗?

ZX: 可能是这么多年来, 一个感觉, 对, 就那天就是, 就这样啦。hhh 对, 打电话, 对, 那天我那记得

YL: 嗯

ZX: 对, 一直在叫, 爸爸, 爸爸, 然后就哭, 这样。

YL: 嗯

ZX: 爸爸问, ”怎么了?“没事, 没事

YL: 你觉得你最要强的时候是什么时候?

ZX: 就是说不允许那个, 自己是那个, 不强的, 我不知道该怎么说。

YL: 嗯

例 5-13

YL:为什么呢?得奖还有失落感呢?  
ZX:那时候会明白,哦,得奖很开心  
YL:嗯  
ZX:对,但是得奖还是要一样地去工作啊。去,  
YL:@你打算不工作啊?@【hhhhh】  
ZX: 【不是不工】作,就是说没有什么改变。  
YL:这次获奖的意义会更大一些吗?  
ZX:因为我,这么多年了嘛,那,呃:也是:自己没有上过学校,啊,我的老师就是每个剧组的导演。对我来讲,这是一个比:上过学校的演员更深的肯定。

例 5-14

YL:说说你第一次到,刚刚到北京的时候,你的感觉。  
ZX:第一次就觉得,哎,很,兴奋,那种,看什么东西都是,噢,噢@【就那种】@  
YL: 【HuhHuhhhhh】所以那个时候你觉得,哎呀,我要是有一天能做到像谁那样就不错了,有没有这样的一种目标?  
ZX:没有

例 5-15

B4F:你知道 Z 那个::那个什么::就是::第::那个鸦片战争时候那个  
A4F:不知道啊。  
B4F:Y(人名)知道吧。  
A4F:不知道。  
B4F:历史书那个第::呃、中国近代史第一章鸦片战争的时候。  
A4F:嗯。  
B4F:下面有个表格

A4F:嗯  
B4F:就是讲那种:就:英雄,英雄你记得吧。  
A4F:嗯:不是有那种什么三:什:什么什么

例 5-16

B4F:那个山的话、那个::呃、学校那些桥就是完全就是那种:古典的那种石桥嘛。然后、我们  
A4F:大学也没这么好啊。  
B4F:对啊、就是他们很多说就是比很多大学:  
A4F:嗯。  
B4F:要漂亮很多嘛。  
A4F:嗯嗯。  
B4F:然后:,反正一点没有比北大难看这样子的啊。

例 5-17

B4F:另外,就是,啊,我给你讲,我怎么去那个学校的好了。  
A4F:嗯。  
B4F:我原先不是在那个::老家那边、念、念小学嘛。  
A4F:嗯。  
B4F:啊、然后后来、那个、6 年级的时候、不是、毕业。因为小学的话你就是、因为它义务教育嘛。  
A4F:嗯。  
B4F:然后直接升上去那就就是、当地的一所中学嘛、大概就是那种很普通的一种中学。  
A4F:嗯嗯嗯嗯。  
B4F:然后我们可以考嘛  
A4F:嗯嗯。  
B4F:##其实,其实我:在,我去,读的那边那个



高中其实那个:就是我们当时其实没有人去的嘛。

A4F: 嗯。

B4F: 因为是另外一个县了嘛,

A4F: 啊::

例 5-18

A5M: 就是, S(人名), 不, Z 出身就是农民吗?

B5M: 对, 就是说这个意思。

A5M: 他就是农民

B5M: 不是, 你不管他是什么民, 他就是说这意思, 就是说我, 我觉得舞台上来讲或者说受这个艺术来讲, 他这个, 嗯, S 来讲比 Z 要提前得多, 我觉得。

A5M: 对, 这我信。

B5M: 而且 Z(人名)、那绝对不是科班

A5M: Z 是★本色、本色演出

B5M: →只不过←

A5M: 绝

B5M: 属于那、多才多艺吧。

A5M: 哎、这你说我真、他会弹钢琴、会吹那个那、那叫什么玩意儿。

B5M: 不知道、那能吹那

A5M: 然后呢踢球还进了一个、那、家、这山庄也办着、L 大舞台也整着、这个、二人转

B5M: 对。

A5M: 是吧, 这还真是, 多才多艺, 那, 那, 什么都拿得起来, 什么都能, 来, 来两下儿, 而且最近, 拍电视剧, 乡村爱情看了吗? 乡村爱情第二部。

B5M: 我不爱看二。

例 5-19

B4F: 然后那个高中, 那边那个池子还有一座山嘛, 那个山的话是那个就是:, 梓叫梓荫山, 然后山呢, 上边是那种: 当时打那个, 你知道清朝那个不是他们那个炮不是: 很落后的啊。

A4F: 嗯:

B4F: 就是那种自己造的那种炮嘛

A4F: 嗯嗯。

B4F: 山上有几座炮、就是以前那个遗留下来、还有一个 L(人名) 纪念堂嘛。

A4F: 嗯。

B4F: 然后 L(人名) 像什么的、然后后边几座 X 碑什么的、然后学校里到处都是那种:、就是那种:、那个什么、亭台水榭阁楼的那种、那种东西嘛

A4F: 啊、嗯。

例 5-20

B8M: 反正我觉得::我就是这样。就属于: 特别容易喜欢女生。

A8M: 嗯、那就是:、如果你、就是、你现在、有过恋爱史吗? 现在。

B8M: 有啊:、我第一#的:、小学的、小学、第一、第一次写那情书的时候就是小: 小学的时候嘛。

A8M: 小学的时候你就会写情书?

B8M: 是啊, 我还是觉得:, 大声说, 也许什么, 爱你的缘故吧什么。

例 5-21

B8M: 那你谈一谈你的恋爱史吧。你是不是小学三年级就开始写情书啊?

A8M: 这些都没有、其实我、我是一个就是说那

种、其实感情在心里面的人、但是我很少就是说、说内心那种感情的事情、我很少说出来。其实我这人吧，什么感情都闷在心里。我其他，你没发现吗？真的，平时是不是很少谈感情方面的事。即使谈，我也是很开玩笑，很随便那么去谈。

B8M: 没有很深入那么去谈。

#### 例 5-22

YL: 你从小是一个叛逆的女孩子吗？

ZX: 其实我挺乖的，叛逆是：从：开始上舞蹈学校，就是那个：十几岁的叛逆期开始，

YL: 嗯

ZX: 就是想要特别，你知道吗？就是觉得不对，不对，这样子，不对，然后老会跟人反着来。

小时候特别乖，一直是三好学生 hhh

YL: 嗯，【Huhhhh 一般】小时候乖的都叛逆得特别厉害。

ZX: 【Huhhhh】 @对，这样子@

YL: 你被人欺负过吗？

ZX: 不算是欺负吧，对。 对吧。

YL: 当你还是籍籍无名的时候，有没有被觉得，感觉到被欺负了。

ZX: 比如说，我很：(1.9) 很不喜欢的一个状况是背叛，

YL: 嗯

ZX: 不是说那个：爱情上的背叛，或者是友情上的。

YL: 嗯，是什么样的背叛呢？

ZX: 承诺没有啊，对，就是那个，说好了就说好了嘛，去做这个事嘛，因为我是很相信一个人。

#### 第 6 章の会話例

##### 例 6-3

KT: まそりやすごいですよね。三十カ国っていうんですから、色んな国。え、それでとにかく、あの、まバスくらいは使うの？

NI: 基本、あの、飛行機よりもバスで、

KT: うん。

NI: 陸路で移動することが多かった、多かったですよ。

KT: そうでしょうね。飛行機だとお金かかりますものね。

NI: そうですね。はい。

KT: でまあ、とにかくね大変たくさんの方にあってらっしゃってね、まあびっくりするくらいなんですけども、相当心臓も強くないとね、

NI: う〜ん。まあ

KT: そいで意志も強くないとね、

NI: そうですけど、何回も折れかけましたけど。

KT: あそう。

NI: ま色んなね、まいいこともあれば、色々騙されたりとかもね。

KT: あそう、あったの。

NI: はいありました。ま騙されては人を信用できなくなり、

KT: うん。

NI: でもそういう状態の時に人にすごい優しくされると、

KT: うん。

NI: あやっぱ人って暖かい。でもそうやって暖かいなって信じるとまた騙されるみたいな。

KT: なるほど。

##### 例 6-4

KT: う～ん。でも話違うけど、あなたさん、あの、三月になってからだかなんだか、三回くらいお転びになったとかって。

NH: 三月に三回転びました。

KT: 三月に?それ三月中なの?

NH: 三月中に三回転びました。

KT: どうしたの。それは。

NH: ふつうはまあ年取ると転ぶって言うんですけどわたくしの場合はそそっかしくて転んで、でもう一回は、あの、内視鏡検査をやりに行く日に下剤を飲むじゃないですか。

KT: あ、あなたなにか、前、なされた。

NH: そう、手術して。

KT: あ、それで。

NH: で定期的にやってるんですよ。

KT: あそうなの、うん。

NH: で、その～下剤を飲んで、も慌ててお手洗いに飛び込もうと思ったら、スリッパがよく履けてなくて

KT: うんうん。

NH: で、ば～っと転んだんですね。

KT: うん。

NH: で柱の角に、ここぶつかって、

KT: ええ、

NH: 7. 8針縫いましたよ。

KT: 血も、いっぱい出た?

NH: 出ましたよ、結構。

## 第7章の会話例

### 例 7-1

CF3: 学生さんの場合はどうなるんですか。もし学生さんはなんかミスをして、先生はそれ

代表して謝るんですか。

JF1: それはね、大事なことだったら、謝ると思う。

CF3: は、そうですか。

JF1: うん、私、謝る。すみませんっていう

JF2: せい、学生、きょう、教師、

CF3: はい。

JF2: 学長とか↑、

CF3: はい、はい

JF1: うん

JF2: そういうことで、学生のミスに対して、教授が学長に謝る。

JF1: うん、謝る。

CF3: 中国では、たぶん謝らないと思います。自分で直接、

JF1: いや、もちろん自分が謝るんですよ。

JF2: そう、私も謝る、でも、絶対先生も★謝ると思います。

JF1: →うん、そうそう←

JF2: 学長にね。

JF1: うん、そう

CF4: で、学生は先生に謝るんですか。

JF2: 学生はこっちでも、★そっちでも

JF1: →両方にも←謝る

JF2: 両方でも謝る、こっちでも (笑い)

JF1: うん、うん、ていうようなのがあるんですよ、なんかね、こう、こういう、その、ほら、もちろん類型も必要だし、その誠実条件とほんじつ条件もいるんだけど、なんか、そういうこう、こう、具体的な場面に目指して、違いがあるんですよ。なんか、そこを出したほうが面白いかな、だから、その場合に、ドラマを使ってもいいです。それは。で、その

ドラマが、えーと、ドラマ使ったものを、あのう、なんか、アンケートとかして、あのう、日本人と台湾の人、全然違う。学習者と日本人が全然違う反応すると、そのアンケートに対して、それだったら、やってもいいですよ。

CF2：はい

#### 例 7-2

JF3：何か聞こえましたか

CF7：えーと、第二地域の方が、あの一、きよだ、ああ、巨大な文明から、えーっと、制度を取り入れて、えーっと、例えば、中国から一、は、ああ、発生した、封建制度を、えーっと、日本で、全国を統一され、そして、えーっと一、長い歴史を通して、えーっと、成立される、ました。先生、ここで、わからないところなんですけど

JF3：はい

CF7：封建制度、ご存知のように、中国で、ほんとに長い歴史を持っています。どうして梅棹さんはこのような結論出されたんですか。この一、あ、この一制度、を、取り入れて全国を統一したのは、日本のほうだったというわけ、と

JF3：うん

CF7：このような結論についてちょっと、疑問を持っています。

JF3：はい。えっと一、26行目を見て、あ、持ってない。えーっと、中国で封建制度が、えーっと、制度として、あったのは紀元前の話です。で、梅棹さんは、紀元前のことを考えてないと思います。

CF7：えーっと

JF3：はい

#### 例 7-3

CN3：難しい単語を避けるっていう、傾向もあるんじゃないです、やっぱ。

I：うーん。じゃあ、あの一、まあ、どちらかというと、どうですか?外来語学習は、CN3さんにとって、ポジティブ?ネガティブ?

CN3：それは考えたことない。

I：うーん。

CN3：うーん。ん一、難しいと思うんですけど、

I：うん。

CN3：でも、やっぱりそれも、日本語のいち、あの一部分だから、

I：うん。

CN3：ポジティブ。

I：あ一、そうですか。

CN3：うん。考え方で、

I：なるほど。わかりました。じゃあ、

CN3：はい。

I：ちょっと、これ、この間受けてもらったテストなんですけど、

CN3：はい。

I：ま、文脈がないものですね。

CN3：あ一、はいはいはい。

I：で、この一、丸が、えーついでるもの、

CN3：はい。

I：を、ちょっとみてほしいんですけど。

CN3：はい。

#### 例 7-4

I：うーん。なるほど。じゃあ、最後、この3

つですけど。75番（ガッツポーズ）。

CN1：「ガッツ」はたぶん、勝利するときの、

I：うん。

CN1：なんか、その、ポーズですね。

I：あー。

CN1：写真撮るときに、

I：うん。

CN1：なんか、勝利のポーズ。

I：それは、どこから、どうしてそう思いました？

CN1：えー、ガッツ、なんか、それは、なんか、ガッツといったら、

I：うん。

CN1：なんか、勝利の、そのときなんか、とても嬉しいな、

I：うん。

CN1：そんな、イメージがありますね。

I：うーん。それは英語？

CN1：あー、じゃないですね。たぶん、なんていうか、文化かな。

I：あ、文化？日本の？

CN1：えー、日本じゃない。でも、なんか、「がっつり」、たぶん、そのなんか、「がっつり」なになにするなら、

I：うん。

CN1：なんか、いいことで、

I：あー。

CN1：とても嬉しそうな感じ。

I：なるほど。

CN1：がっつり、「がっつり食べる」とか、いろいろ、いっぱい食べる。

I：うん。

CN1：そんな、なんか、ポーズだから、写真撮

るポーズ。たぶん、なんか、勝利すると、

I：じゃあ、ガッツは、プラス、いいイメージってこと？

CN1：はい。

例 7-5

CF3：学生さんの場合はどうなるんですか。もし学生さんはなんかミスをして、先生はそれ代表して謝るんですか。

JF1：それはね、大事なことだったら、謝ると思う。

CF3：は、そうですか。

JF1：うん、私、謝る。すみませんっていう

JF2：せい、学生、きょう、教師、

CF3：はい。

JF2：学長とか↑、

CF3：はい、はい

JF1：うん

JF2：そういうことで、学生のミスに対して、教授が学長に謝る。

JF1：うん、謝る。

CF3：中国では、たぶん謝らないと思います。自分で直接、

JF1：いや、もちろん自分が謝るんですよ。

JF2：そう、私も謝る、でも、絶対先生も★謝ると思います。

JF1：→うん、そうそう←

JF2：学長にね。

JF1：うん、そう

CF4：で、学生は先生に謝るんですか。

JF2：学生はこっちでも、★そっちでも

JF1：→両方にも←謝る

JF2：両方でも謝る、こっちでも（笑い）

JF1：うん、うん、ていうようなのがあるんで

すよ、なんかね、こう、こういう、その、ほ  
ら、もちろん類型も必要だし、その誠実条件  
とほんじつ条件もいるんだけど、なんか、そ  
ういうこう、こう、具体的な場面に目指して、  
違いがあるんですよ。なんか、そこを出した  
ほうが面白いかな、だから、その場合に、ド  
ラマを使ってもいいです。それは、で、その  
ドラマが、えーと、ドラマ使ったものを、あ  
のう、なんか、アンケートとかして、あのう、  
日本人と台湾の人、全然違う。学習者と日  
本人が全然違う反応すると、そのアンケート  
に対して、それだったら、やってもいいです  
よ。

CF2：はい

JF1：うん、ま、それ、ちょっと見てみたら  
いいのかな。これ、まあ、もちろんその、あれ  
なんだけど、それ以上のものがちょっとない  
ので、で、これから広げるとしたら、なんか、  
まあ、Kさんはそう、そんなにしてなかった  
んですよ、その中の表情とかなんかかっていう  
ふうなので、すごく面白くそう、その顔の表  
情をやっていたんですよ。顔、なかなかちょ  
っと、で、もう、その後、だから、顔の表情  
は、もう、これ以上やってもいいだなあ、そ  
の時、やめていたんですよ。(笑い)それは、  
そここのとこでやめたんですけど、あのう、  
一応、その時には、その顔の表情とかって  
いうふうなのを使っていたんですよ。

CF2：はい。

JF1：なんだけど、まあ、そうじゃないところ  
でも、こういう場合に上司が謝るとか、謝ら  
ないとかっていうのも、ちょっと全然違う↑  
ところなので、なんかね、そういうところに

焦点を当てて、たくさん例文を取る

CF2：はい。

JF1：っていうのはいいかと思う。だから今の  
だけでもだいぶ大きいですよ。

JF2：うん

JF1：そういうだいぶあると思う。

JF2：どういう人間関係の時に★誰が謝らない  
といけない。

JF1：→うん、そう←うん、そうそうそう。誰  
が謝らない

JF2：それが違う。

JF1：そうそう。それが違うんですよ。あのう、  
文化によって、

CF2：はい

JF2：うん

例 7-6

I：えーっと、いつ、いつやってもらったかな、  
6月のおわりぐらいに、

CN2：うーん。

I：調査を願いましたんですかね。それで、私、  
中国語の母語の人と、韓国語の母語の人と、

CN2：うん。

I：非漢字圏で採ったんですよ。

CN2：うん。

I：で、あの一、スポットっていう、うー、日  
本語のテスト覚えてますか?コンピュータで  
やった、音声を聞いて、

CN2：あー。

I：で、あれの点数だけみると、

CN2：うん。

I：その3グループは、

CN2：うん。

I: 変わらなかったんですね。グループとしての点数の。

CN2: あ。私?

I: あ、みんな、同じ、同じようなレベルの人で、今回、採れたんですよ。

CN2: うーん。

I: データが。でも、カタカナのテストを見たら、

CN2: うん。

I: 中国語、母語の人がちょっと低かったんですよ。他の人よりも、

CN2: うーん。

I: ま、母語の影響なのか、なんなのかっていうのを、今ちょっと、考察しているところなんですけど、

CN2: うーん。

I: ちょっと、それで、いろいろ今日、インタビューをしたいと思います。まずですね、その、カタカナ語、外来語の学習、

CN2: うん。

#### 例 7-7

I: の中でも、まあ、読む、こととか、書くこととか、聞くこと話すことあるじゃないですか?

CN2: うーん。

I: その中でなんか、とくに難しいとか、思う、点はありますか?

CN2: ##。

I: まあ、ま、なんか一般的にでもいいですよ。

CN2: 一般的?

I: うん。

CN2: どっちも難しいような、気がします。

I: どっちもっていうのは?話すのも?

CN2: 話すのも、そう。

I: 書くのも?

CN2: 書くのも。

I: 読むのはどうですか?

CN2: 読むの・・・、読めるけど、でも、すぐに意味を、

I: あー。

CN2: し、知らない感じ。

I: あー、なるほど。聞くときはどうですか?とも、なんか日本人の人と、話してて、

CN2: うーん。

I: よく日本人の人は外来語使います?

CN2: そう。使います。

I: あ、使いますか?

CN2: うーん。

I: 例えば、どこで使います?

CN2: コンビニで、

I: あー。

#### 例 7-8

VF1 分かる、分かる。病院はどうか、病院、お金出さないと、かん

CF1 病院もそう、手術する前に、その、担任のお医者さんにお金を出します。出産とかも、

VF1 でしょう↑似ている。台湾違うの↑だから、台湾似ているそう。

CF2 私はけっこう、ええ

CF4 たとえば、母が手術した時、麻酔の先生にお金を渡す。

JF2 それでも、手術のお金は病院に払うじゃない。

CF1 そうそうそう、別に、

CF4 別に払って  
JF2 先生に特別に  
CF4 先生に特別に、麻酔の、麻酔の人に、後は手術をする人に、後は、あのう、入院の主治医師見たいな、いろいろな人★一人じゃない、何人にも、  
VF1 →東北はひどい←  
CF6 東北はもっとひどい。  
CF5 まあ、あげなくてもいいというけどね  
CF4 命に関わるものだから。  
CF5 あのう、なんだか、  
VF1 不安でしょう↑  
CF5 おお、不安だしね。人によっては、そのお金はあげなかったばかりに、なんか、こう、痛みを和らげる薬を打ってもらわなくて、  
JF2 はあ、はあ  
CF6 私の母は病院で働いていますけど、彼、あ、彼女に、(笑い) お母さんによりますと、実は、な、お金とか、何もくれなくても、★ちゃんとやるんですけど、お母さん  
VF5 →ちゃんとやるんですけど←うん、うん、うん  
JF2 お金は別に、いりませんとは言わない、  
CF1 言わない  
CF5 ははは、(笑い・複)  
JF2 まあまあ、くれるんだったら、★どうもどうも  
CF4 →くれるんだったら、そうそう←  
CF5 いや、人によっては、ま、もらえたくない人もいるけれども (JF2:うん) まあ、そういうふうなっているから、たぶん

JF2 もらわざるを得ない。  
CF5 実際同じかも  
CF4 今表にしなくて、あのう、先生、はい、あげるみたいのも言わない、先生も、もういらないとか、★いや、いいよ。  
CF5 →いわない、当たり前←  
JF2 ぼっ、ポケットに  
VF1 上手、上手に渡さないと★いけない。  
CF5 →そうじゃないといけない。←  
VF1 渡し方も上手、うん、その、ねえ、何っというかな。

#### 例 7-9

I : ジャ 60 番 (ペーパードライバー)。  
CN3 : ペーパードライバー・・・、あ、なんか地図を使って、  
I : うん。  
CN3 : あのー、本当は行けないけど、まあその、あ、違う、それは違う、あのー、運転免許持ってるけど、でも本当は、ま、車を実際運転したことなくて、  
I : うん。  
CN3 : そういう人。  
I : どうして?  
CN3 : 説明してもらいました。  
I : あーあーあー。  
CN3 : [笑い]わからない。  
I : よく覚えてる。[笑い]  
CN3 : [笑い]



## インタビュー番組「楊瀾訪談録」

資料1:「楊瀾訪談録」2012/05/25 ゲスト:

周迅 (ZX)

YL: 首先还是要祝贺你, 获得了, 这个, 金像的影后奖。

ZX: 嗯

YL: 嗯::

ZX: 谢谢。

YL: 你当时表现得非常激动, 哈。

ZX: 嗯

YL: 然后给我的一个感觉说, 难道她没有预料到吗? 因为所有人都预料你会得这个奖, 你为什么还会这么激动?

ZX: 我这个人, 有些时候就有点儿, 脆弱, 就越到那个时候就越: 啞:: 【就是撑不住】, 不看我在忍吗?

YL: 【撑不住 hhhhh】 嗯

ZX: 我就是, 想要, 镇定一些, 镇定一些,

YL: □

ZX: 之前有: 很多报道啊, 包括有很多人推测啊: 然后说什么, @算命的也算@

YL: 【Huhhhhhhh】

ZX: 【Huhhh 然后】 各种

YL: @这更有说服力, 【这:】 @hhh

ZX: 【对】 hhh 然后都说是我, 但是, 其实, 嗯::: 没有, 就是说没有那么笃定啦。然后当时, 念到: 哦不, 女配的时候就开始有点:

YL: 紧张【了】

ZX: 【紧】 张了【hhhhhh】

YL: 【Huhhhhhhh】

ZX: 对, 然后男配, 女主的时候, 就, 心跳跳跳

跳,

YL: 嗯

ZX: 反正就, 就这样,

YL: 是你准备好的话吗?

ZX: 我之前有想,

YL: □

ZX: >就是说< 到底要说什么, 到底要说什么, 然后后来就是想很多。

YL: 嗯

ZX: 但都觉得, 肯定, 不会记得的, 【然后所】 以我就, 索性我就不去想了。

YL: 【嗯】 (0.8) 其实之前, 呃::: 第一次得到, 那个: 电影的奖项的时候, 还是因为《苏州河》是吧?

ZX: 对

YL: 那时候在巴黎电影节获过一个最佳女主角的奖,

ZX: 嗯

(0.2)

YL: 那时候是刚刚出道, 不久, 吭, 还没有, 真正地成大名的时候。

ZX: 因为是英文, 然后呢, 我的那个发音, 就是说, 周迅那个发音, 就在外国人来讲, 很难发【出来】

YL: 【很难发】 对

ZX: 就说我的时候, 根本就,

(0.3)

YL: 【听不到是谁, hhhh】

ZX: 【听不, 听不懂, 对对对】 我就还在那儿待着呢, 【然后】 那个, 呃, 就我的翻译就说: ‘hey, 【it’s you】 , it’s you.’ 当时拿着奖杯, 心情, 有一种莫名其妙的失落感。

YL: 【呃呃】 【Huhhh】

(0.3)

YL:为什么呢?得奖还有失落感呢?

ZX:那时候会明白,哦,得奖很开心

YL:嗯

ZX:对,但是得奖还是要一样地去工作啊。去,

YL:@你打算不工作啊?@【hhhhh】

ZX:【不是不工】作,就是说没有什么改变。

YL:这次获奖的意义会更大一些吗?

ZX:因为我,这么多年了嘛,那,呃:也是:自己没有上过学校,啊,我的老师就是每个剧组的导演。对我来说,这是一个比:上过学校的演员更深的肯定。

录像

YL:说说你第一次到,刚刚到北京的时候,你的感觉。

ZX:第一次就觉得,哎,很,兴奋,那种,看什么东西都是,咦,咦@【就那种】@

YL:【HuhHuhhhhh】所以那个时候你觉得,哎呀,我要是有一天能做到像谁那样就不错了,有没有这样的一种目标?

(0.4)

ZX:没有

(0.3)

YL:昂,刚刚进入这个电影圈,当时你有没有什么自己特别不喜欢的东西。

(0.8)

ZX:刚开始:还真没有,因为,小时候在电影院里:就是说,就是在电影院里长大,你,你会对,那个,就胶片的气味特别敏感。

YL:嗯

ZX:对,然后就是你到了电影厂之后全是那个味道。

YL:很熟(h)悉(h)哈(h),觉得

ZX:对对对,就有一个感觉是挺有安全感的,那种,第一次拍,是一个古装戏嘛。

YL:嗯

ZX:就觉得这个太不一样了,我卸完妆我是这么一个样子。

YL:嗯

ZX:对,然后我扮上的时候又到了另外一个地方,

YL:嗯

ZX:就有点时空,那种:

YL:倒错的【那种感觉昂。】

ZX:【对对对对,嗯】

YL:《风月》的,那部电影,当时陈凯歌让你去演,这个,小舞女的这个角色,嗯:你有没有被他那个什么,大牌导演的那个:气派镇住。

(0.5)

ZX:打电话给我说,哎,陈凯歌要见你,我说谁是陈凯歌啊?hhhh

YL:Huhhhhhh

录像

ZX:然后那个时候的演员是巩俐和,

YL:张【国荣】

ZX:【张】国荣

YL:嗯

ZX:对,那:段的时间,其实对我是非常非常重要的。

(0.4)

YL:你觉得最惊奇的,或者是你觉得最神奇的是什么?

(0.4)

ZX:我记得有一场戏是:巩俐有一场戏是,呃:用她的手去推麻将牌,

YL:嗯

(0.2)  
ZX:就那个时候,就觉得,呃,手,(1.1)手也是可以有的。

YL:呃::

ZX:对,那个镜头印象非常非常深,(0.9)那个就是从她的脸下来,到手,就然后把那个麻将牌推掉,(0.6)就觉得这是有气场的。

YL:Huhhhhh

ZX:对

(0.3)

YL:在这之后演那个,嗯:姜焯的:(0.4)【呃:】  
苏州河

ZX:【>° 苏州河° <】□

YL:那是一部很不一样的影片,因为你演的那个女孩,也是很边缘的,很【另类】的这么一个女孩。

ZX: 【嗯】 嗯

YL:呃::应该说在演技上还是很有挑战的,那部戏,对,对你来说有没有产生畏惧感。

(0.6)

ZX:没有唉

(0.2)

YL:嗯

ZX:不太知道怕,@你知道吗?@【HuhhHhhh】

YL: 【HuhhHuhhh】

录像

ZX:看剧本的时候被整个故事感动。

YL:嗯

ZX:因为我是对,爱情这种东西的故事特别敏感,拍的时候他也没说你要怎么演。

YL:嗯

ZX:就是,反正这儿你去演吧。

YL:真的吗?

ZX:对

YL:那你又没有经过科班的任何训练,吭,然后过去演的戏又少,当时你的那种状态是什么样子的?

(0.2)

ZX:我挺开心的

YL:Huhh

ZX:对

YL:给你印象最深的一出戏是,是哪一场。

ZX:是:跳那个外白渡桥。

YL:嗯

ZX:就,就反身扑下去那个

YL:嗯

ZX:那个刚开始我挺怕的,而且我不会游泳,对,然后是反身扑下去,我从来没有跳过水。

录像

YL:@那下面马上去捞,是吗?@

ZX:对,因为在画面外面有条船。

YL:哦

ZX:对,然后我一跳下去,就,就是他们马上下来把我捞上去。

(0.2)

YL:但是你还会要呛,呛几口水。

ZX:有,有,有,当时扑在水里的时候,其实那个冲力是很大的。

YL:对啊

ZX:就下去耳朵边是风声嘛。

YL:□

ZX:“呼,呼”就,然后就“啪”拍在水上,然后呼吸就被止住。

YL:啊

ZX:这样

YL:hhhh

ZX：“呃”（打嗝声）大概过了几秒钟才能呼吸。

YL：那是一遍过的吗

ZX：一遍【Huhhhhh】

YL：【Huhhhh】

录像

YL：你曾经说过，你说这个，。hh 好像如果再做选择，不一定要选做演员这一行，觉得演员演一出戏，也是一个自我毁灭的过程，吭，说得挺悲情的。

ZX：因为，当演员，其实是有些时候要去破坏自己的

YL：嗯

ZX：对，因为你不破坏自己，你要是坚持，特别主观的话，就是你永远演的就是你自己。

YL：嗯

ZX：对，秀禾其实某种程度上，跟我的性格，有，有一点：那个：背离。

YL：嗯

ZX：因为她很听话

YL：很压抑，【嗯】

ZX：对，很压抑，对对对，然后可能是那个时候，我【觉得是】在破坏，破坏，破坏，就是说她一直要那个，进来，进来，进来，就是我是这样的【Huhhh】

YL：【嗯】【Huhhhh】

录像

ZX：因为秀禾的戏有很多心理的东西，她不是话很多，

YL：嗯

ZX：那她有话也不能说，都是在自己的一个情绪里，她也不能爆炸。

YL：嗯

ZX：对，然后就是，呃：我喜欢上，就是说，我

就觉得，哦，啧，拍戏应该就是我的选择我的工作。【我是从】那个时候，才是，就是说塌下心来去演戏。《橘子红了》是一个让我想成为一个好演员的一个起点。

YL：【嗯】嗯

ZX：对

YL：就是【把自】己给丢掉，把自己扔在一边。

ZX：【对对对】

录像

YL：你曾经说过自己的性格像那个，咖喱吭，就是非常浓烈的那种。

ZX：咖喱就是这样子，它的那个组成是很多很多种香料。

录像

YL：每一次我觉得你都，呃：非常地投入。

ZX：对，我没有办法，就是说，哦，我看一会儿那种【Huhh】

YL：【Huhhhh】

录像

YL：你曾经说过自己的性格像那个，咖喱吭，就是非常浓烈的那种。

ZX：咖喱就是这样子，它的那个组成是很多很多种香料，

YL：嗯

ZX：对，但是她是怎么搭配的这个平衡，这个要：就是说，很厉害的人才：那个知道。

YL：所以你也太明白自己的配方是什么。

ZX：对，【比重，对，比重不知道】

YL：【反正是咖喱，Huhhhh】你从小是一个叛逆的女孩子吗？

ZX：其实我挺乖的，叛逆是：从：开始上舞蹈学校，就是那个：十几岁的叛逆期开始，

YL：嗯

ZX:就是想要特别,你知道吗?就是觉得不对,不对,这样子,不对,然后老会跟人反着来。小时候特别乖,一直是三好学生 hhh

YL:嗯,【Huhhh 一般】小时候乖的都叛逆得特别厉害。

ZX:【Huhhh】@对,这样子@

YL:你被人欺负过吗?

(1.0)

ZX:不算是欺负吧,对。对吧。

YL:当你还是籍籍无名的时候,有没有被觉得,感觉到被欺负了。

(0.5)

ZX:比如说,我很:(1.9)很不喜欢的一个状况是背叛,

YL:嗯

ZX:不是说那个:爱情上的背叛,或者是友情上的。

YL:嗯,是什么样的背叛呢?

(0.2)

ZX:承诺没有啊,对,就是那个,说好了就说好了嘛,去做这个事嘛,因为我是很相信的一个人。

YL:但我也看到有说,你也有过,呃::打长途电话回去,然后就是一个劲儿地叫爸爸,却什么都不说【的时候】,

ZX:【对对】对对,嗯

YL:这也是你独特的表达方式吗?

ZX:可能是这么多年来,的一个感觉,对,就那天就是,就这样啦。hhh 对,打电话,对,那天我那记得

YL:嗯

ZX:对,一直在叫,爸爸,爸爸,然后就哭,这样。

YL:嗯

ZX:爸爸问,”怎么了?“没事,没事

YL:你觉得你最要强的时候是什么时候?

ZX:就是说不允许那个,自己是那个,不强的,我不知道该怎么说。

YL:□

ZX:就是说一定是立在那儿的。

YL:□

ZX:对,然后,最脆弱的就是:面对情感录像

YL:在这个爱情方面,我觉得,你倒是有一种,那个,曾国藩你哦精神@叫屡败屡战的那种@Huhhh 好像每次我觉得,你都,呃::非常地投入,昂。

(0.4)

ZX:我觉得其实也不是,败的问题,对,就是因为,嗯:分开了,这个没有败或者是胜,就是,呃::在一起的就是一个过程。

YL:你是每一次都特别特别投入的一个人。

ZX:对,我没有办法,就是说,哦,我看一会儿,那种,【Huhh】

YL:【Huhhh】(0.2)但是因此也会比较容易受伤,会不会下一次学得聪明一点。

(0.2)

ZX:学不会 Huhh

YL:想学会吗?

ZX:呃::不想。

(0.2)

YL:为什么?

ZX:.hh 因为我觉得那种:感觉是我很喜欢的。嗯,我就是对感情毫无保留,我特别纯粹的那个::感觉是我很喜欢的。

录像

YL:你的脾气会很坏吗?  
ZX:偶尔会很坏,【呃:】  
YL: 【坏到】什么【程度】?  
ZX: 【会很】尖锐,【Huhhh】  
YL:【HuhHuhh】 hhhh  
ZX:因为拍戏的时候,其实比较,整个人的神经是,以前小的时候真的不知道,真的没有那么严重,  
YL:嗯  
ZX:现在就整个人会,比平常要更敏感,  
(0.6)  
YL: 嗯  
ZX:对,然后更那种 :就是,好多事,就是那种,不行就是不行,对,然后整个人也会比较暴躁,这样。  
(0.2)  
YL:所以从这个角度来说,当演员也是挺辛苦的一件事情【哈】,心理上的这种承受要非常地强。  
ZX: 【对啊】但是挺好的,我觉得这个,感觉其实是:每演一次戏都让你沉淀一次,都去卸掉一些东西。对,或者是吸入一些东西。  
YL:嗯  
ZX:对,这个对整个那种,应该怎么讲,人格,或者是形成期,其实是一次一次洗礼,那种。  
YL:人格昂,在你演过的所有角色当中,你觉得对你的性格,或者是对你这种人生的看法,产生最大影响的一个角色是谁呢?  
ZX:呃::就是《恋爱中的宝贝》,对  
(0.2)  
YL:是吗?  
ZX:嘿,嘿  
YL:她是一种什么样的影响呢?因为她是一个这么机制,而且生活在自己虚幻空间的一个女孩

子。  
ZX:“宝贝”对:现实的东西,其,其实她不予理睬的。  
YL:嗯  
ZX:对,然后,她就是往美好的,对,然后往那个,有那个,就像蛾子一样,【是往亮的地方去的】。  
YL: 【□,扑火昂,□】  
ZX:对,然后,因为拍完戏你不可能在那个境况里面,  
YL:嗯  
ZX:你要去面对,呃:生活,就是说去面对一些东西,就那时候就,不愿意接触。  
YL:不愿意接触【生活】  
ZX: 【对】不愿意。(0.3)对,然后后来就慢慢慢慢地,就这这也是一个成长,跟那个,就是调整的一个过程。  
YL:嗯  
ZX:对,你不可能,永远,就是说你身边的人受不了。【哈哈】  
YL: 【hhhh】  
录像  
YL:感觉这几年好像你慢慢地,那个,成熟起来,心态也比过去更平和,好像,这种改变是不是也是一个角色积累的这样一个过程【昂】。  
ZX: 【对,有有有。】  
(0.2)  
YL:到什么时候,你身边的人会突然发现说,唉,周迅其实跟过去是不一样的。  
Z:这一两年都有人讲。°唉,你最近好像不一样哦° Huhhh °长大喽°  
YL:呃,长大了,哪点长大了,不一样了呢?  
ZX:我以前是,呃::很小的时候,我只穿黑衣服,

YL: 嗯

ZX: 只喝可乐,

YL: 嗯

ZX: 什么, 就是, 只, 只那种, 对。

YL: 你过去就是说只要你不喜欢我就不要, 【我不接触】, 对吧。就不会去容忍。【嗯 :】

ZX: 【对对对, 对】                   【对对对】但是其实你慢慢学会去接触, 去包容的时候, 其实你不喜欢的东西, 也可以让你慢慢学到东西的。

YL: 嗯

ZX: 对, 这一点是我最大的改变。

YL: 嗯 : 在那个《风月》里曾经有一个台词, 说女人比姑娘漂亮【吭】

ZX:                   【嗯】

(0. 2)

YL: 那个时候你说这句话的时候完全是个小姑娘。

ZX: 对, 那时候不理解, 【为什】么女人要比姑娘漂亮。

YL:                   【昂】 嗯

ZX: 然后后来慢慢慢慢地, 我的理解是, 姑娘是很单纯的, 她没有经历过一些风雨啊, 怎么样。她就是一个很漂亮很单纯的东西。

YL: 嗯

ZX: 那女人是, 呃 : : 有生活的历练, 但她还是保持那种单纯。

(0. 3)

YL: 嗯, 你觉得单纯这东西你不想因此而扔掉它吭。

ZX: 对对对, 我觉得那个很重要。

(0. 2)

YL: 你觉得你什么时候完成了这个姑娘到女人的转变?(0. 3)

ZX: 现在还没类(0. 2)

YL: (还没拉) Huhhh

录像

YL: 好像你很向往那种很踏实的, 那种, 嗯 : 丈夫孩子的那样一种生活吭。

ZX: 嗯

YL: 但是当真正有这样一份生活的时候, 你会不会, 那个, 觉得和你做演员的, 那种投入会产生矛盾。

(0. 4)

ZX: 可能这个也是需要调整的吧。

YL: 但你说会做出一种某种极致的选择吗?

ZX: 需要的时候我会。(0. 3)

YL: 嗯 : 选择什么呢?

ZX: 家庭(0. 8)

YL: 是吗?

ZX: 对

資料 2 : 「楊瀾訪談錄」 2014/05/04 ゲスト :  
巩俐 (GL)

YL: 因为大家都知道你们曾经有过一段, 这个, 情感的关系。

GL: 嗯

YL: 但是现在, 事隔多年, 大家每个人都有自己的生活阅历以后, 现在再在一起合作是一种什么样的感情和关系呢?

(0. 6)

GL: 其实跟以前没什么两样, 就是我们该说的还是会说, 因为我觉得我很了解他的工作。

(0. 4)

YL: 嗯

GL: 他工作的状态, 我了解, 我知道。(0. 6) 他想要的什么东西我也知道。(0. 5) 因为我会很直

接的, (0.5) 呃 :: (0.8) 非常尊敬他地说很多, 我的想法。 (0.5) 呃 : 就是说, (0.9) 采不采纳 (0.7) 如果好的导演你可以采纳, 如果不好, 你觉得不好的, 没问题。 (0.3) 但是我可以讲。(0.4) 就我跟以前没有什么变化, 就是我们俩沟通没有变化, 就说, (0.6) 大家还是, (0.4) 为了一个好的电影, (0.8) 我觉得这个东西没有改变。(0.6) 呃 :: (0.6) 情感呢, 是一个, (0.5) 好像是一个老朋友这种情感了 (0.2) 像一个 (0.3) 很, 很老的, (0.4) 很长时间的朋  
友, 大家互相了解 (0.5) 在工作上大家互相了解, 我觉得这个很好。

(0.2)

YL: 所以很多事情其实也可以释怀了吭。

GL: 可以, 可以, 就可以不用有担心, 这是因为, (0.3) 跟别的没有关系, 只是因为  
我们想拍个好电影而已, 所以, 有很多东西大家都可以直说。

(0.5)

YL: 嗯

GL: 嗯, 这个我觉得很重要。

音像

YL: 演第一部电影的时候, 让你最难忘的经历是什么?

(0.2)

GL: 第一个反应是, 因为是老师跟我说的, 说, (0.4) 嗯 : 那个, 他们都来了, 说, 想选演员。(0.5) 听说你不错, 我们都说让你去试试镜头吧,。 hhh 那我去了之后呢, 我说, (0.8) 我不喜欢拍电影。(0.4) 我说我也, 喜欢演话剧。(0.4) 我, 当时是非常热爱话剧, 我说我, (0.3) 对电影, 我没有感觉。(0.8) 哦, 呃 :: 是, 是, 确实是, 是真的, 是那样一个感觉, (0.6) 嗯, 之后拍电影的时候, 第一个觉得难的是, (0.7)

因为话剧是从头开始拍, 演, (1.3) 电影是从, (0.4) 中间开始, (0.3) 你一定要把这个人物, 一定要吃透, 你才可以演, 就是《红高粱》的时候, 第一个镜头拍的是从桥上, 已经有孩子了。(0.9) 是从桥上追那个罗汉大叔, 那, 那, 那一段,

音像

GL: 就那段已经是后半段了嘛, (0.4) 我说为什么是, (0.4) 从这儿开始拍呢? (0.4) 不是从头@ 开始演吗? @ 是, 就这个, 就对我来说, 我说, 昂, 我说我明白了, 是, 电影应该是, (0.5) 呃 :: 嗯 :: 不是从头开始拍的, 不是顺拍的。

(0.5) 跟话剧不一样。

(0.3)

YL: 你现在回头再去看《红高粱》的时候, 你最怀念, 觉得那时候最珍贵的是什么?

(0.3)

GL: 珍贵的是我们大家一块儿体验生活。

(1.0)

YL: 嗯

GL: 其实拍摄过程中他已经完成一半了嘛, 是吧, 你体验生活, 在体验生活的时候, 我们在高密, 那时候,

(0.7)

GL: 嗯 :: 没有挑过水, (1.0) 呃 :: 也没有去过那么荒凉的地方, (0.3) 完了也没有见过那么多的高粱, 高粱是什么, 以为是麦子呢, 长得那么高, 不知道那是, (0.4) 高粱,。 hhh 我说, 哦, 高粱是这样子的, 完了, 那个, 那一片高粱都是我们自己种的, (0.7) 呃 :: 所以也就是觉得这种, 就是这种提前的体验生活啊, 就是差不多两个月吧, (0.4) 两个月的体验生活,。 hhh 就是把这, 这边磨破了, 再用这边挑, (0.4)



就那个挑水，一定要，导演说一定要有，不是空桶。(0.6)一定要里面要有水的，因为你是空桶的话，那桶就摇，(0.6)就，不像，一定要，(0.8)颠起来，颠起来的话，一定要有水才能颠起来。(0.5)所以，一定要有，有一定的那个，(0.9)有一定的那个：那个技巧，而且还一定要放半桶水，(0.4)所以那个，挑水，差不多就练了，(0.6)一个多月吧。

音像

YL:在这之后，你的一系列角色，是不是每演一个角色，都让你学会一些特殊的本领。

(0.4)

GL:都会来，Huhhhh，会了好多，(0.5)呃::之后，《菊豆》是染布，我又知道染布这个过程应该是什么样子的。(0.6)呃::需要一个什么样的过程，完了那个，啧，(0.6)《大红灯笼》是这个，(1.0)是这个敲脚，@就觉得挺舒服的，。

hhh 这个脚很重要@

(2.9)

YL:拍《秋菊》的时候呢？

(0.6)

GL:语言(0.6)我就学会了，就是现在就是跟那个，@陕西人说话，没问题@

音像

YL:包括听说那时候，你连吃的东西都要改变，是吗？

GL:=就是说，比如说像吃面条吧，(1.1)吃面条的时候，就陕西人吃面条，他是一定要有声音的，因为我平常吃面条的时候没有声音的，一定要是，是很香地吃面，就是你一定要把声音弄出来。

音像

YL:就是最初跟张艺谋导演开始合作，(0.4)他

当时对你说的一些关于电影的事，什么事情，让你后边一直是，(0.6)觉得有受益的。

GL 他很少跟，跟那个，演员去，(0.8)让你怎么做，(0.4)其实他很少，其实让我最敬佩的吧，(0.3)是(0.5)他的这种团队精神。(0.5)他是每天的这种，就是，(1.4)现在少了，以前的时候，(0.7)呃：嗯：多，就是每天晚上我们会开会，每天晚上开会把第二天的所有的要拍的东西，(0.3)全部捋一遍，哪不舒服，哪不顺，(0.7)呃::我们可以讨论，(0.6)如果是拍5个月，你每天能听他们怎么讨论剧本，镜头怎么用，你会学到很多东西。

音像

YL:听说在拍这个《霸王别姬》的时候，当时你的，这个，姐姐，(0.5)是得：(0.5)乳腺癌去世【是吧？】

GL:【嗯】

(0.3)

YL:所以像在那样的一个时候，个人的生活理由这么大的，这个，危机吭，然后，(0.4)呃：又在这个片场当中，你会不会觉得人有被这种撕裂的感觉？

(0.8)

GL:呃::觉得自己为家庭做得还是不够，太少了，(0.5)嗯::如果我姐姐，如果那时候我没那么忙，我早一点儿，(0.9)呃::可能帮助她去找医生啊或者怎么样，多做一点的话，可能自己心里会好受一些，觉得当时也是太忙了，呃：那：嗯：就是不能家庭跟那个工作，就是兼并了，所以::总是觉得做得很少，给家里做得特别少。

YL:姐姐去世的，嗯：那天，或者第二天，你还在拍戏吗？

(0.7)

GL:在拍戏,一直在拍,但是他们给我了一天假,我去了青岛,那时候我姐姐在青岛。(0.6)去了青岛,(0.6)去看我姐姐。

(0.8)

YL:所以那是很困难的。

(0.4)

GL:非常困难的一个过程,嗯。

(1.4)

YL:我看到一个资料说,其实是,你(0.3)第二天实际上是要拍结婚的戏啦。

GL:对对对,好像是,因为我爸爸也去了,因为我爸爸可能会觉得我受不了。(0.6)嗯::姐姐去世完之后,我爸爸就陪着我去那个现场了。

(1.1)那时候我爸爸身体也不是很好。

(0.3)

YL:所以心里有这么重的事,在片场还要(0.5)表现出那种,结婚的,喜庆的,这种(0.5)场面。

(0.3)

GL:这是一个演员的专业精神吧,你不可说为了你的东西,你展现到(0.7)全世界,永远保存着这么一个镜头,你会因为你自己的一件事情而去影响了这个,这场戏,你,不,不能那么做,这是一个专业精神,所以你就,把所有东西都抛开,(0.4)就不,先不想(0.8)你拍完戏以后,你回家,你,你,你,你,你想怎么去,(0.5)去,去祭奠,去,去,去哭,(0.5)那是(0.3)你自己的事,但是你(0.4)那么多人的时候,你(1.0)陪着你在—起的时候,你不可以。

音像

GL:当时,也是觉得:很自豪,(0.3)因为,那个,我们的电影很好,(0.5)就是很受欢迎,

(0.4)

YL:嗯

GL:所以也觉得,那时候的中国面孔不多,不像现在昂。(1.1)那时候中国刚刚,也是开放,(0.6)中国面孔不多,完了我也觉得我们的电影很好,所以很自信,没有什么特别的囧啊,或者,(0.6)不好意思什么的,都没有。

(0.2)

YL:也非常骄傲的【—件事情。】

GL:【非常骄傲】啊,非常骄傲,能跟导演,能跟所有的演员—块儿,(0.4)呃,嗯,嗯,很骄傲,只是觉得那边的摄影师很多, Huhhhh

音像

YL:你曾经多次被评为世界上最性感的,最美丽的女人,你对这两个词是怎么样来看的?(0.4)所谓性感和美【丽。】

GL:【哦】性感美丽啊,【HuhhHuhhhhh】

YL:【Huhhhhhh】

(0.4)

GL:呃:::(0.9)我觉得:很好 hhh

YL:嗯

GL:谢谢谢谢,.hhh我也没有这么感觉,我是觉得可能他们看得还是,(0.5)呃:(0.4)跟电影有关系吧,跟我的作品有关系。(0.6)呃::

(0.4)

YL:你觉得什么样的女人最性感?

(0.8)

GL:什么样的女人最性感,我觉得女人其实都挺性感的,(0.6)只是她们可能有的时候自己不知道而已,(0.5)可能有的时,有的女人觉得我有点胖,或者我要减肥,我要减树枝那么干瘦,我觉得那个是不对的,我说每个女人都是,其

实都是她有她性感的一面，可能是不一样的。

(0.7) 呃::我觉得自信很重要，

(0.6)

YL:要找到自己最美的地方吭。

GL:对

(0.4)

YL:在今天的这个物质，的，非常发达的一个社会，商业非常发达的一个社会，其实年轻的女性也在 (0.3) 问，所谓干得好和嫁得好，哪个更重要的问题。(0.2)似乎如果有年轻美貌的话，可以有很多捷径可以来【走】吭，

GL: 【嗯】

(0.4)

YL:你对此有什么样的想法？

GL:我不觉得一个，一个女孩子有了美貌之后就可以拥有一切，(0.8)这个是很幼稚的想法，我，不，我不会觉得这样，. hhh 我觉得她(0.5)她一定要在社会上有她的价值，你自己没有一份自己的工作，或自己的一个能力的话，(0.2)我觉得很快这个人会，怎么说，会枯萎，(0.5)你的美貌，(0.8)什么都不是，(1.2)所以我觉得美貌不是你的一切。

音像

GL:像，呃 :《艺伎回忆录》(0.7)是练那个扇子，电影拍了5个月吧，那个扇子我练了5个月，每天练，两千下，就是一定要是，你不能看两个扇子一块儿扔。(0.3)一块儿扔完一块儿拿，两个扇子一块儿扔是很难的。(8.4)导演就跟我讲说，说这个是(0.6)一般的人是完成不了，说巩俐我们没有想把这个技巧让你来做。(0.3)你试一试，行不行，我说我，我说我，应该行，(0.6)就是每天练，每天扔，差不多是快拍完的时候，拍的那场戏，就是两个扇子一起扔，你

也不能看，(0.5)两个扇子一起扔完一起拿，拿到以后再，关上，(0.5)就那个可能是，(0.5)我现在也会，(0.4)就是练得很好，就是一扔就可以拿得到，那个是很难的。

YL:你为演戏曾经，冒过什么样的危险吗？

(0.3)

GL:有，哼::哼:(0.4) 呃::冒过危险，(0.5)拍戏的时候，拍那个:《迈阿密风云》的时候，(0.7) 呃:做那个:(0.3) 快艇，就我是不会游泳的，我们另外那个演员，(0.7)他来开，(0.9)他也不会开，Huhhhh @他就是现学的@但是一定要开到一个速度，这个船才能飞起来，反正就是当时我是很害怕，但是，(0.4)拍的时候已经，(0.9)忘了。(0.5)拍摄过程中，你在演戏过程中，已经，已经忘了。(0.5)完了我们拍的过程中，它已经开始涨潮了，就是因为你(0.5)很快的时候，如果涨潮的时候，(0.5)那海平线是不一样的，涨潮的时候这边高。(0.4)你拍的时候这边低(0.5)你在，很快的过程中，会(0.6)会这样，会翻的。(0.6)所以我们，差不多都快到这儿的时候，(0.9)就拐弯了，就是，啞::其实那个时候有点害怕，万一掉海里，我也就喂鲨鱼了，@因为我不会游泳@

(0.6)

YL:所以你还要感谢他，虽然是不太会@开那个船，但是还没有翻掉@

(0.2)

GL:嗯::对，没有，其实当时拍的时候，就我们四个人，导演，还有个摄影，(0.3)导演坐我们后面，就我们四个人在那个船上拍的。

(0.1)

YL:你觉得你自己的优势，和自信，主要来自于哪里呢？

(0.6)

GL:来自于我的工作,(0.4)我喜欢一种轻松的生活,(0.6)我喜欢把生活和我工作,分得很开,我工作的时候,我就全心全意地工作。(0.5)而且我觉得我要一个完美的一个:(0.4)组合,完美的一个,一个群体,我生活的时候,我是觉得我很喜欢(1.0)安静(0.6)就是,比较安静,(0.7)我可以储存一下我自己的能量。(0.7)这个能量当我要去工作的时候,我可以完全爆发出来。

(0.7)

YL:在这个电影圈里吭。

GL:嗯

YL:嗯::当一个女演员到了中年的时候,(0.4)她能够担任的(0.4)主演的这种角色,的机会,(0.3)相应的就会有减少吭,你为此会担心过吗?你对年龄,有过危机感吗?

(0.7)

GL:没有,

(1.0)

YL:你怎么看这个问题?

GL:其实大家也不用去担心这个问题,(0.5)演员,其实是,这个职业是一个常青树,就像你可以(0.3)到多少岁你都可以主持,这么(0.5)这么优秀的节目,这么好的节目,你,°不°,你不会去担心说,哦,我以后,(0.5)呢::年纪大了,我,我,我主持不了了,或者,我,我,我做不了这个事了。(0.4)其实我觉得演员是(0.4)如果是好演员,你,你的生活和你的,工作,(0.5)能够分配得很好的话,我觉得(0.5)它是一个常青树。(0.6)他没有退休这一说,只有你自己不愿做这一说。

音像

YL:什么时候你觉得工作和生活的矛盾是最突出的?

(1.3)

GL:呢::是这个 travel,(1.6)就是我是觉得,(1.3)我这一辈子都拿着一个箱,拿着这几个箱子到处乱跑,(0.4)这个旅行太多了。(0.7)完了就没有,没有家的感觉。(0.7)呢:我也觉得,(0.6)呢:嗯:: (0.7)这个可能会让我的生活有一些,有的时候有一些单调,就是我的箱子每天都是,到了一个地方,我,回家以后,我的箱子就摆在地上,就把它打开,(0.7)呢::要洗的东西拿出来洗,不洗的东西就放在里面先别动了,过几天就走了。(0.7)完了,就老师觉得回家也是一个饭店的感觉,我,我想可能有一天,我,我要停止一下,

(0.4)

YL:你会不会觉得就是,(0.4)呢,作为一个,(0.3)呢,一年当中可能,呢:经常会出差,而且会在一个剧组里一待待几个月的这样的一个演艺的生涯,

GL:嗯

YL:呢,让你其实是无缘于一种比如说,比较传统的一种家庭生活,(0.3)有没有因此而纠结过,挣扎过,

(0.2)

GL:呢::没有纠结过,因为这是我的工作,我自己早就做好思想准备了。(0.2)就是你如果找一个,(0.6)有一个伴侣,可能别人会知道,我的工作就是这样的,(0.4)除非我不干了,(0.6)我就,(0.3)不用跑了,(0.6)我如果一直在,(0.4)做这个工作的话,我的工作就是不能停止的,不可能在一个地方待太长,太长时间,(0.6)呢::可能需要大家的理解,就是(0.4)

双方的理解，如果不理解，可能这个家庭，或者这个(0.4)这个情感可能就维持不住，(0.7)我已经有自己的思想准备了。

(0.6)

YL:你曾经非常渴望有家，有一段婚姻，你现在对于婚姻怎么看，女人一定要结婚，(0.4)一定要生孩子吗？

(0.2)

GL:呃::每个人想法不一样，也不一定，(0.6)也不一定一定要，结婚，(0.5)呃:有一个很好的伴儿，也挺好的。(0.4)嗯:呃::婚姻只是一个，嗯::对社会的保障吧。(0.6)完了对，可能对，(0.4)自己心里的，心的一个保障，其实，婚姻，(0.5)我是觉得，@它只是一张纸而已@，两个人的情感还是要，需要你们两个人，(0.8)去维持，怎么去呵护，(0.5)其实那张纸没有什么用处，就是有了这张纸以后我们就可以白头到老。(0.6)呃嗯:这是一个，这是一个童话。

YL:但这些话是不是曾经别人对你说的，而且曾经伤害过你的话呢？

(0.4)

GL:呃::【我听】

YL: 【婚姻只是】一张纸，

GL:我，我听说过，以前不了解，嗯，现在我是觉得，(0.5)呃::情感要自己去维护。

(0.7)

YL:你觉得女人的安全感从何而来，女人需要男人来拯救吗？

(0.8)

GL:Huhhhhh，我觉得:(1.1)就像工作一样，他有不同的工作，分配得不同的工作吧，在这个社会上，(0.2)社会地位和家庭上，他有不同

的位置，呃，不需要谁去拯救谁，(0.5)就他有，我们分工不同。(0.6)嗯，我们在一个家庭里面是分工不同的，我们在一个社会里面也是分工不同的，所以我们不需要互相拯救，我们需要互相帮助。(0.5)所以我不觉得，(0.6)呃::一个男人缺了女人他不能活，我也不觉得一个女人缺了男人，她不能活，只是觉得，(0.5)呃::一个，这是一个，(0.7)自然规律，

(0.3)

YL:你觉得关于工作和家庭，你想给年轻的女性提一些什么样的建议呢？你觉得鱼和熊掌可以兼得吗？

(0.2)

GL:呃::可以，可是我是觉得:(1.7)我是觉得把它分开比较好，就是工作的时候，你就安心工作，好好工作，.hhh 呃:当你回家的时候，当你，呃:休息的时候，就不要把工作的东西带到你的生活里来，我觉得这样会让你的生活，会比较轻松。

音像

YL:你对自己的事业曾经产生过怀疑吗？

(0.5)

GL:没有，我就觉得别的事我什么也干不了，我只会，(0.3)只会当个好演员，(0.8)只会当，作为一个演员，这是我的一生的(0.4)爱(0.7)不可缺少的。

(1.2)

YL:当一个本子送到你手上的时候，你用什么来判断能不能够接，这个，剧。

(1.4)

GL:嗯:一个是我没有演过的，(0.7)我不喜欢重复，(1.0)比如说你现在再让我演一个像《秋菊打官司》，《红高粱》，(0.9)《菊豆》(1.5)

《迈阿密风云》这样的，可能我就觉得，可能  
(0.4) 就是，我 :: 也没有什么特别创作的冲动了，  
(0.6) 呃：首先我就， (0.7) 不演了，你  
剧本再好，可能我也不演了，因为我已经演过  
这样的人物了。(0.5)还有一个就是，他的组  
合，就是一个导演，希望是一个有，有想法的  
导演，好导演，

(0.4)

YL: 呃：从那个时候大学一年级拍戏到现在啦，  
你觉得你自己身上 (0.5) 嗯：没有变的是什么？

(0.1)

GL: 没有变的是啦，我还是很热爱我的 :: 工作，  
唯一的可以做的事情， 呃：我没有想改变我的  
工作。(0.4) 我没有想，开任何的什么工作室啊，  
什么，生意啊什么，任何都没有，我就说我 (0.2)  
要好好做一个好演员， (0.7) 呃 :: 把我的演员  
做好了，就是我一生的一个愿望， (0.5) 呃 ::  
我还仍然很爱我的工作， @ 这个，这个没有改变  
@

(0.3)

YL: 嗯，你为自己感到骄傲的是什么？

(0.2)

GL: 呃 :: 我是：拍了不少好电影， (0.7) 我也感  
谢， 呃 :: 很多的：我的， 呃：老师， (0.6) 还有  
我合作过的导演， (0.5) 呃 :: 因为我觉得我没有，  
没有走过弯路，这样的话，让我的事业会很顺  
利， (0.6) 呃 :: 这个我自己很骄傲，其实我是  
觉得女性的创造力是她应该， (0.3) 找到自己的，  
就是，位置， 唉：找到自己最能够：完成的，  
自己的一个目标，就是说 我们不要去尝试太多  
的东西。(0.4) 就是我们的，我们的生命是有限的，  
。hhh 我们不要说在这个阶段我们去尝试这  
个，在那个阶段，我们如果找准了一个目标的

话，我们就，按着这条路走下去， 不要去尝试  
太多的东西，可能会浪费我们的时间。(0.6)  
所以我觉得如果大家认准了自己的一条路的话，  
就 (0.5) 就走下去，肯定会成功。

資料 3:「楊瀾訪談錄」 2006/11/12 ゲスト：  
韩寒 (HH)

YL: 韩寒说他订婚了，hhhhh, 有这事吗？【hhh】

HH: 【嗯】我：的性格应该会直接结婚吧：

YL: 哦：对，我还在想，唉，原来他还是很传  
统的，(h) 还要先订婚 (h) 【再结婚 (h)】Huhhhh  
所以没有这事儿？

HH: 【Huhhhhh】 嗯 :: 暂时  
没有。

YL: 暂时没有，啦，做你的女朋友需要神经很坚  
强吗？

(0.5)

HH: 不一定

(0.2)

YL: 不一定吗？因为你一会儿又是这个，等会儿  
又，又说你这个姐弟恋那，一会儿又什么的，  
是不是对于，对于你的女朋友来说，她需要承  
受的东西也蛮多的。

(0.5)

HH: 其实没有，以前我觉得好多年都， (0.3) 没有  
任何的，任何事情，甚至， (1.4) 有我跟，包  
括女朋友一起比赛的照片，连合影什么都有，  
但是，.hh 也没有什么有心人去把它弄出来，  
就是今年，特别地奇怪

YL: 嗯：

(0.3)

HH: 但其实对于我：平时的生活，或者怎么样，

肯定是不会像他们想象的，或者说很多文章写的那样

(0.5)

YL: @你会比他们想象得更叛逆，(hhh) 还是，【哟】 @

HH: 【呃 :】 (0.2) 不会，我 : : 我觉得任何人说我不好 : 或者说在那里，觉得你的观点是不对的，然后在那里，甚至用一些很刻薄的话来说我我都会 (1.1) 没有 : 什么反应，甚至我会》有的时候《觉得他们说地都挺对的，包括很多人说《三重门》这文，这，这，这本书写得特别的做作，其实这，这都是我心里想说的话

YL: 嗯

(0.9)

HH: 就是 : 很多人他们都会，在那里想象，有些人会说 .hh 他其实这两年在上海啊，然后 : 喷，一直在那里炒房子，然后出入各种酒吧呀 : 好多这种，我个人，哟 : : 完全不是像他们说的那样，我在 : 家里，然后，一年都不会有一个应酬

YL: 嗯

HH: 吃饭，最多一两个

YL: 嗯

HH: 所以 (0.6) 我的那些朋友，可能更多的都是 :

(1.1) 我老家时候的那些 : 小伙伴啊，可以一块儿打打篮球，踢踢足球的，那

YL: 嗯

HH: 他们，有时间的时候，就是暑假，他们还在上学

YL: 嗯

HH: 所以我会把暑假的这段时间，除了比赛以外，别的事情全部都排开，因为 对我来说一年可能就能玩那段时间，每天

(0.4)

YL: @还玩呢，【这么大了还玩 Huhhhhh】 @

HH: 【hhh 玩啊】 @然后每天回家去 @ 钓龙虾，去踢球，我觉得非常开心，然后 : 暑假结束了，@然后我就来做 (Huh) 访谈录了 @ 录像

YL: 有的人说，有的时候这个叛逆是一个年龄段，你比如说从 15 岁，20 岁，所有的孩子就以不同，不同程度，全都要叛逆，有的人是骨子上就是叛逆，所以他一辈子都会很叛逆，你觉得自己是哪一种？

(0.5)

HH: 我也真没觉得我自己骨子上有多叛逆，我其实挺能够接受别人的，别人的意见的，【虽然到最后做这件事情 @ 还是按照 @】

YL: 【° 是吗?° 来，说说看，《说说看》 @ 你怎么】 你怎么接受 (h) 别人的意见 (h) 【你现在有】 什么传统的部分。

HH: 【(> 比如说人都是 < )】 (0.2). hh 我觉得我各个部分都挺传统

YL: 比如说呢？

(0.6)

HH: 呃 : 我肯定会结婚。

(0.1)

YL: 嗯。

(0.7)

HH: 呃 : : 没有意外的话。

YL: 嗯。

HH: 然后，(0.8) 该做，该做什么的我觉得也会，(0.7) 去，(0.6) 去这么做，我其实我，我不明白为什么人家一直说我叛逆，【这点是】我 一直，一直不明白的。

YL: 【□】对，因为

你所用的《语言》和观点都显得相当地叛逆，.hh 而且有时候我觉得你是故意的，用，用一些，比如说你在用一些，嗯：脏话的，这些字眼儿，我觉得你是为了激怒别人° 用的°

(0.6)

HH: 呃: 那个时候:: (0.6) 啧, 是稍微有一点点儿

YL: 嗯: =

HH: = 但: 完全不是那种: 存心的故意, 只是觉得【::】小小的故意, 然后也, 根本也没有想, 想那么多。

YL: 【@小小的故意 Huhhh@】最初在写那些话的时候, 有没有想到对另外一个人产生的影响?

(0.4)

HH: 嗯: 我不会想到, 我觉得, 这些都, 我觉得他们都应该足够地坚强, 可能我自己觉得本身是车手, 可能应该是这样, 但我觉得你在这个: 这个位置上面, 你必须得去承受这些, 这些东西。

(0.2)

YL: 你觉得在这个过程中, 你是不是也有得到一种表现欲的很大的满足。

(0.5)

HH: 嗯: 有: 【一些, 因: 为】

YL: 【有一种】满足感吧。

HH: 对我来说, 我, 不是特别喜欢: 上电视

YL: □。

HH: 然后, 我, 更喜欢在 .hh 不露面的时候【做】一些事情。

YL: 【□。】

(0.3)

HH: 然后: 可能那时候的: 网络速度更新速度也快, 当, 当年可能都得一个月, 我发表在文学杂志上, 【然后】, 那个人看见了想一个月。

过一个【月我再】发表出来

YL: 【□】 【□】□。

(0.9)

HH: 可能没有当时那么激烈和争锋相【对】

YL: 【嗯】嗯:

(0.2)

HH: 所以当时还是: 嗯:: 啞: 满足↑说不太上, 但至少还是挺开心的。

录像

YL: 我觉得是不是上了网的缘故, 所以大家都疯了, 可以随使用各种各样的话, 然后, 都被那个话刺激着, 然后, 是不是?

HH: 是大家表达得会: 更加得: 自由一点, 但是, 恰恰, 这就是@为什么不能一下子来放开这些东西。@

YL: □ (h) Huhhh

HH: 我觉得 (h) 还是: (h) 大家可能都会疯了, 就像你说的: 你说的那样。

YL: □

HH: 可能你过, 回头, 回头看一看, 包括我自己会觉得, ° □° 【这些话】, 我觉得是没有必要加的。

YL: 【嗯】嗯。

HH: 回头, 包括那些骂我的人去看看, 唉, 我觉得好莫名其妙, 他跟我无冤无仇, 我为什么要为了帮一个不相干的人, 【或者是】为了完全我就是看他, 看他不顺眼, 我自己要去,

YL: 【° □°】

(0.3)

HH: 说那么多的, 好, 好, 那种低俗的那些话, 【大家可能】回头看看都会觉得特别地莫名其妙

YL: 【对】嗯。 你觉得你会以后在行文上, 会觉得, 自己会更有分寸吗? 【Huhhhhhh】



HH:不知道,应该不会吧【HunHhhhhh】@hhh我觉得应该不会去@我不会对一个人进行,恶意的这种:攻击,但是我自己心里怎么想的,我会去:说出来,比如说余秋雨,

(0.2)

YL:嗯。

HH:我,小时候很喜欢他的,他的那个文章,当然后来有些事情:我也不是那么地欣赏,但总是他自己去选择做的一些事情,但是我真的是,比如有些事情,比如说我的确是,啞:我不喜欢他的那个发型,因为以前有一个老师我不喜欢,他也是老梳那样的发型,我觉得这就是我的真实想法,我没必要掩,掩,掩盖,我把自己的真实想法说出来,可能这想法非常地刻薄

YL: 嗯

HH:我就不喜欢你的发型,【但是】我觉得这没,没有有什么,这,

YL: 【嗯】那一代人可能都没有对发型有这么:大的关注,【不像你,你这个】头发,你这个角度是不是都是设计过的,正好遮住半个眼睛,昂

HH: 【的确,我不是】呃:我跟你说吧,我的头发,可能:都我今年,@可以向你保证,我【从来就没有】梳过一次@我【基本上是:】,

YL 【昂】【是吗?你可以做】洗发水广告, Huhhhh【啊】 【就是这样了】

HH 我从来也不吹风,【基本上】头发是湿的,就酒店洗完了以后,就:【出来,我对】发型啊这种也不是特别的注重,但我有:喜欢不喜欢的,反正这跟时尚不时尚没有任何的关系

录像

YL:你现在真的把赛车当成一个专业在做了,是吗?而不是说,像一开始,很多人会觉得你是在

玩票而已。

HH:呃:关键这,这东西吧,不好,不好玩票,你别的東西能玩票,我觉得写东西啊,或者:唱歌倒是都能玩票,因为你没法分辨好坏,你死活认着我是好的那【没办法,但是】

YL: 【hhhhHuhh】

HH:赛车因为,他是一块发车的,你快慢:大家看一眼都知道,如果你是去玩票,老,老开在最后一个都不好意思,因为我,啞:从小参加各种运动,在学校里面的比赛或者什么,基本上都是:第一名,所以,【啞】如果不在前面,我会特别难受,我自己不大会,啞,允许去那里玩票。

YL: 【嗯】

录像

YL:说为了这个:赛车,曾经有过连轮胎都换不起的时候,你有过这么窘迫吗?

(0.2)

HH:哎呦,我一直这么窘迫。

YL:嗯。

HH:那时候是:三四年前在北京的另外一个:车队吧,是朋友做的一个车队

YL:嗯

(0.4)

HH:然后我用我自己的赛车,在那里比赛。

YL:嗯

HH:还有很多比赛的费用,是我自己出的,当时,啞::版税也没有那么高【hhh】

YL: 【hhh】

(0.4)

HH:然后:

YL:那时候一个轮胎要多少钱,对不起我很无知昂,【对不起】

HH:【呃:】轮胎一条可能也不贵,两千块钱,但关键你不能一条一换啊,【你得】四条一换。

YL:【昂】嗯

(0.3)

HH:所以:就,嘖,偶尔会有:那个时候。

YL:哦,那后来你怎么解决那资金的问题。

HH 后来就没换 hhh 【>没事<】呃:因为,轮胎嘛,你磨平了就是光头胎,

YL: 【没换】嗯

HH:光头胎也是,嗯,比赛轮胎的一种,

YL:hhh@【但是我】听说国内的这些,呃嗯:呃::赛车,其实观众也不过就是:几百人而已,是吗?

HH: 【所以】,呃:那算多的=

YL:=那算多的

HH:呃,拉力赛会更多一点

YL:° 哦:°

HH:□, □

YL:所以也不是为了说,有一个山呼海,海啸,人们的关注,【也没有?】

HH: 【呃:对】山呼海啸有啊,拉力赛的时候有,因为,拉力赛当时在:比较偏远的,那个,农村嘛。

YL:嗯

HH:那些地方会,6点钟就开始封路,那些山路,砂石路,封了以后那些老人们出不去,他们就只好在那里看赛车,【而且】【而且】

YL: 【Huhh】hhh 哦,(h)是【这么(h)回事(h)】

HH:很,很那个,你想,那里连汽车一年都看不了多少辆,因为我们在砂石路上比赛,那种,然后,当你每次,嘖,那一段开得特别好,或者你的过弯,你觉得,哎,真是,啞::过得

特别好的时候,你从来就听不到掌声,只有当你翻车的时候,你还在翻的时候,你边翻,你就可以听到@周围全是那个掌声还有喝彩,牛逼@【hhhh】然后再翻一个,【全是】

YL:【hhhhhh】 【hhhhhh】HuhhhHuhh

HH:全是这样的,山呼海啸,【hhhh】° 你知道吗?°

YL: 【hhhhhh】

录像

YL:你在高一之前还是一个相当好的学生是吧?各门功课还都是挺不错的,那是时候你还是决定要遵守规则的,对吗?

HH:嗯,那个时候其实还是稍微有一点,有点野路子,当时是初中

YL:□

HH:在初二14班,【你想】我们那初二有多少=

YL: 【□】@多少个班,昂@

HH:14班是一个,特色班,

YL:嗯。

HH:然后,是属于英语的那种:特色班,【当时】我们进去,可能英语会,啞::比较:注重一点

YL: 【昂】嗯

HH:然后,我其实成绩还可以,我当时刚进去的时候,我考了273分,我三门,我记得我平均91分一门

YL:嗯

(0.3)

HH:结果,呃,我还好,好高兴,嘖,我给家里面说我考了273分呢

YL:嗯

HH:然后我爸一看也好高兴,平均91分,因为语文根本不可,不可能满分,我数学也一直不太好,

YL: □

HH: 所以我觉得应该有个年级, 差不多怎么都得有个前十名, 前二十名, 结果当时排下来一看, @是班级的第 43 名

YL: 嗯 Huhh

HH: 我们班有差不多 5, 将近 50 个人【吧】, 都是, 【哟, 我】不知道那些人都是, 怎么, 怎么学的

YL: 【□】 【很大的】 □

HH: 昂, 从此以后我就放弃了 Huhhh @做一个好学生的想法@

YL: 就这么简单吗? 放弃了,

(0.3)

HH: 呃, 我觉得未知, 在那个不知的, 我觉得我自己做得挺好的, 但是没想到, 别人还都, 这么好, 关键是我对这件事情不感兴趣。

(1.0)

YL: 【不感兴趣】

HH: 【没有必要】在上面为了, 为了争一个我不感兴趣的, 第一去,

YL: □

HH: 拼死拼活的。

YL: 但你语文课一定要争第一是吗?

HH: 不不不, 我争不了, 我语文课, 我语文课我, 哟:: 作文, 写得不是:: 特别地: 啧, 就不能拿到高分, 经常

YL: 【嗯】

HH: 【而】而且那个: 经常那种分析啊: 我分析得总是特别地不好

YL: hhhh

HH: 我总是不能理解, 作者, 【° 划线°】, @划线的那个, 【当时的】, 当时的用意是什么@ 【甚至】有一次, 我稍微有了点名气之后, 有人用

了我的文章, 去做那个, 试卷的分析以后

YL: 【hhhhh】 【□】 □

HH: 我拿到那张试卷, 我都, 不能理解我当时, 的用意是什么。

YL: 【是吗? 他们】划了哪句话?

HH: 【° 啊, 对°】 (0.2) 他们划了一句话, 然后, 啧, 那个: 有一个选择题, 说作者当时家, 就是当时我写的一篇文章, 作者当时, 这, 这个词儿的, 啧, 用意是什么。然后 ABCD 我先了一个, @但是我记得我选错了@

YL: Huhhhhh

HH: 这就说明一定是规则出了【问题】, 不是我出了问题。

YL: 【哦】

录像

HH: 我觉得人很多时候, 很多看似很英明的决定, 其实都是: 被迫做出来的,

YL: 嗯

HH: 不是他主动那么做的, 我【当时】, 哟:: 写那东西, 我是高估了自己的,

YL: 【□】

(0.8)

HH: 能力和智慧, 【我觉得】

YL: 【□】

(0.7)

HH: 当时我: 慢慢写东西, 然后, (1.0) 我再差不多: (1.0) 离: 考试还有一个月的时间, 我再突击一下那些数学啊, 化学, 物理, 【我觉得】我还是能通过的, 【但是:】完全不能

YL: 【□】 【□】

(0.6)

HH: 所以我留级了。

录像

HH: 特别喜欢那种基本功很扎实的野路子。

(0.3)

YL: 嗯。

HH: 包括丁俊晖啊, 包括刘翔啊, 那些人都是我  
很欣赏的, 但是不【欣赏的人太多了。】

YL: 【你欣赏天】才, 是吧。

(0.7)

HH: 有, 有一点, 因为, 当丁俊晖在那里拿了世  
界冠军的时候, 有很多人会, 居然会, 在那里  
指责他们的那个教育方式: 我觉得, 真的是,  
太奇怪了。你, 为什么去指责一个世界冠军,  
世界冠军的教育方式有问题, 这不是: 这这这  
这, 太说不通了。

录像

HH: 所以我从来就没有: 让人家说过, 大家都,  
一定要来, 退学: 或者说, 一定都不能在学校  
里面念书, 【这】是 不好的

YL: 【嗯】 嗯

HH: 我一直, 说我, 我看好多人都会觉得我, 不  
读书的【这种心】 其实我, 从头到尾: 我一直  
在: 学习, 我真的觉得上学跟 跟学习是完全不  
一样的, 人, 不能中断学习。

YL: 【嗯】 嗯

HH: 人绝对可以中断上学。

YL: Huhh 某些人, 某些人

录像

YL: 这张好像不是特别酷的, hhhhh 【你在干(h)  
什么】? hhhh 还有打马赛克 hhhh

HH: 【hhhh】这张, (h)

这张是我当时: : 拍: mv 看景的时候, 掉粪坑  
里以后, 我朋友拍的一张照片

(0.3)

YL: 嗯: 很多人会拍手称快, 这家伙应该掉到粪

坑里了, 【hhh 会吗? 会吗?】

HH: 【° 对对对对°, 所以】所以我觉得, 当  
时因为有人拍了照片了嘛

YL: 嗯

HH: 我觉得如果我自己不把他放出来, 到时候偷  
偷被人放出【来, 让】人家暗地里拍手称快,  
我还觉得我【不如自己 Huhhh】

YL: 【hhh】 @【你看, 你看, 其实你  
这脑】子一直在动, 要点小聪明@【 Huhhhhhhhh】

HH: 【Huhhhhh】其实是, 我会经常, hhh 要点小  
聪明, @我【觉得】, 这些事情对我来说挺有意  
思@, 那就可以了。

YL: 【嗯】

录像

YL: 我很想知道你现在跟父母的关系。

HH: >° 我觉得° <挺好的, 可能我回来得比较,  
有时候一个星期回来两三次, 一二次, 然后平,  
自己: 租房子住在外面, 【所以】

YL: 【□】

HH: 啧。hhhh 会, 现在相处得反而很好, 但当  
然最主要是见得少了, @如果见多了, 估计还得,  
还得, @到时候天天吵架呀什么的【但是我觉得】

YL: 【你觉得父亲对你】是放弃了呢? 还是放心  
了

(0.2)

HH: 放心了, 他非常, 信任我: 做的事情, 我基  
本上每次对我父亲说, 我要去做这个事情, 到  
最后的结果肯定是: 不会失败的。

(0.8)

YL: 就是他对你的判断力还是很有信心的=

HH: =但我母亲还是: 可能对我有一些不放心,

YL: 她不放心什么=

HH: =因为, 有阵 : 子我, 我特别喜欢打桌球 ↑  
YL: 嗯

HH: 然后当时那个 : 撬粉, 其实那里应该有一个  
吸, 磁铁的那个东西, 吸着那个撬粉, 然后,  
擦那个【球杆】, 但我那, 老丢, 我就

YL: 【啊, □】 啊

HH: 老藏在自己的口袋里

YL: 嗯

HH: 然后我口袋里老有好多的粉末, 我【母亲】  
有的时候, 洗衣服的时候, 啊, 好多的那种粉  
末, 然后, 时间久了又白了。

YL: 【啊】 啊

HH: 我母亲觉得, 哦 : : 你这个 : 【她偷偷】, 偷  
偷跟我爸说, 这会不会是

YL: 【特别可怕】 白粉

HH: 白粉, 那我也太有钱了, 白粉放在【兜里,  
@还散乱的那种@】可能我母亲会有一些

YL: 【HuhHuhhhhh】 □

HH: 不放心, 但是,

YL: 嗯, 那你父亲呢? 觉得我儿子不会那样。

(0.3)

HH hhh 他, 他对我一直都, 非常地(0.6)放  
心, 关键是我对自己也挺放心的。

資料4:「楊瀾訪談錄」2014/03/09 ゲスト :  
王健林(JL)

YL: 两会期间, 您最会关注哪些现象, 或者是哪  
些信号。

JL: 其实我 : 十多年以来吧, 一直就是呼吁一件  
事, 就是要解决小微企业的融资难和融资贵的  
问题。

YL: 嗯, 但是在这个十八届三中全会的决定公布  
以后啊, 您也曾经在不同的场合说民营经济的

又一个春天要来了。您这个春天又指什么呢?

JL: 啧 .hh, 我觉得这个决定写得非常好。

(0.2)

YL: 嗯

JL: 呃 : 而且这个决定写得好的一个最根本的标  
志,

(0.9)

JL: 就是, (行), 打破市场制度, 再一个也明确  
提出来允许民营企业进入金融, 石油, 航空等  
领域。

YL: 嗯

JL: 那对民营企业就是春天。

YL: 我也听到一些民营企业家在说啊, 说的确是,  
昂, 一下这么多领域都要向民营经济敞开了,  
我们觉得很兴奋吭, 很有希望, 但是同时呢又  
怕 : 这个, 走错了昂, 所以说, 当这个, 呃 :  
有一些领域的垄断被打破的时, 时候啊, 这到  
底馅饼, 还是陷阱, @有没有这样的一个, 啦,  
一个顾虑@, 您的看法呢?

JL: 担心自己的》资金进去《被吃掉,

YL: 嗯

JL: 或者被同化, 或者说是竞争不过这些大型国  
企。

YL: 嗯

JL: 我觉得你不能这么想, 呃 : : 包括很多行业,  
过去, 改革开放初期的时候, 那, 那, 那不是  
更, 更没, 更弱小嘛,

(0.6)

JL: 这有, 有一, 这股劲, 有这个拼命精神, 慢  
慢在发展当中, 是可以发展起来的, 我, 我觉  
得总体来讲, 还是机会, 还是机遇, 大于挑战。

(0.2)

YL: 嗯

JL:我觉得可能还是, 呃 : 馅饼更多。

YL:其实, 政界与商界的关系是大家一直特别热衷于讨论的, 您觉得政商之间的关系, 为什么比读一个哈佛的博士后还要难。

JL:嗯::: 嘖

(0.2)

YL:您由如何自处?

(0.2)

JL:这个政商关系呢 : 不光是在中国, 其实在世界上, 只要有经济的国家, 都是比较难的。

(0.2)

YL:嗯

(0.5)

JL:我曾经说过 : 一句话, 也被社会广泛地传颂, 就是我说的, 就是亲近政府, 远离政治。真正做得大规模的民营企业

(0.2)

YL:嗯

JL:全部都是规规矩矩的企业,

YL:嗯

JL:都是重视市场, 而不是重视市长的企业。

录像

YL:万达呢, 有四次重要的转型, 每一次呢, 似乎都赶到点上。

JL: ° □ °

(0.2)

YL:这仅仅是一种巧合吗?

JL:嘖, 我觉得 : 两方面吧。

YL:@还是说都有先见【之明?】@

JL: 【哦, 不不】不。

YL: Huhh

JL:你说得如此有前瞻性, 我觉得那把我们说得太伟大了。

YL:hhhh

JL:呃, 但是你说都是碰上运气, 他不可能回回碰上运气是吧。我觉得应该是, 呃 :: 两方面结合。

YL:嗯

JL:就是, 我们自己老是处在一种如履薄冰的这种心态下。

(0.4)

YL:嗯

JL:我住宅做得如火如荼的时候, 我就隐约感觉到游离, 我说不行, 我老在这么折腾, 说哪天大连的市场垮了, 我们的弟兄们怎么办呢。

YL:嗯

JL:我说我们得走出去, 啊, 于是 93 年就到广州了。

YL:嗯

JL:然后又, 于是到了这个南方北方

YL:嗯

(0.3)

JL:呃, 那个时候出去闯, 呃 :: 前面还载了跟头, 还被别人骗了一次。

(0.5)

YL:哦, 还被骗了【一次】, @被骗了多少钱呢?@

JL:【骗了一次】嗯 : 骗了 :: 骗了大概几千万。

(0.5)

YL:嗯哦

JL:就是签了协议, 什么都是正正规规的公司, 也是对的, 项目也是对的, 啊, 把协议签了, 结果, 结果吧那个钱打到这个账上去的时候, 这小子, 呃呃, 这个

YL:嗯, 没了。

JL:拿了钱就跑了。(0.2)那压力多大呀。

YL:嗯

(0.2)  
JL:而且,牌出去呢,头两年也不成功,  
(0.5)  
YL:嗯  
JL:房子卖不动  
(0.2)  
YL:嗯  
JL:因为为什么,当地老广不认你来,  
(0.3)  
YL:对  
JL:东北来的公司。(0.2)那是什么公司啊。(1.0)  
所以,  
YL:没听说过 hhh  
JL:所以说那头两年,那,那个,那个,很多人都怀疑我,我自己也,啧,自责自己,哎呀,这一步可能弄不好,整错了。  
YL:嗯  
JL:但是有的时候,就是,无心插柳柳成荫,一下子在第三年,突然间我们那个房子就好卖了。  
(0.5)  
YL:哦  
JL:做住宅地产做得很顺很火的时候,  
YL:为什么做商业地产。  
JL:我就在想,哟,哎呀,我们这个,如果做到最后是个什么局面呢?我们就是养了几千人。  
(1.4)最后这一结束,等于什么都没有了。这公司是空的嘛,就是一堆人什么也没有。  
YL:嗯  
JL:所以就做不动产,那不动产做得比较好的时候,我们发现这不动产要火的话,  
YL:嗯  
JL:里边要有娱乐元素。  
YL:嗯

JL:所以我们又进入到了文化领域。  
YL:文化旅游啊  
JL:对,文化旅游。嗯::我曾经说过一个:::算是经典语言吧,在中国就是有文化没产业。我们不走传统。  
(0.6)  
YL:嗯  
(0.2)  
JL:绝对不像,这个:过去搞文化产业的人,就是考虑的拍电影。  
YL:嗯  
(0.3)  
JL:演舞台剧  
YL:嗯  
(0.2)  
JL:呃:搞这个,这个,这一类东西,【我们】不是。  
YL: 【嗯】(0.3)  
这是以项目为核【心的】。  
JL: 【对】我尽管也拍电影,  
YL:嗯  
JL:我不走这种,不走传统路线,我们,我们什么路线呢?创新性,体现在哪几个方面?  
YL:嗯  
JL:第一个,哟:文化跟科技结合。  
(0.4)  
YL: ° □°  
JL:就是我们万达现在所玩的这套东西,你看,我自己做电子娱乐科技。  
(0.2)  
YL:嗯  
JL:就是完全走大投入大产出,这颠覆原来的传统思维。

录像

YL:呃::谈 AMC, 我不知道您谈了多长时间, 据说他们也是, 每隔几天就有一拨人要来跟他们谈收购的吭。您用什么打动了他们, 最初您又遇到过一些什么闭门羹吗?或者是一些,。hhh

【不理解】

JL 【嗯::】 :::(0.3)就是::我觉得海外发展跟我在国内做生意差不多, 清华北大不如胆子大, 不敢做一定没有结果, 所以敢闯敢试是第一重要的。第二个就是坚持到底。(0.6)出现挫折的时候, 要, 要有那个到不了黄河心不死这个状态才行。

YL:嗯

(0.4)

JL:可能坚持坚持就产生【机遇了】。

YL:【你能】给我具体举个例子吗?

JL:你比方说, 我们初期, 我们要跟奥斯卡去合作, 他说我们(从来)不跟别人合作, 说我们是个(非)营利单位。

YL:嗯

(0.2)

JL:我一开始也是以为, 我说我们给你多少出场费啊, 多少冠名权, 他说我们不为钱, 你说多少钱都不太可能。

YL:嗯

(0.3)

JL:那怎么办呢?啊::后来, 嘖, 慢慢就接触吧, 跟他们这个执行董事, 这些核心的决策人, 执行董事

YL:其实您想和周围的人, 【Huhhhh】

JL: 【哎:对对对】了解多了, 影响多了, 他们就可以给出主意, 比方说, 他们科学院这么多年来一直有一个非常重

要的想法, 就是想建一个电影的博物馆。

(0.4)

YL:嗯

JL:但这个想法一直没有落实。

(0.2)

YL:嗯

JL:啊, 如果我们能够帮着推动这件事情, 也许, 他们就能够接受我们的一些意见了。

YL:嗯

JL:哎, 我们就跟他们想办法起来, 努力推动这个电影事, 电影博物馆的建设。

YL:嗯

JL:我们还捐了一些钱。

YL:嗯

JL:嗯:做一些工作, 他们觉得, 哎, 这帮人很真诚,

YL:建立起了合作关系。

JL:对啊, 他们觉得很真诚啊, 有感情了。

YL:嗯

JL:于是他们就说可以来讨论讨论, 来看一看, 哎, 慢慢慢慢这事就可以合作。

YL:嗯

JL:这就这样。

YL:嗯

JL:包括并购 AMC 也是一样, 跟管理层谈判就是很艰苦的, 我们跟管理层谈了一年。

(0.3)

YL:嗯

JL:起码几十次谈判。

YL:=你没有失去耐心的时候吗?

(0.3)

JL:呃::呃, 呃, 当然有失去耐心了, 【我们有好】几次就是说这个事看来做不成了, 但后来



我又想，唉，这样，啧，再努力一下，

YL: 【嗯】

(0.6)

JL: 呃：反正我给大家讲，就是花时间嘛。

(0.3)

YL: 嗯

JL: 也没有花我们更多的钱，你要说假如每一次要花十亿，每一次花十亿，可能来回投，投，前期投入太多，我们也就不玩了，所以我跟他们讲，哎(0.3)是你的，你跑不了，不是你的，栓也栓不住，是吧，咱们大家，就抱着这个好的心态，就跟他磨起来。

YL: 嗯

JL: 磨练两年多。

(0.3)

YL: 可是院线，她的盈利模式其实是非常有限的。所以有的人说，万达做这个 AMC 的并购，更多的是属于名声或者是政治上的考虑，

JL: 哦

YL: 好像中国文化走出去是靠这个。

JL: 哦，不是不是，我们还是从商业角度出发。

YL: 嗯

JL: 因为我们觉得呢，呃：靠万达院线自己在国内这个发展。

(0.3)

YL: 嗯

(0.2)

JL: 呃：很难做到世界，排到前头去的，那，要，要做到这个行业的老大，就只有靠并购。

(0.4)

JL: 但是我们也创造了记录了啊，我们投了不到八亿美金进去，我这次上市，募了四亿美金回来。

YL: 嗯

(0.3)

JL: 我的股票还价值 14 亿，还翻了一倍呢，这也创了记录了啊，一年多在美国挣了百分之百。

YL: 嗯，其实这个时候，我们回到一个核心的问题，万达为什么要走向国际，。hhh 因为，呃，就像您在不同的场合曾经说过的那样昂，固然在海外，这个资本的成本相对较低一些啊，无论这个贷款，还是发债券，都相对成本会低一点，。hhh 但是他从回报来讲，

JL: 也低

YL: 不如国内的很多的产业回报高，。hhh 那么所以人们就说，这时候万达要走出去，仅仅是为了，(1.0)不知道，是为了面子好看呢，还是为了去平衡自己的资产配备的这样的一种风险。

JL: 嗯:::我觉得【就是】

YL: 【就是最】最大的动因是什么。

JL: (最)大的核心原因，就是我们要国际化色彩。

(0.5)

YL: 为什么呢?

JL: 呃，为什么呢?就是你在想，这个企业如果按照我们现在这个规模去走，呃：到 2020 年，公司的资产我相信应该过万亿了。(0.6)收入应该是一千亿美金往上的说，嗯，那么大一个公司，如果仅仅是一个中国的公司，我觉得它是：不安全的。

YL: 嗯

JL: 呃，它这个只有全球配置资源，呃，人才国际化，这对公司长治久安是有好处的。

YL: 嗯(0.4) 嗯

JL: 比方说我们融资渠道就会更多。

YL: 嗯

JL:全球来融资,比方我用很低的融资成本拿回来,我可以在中国国内来做更赚钱的事情。

YL:嗯

录像

YL:无论是文化界内的人吭,还是普通的公众啊,都印象深刻,特别是在,呃,青岛的,呃,这个,电影基地的这样的一个项目也引来了很多好莱坞一线的大明星啊,都来走红毯啊,然后来,这个,捧场,呃,当然我也知道他们有一些人的出场价甚至高过了他们拍一部电影的片酬啊,所以有人说是不是王健林太土豪了。

(0.2)

JL:呃::不是的,我们其实很多人不知道。

YL:嗯

JL:合在一起的那次出场费才一千多万人民币。

(0.7)

YL:啊

JL:啊,真的。

YL:真的吗?

JL:万达本身有制片公司,也有电影院线,可能在行业里面来讲是,是一种资源吧昂。

YL:嗯

JL:再加上我们有做产业园区,将来还办电影节。

YL:嗯

JL:可能这些,大家给面子。

YL:□

JL:很多人基本都是友情出演。

YL:哦

JL:那请到好莱坞这些人呢,因为这个项目是我们跟奥斯卡合作。

YL:嗯

JL 这奥斯卡也是,你也知道,那是很牛的,从来不与别人合作。那合作以后,因为奥斯卡

主席,副主席,呃:CEO这些都来,

YL:嗯

JL:再加上我们又请来很多大电影公司的老板也来,所以请这些明星的时候,我的价钱也不高,有人说我搞了这个启动仪式花了一亿,那完全是不了解,他是根据自己,可能市场的价格,自己估算出来。

YL:嗯

JL:没,完全没有那么多。

YL:嗯,呃,其实投入是一个方面,时间是另一个方面,那我们文化,艺术,生活品味是需要时间的一种积累的吭,那也有人说像王总这样的,(0.8)

YL:大手笔地投入,而且希望很快见到效果的,这种,比较,。hhh 呃,急功近利的这样的一种指导方针是培养不出好的文化的,你怎么看?

JL:啧,我觉得,呃:这个都是传统文化人的传统思维。

YL:嗯

(0.3)

JL:我现在做文化,不要忘了,后边一定有两个字,产业。

YL:嗯

JL:我把做文化,我看成是一个商业行为。

(0.4)

YL:嗯

(0.5)

JL:我投入的文化的的内容,更多的是跟老板姓的这种娱乐和游乐相关的。

YL:嗯

(0.4)

JL:我不会去花,很多长时间,比方说,花,这个,像,像,13年,14年,去琢磨一部《阿凡

达》，那不是我干的事。

(0.2)

YL: 嗯

JL: 那个投入和那个，产出，我觉得是不够的，可能跟有些所谓文艺范儿的人来比，他们可能觉得，哇，你这个完全就是，就像商人行为，因为本身我就是个商人。

YL: @□@

JL: 我这种产业，做文化投入，我依然把他看成是个商业行为。

YL: 您倒是【很坦】诚，啊，就是，。hhh

JL: 【我要赚钱】我一定要赚钱，这个买卖赚钱我才做，凡是我分析不赚钱的文化行业，也许我就放弃它。

YL: 嗯

JL: 没有产业前景。

录像

YL: 呃，随后呢我也听到两种说法啊，一种说王健林能够为，这个，中国说话，是个好声音啊。又一种说呢，说这个王健林呢是反应过度，昂，这是在一个论坛上，大家是畅所欲言啦，何必这么要，好像一定要站边站队的这个意思，您对这样的呃一个现象怎么看？

(0.3)

JL: 嗯，我觉得应该这么说，那，那天四个老板，我一个，一个::中国人昂，他们老是在说中国的这个::不足的地方啊。

YL: 嗯

(0.2)

JL: 那我听得当然就觉得不是很舒服嘛。

(0.2)

YL: 嗯

JL: 我后来也在想，我要不要反驳一下呢。后来

我想想，我还是要反驳一下。起码我觉得，你可以说你的看法。

YL: 你不反驳又怎么样呢，【你觉得】别人会以为你默认了？

JL: 【我觉得】不，不，那到不是，我倒不是怕，别人觉得说，啊，我回来你看，怎么无能啊，不敢说话，当时我在想，唉，既然是个辩论会嘛，你可以说你的看法，那我也可以说我的看法呀。

YL: .hhh

JL: 所以我就，呃，我也没想到还会引起争论，我只是说我，我，我不太赞同你的说法，而且我觉得，哟，你不太懂，不太讲礼貌吧。

YL: 嗯

JL: 我说一个中国企业家坐在这儿，你们俩，老老在挤兑中国了，这个不是，【那个不是，我说，那：那】不够意思，对不对，如果说我们四个中国人跟你一个美国人在一块儿，我们四个一起来，老说你美国的不是，你也不舒服是不是，我只是这么说一说。

YL: 【hhhhhHuhhhhhHuhhh】□

JL: 但是我没想到，.hhh 后来还会，啊，有人，这个，我，我，我觉得这其实不应该把他看得，看得更重了。

YL: 嗯，但是我想说的是，就是，所以你就看到人们对于中国走向海外的企业家的个人表现，人们都会非常关注，而且会去不断地解读他。

JL: 嗯

YL: 这个现象本身是有趣的。

(0.2)

JL: 嗯::: 啧，那就说明中国企业家走出太少了。

(1.1) 走出去一千个一万个，太多了，他就没法报道了，他，

YL: 嗯

JL: 也不关注了是吧， 还是少， 还是少。

录像

YL: 从这个 13 年我们来看吭， 你看， 双 11 的这种网购的风潮啊， 然后到， 呃： 这个， 马云进入了余呃宝这样， 其实是一个金融零售的领域， 然后在加到这个今年过年的时候， 微信红包

YL 啊， 一下网罗了这个上亿的这个银行卡， 所以可见， 其实零售业受到电商的冲击是非常大的， 如果今天， 您再做一个预估啊， 呃， 到了 2020 年您觉得电商能不能够占到中国零售业的 50%。

JL: 啊， 这个占不到。

(0.3)

YL: 您觉， 还是觉得占不到？

JL: 这不可能， 因为零售我讲的是大零售概念。

YL: 嗯

JL: 不是指， 指， 不是光指百货，

YL: 嗯

JL: 也不是光指这个超市， 电器， 大零售概念， 我觉得五十他是无论如何做不到的， 。hhh 因为在这个： 整个零售概念当中， 我觉得应该有差不多接近一半是体验类的消费。

YL: □

JL: 文化， 旅游，

YL: 嗯

JL: 啊， 餐饮， 或者这一类， 所以我认为， 呃： 互联网占到一半是不太可能， 我在去年年底， 公司讲一句话， 万达所有的公司要有电商化， 【就是】 什么意思呢？ 所有做行业的， 你都要求线上线下结合来做。

YL: 【嗯】 嗯

JL: 这个可能是， 啊， 冲击更大一点，

YL: 嗯

JL: 其实你要说份呃的冲击， 我相信， 呃： 到一定的时候， 会有瓶颈的。

(0.2)

YL: 您觉得所谓的互联网思维会颠覆所谓房地产的游戏规则吗？ 因为最近呢， 这个， .hhh 万科一些高官昂， 去拜访了小米手机的雷军啊， 那这个雷军就说， 其实房价可以降一半， 啊， 如果去掉所有的中间环节， .hhh 从筹资， 拿地啊， 到盖房子， 我们都由网友这个， @直接来这个参与@一切服务都外包的话， 房价有可能下来一半。 您觉得这个只是戏言吗？

JL: 这完全是太美好的想象了。

YL: 嗯

JL: 就像你记不记得几年前， 曾经有一个叫私人联合体，

(0.2)

YL: □

JL: 要去拿地。

YL: □

JL: 他们认为拿了地就房价降一半，

YL: 嗯

JL: 房地产公司的平均毛利率， 就毛的利润啊，

YL: □

(0.6)

JL: 大概就是 20 到 25，

(0.4)

YL: 所以无论如何也不可能只有【一半】， @是吧 @hhh

JL: 【啊， 对】 (0.3)

有互联网和没互联网，

(0.2)

YL: 嗯

JL:我个人认为,他对房价的影响,我个人认为啊,

YL:嗯

JL:嗯::是不,不能起到决定作用的。

YL:嗯

录像

YL:您怎么看待现在民间,呃::有一种,嗯:我们经常说是仇富的这样的一种心态,作为一个成功的民营企业家,一个财富的拥有者,您怎么看待这种心态?

JL:嗯::仇富其实,古今中外,

YL:嗯

JL:都有,不是现在。

YL:嗯

JL:呃::我相信这是这个市场发展一个阶段罢了。

YL:嗯

JL:呃::随着中产阶级整体壮大,随着大家收入整体的增加,特别是保障制度的健全。

YL:嗯

JL:. hhh 这个仇富心态应该逐渐,呃::,逐渐逐渐,我觉得应该减少。

(0.2)

YL:这么说吧,您个人对于财富的这种,嗯:表达,也,这些年也有些改变,比如最早,. hhh 胡润榜把您的名字放到这个富豪榜上去,据说您还给他发来律师函吭。

JL:嗯,嗯

YL:但是现在呢,你会,呃::比较自信地去参加这样一些活动,这个说明了您本人心态的一个什么样的改变。

JL:呃:我觉得跟整个国家的形势环境有关系,那个年代,十几年前,呃::放到富豪榜上去,

似乎觉得有很大的压力,

YL:嗯

JL:现在确实也左一个,右一个的富豪出世。

YL:嗯

JL:所以大家给它起一个外号说,他的富豪榜是杀猪榜。

YL:Huhhhh

JL:嗯哦,所以我们当时也比较紧张。

YL:嗯

(0.2)

JL:后来现在看到呢,这个,整个财富在积累,发展,那这个舆论环境,

YL:您当时给他发的信说什么呢?

JL:我发的信,就是说,你这个,为什么不经过我们同意。

(0.2)

YL:哦 hhhh

JL:就不来我们这儿调查,你就给我们发出去了。

YL:呃哦::

JL:呃,我,我强烈抗议。

YL:Huhhhh

JL:就这个意思。

YL:嗯

(0.3)

JL:但是后来觉得,呃:::啧,好像这个事情也,也无所谓,呃:

YL:嗯

JL:你,你也不把它太过当真吧,就是,

YL:嗯:嗯(0.8)中国的,呃,这些个人的家族的企业,呃,都先后到了一个传承的时候吭,但是这些第二代啊,第三代当中啊,. hhh 实际上是,呃::有几种类型嘛,无非就是有兴趣有能力的,昂,愿意接这个班的,. hhh 也有有

兴趣没能力的吭，这相对麻烦吭，也有有能力没兴趣的，人家不稀罕您这产业昂，。hhh 然后当然最差就是也没兴趣也没这能力的吭。

(0.5)

YL:您觉得自己的孩子属于哪一种?

(0.4)

JL:啧啧 (1.3) 呃:::我觉得他，能力有，兴趣现在不敢说是很开放一个人。

YL:嗯

JL:职业经理人如果有合适的人，那就职业经理人干，

YL:嗯

JL:他就当股东就完了嘛，我是不主张家族法则。

YL:嗯

JL:哦:::我儿子现在呢，我支持他在做投资公司。

(0.4)

YL:昂，说是您当初给他5个亿，

JL:呃

YL:说可以亏掉。

(0.4)

JL:我跟他讲，我允许你失败两次，

YL:嗯

JL:你亏掉，我再给你，第二次再失败，对不起，算了，你老老实实回来上班。

YL:嗯 (0.2) 现在呢?

JL:哎，还不错。

YL:增值了吗?

JL:呃，不错，增值了，嗯:::但是他究竟是不是要接我这个企业，现在没有定论，我和他都没有讨论这个问题。曾经在几年前，定了个目标，跟大家讲，我说，看来这一辈子，做到一千亿收入，我就，我就退休了。因为我在想，哎呀，做到一千亿，还不得70岁啊，但是也没

想到，(0.8) 一千亿前几年就，就达到了。

YL:嗯

JL:哦，这个，这个，后来我一看，那，那时候退休是不是就，太早了一点，是吧。

YL:嗯

JL:所以我又修正自己，所以说，激励我，呃:::不断地修正这个坐标。

(0.5)

YL:那现在边界在哪儿?

JL:干到2020年，我

YL:□

JL:是一定会退的。

(0.5)

YL:□

JL:但是我【是全退。】

YL: 【那时候您】应该是?

(0.4)

JL:呃:六十，66岁。

YL:嗯

JL:嗯，将来我自己有个想法，我要退下来，我可能也要从事扶贫，

YL:嗯

JL:这方面事业，可能还可以再做很长时间，至少再做20年，这样，嗯:我想最后留给一个，嗯:::大家的形象，就是一个:::啧啧，比较好的人，这个形象。

YL:□

## 自然会話における日本語母語話者と 中国人日本語学習者間の会話

### 会話例 1

JF2 え?教師が塾やるの。

CF4 ちゃんとした学校なら、禁止されるんですけど、ばれないように

VF1 こっそり

JF2 こっそり、ああ

CF5 教師が学生にね、ひどい先生は、授業中にね、そんなこつ見たいな教えないで、いいかげん教えて★それで、授業が終わったら、あたしがまた復習、金で教えるよという時ね。本当のこう

VF1 →そうそうそう←だから、いろいろやって、出してもらうように、

CF1 そうそうそう、似ている、すごく。

VF1 ずるいっていうか、悪いところやっている。給料が低いっていうことですよ。

CF5 なんかね、先生ね

CF1 ベトナム、中国と似ているところが多いね。

VF1 先生、超給料が低い。あの一、小学校の先生なら、1万足りないかな

CF1 1万円?一ヶ月で、

CF5 生活できないぐらい。

VF1 できないぐらい

CF1 へえ、じゃ、先生やる人がない、いないかな。

VF1 公務員は、だからいろいろやって、お金を稼ぐ★稼ぐから、公務員はね。

CF1 →ああ←

JF2 じゃ、それ、そ、でも、小学校の先生っ

ていうなら、そのステータスは高い。

VF1 ステータスは一応尊敬される

JF2 一応尊敬される

VF1 うん、うん。

JF2 うーん

VF1 先生だから

CF6 学生の親に尊敬される (笑い)

CF5 社会的にもちょっと、★うん。尊敬されるかも

CF6 →ああ←

VF1 塾も自分の家でやってらしゃっる。

CF5 あ、そうですね。

VF1 ちゃんとした教室じゃない

CF1 中国も同じ

VF1 みんな目が悪くなったり、本当の授業もないから、もう病気になったりするから、かわいそうなあとと思って、夏休みは、

CF5 それは、あの一、首都でもそうなの↑

VF1 うん↑

CF5 首都

VF1 首都もっとひどい、首都は、いい小学校に入るために、その、幼稚園の時から、その、受験のための

CF6 うん↑幼稚園↑ (笑)

VF1 あるんですよ。だから勉強、勉強

CF5 だから、ベトナムはすごく

JF2 それ、でも、金のある人でしょう↑

VF1 金のある人

CF5 教育熱心の

JF2 それは日本も同じよ。金のある人は、幼稚園の時から塾やって、その、小学校から私立のいいところ行かせたりするけど、★普通の別にお金ない、お金ないっていうと、普通

の人は何も考えずに、小、中、高  
 VF1 →子供はかわいそう←でも、できればい  
 いところに行かせたいから、みんな頑張っ  
 ね。  
 CF5 うん、親がね、節約してでも  
 VF1 うん、うん  
 CF5 子供には★行かせたいなあ  
 VF1 →いいところへ←  
 JF2 中国は一人っ子だから、わかる。  
 CF1 はい、そうですね。  
 JF2 だから、その、ねえ、お金のかけ方が違  
 う、で、自分が苦勞しているのはしているか  
 ら、子供にはもっといい、上に行ってほし  
 いてある、ちょっと、  
 CF4 今、なんか、一人っ子のは小学校とか、  
 中学校↑、なんか、席を変えてもらっただけで、  
 なんか先生にお金を出さないとしてもらえな  
 い、  
 CF1 そう、勉強のいい人のと、隣に座って  
 らって、  
 CF4 あとはもっと前とか  
 VF1 そうですね。  
 CF1 担任の先生とか  
 CF5 みんなはね、親から先生にね、お金を、  
 そう、なんですか。渡して、(VF1:ああ) うち  
 の子をちょっとかわいがってくれません。ね  
 え。  
 VF1 親が子供に  
 CF6 面倒かどうか見てくださいみたいな、  
 CF1 うん、そうそうそう  
 VF1 親が悪いですね。  
 CF6 上が悪いですから、  
 CF5 そういう雰囲気、風気になっちゃった  
 っという感じ。  
 CF1 そう  
 CF5 だからね、教師の人か、お正月とか、  
 CF1 たくさんの超、なんか、LV のカバンと  
 かもらえるよ  
 VF1 ええ↑  
 CF1 うん、ブランド品  
 VF1 上の先生になって↑  
 CF1 財布とか、腕時計とか、高い、あのう、  
 Iphoneとか、全部なんか、  
 CF5 うん  
 JF2 ま、それは、例えば、もらって、その、  
 じゃ、もらっただけで、結局何もしません。  
 CF5 何もしなくてもいい、親はもとめな  
 VF1 気持ちだけ  
 CF4 みんながそうするから、自分がそうしな  
 いと、なんか★ちょっとなんか、うんうん  
 JF2 →もっと←  
 VF1 分かる、分かる。病院はどうか、病院、  
 お金出さないと、かん  
 CF1 病院もそう、手術する前に、その、担任  
 のお医者さんにお金を出します。出産とかも、  
 VF1 でしょう↑似ている。台湾違うの↑だか  
 ら、台湾似ているそう。  
 CF2 私はけっこう、ええ  
 CF4 たとえば、母が手術した時、麻酔の先生  
 にお金を渡す。  
 JF2 それでも、手術のお金は病院に払うじゃ  
 ない。  
 CF1 そうそうそう、別に、  
 CF4 別に払って  
 JF2 先生に特別に  
 CF4 先生に特別に、麻酔の、麻酔の人に、後



は手術をする人に、後は、あのう、入院の主治医師見たいな、いろいろな人★一人じゃない、何人にも、

VF1 →東北はひどい←

CF6 東北はもっとひどい。

CF5 まあ、あげなくてもいいというけどね

CF4 命に関わるものだから。

CF5 あのう、なんだか、

VF1 不安でしょう↑

CF5 おお、不安だしね。人によっては、そのお金はあげなかったばかりに、なんか、こう、痛みを和らげる薬を打ってもらわなくて、

JF2 はあ、はあ

CF6 私の母は病院で働いていますけど、彼、あ、彼女に、(笑い) お母さんによりますと、実は、な、お金とか、何もくれなくても、★ちゃんとやるんですけど、お母さん

VF5 →ちゃんとやるんですけど←うん、うん、うん

JF2 お金は別に、いりませんとは言わない、

CF1 言わない

CF5 ははは、(笑い・複)

JF2 まあまあ、くれるんだったら、★どうもどうも

CF4 →くれるんだったら、そうそう←

CF5 いや、人によっては、ま、もらえたくない人もいるけれども(JF2:うん)まあ、そういうふうなっているから、たぶん

JF2 もらわざるを得ない。

CF5 実際同じかも

CF4 今表にしなくて、あのう、先生、はい、あげるみたいのも言わない、先生も、もういらぬとか、★いや、いいよ。

CF5 →いわない、当たり前←

JF2 ぽっ、ポケットに

VF1 上手、上手に渡さないと★いけない。

CF5 →そうじゃないといけない。←

VF1 渡し方も上手、うん、その、ねえ、何っというかな。

CF1 原則的には、それはだめですよ。禁止されています。それは、

VF1 そうだよ。

CF1 うん。

JF2 日本でそれやったら、もう、ばれたら、大変だね。

CF1 お医者さんが大変ですよ

JF2 医者がもう絶対仕事できなくなる。

CF1 中国は、もしばれたら↑

CF5 あの一、

CF4 ばれないよ、みんなそうやっているから。

CF5 中学校以下の先生はみんな 1 万円以下ですよ。

CF4 みんな知っている。

CF5 普通のサラリーマンはどれぐらい↑

VF1 私の大学卒業して、基本給料は大体、あの一、新卒で、3 万円ぐらい↑

CF5 3 万円

VF1 うん。会社で働いたら、

CF5 ああ、

VF1 3 倍ぐらい

CF5 じゃ、あの、小学校の先生も大学卒業して、先生になる

VF1 大学は短期、短大

CF5 あ、短大か、ああ

VF1 だから生活できない

CF5 でも、なんで先生になるかな。安定にし

ている？

VF1 うん、嫁に行きやすいかな

CF1 ああ、中国と一緒に。

CF6 なんで、そんなに似ているの、中国と

VF2 だから、おな、同じやし、システムは同じじゃないですか。

CF5 近いし、また、昔から社会主義国家だったし、今、ちょっと解放しつつある。

VF1 だから、先生になった人はもうどんどんプロポーズされて、(笑い)

CF1 ああ、Tさん、そうするの↑

VF1 私ならない

CF5 Tさん、日本に残る↑

VF1 あ、今、この間話しただけど、就活やっていないけど、内定もらっている、一つ、だから

CF4 いいなあ

VF1 もし日本に残れば、東京に行く、来年。

CF6 ああ

VF1 でも今のところ、お金足りないなあと考えている、だから

CF5 国に帰りたい

VF1 いないかもしれない、来年

CF5 ああ、まだ彼氏は↑

VF1 あ、彼氏はベトナムにいる。もう3年になった。遠距離恋愛(笑い)

CF1 遠距離、その前は、その前は何年↑

VF1 その前は3年、今まで、付き合ってた6年なんですけど、ベトナムも遠距離恋愛。

CF6 結婚のこと考えていないですか。

VF1 うん、今考えている。

CF6 ああ、帰ったら、すぐ↑

VF1 帰ったら、うん、帰ったら、すぐかな

CF6 ああ、すごい

CF5 どこに、どこに↑どの町↑

VF1 ハノイン

CF5 ハノインに、首都に

VF1 彼はハノインに働いているから、

CF5 同級生↑だった↑

VF1 幼馴染み

CF6 ええ↑おおー

JF2 なに、先のと似てない、あれ、

VF1 ちょっと飽きたけど

CF5 いや、距離も、3年も、離れているのに、まだ、もう、いや、新しい、新鮮感がないの

CF6 うらやましい

VF1 でも、分かるよ、この間、日本人のほうがいいなあと思ってね。

JF2 日本人も、いい。向こうも、いい。だから、両方、日本

CF5 いや、ちょうど今まわりにいい日本人がいるかな、そう↑

JF2 日本人の彼氏と、ベトナム人の彼氏と、中国人の彼氏と、

VF1 話していいかな、最近、好きな人がいて、でも、彼も結婚している、この間分かってきた。

JF2 はは、

CF1 本当↑

CF5 日本人↑

CF4 日本の方が憧れじゃない↑

VF1 うん↑

CF4 本気で好きになった↑

VF1 うん、彼からもメールとかよくもらっているし、

CF1 ええ↑

VF1 好きだって言ってくれて、うん、うん、でも、うん、##と聞いたら、もう結婚している。

CF1 ああ、ショックだったと

CF6 浮気↑

VF1 浮気。でも、私何もやってないから、

CF1 でもなんか、日本、日本の男性は浮気が普通↑奥さんが我慢、すごく我慢している。

CF5 Hさんは我慢しない

皆 (笑い・複)

CF1 奥さんも浮気でしょう。浮気は普通↑

CF6 両方とも浮気

JF2 普通じゃないけど、男性は、前も言ったけど、男性が浮気の一つもしない、って言うのは、ちょっとおかしいと思う。

CF4 うん

JF2 普通浮気しても別に困らない。

CF5 で、女性は浮気しなかった↑

JF2 女性は、まあ、女性はばれないようにやっている。だって、日本でしていますか。あのう、その、結婚は日本人の女性の、多くの女性にとって、結婚は就職なんですよ。

VF1 うん、お金もらうために。

CF1 うん、そうそうそう。

JF2 就職だから、その

VF1 就活やって、

JF2 そうそうそう、就活と婚活、同じだから、就職だったら、別に夫がその一つ浮気ぐらいしても、それ就職だと思えば、あの、別に自分の、

CF6 首にならないなら、大丈夫

JF2 そうそう、自分は別になっても、それ被害受けていないから、まあ、ごはん食べれる

し、家があるし、子供いるから、離婚はできないだろうし、どうせ、っていう、その、ほ、子供は保険だよ、だから、

VF1 うん

JF2 子供いれば、離婚できないだろう。前してなるから、

VF1 あ、別に恋愛がなくても★結婚できる

JF2 →なくても、←うん、結婚する。最初は、最初、あ、あるだろうけど、ちょっと演技するだろうけど、

VF1 私としては、ブライド傷つく

JF2 一番すごいのは、だって、奥さん、日本人の奥さんよく言うのは、家庭にセックスと仕事は持ち込むな、

VF1 ええ↑

CF5 仕事は分かるけど、

JF2 仕事は分かるけど、だから、そうな、家庭にセックスと仕事は持ち込まないで、

CF6 ええ↑

JF2 だから、セックスしないっていうこと、外でやってきて、

VF1 えーへー (笑い・複)

CF1 旦那さんに

JF2 そうそうそう、だから風俗とか行ってもいいし、別に、ちゃんと、その、家庭を壊さない程度であれば、範囲であれば、風俗行って、その処理してきてみたい、っていう人たくさんいます。

CF1 旦那さんとセックスしない。

JF2 そういう奥さんがたくさん、そういう奥さんがたくさんいるから、そうそう浮気が多いのかもしれないし、

CF5 で、奥さんは、どこ、どこで、

CF6 セックスなしで、生きる↑それとも、ほかの人と↑

CF5 はは (笑い・複)

JF2 するかもしれない、分からない、ま、知っているじゃない、うまいこと

CF5 ええ↑奥さんが若い男性と、自分の旦那

JF2 そうそう、

VF1 やめた、やめなおした。

CF5 はは

VF1 やめなおした、あたし、ショック、ね、なぜあたし、うん、たぶん外国人だから、それを騙しやすいと思ったじゃないかなと思って、

CF5 向こうが悪いよね

VF1 すごくいい人、あの、K 大卒業した人、先輩、私たちの先輩ですけどね

CF5 うん

VF1 いい人で、でも、ショックだった。

JF2 あ、でも、日本人の男なんて、みんなそんなもんだよ

VF1 うん

JF2 だから、

CF5 日本人じゃなくても、そんなことしたかもしれないね

JF2 分からない、だって、ほ、私の友だちもそうだけど、結婚して何年かはね、子供が生まれるまでとかはあれだけど、子供が生まれて、夫が、旦那は仕事で忙しくて、夜だって、9時10時、12時になって、奥さんなんか、そんななんかセックスの相手までなんて、してられないだよ、あなた、シシみたいな、皆 (笑い・複)

JF2 で、ベッドが別になって、

VF1 そっか、

JF2 で、食事は、冷たい食事が、あのう、ここにおい、べ、置いたって、自分で食べてみたいな

CF5 そんな新流がありましたよ。なんか、たにたより平日な我が家の食事。

JF2 (笑) そ、そ、もう、普通です。それ、よくある家庭。

CF1 愛とかは、ぜ、ない↑もう

JF2 あ、理想↑

CF1 理想?

JF2 理想ですそれ、あるかも、あるところもあると思います。おともな夫婦、その、子供もいて、夫婦生活もあって、で、その、ああ、幸せっていう人たちは、★何パーセントかな。少ないじゃないかな。

CF5 →割合で言えば←

CF1 ええ↑

CF4 大人の世界こわいなあ

VF1 日本の男性も信頼できないと思った。こういうことで。

CF5 中国の男性はいいよ。

VF1 ちゃんと回答してくれないから、結婚しているかどうか。ただ別のこと聞いたんです。

JF2 そう、だ、だって、結婚しているかどうか、答えないっていうのは絶対下心があるでしょう。

VF1 そうそうそう、だから、うん、信頼できないかなと思ってね、だから、よくない。

JF2 下心があるから、結婚、あの一

CF5 でも、若いと、ねえ、普通そんなことすると、独身だろうと思いますよね。

JF2 そう。

CF5 もう、あえて結婚していますか聞かない  
じゃないかな

CF4 そう、浮気したいなら、結婚しなくても  
いいじゃない。

JF2 でも、それは、その、形として、あの一、  
やっぱり、形として、結婚していたほうが、  
じゃ、会社でもさ、★そう信頼されたり

CF5 →信頼性←

CF4 ああ

JF2 日本人の生活って、そうじゃん、何歳で  
結婚して、何歳で子供を産んで、決まってい  
るでしょう。大体こうあるから、それなわけ  
よ、こう、ま、

CF4 愛があって、結婚するわけではなく、

JF2 いや、その時は愛あるんだよ。その時は  
あるっぽい。あると信じたいの。本人たち  
は、

CF4 うんうんうん。

JF2 と、自分、愛があると、思い言い聞かせ  
ての、自分に、愛がある、愛があるって。

CF1 実はあるかどうか自分も★分からない

JF2 →分からない←そうそうそう。なら、で  
も、まあ、そんなもんだよ。

VF1 不幸だね、みんな

JF2 み、うん、でも、それで、社会がなりた  
くっているから、

CF5 でも、日本人ね、中国に行って、中国  
人は幸せと言っていましたね。夫婦がね、い  
つも一緒にいるでしょう。

JF2 うん

CF5 ま、本当にこの家族のためにね

JF2 うん

CF5 運命共同体という感じでね

JF2 うんうん、そうそうそうそう。そういう  
のはない。日本、いっさいない。運命共同体  
意識がないから、平気で単身赴任で別居とか、

CF5 うん

JF2 ずーと別居しています。10年別居とか

CF5 もう、20年以上も別居する夫婦もいる  
らしいね。

JF2 いるいる。

CF5 それで、定年になって、やっと一緒にな  
ってストレスがたまっている★離婚する

JF2 →うん、離婚←

皆 (笑い・複)

JF2 だから熟年離婚たくさんあります。

VF1 退職金もらって、私も退職させてもらう。

JF2 (笑い) そうそうそう、やっと退職。そ  
うそうそう。多いよ、まじで。

CF1 面白い。

JF2 だから、今、その、年取った人バツ1バ  
ツ2がものすごい多いから、でも、ひ、やっ  
ぱ、60、70になって、一人見てきつい、その生  
活にもいろいろできること限られるから、そ  
ういう人たちのそのお見合い↑

CF5 あの一

JF2 婚活パーティー、めっちゃ多い、超、そ、  
大きいビジネス。それ。

VF1 (笑い) 面白いね

JF2 自分のための、あの一、婚活ビジネス、  
ものすごい多いですよ。

CF5 うーん、それで、今、東南アジアで老後  
過ごしたい人は日本でいっぱい

VF1 うん、マレーシアよね

JF2 うん、マレーシア、フィリピン多いよね。  
多いですね、マレーシアが一番多い。

CF5 マレーシア、物価高いと聞いたんだけど。  
JF2 ちょっと、ちょっと離れると安いらしいですよ  
CF5 ああ  
JF2 あと住みやすいじゃないかな、まあ、日本人に。一人で退職金もらってとか、何とか、くついて、マレーシアに移住。日本でやっぱ大変ですよ、なんか、医療とか  
VF1 うん  
JF2 でも、な、中国って、離婚はないの  
CF1 多い  
CF4 多いけど、  
CF5 今多くなった。  
CF1 多くなった、普通とは  
CF4 でも日本ほどじゃない  
CF6 でも日本はあまり離婚しないね。  
CF1 なんか、離婚の理由は、一番、なんか  
CF5 愛  
CF1 浮気ですよ。★なんか、片方が第三者がいる  
CF5 →うん、片方が←  
CF6 あ、そうですね。浮気がばれたら、絶対離婚  
CF1 絶対離婚とは言えないけど  
CF6 離婚はやっぱ多い  
CF5 99%は離婚  
VF1 自由からね、女性  
JF2 女が強いから  
VF1 許さない、許さないから  
CF5 いや、中国、中国はね。この面ですごく厳しいですよ。  
VF1 うんうん。ベトナムもいっしょ  
JF2 そ、それは

CF5 なんでだろうね。すごくもし相手が  
JF2 それは女、たとえば、夫が  
CF5 両方、両方  
CF6 両方ともあります。  
CF5 うん。夫が浮気しても、奥さんはもう離婚、で、奥さんは浮気しても、夫は離婚だ。  
CF6 心が傷ついた。  
VF1 お金の問題は、そんなに心配と思う。  
CF6 うん  
VF1 女の方は、自立しているから。  
CF5 就職じゃないですよ。  
CF6 うん  
VF1 あと、その結婚するまで、すごく長くないですか。付き合う期間が  
CF1 あ、そう  
VF1 よくよく選んで、考えて選ぶから、その結婚する人、一番好きな人↑  
CF5 でも、今、電撃結婚が多くなって、三ヶ月で結婚す、結婚して。もう、一年もしないうちに、また離婚している。  
VF1 (笑い) 若いから  
CF1 半年ぐらいはすごい多いです  
CF5 うん  
CF1 今は、なんか、一人っ子が多いから、  
VF1 うん  
CF1 みんなわがままで、その  
JF2 でも、一回の結婚式で大きいじゃん、  
CF6 うん  
JF2 その、お、お金あげたり、いろいろするでしょう。  
CF1 うん、そうそうそう  
JF2 家買って、あげたりとかさあ、  
CF1 うんうん

JF2 大変じゃないですか

CF6 2回目は多分、その

JF2 小さい↑

CF6 少しともなくて

皆 (笑い・複)

CF1 なんか、お届けとか、市役所に

JF2 市役所に行ってはじゃない↑ちょっと、  
ちょっとレストランでご飯食べますか

CF1 うん、そうそうそう

CF5 そんな感じ。でも、1回目もそんなに大  
げさにする人、今、少なくなっていないじゃ  
ないかな。

CF6 うん、高いですね。高いですから

CF5 うん

JF2 日本は、その、結婚はもう時代ビジネス  
だから

CF1 時代ビジネス

JF2 こん、見て、なんか、広告なんか、すご  
いじゃん、ゼックシとか、雑誌とか、CM だら  
けでさあ、

CF1 でもお金かかりますね、そのお金がどう  
します。両親、親からもらいます↑

JF2 いいえ、えーと、半々折半、半々出し合  
うっていうときもあるし、親が全部出すって  
いうときもあるし、親が、だ、その、全然計  
算しない場合は、自分たち、結構、もう、な  
に、こう、さん、お互い 35 歳、35 ぐらいだ  
ったら、もう十分貯金あるから。

CF1 ああ

JF2 自分出している

CF1 遅いね。35 歳、30、遅いね、結婚

JF2 っていう人多い、多いよ。

CF5 今、女性で、今どうなるか。平均結婚年

齢って、30、30 超えているか

JF2 30 超えていないと思う、超えてはない  
と思うけど、

CF4 今年超えた

JF2 今年超えた↑

VF1 最初は 29 でした。

CF5 一人目を生む

JF2 のは 30 超えている。でも日本だと、大  
体、えっと、場所によって違うけど、平均 300  
万

CF1 300 万

JF2 はい、結婚

CF5 マンションを買う頭金になれる

JF2 あ、なるね。300 万あれば、マンション  
買えますね。

CF5 でも、それで、お祝い、ご祝儀はどれぐ  
らいもらえるの。

JF2 いえ、でも、ご祝儀はそのあとの、えー、  
大体、えーと、あれにかかる、配分、配分に  
あっている。ご祝儀は配分にあっている。

CF5 うん

JF2 で、300 万だから、150、150 出して、

CF5 150 出してね

JF2 で、自分でたとえば 50 出して、親が 100  
出してくれれば、まあ、できるよ

CF5 うん、できますよね。

CF4 男女は出し合うですか

JF2 出し合うこと

CF4 男性のほう一方的↑

JF2 それ、ほとんどないと思う

CF1 中国は男性一方的ですね。

CF5 男性が

VF1 大変

JF2 男が出すの。↑

CF1 そう。でも、あま

CF5 家は男が買わないと

JF2 大変。男がめっちゃ大変じゃ

CF1 そう、大変ね

CF5 そう、だから、建設銀行と言ってね。娘は産んだら、なに、招商銀行って言って。あのう、なん、しょう、zhaoshaJg、なんっていうかな、あのう、

CF1 招商銀行

CF5 資金を受け入れる、資金を、こう、引くっていう銀行が、中国で商を招くに

JF2 はい、はい

CF5 商業の銀行があるんです。

JF2 うんうん

CF5 娘を産むと、こう、男から

JF2 どんどん

CF5 お金をもらえないですか、それ、その銀行で、家を建てないといけないし、それで、あの、caili というのは、何っていう、日本語で、結婚する前にね、男性から女性にね、お金をあげるんですよ。

CF1 あげます。

CF6 保障金みたいな

CF5 それで、アクセサリーまで、たとえば、指輪

VF1 へえ、初めて聞いた。

CF5 ネックレス↑

CF1 そう

JF2 結衣のみたいなものですか

CF5 あ、結衣のみたいな

JF2 でも、結衣みたいなのは、日本の場合は、両家出し合いますよ。

CF5 いや、中国では、男性だけ

JF2 じゃ、息子を産んだら、大変じゃん

CF5 大変、それでね、恋愛してデートの時も、全ての費用はみんな男が出す。

JF2 本当↑

CF5 食事、旅行、で、映画

CF4 そ、それも、場合によって、

CF1 今はなんか、女の子が一人っ子が多いから、もし両親がお金持ちだったら、女の人も両親

CF4 ふつうだったら、

CF6 私の二人のいところは、男の子で、彼の場合は、あの一、両親に、男の両親に、家を買ってくれて、女の子の両親に車★を買ってくれます。

CF4 →車、うんうん←今はそういうパターンでやっている。

CF5 そういうパターンが多い。

CF1 そうそうそう

CF6 10倍の金もさ

CF5 10倍

CF6 5倍から

CF5 うん、じゃ、家一軒ね。2000万円だします。車一台は200万

CF6 うん

CF4 あとは新しい★家の内装、女の人のほうが出します。

CF5 →家←内装を、それで電気製品とか、うん。それが今、一番普通、パターンかな。

JF2 でも、そんなんでも、例えば、男のほうかそれだけ、男のほうか女の家庭に、その、ダイヤモンドあげることは、保障。女はもう、なんだろうかな、とりの、かごの中じゃない



けど  
CF5 園芸人みたいな、ま、  
JF2 いや、園芸人じゃなくて、  
CF5 園芸人  
JF2 何っていう、悪いことできないよね。だから、そういうこと、そんなものもらっちゃったら、浮気できない。ほんなものはできるから、浮気なんか、ぜ、女浮気なんかするできないだろう。  
CF5 うんうん  
JF2 こんなものもらっといで、  
CF5 うん  
JF2 こんないいものあげたら、浮気するのかわよ、お前。みたいになるわ。  
CF5 する人もいるよ。  
CF4 (笑い) する人もいるよ。  
VF1 自分のものにする。  
JF2 そうそうそう、金で女を買うっていうに近いよね。それ、  
CF5 いや、うー  
CF1 でも、なんか、女、浮気しても大丈夫です。(笑い) あとは離婚(笑い)  
CF5 浮気して、その、みんな返す人もいるし、返さないから裁判になったり、(笑い)  
JF2 はいはいはい  
CF1 大変ですよ。中国の男は、  
VF1 貧乏な人は結婚できないじゃない  
JF2 そうだよ、貧乏な人、結婚できないじゃ、  
CF5 田舎の人は結婚できないの。

## 会話例 2

JF2 : 本、たくさんあるし、  
JF1 : その後、その後、大事だ、出ているね。

JF2 : うん、ぜん、ていうか、もっと新しい  
JF1 : 新しいのがあると思う  
JF2 : 後期に Y 先生、あ、前期の最後、Y 先生の授業で読んだ、あの、あ、  
CF1 : ああ、その「すっ、すっ」  
JF2 : その、総合演習の時に読んだ、音声に関する本もそうだし、後、それとは別に「支える恋人達」っていうたんちょうが、し、  
JF1 : けっこう####が出しています  
JF2 : 出している、かなり出している。  
JF1 : あ、あのう、この後、かなり出しているから、まあ、それはちょっと見たほうがいい。ただ、どうして私に J さんも、J さんも、その、いわゆる文法から来て、その、んー、その、その談話分析みたいな形で、そっちから入ってないですよ。だから、んー、ちょっとね、あ、どうしてもちょっと、文法から抜けられないかな、ま、これはもちろんそうだし、その先の本に関しても、ちょっと抜け、、、  
JF2 : その音声、日本語音声学会とかなんとかっていうのは作ったんですよね、この人たち、  
JF1 : えっ、音声学会、作ったんですか。ちょっと、、、  
JF2 : そうそう、新しい、かなり新しいと思うんですけど、そこで、そのすごい新しい、もう、本当ここ 1 年 2 年ぐらいの論文だと、全部自然談話、  
JF1 : あ、使っていますよね。  
JF2 : 「の」を使っています。  
JF1 : うんうんうん、っていうふうになのになったんですかな、だが、それはちょっとだいぶ方向というか、たぶん結果もだいぶ違うん

じゃないかなと思います。ここで知っている結果とはね、

CF1：論文ですか、本、本

JF2：ええと、なんか、総合演習で読んだ、あのう、★Y先生が配った、

CF1：→Y先生←最、最、最後が配った。

JF2：最後が配った、あの本、

CF1：すすり方？

JF2：そう、そう、ス、ス、それを本にたくさん参考文献を載っている。

CF1：ああ

JF2：本を、あの本を借りたら、すぐわかる。

CF1：ああ

JF2：すぐ出てくる。

CF1：はい、わかりました。

JF1：この、これを調べるため、まあ、一応この、、、

CF1：その論文の後の参考文献に、

JF2：その論文だけじゃなくて、その本

CF1：その本

JF2：本を、あの、借りれば、全部、

CF1：はい

JF1：後ろのところへ

CF1：はい

JF1：うん

CF1：わかりました。

JF1：ついている参考文献調べてみて、###が、ええと、学会を取っている形で知っているだったら、ま、それは絶対###じゃないと、、、

CF1：はい

JF1：いけないから、シー、そのやり方で出しているのは、最近はあるでしょうね、最近っていうか、ここに1年というのではやってい

るかもしれないで、ちょっとそれを見てもすかね。

CF1：はい。

JF1：より近い、出てくるかもしれないね。

CF1：はい。

JF2：でも何となく、これを論文だけを読むと、傾向としては、その一、なんとなく当たっているような気がするんですよ。そんなことはないですか。

JF1：うん、大まかな傾向は言えるけど、ただ、その、自然の談話で、それがそんなに、だつてね、こ、えーと、\*\*\*なんかね、ここで言われているものであっても、その一、こっち、クエスチョンとかね。

JF2：んーん

JF1：なんかついたりしているわけじゃないですか。

皆：うん、はい。

JF1：でも、これ、クエスチョンじゃない、じゃないとかしているのが、、、

CF1：うーん、そう、私もそう思う。

JF2：うーん

JF1：あの一、Kさんも言ってたように、ちょっとあるんですよ、あたしも、え？これクエスチョン？ただ普通に話しているね。えーと一、なんか、

皆： <笑い・複>

CF1：81 ページに、「あのう」とか使えます。

JF1：81 ページの、、、

CF1：例5

JF1：例5

CF1：「あのう」はクエスチョンマークがついていますけど、

JF2 : ここ？  
CF1 : ここ  
JF2 : スダドルク？ここ？括弧5ですか。  
CF1 : んー、括弧5  
JF1 : 「今度の映画監督って誰だっけ？えーと、ああ、あのう」とかでしよう。  
CF1 : うん。  
JF1 : あのう、これね、使う、ちょっともあると思う。  
CF1 : あのう、それ、、、  
JF1 : うん  
CF1 : この「あのう」は後ろに、なんか、指示詞と関連する「あの」と、、、  
JF2 : はい、はい、はい。  
CF1 : 解釈もでき、、、  
JF2 : うん、うん、うん  
CF1 : ないですか。あのう、この、なんか、記憶の中に、、、  
JF2 : そう、そう、そう、「あの一、あのスダドルクの、、、」みたいに、(笑い)  
CF1 : 検索、あ一、あ一、そう  
JF2 : 確かに入れていたよね。  
JF1 : うん、なんか、どっちでも可能かなというの、けっこうあって、ここでは、クエスチョンとかしているけど、ちょっとそれは難しいかなと、で、自然談話だとまた違うと思うんですよね。で、ここの、あれの論文の問題からというのは、初めにこれがありきとかあるんですよ、やっぱり。初めに、「えーと」はこれだから、「あのう」は指示詞として、こうだからっていうのがあるんです。で、それに合わせよう、、、  
JF2 : あわせて、データを作っている。

JF1 : 合わせようとしているっていうどこかがあるんですよね。それは、なんか、やっぱり、ああ、問題だなあという出て、けっこうそれが分かったから、9番でこういう、9番の注のとかで、  
JF2 : 笑い  
JF1 : こういうことがしているだろうなあとは思ってますよね。でも、まあ、ここで子いうことを書いたということは、自然談話、ちょっと違うよねとかというふうなということが分かったんでしょから、えっと、一応自然談話を見てみると、そのもともとの、あれ、あのう、このう、機能からはちょっと想像つかないように広がっている可能性はあるから、何度も、それはやっぱり談話をとっている分析しないとできないこと。で、それ、で、私ちょっと分からないけれども、それをそこまでしているかどうかは、わからないと思う。ちょっと、えーと、Tさんとか、Sさんの研究方法、方向から言って、一応それを出しておとう出しているとかにはしているんだけど、けっこう、まあ、ちんたる、ちんたる、しないといけないわけです。その談話分析っていうのは、一つ一つこう見ながら、だから、それをそこまで詳しくやっているかっていうのは、ちょっと私は、、、  
JF2 : はい  
JF1 : もともとちょっと研究方法が違うじゃないかなあと思うので、だからKさんは、その、それを見て、たぶんKさんがする余地は十分あると思う。  
CF1 : はい。  
JF1 : あの、新しいのが彼らに、、、

CF1 : はい。

JF1 : 出ても、、、

CF1 : はい。

JF1 : あのう、それ以上に加えるものはあると思います。

CF1 : はい。

### 会話例 3

CF2 : ここ、5 ページに書いてあるんですけど、

JF1 : うん

CF2 : 台湾日本語学習者における謝罪を申し出るそうけんのテキストの構造についてです。

JF1 : うん

CF2 : で、これーは、

JF2 : うん

CF1 : あのう、自然、実際のロールプレーで見た自然会話の中での謝罪の流れも見られるんです。

JF1 : んんん、えっ、2006 年↑

CF2 : はい、論文は 2005 年ですが、

JF1 : 2006 年っていうのは、えーと、いや、ここにはないけども

CF2 : あ、ない、いや、えーと、あ、の、あのう、レジユメの、レジユメのところですけど。

JF1 : あーあー、わかります、わかりました。

★はい、はい、はい、わかりました。

CF2 : →すみません←は、一応、台湾、あのう、日本語学習者との違いを出ていたんです、出したんです。

JF1 : っていうことは、謝罪が、謝罪の動き、

CF2 : はい

JF1 : 謝罪をするかしないかっていうところ

(はい。CF2) が違う、と (はい。CF2) まあ、それは、けっこう、その、言われているのは言われますよね。にほーんじーんは、謝罪だけをするとか、(はい。CF2) 謝罪をよくするとか、今は言われているんだけど、そ、それをどういう時に、どうっていうのは出てないわけね。謝罪が多い↑あり。

CF2 : 再謝罪、★あのう、最後の

JF2 : →再謝罪←★最の漢字がちょっと間違っている。

JF1 : →あ← あ、もう一回するっていうわけね。

JF2 : うーん

JF1 : あ、二回とかする★わけね

CF2 : →はい、はい。←

JF2 : 最初に謝り、次に謝罪の対象を説明し、最後にまた謝る。

JF1 : もう一回↑は、は、は、そういう形式は日本人の場合は多かった。

CF2 : はい。

JF1 : で、これは、でも、ロールプレーで出ていたわけね。

CF2 : そうそうそう

JF1 : そうね。まあ、まあ、ある程度こういうのも出ているかな。うーん、というので、それを実際の談話で観察してみると、それは、だから、えーと、日本語と中国語で見てみる。

↑

CF2 : はい。

JF1 : っていうことね。すっ、どれぐらい出る。

まあ、けっこう出るか。

CF2 : はい

JF1 : いや、し、自然談話の中で観察、いや、

(笑い) いろんな談話を出すので、その、謝罪をどうして集めるかなっていうのはちょっと考えてもないのかなと思いますけどね。台湾のFさんっていう人が、あのう、やっぱりちょっとやりましたね。謝罪。謝罪をやったわけじゃないんだけど、えーと、か、顔の表情とかだったんだけど、あのう、台湾と、台湾の方ですね。台湾と日本の違いっていうので、ドラマを、あのう、やっぱり使って、あのう、出していましたね。で、そ、彼は、それ、修士論文で、博士論文ではちょっとだいたい書いたんですけど、修士論文はそういう形でやって、すっ、で、なんかちょっと面白いものもあったかなって思ったので、で、あたしはちょっと今回、なんか、テキストを使った時に、それを使わせてもらったんですけど、あのうね、えーと、例えば、えーと、え、上司と部下と、その二人よりももつと上の、部長と課長と平と書いたりするじゃないですか。で、その時に、平が、あのう、ん、ま、ちょっと、間違いを起こしたとかっていうとかあったですよ、で、その時に、その平の直接の上司ってというのが謝るんですよ。

JF2: つまり、課長が部長に謝るということですか。

CF2: そう

JF2: 平が失敗したことを、★課長が部長に

JF1: →そうそう←うん、そう、そう、そう。

うん、うん、で、そこはね、なんか、こう、まあ、アンケートとかも取ったり、いろいろしたりするんですけど、まあ、台湾の人にはちょっと理解できないかな。

CF2: うん

JF2: うん

JF1: うん、だって、やっぱり、こう、その、監督責任みたいなのか、★ある。課長にはね、その自分の、自分のすぐ下に働いている人が、あのう、まあ、ちょっと、あのう、客とトラブルを起こしたり、そ、そこで言わなくてもいいのについていうところでいってしまって、トラブルを起こしているわけですね。で、まあ、それも理由があるんですけど、それも、まあ、向こうが悪いからって理由があるんだけど、それに対して、まあ、もちろんその平の人が謝るんだけど、も、も、管理している部長に謝るんだけど、その、課長が私の、あのう、監督する人ですとか言う形で謝るんですよ。で、そこの辺が、えーと、分からない学習者の人には、台湾の人には、全然理解できないっていうふうなのがあったんですよ。なんかね、そういうこう、日本人独特の謝罪という、でも、日本人の場合は、その場合に直接の上司はやっぱり謝らないと、問題になるんですね。やっぱり、

JF2: はい、課長にはね

CF2: うん、うん

JF1: だから、いや、その辺とか、やっぱ、ちょっと、ちょっと、こ、こっちでも同じ、なんか、ちょっと違うんですね、日本の場合はね、ポジションじゃない、ないってということもないけれども、上下があって、ただそれは、上下関係は、どこの国でも、どこの国でもあるというか、その中国でも、★うん、そう、そう、どこにもね、あるんだけど、この場合に課長は謝らないっていうのは、けっこう多いです。

JF2: →上、上、上下、どこにもある← うん

JF1: だから、その、たぶん謝らないですよ。  
と思わない↑

JF2: うん↑

JF1: 謝る

CF3: 学生さんの場合はどうなるんですか。もし学生さんはなんかミスをして、先生はそれ代表して謝るんですか。

JF1: それはね、大事なことだったら、謝ると思う。

CF3: は、そうですか。

JF1: うん、私、謝る。すみませんっていう

JF2: せい、学生、きょう、教師、

CF3: はい。

JF2: 学長とか↑、

CF3: はい、はい

JF1: うん

JF2: そういうことで、学生のミスに対して、教授が学長に謝る。

JF1: うん、謝る。

CF3: 中国では、たぶん謝らないと思います。自分で直接、

JF1: いや、もちろん自分が謝るんですよ。

JF2: そう、私も謝る、でも、絶対先生も★謝ると思います。

JF1: →うん、そうそう←

JF2: 学長にね。

JF1: うん、そう

CF4: で、学生は先生に謝るんですか。

JF2: 学生はこっちでも、★そっちでも

JF1: →両方にも←謝る

JF2: 両方でも謝る、こっちでも (笑い)

JF1: うん、うん、ていうようなのがあるんですよ、なんかね、こう、こういう、その、ほら、もちろん類型も必要だし、その誠実条件とほんじつ条件もいるんだけど、なんか、そういうこう、こう、具体的な場面に目指して、違いがあるんですよ。なんか、そこを出したほうが面白いかな、だから、その場合に、ドラマを使ってもいいです。それは、で、そのドラマが、えーと、ドラマ使ったものを、あのう、なんか、アンケートとかして、あのう、日本人と台湾の人、全然違う。学習者と日本人が全然違う反応すると、そのアンケートに対して、それだったら、やってもいいですよ。

CF2: はい

JF1: うん、ま、それ、ちょっと見てみたらいいのかな。これ、まあ、もちろんその、あれなんだけど、それ以上のものがちょっとないので、で、これから広げるとしたら、なんか、まあ、Kさんはそう、そんなにしていなかったんですよ、その中の表情とかなんかかっていうふうなので、すごく面白くそう、その顔の表情をやっていたんですよ。顔、なかなかちょっと、で、もう、その後、だから、顔の表情は、もう、これ以上やってもいいだなあ、その時、やめていたんですよ。(笑い)それは、そのところでやめたんですけど、あのう、一応、その時には、その顔の表情とかかっていうふうなのを使っていたんですよ。

CF2: はい。

JF1: なんだけど、まあ、そうじゃないところでも、こういう場合に上司が謝るとか、謝らないとかっていうのも、ちょっと全然違う↑

ところなので、なんかね、そういうところに  
焦点を当てて、たくさん例文を取る

CF2：はい。

JF1：っていうのはいいかと思う。だから今の  
だけでもだいぶ大きいですよ。

JF2：うん

JF1：そういうだいぶあると思う。

JF2：どういう人間関係の時に★誰が謝らない  
といけない。

JF1：→うん、そう←うん、そうそうそう。誰  
が謝らない

JF2：それが違う。

JF1：そうそう。それが違うんですよ。あのう、  
文化によって、

CF2：はい

JF2：うん

JF1：だから、最後教授のあれもそうですよ。  
同じ。だからその場合はやっぱり、

JF2 同じ序列があれば、

JF1：うん

JF2：絶対に重要なことだったら、謝らないと  
いけない。

JF1：だから監督としゅうじと時もそうですよ。  
だから、謝るといふことはあります。だから  
その辺に焦点を当てて、それにこう関わる  
ような例文を、あのう、集める↑

CF2：はい。

JF1：とかいうのはいいかと思えます。だから  
上下じゃなくても、なんか、こう、いろんな  
関係とかっていうふうなので、ちょっとあり  
うるんですよ。

CF2：はい

JF2：うん、今パッと思いついたのは、例えば、

チーム、チームでなんか誰かひとりミスした  
ら、ほかの人も謝る★と思えます。

JF1：→うん←うんうん。

CF1：上司に↑

JF2：そう、そう、誰かに、

CF1： チーム

JF2：そう、そう。

JF1：すみませんでした。

JF2：みんなで謝る。

JF1：そう、そう。

CF4：逆に被害を受けた側も絶対謝罪を求める、  
あのう、その人、直接自分に被害を与える人  
じゃなくて、その人の担当者の謝罪★求める。

JF2：→うん←求める。はい。

JF1：うん、求める、求める。

JF2：はい、だから

JF1：その人ひとりだけで、

JF2：この人ひとりだけで、ほかも謝るよって。  
もう、みんな謝れって

JF1：そう、そう

JF2：うん

JF1：そう、そう

JF2：そうじゃないと、

JF1：なんかね、そんなならドラマでもあるの  
で、だから、ドラマみたいな、たぶんね、え  
っ、いろんな人も謝るんやろうって、(笑い)  
思うわけですよ、ほかの文化の人は、

JF2：うん、うん

JF1：なんか、それをね、集めるっていうのが  
面白いです。

CF2：はい

JF2：面白い。

JF1：うん、だから、それをちょっとたくさん、

今、今言ったようなのは絶対あったら、

CF2：はい

JF1：そこの辺も集めてみたり、なんか、こう、例えば、ちょっと、嫁姑、嫁姑っというの、ちょっと、今までちょっといろいろなんだけど、何してをね、例えば、その小姑っていうか、例えば、夫の姉とか、なんかあったするでしょう。で、その夫の姉、そう、それもね、Kさん、集めたやつで、夫の姉の、えー、知り合い

JF2：はい

JF1：知り合いっていうかな、知り合いに対して、ちょっと無礼をあたりたいとか、えっ、この間、何、こんなところで何をしていたのとかっていうなの、★怒ったわけですよ。

CF2：→うん←

JF1：本当は、だから、その、えーと、状況としたら、夫の、えーと、姉、だから、小姑、小姑の知り合い、知り合いが家に来たわけですよ。

JF2：はい

JF1：で、その時に、ま、もちろん知らないから、あのう、あなたこんなところで何をしているのと、まあ、けっこう上から目線の、(笑い) ちょっと、無礼な言い方というか、それをしたんです。そうしたら、後から、あ、これは、えー、夫の姉の知り合いだった、その真ん中の知り合いだったと、

CF2：うん、うん

JF1：で、来ることになっていたの。で、それを聞いてながらだから、★そういうふうにしたわけですね。で、後から、すっ、すごく謝ったの。その、

JF2： →ああ←誰にですか。夫の、夫の姉にも謝ったし、★その知り合いにも謝った。

JF1： →うん、そう、そう←うん、そう、そう

JF2： はい、はい

JF1：そう、その時は知らなくて、なんかとか、ごめんなさいとかっていうふうなことを言たって、ただ、まあ、普通、状況から考えてみて、何も言わないほうもあれだったわけだし、で、その不審者が入ったかと思ったから、あなたなんですかとかっていうふうに言うけれども、でも、やっぱり、

JF2：夫の姉という存在のせいで、絶対謝りませぬ。

JF1：うん、そう、そう、謝るっていうふうなのをすると、でも、それは台湾の人には理解できなかった。

JF2：うーん

JF1：っていうふうなものもありました。だからね、人間関係みたいなものの取り方が違うですと、やっぱり、そこに焦点を当てたようなところを出したほうが面白い(はい。CF3)と思います。そうすると、その、ま、謝罪ではそれやね、出てくるので、いくつか集めてみたら、あのう、絶対あれかなと思います。

#### 会話例 4

JF3：何か聞こえましたか

CF7：えーと、第二地域の方が、あの一、きよだ、ああ、巨大な文明から、えーっと、制度を取り入れて、えーっと、例えば、中国から一、は、ああ、発生した、封建制度を、えーっと、日本で、全国を統一され、そして、え



一つと一、長い歴史を通して、えーつと、成立される、ました。先生、ここで、わからないところなんですけど

JF3 : はい

CF7 : 封建制度、ご存知のように、中国で、ほんとに長い歴史を持っています。どうして梅棹さんはこのような結論出されたんですか。この一、あ、この一制度、を、取り入れて全国を統一したのは、日本のほうだったというわけ、と

JF3 : うん

CF7 : このような結論についてちょっと、疑問を持っています。

JF3 : はい。えつと一、26行目を見て、あ、持ってない。えーつと、中国で封建制度が、えーつと、制度として、あったのは紀元前の話です。で、梅棹さんは、紀元前のことを考えてないと思います。

CF7 : えーつと

JF3 : はい

CF7 : つまり一、近代、時代

JF3 : はい、さっき CD をき、CD で、えーつと、封建制度は、中国で先に成立したんですけど、でも、それは紀元前のことなんですよね、と CD で言ってありました。封建制度がありました。でも、それは紀元前のことです。

CF7 : 今の、日本の制度は封建制度

JF3 : 今?

CF7 : 封建制度、はい

JF3 : 今ですか。

CF7 : はい。

JF3 : いいえ、違います。

CF7 : そうですね

JF3 : はい。封建制度の意味はもう勉強しましたよね。

CF7 : ###

JF3 : はい、あとで、授業の後で、話しましょうね。

### 会話例 5

JF3 : はい、えーつと、はい、他に、今のところ何か、聞きましたか、じゃ、S さん

JM4 : ぼ、くも、

JF3 : あ、CD

JM4 : あ、それはもう、###、スー、え、今のところ、今

JF3 : 今、さっき最後に聞いた部分は第二、地域の歴史について話で、の話でした。

JM4 : はい

JF3 : どんな話がありましたか。

JM4 : あ、そういう質問ですか、はい。えーつと…第二地域、封建、制が、でてきました。

JF3 : 封建制という言葉がでてきましたね。

JM4 : はい

JF3 : そうですね。はい、言葉出てきましたよ。

そうです。他に何か、じゃあ、もう一回聞きますか。

JM4 : あ、ありがとうございます。

JF3 : じゃ、もう一度聞きます。今度はよく聞いてください。

JM4 : はい、すみません。

### 会話例 6

JF5 : ああ、すみません、S1 さん、すみません、ちょっと読んでください。

CF8 : え、読むつというのとは。

JF5 : あ、このまま読んでもらったんでいいで

す。あの、単語だけ読んでください。

CF8：えーっと、文明の種類、東洋西洋、で、えーで、第1地域、西洋、日本、これら未開の地で封建制があった、第2地域は、中国、インド、ロシア、地中海、イスラム等、

JF5：はい

JF5：きよ、えー、これらは、巨大文明発生の地として、封建制はなく、専制こっ、そのかわりに専制国家と、であってー、えー、それらは、えーとー、第1国家の植民地となつた、このように第1地域と第2地域では歴史的に展開が違ふ。みなさん、まちがっているところ、ありますか。ありませんか。ないですか。すみません、じゃあ、Sさん、お願いします。

CF8：えーとー、旧世界ってことばが聞こえました。それがー、第1、第2、地域、があつてー、第1はー、西洋と日本でー、それからー、なんかいろいろごちゃごちゃあつてー、なんかあつてー、んでー、なんかブルジョアっていうことばが聞こえました。んでー、なんか第2の国ははさまれた国でー、んでー、なんかそれはなんかここから封建なるとか何とかあのなんか発展させなかったって言ってきました。でー、なんか、あと、せんs　なん

なんと　専制国家っていうのが聞こえました。  
JF5：はい、ありがとうございます。えーとー、じゃ、今、みんな、みなさん、メモがありますね。

### 会話例 7

JM6：ほかに、なんか、そういうのか、あるのか等ちもと

JF7：うーん

JM6：なんか、伝達

JF7：こわくなる↑

JM6：伝達もありますか、なんか

JF7：うん

JM6：出る、ここの、ここのー

JF7：捕まえられるぞ。

JM6：ここは捕まえられるぞ、とか、ここは餌うまいは（笑い）

JF7：（笑い）

JM6：（笑い）そういう伝達系統あるのかなとか、もう、なんか

JF7：すごいね

JM6：ずっと、ずっと小さいころから、そんなことうごって

JF7：うん

JM6：今この雑誌、みして、そんなこと、考えていますけどね、

JF7：あ

JM6：ありますか、そういうの。

JF7：あれ、え、伝達はもちろんしますよね。

JM6：しますよね、生き物だから、やっぱり、  
JF7：でも、何を好みなら、大きいになります。

JM6：うーん

JF7：（笑い）どういふのがよって、どれのがよくないの。

JM6：やって、なんか、まあ、うわさはうわさではね、一匹言ったら、三十匹をふろとか言いますもんね。

JF7：###何が好きなの。だろう###

JM6：（笑い）

JF7：わからん

JM6：なんかとか、ほかの店とか、新風とか、  
いましたよね。

JF7：ある、ありますよね。あれー

JM6：新風は、なんか、入り口が狭いから、入  
る。

JF7：うん

JM6：坦坦麺とか、入りやすい、、

JF7：うちが坦坦麺が一番やすい、、

JM6：ですよ。

JF7：###

JM6：あまり外からつながっているって考えた  
ら、筑紫口から入っているでしょう。たぶん  
筑紫口から入っていて、

JF7：かわいそうに、なかなか出れないじゃな  
いですか、(笑い) 入ったら、

JM6：そうですね。

JF7：絶対なかなか出れないですよ。

JM6：でも、長崎のお店でもありましたからね。  
長崎のお店なって↑だけど、5階なのに、あ、  
まあ、でも、確かに駐車場の入り口が5階に  
あるから、(うーん。JF7) そこから、可能性  
が一番、、

JF7：なかなか出れないように、

JM6：(笑い)

JF7：絶対迷っていますよね。まあ、でも、餌  
には見つけるにはいいかの↑

JM6：ああ、だいぶ迷いましたね。

JF7：(笑い)

JM6：おかしいですね。

JF7：甘いのと、なんか、普通のと、があつた  
ら、どっち食べるか↑

JM6：そうですね。

## 会話例 8

CF9：今年の映画も見てない、今やってるドラ  
マもんも

CM10：見た？

CF9：見てない。

JM6：ドラえもんいいみたいよ。

CF9：めっちゃみんな泣いたって言ってます。

CM10：泣けた？

CF9：そう、

JM6：うん、言ってた。男の友達も言ってた。

CF9：アナと雪の女王も見てないし。

JM6：あ、本当?DVD 貸すよ。

CF9：見たい！★見たい！貸して

JF2：→見たい←

CF1：笑い

CF9：めっちゃ見たい、だって蔦屋行くのも面  
倒くさいですから。

CF1：笑い

JM6：蔦屋？

CF9：はい、蔦屋。10月から貸してください。

JM6：いいよ。

CF9：でも合わないですもんね。

JM6：来週会うやん。

JF2：中国は★何でもネットであるんじゃない

CM10：→ネットで何でもあるやん←そうです  
よ。いや、そういうところは本当だめだ け  
どね

CF9：英語?日本語?英語の聞きたい。

JM6：吹き替えできるよ。

CF9：英語の聞きたい、本番の見たい。

JM6：本番のはだめ。

CF9：何で？

JM6：本番の見ないとだめ、見た方がいいよ。

それぞれ、ください、貸してください。来週の火曜日にね。

CF9: オッケー。え?来週の火曜日は私1時だよね。Hさん (JM6を指す) 5時?

JM6: 何でやね、僕、2時半だよ。でも、いつも研究室にいるから。

CF9: ああ、行きます。やったー。

JM6: 一泊700円ぐらい

皆: 笑い

CF9: 一泊7# #いつ返すといい?

CM10: 返★さんでいいよ

JM7: →一泊であげるあげる←

CF1: 笑い

CF9: ありがとうございます。もうあげるって言っていました。

JM6: ん?S (JM7を指す) さんが言ってたよね?それはしょうがない。

CM10: そうというのが、やっぱ映画館で見たほうが

JM7: そうだ、映画館がいいと思う。

JM6: まだ見たことないんだよね。

CF9: 見たことない

JM6: 宮崎駿もあるよ、僕。

CF9: あ、貸して。

JM6: うん、それは800円でいいよ。

JF2: 高い。

CF9: いろんな持ってるね。

JM6: 好きのはね

CF9: これ2つだけ?

JM6: まあ、あるのはあるんだけど

JF2: うちのDVDも

CF9: お!

JF2: あの、一泊

CF1: 笑い

JF2: いくらかで

JM6: 大人のDVDならSさんに聞いて

CF1、JF2: (笑い)

CF9: 大人の興味ない、アニメとか

JM7: 1500円で貸すからな

JM6: 大人のアニメもあるかもしれない。

JM7: 大人のアニメは高い、2400円で。

CF1: 笑い

JM7: 一回高校の時に、レンタルビデオやってみて

CF9: 本当ですか?

JM7: 陸上部、陸上部やったね。

JM6: ビデオだから、僕も、まあ、そういうことやってたんですよ。男同士でね。で、ビデオ★だから、順番決まってるでしょう?いつもいつも同じよ。

JM7: →うん。←それわかるから。俺のビデオショップは巻き戻しを必ずしなさい。

JM6: いや、やらなきゃだめですから、ルール

JM7: ルールルール (笑い)

CF9: JF2さん、これ、めっちゃおいしいです

JF2: 足りない?もうちょっと作る?

JM6: これ何か入ってるの?レーズン?

CF1: レーズンと

JF2: もうちょっとやろうか?じゃ

JM6: JM7さんその若いとき見てたアニメとかありますか?

JM7: ドラゴンボール

CM10: あれ?年はそんなに?

JM7: 33です。

CM10: はい

JM6: ぼく、27

CM10: そんなに離れてないやん

CF1: 同じ時代

JM7: たぶん違いは

JM6: ワンピースでしょう

JM7: そうですよ、ワンピースワンピース

CM10: たぶん、私と JM6 さんはドラゴンボール、  
聖闘士星矢

JM7: そうそうそう

JM6: 聖闘士星矢って話がわからないんだけど

JM7: JOJO の大冒険とか

CM10: そうそうそう

JM6: JOJO って最近じゃないっすか?

JM7: いや、昔。俺らより前かもしれない

JM6: 俺らワンピース、ナルトとか

JM7: ナルト新しいの

CM10: 新しい

JM7: シティーハンターとか見てました?

CM10: お、見てました。

CF1: 日本の? 前日本のアニメ?

CM10: 学生のときはめっちゃくちゃ好きなんですよ

JM7: あ、本当?

CM10: 日本の漫画、大好き

JM7: 何か一番面白いですか? アニメでも漫画でも

CM10: そうね、★昔

JM7: →スラムダンク?←

CM10: そうね、やっぱスラムダンクよね

JM7: (笑い)

JM6: スラムダンクは僕らの時代も

JM7: あ、本当。この世代ではやっぱスラムダンクだね。

JM6: だってもう、バスケマンじゃなくても見るでしょう

JM7: うん

CM10: そう。スラムダンクを見てからバスケする

JM7: そう、バスケ部がめっちゃ多かった。

JM6: うーん

JM7: 100 人ぐらいいたか

JM6: スポーツ漫画と言ったら、勝ちでもなく

JM7: 野球ってドームくん

JM6: ドームくんすぐアニメ化しちゃって、2分の1でしょう? 背番号

JM7: (笑い)

JM6: ドームくんはもちろん、あとキャプテンDY も好きなんですけどね

JM7: あー、知ってる★これ。

JM6: →感動します←

CF9: キャプテン翼?

JM6: 違う

JM7: いや、キャプテン野球漫画がある

JM6: で、弱小のチームなんだけど、すごい頑張りのキャプテン

JM7: すごい、あれはよかった、それ感動だ。Lさんはいつ日本に来られたの?

CM10: 俺は 2003 年

JM7: もう大学? 大学院生?

CM10: いや、大学生

JM7: 大学でた

JF2: 高校卒業してから?

JM7: うーん

CF1: 日本語全然

JF2: うまい

CM10: 結構長いね

JM7: 全然日本語上手

JM6: もう 11 年ですよ?

CM10: 途中帰ったりしましたがけど

JM7: うーん

CF9: 出来上がり?

JM6: うおーすごい

CF1: うお

CF9: これこれ、和食ですよ

JF2: うん、ちょっと和、和風かな

CF9: すごい、写真撮ります

CF1: (笑い)

CF9: プロですよ、プロ

JF2: ちょっと味があれの人は、うーん、柚子  
こうしょ少しかけてください

JM7: おいしいですね

CF9: チーズ、はい

JM7: 中国のどこの出身ですか?

CM1: おれは、あの一、青島

CF1: 青島ビール

JM7: はいはいはい

JM6: 青島ビールはおいしいと思う

CM10: いや、うちの親はね、やっぱり日本のビールがおいしいですよ

JM7: ★いや

CF1: →朝日←

CM10: 朝日がすき

JM7: あー、朝日も好きなんですけど、世界のビールを比べるときに

CF1: うん

JM7: やっぱ日本…日本も好きなんですけど、青島はうまい

CF1: うーん

CM10: 青島?まさか

JM7: ★韓国の

CM10: →いや、ちょっと薄いね、味が←

JM7: 韓国のかす★っていう

JM6: →かすは←

JM7: (笑い) かすだからね

CF1: (笑い)

JM6: かすはおいしくない

JM7: おいしくない!あれ

JM6: OV はうまいけど

JM7: あーOV は飲んだことない

JM6: かすはめっちゃ薄いやつでしょう?

JM7: うん、何だこれ

CF1: (笑い)

JM7: 青島はね、オリオンビールと同じぐらいうまい

CF1: えー、そんなにうまいですか

JM7: うまい、うん

CM10: 青島にはビール祭りがあるんですよ

JM7: あ、本当ですか?へえー

CM10: はい、結構、世界、いろんなところから

JM6: チャイニーズのレストランに行ったら青島飲みますね

CM10: うん。まあ、中国では青島ビールは

JM7: 紹興酒がある

JM6: あー

CM10: 紹興酒は飲めないですね

CF1: 好き?

JM7: 僕は大好き

CF1: へえー、わからないですけど

CM10: 高くないですか?

JM7: 高い、高い

CM10: ね

JM7: でも大好き

CF1: 大好きですか?持って来たらいいね

JM7:青島、いや青島じゃない紹興酒  
CF1:今度持ってきます  
JM7:え?本当ですか?  
CF1:11月帰りますから  
JM7:おれ、大好き紹興酒  
JM6:温かい焼酎?焼酎って  
CF1:違う違う、普通の  
JM7:うん  
CF1:でも、温めますか?普通は  
JM7:いや、俺は普通のでいいけど  
CF1:うん  
JM7:温めてもおいしい  
JM6:甘いのが好きですか?  
CF1:→持ってきますよ←  
JM7:甘いつていうか、あの、あれが好き、紹興酒が好き  
CM10:アルコール高くないの?  
JM7:あー  
CF1:大好き、私も紹興酒が大好き  
CM10:俺飲んだことないけど  
CF1:飲んだことがない?  
JM6:茶色のやつでしょう?  
JM7:そう、ワインみたい  
CM10:あー  
CF1:★ワイン  
JM7:→違うか←  
CF1:違う違う、ちょっと黒い  
JM7:ラー油みたいな色なんだけど、大好きだ俺  
JM6:うーん  
CF1:においも、結構出ています  
JM7:いいよ  
CF1:うん、いいです。正月よく飲みますよね

JM7:うん。僕実家★僕実家がある町に★すごいおいしい中華料理屋さんがあって  
CF1:→温めて← →うん←はいはい  
JM7:ふくまんっていう、そこでも紹興酒超うまい  
CF1:ですよね。あ、紹興酒、あれ、缶に入れますよね。それ缶ですか?なんになんについてう  
JM7:いや、そこでは、何か、とうきんに入ってる  
CF1:あー  
CF9:さっきと味がちょっと違います  
CF1:何で?  
CF9:すっぱくてレモン  
CF1:レモン、レモン入れた?  
JF2:入れすぎたかも  
CF1:入れすぎ(笑い)せっこう省、せっこう省の紹興、うん  
JM7:紹興市★そこのお酒  
CF1:→紹興市があります←老子の故郷  
JM7:老子?  
CF1:老子の故郷  
JF2:中華って醤油あまり使わないでしょう?  
CF1:醤油使います  
JF2:使うけど、醤油がちがくない?  
CM10:そうね  
JF2:違う醤油でしょう?  
CF9:中国もっと油っぽい  
JF2:油っぽくなる?  
CF1:中国の醤油色すぐつけます  
JF2:うん?  
CF1:色、うん、炒めるとき  
CM10:調味料はね、いろいろありすぎて

JF2: うんうん  
CM10: よく、あれですよ  
JF2: これ、やっぱ和風ですよ  
CM10: いや、あれ、ほら、ソースとか★醤油と  
か  
JF2: →うんうん←テンメンジャンとか★なん  
て  
CM10: →うん←もうわからないものいっぱい  
あるんですね  
JF2: うん、中華ってやつ習いたいんだけどね、  
私は  
CF9: 料理  
JF2: うん、習ったことないよ  
CF9: すごい  
JF2: それも、それは、ね、なんていうかね  
CM10: 作るために習うんですか?  
JF2: そうそうそう、自分でねやっぱ作ったら  
CF9: わたしわたし  
CM10: 誰に作る  
JF2: 誰に作るかしら  
CF9: AVC コッキング、あの、★通いたかった  
ですよ  
JF2: →うん←あれ高いよ AVC は  
CF9: 高い、めっちゃ高い  
CF1: 通った?  
CF9: 通ってない、一回、★一回体験  
CF1: →体験行ってました?←  
CF9: 高い高い  
CF1: どこにありますか?  
CF9: 天神も博多も  
CM10: 料理教室みたいね  
CF1: ★博多  
JF2: →あるある←

CM10: それはもう、本を買えば  
CF9: めっちゃ高い  
JF2: いや、本買ってもやっぱり違うだよ  
CF1: そうそう  
JF2: 本じゃない、でも本でさ、本でできるん  
だったら、誰だってできてるはず、本でほら、  
彼に言ってあげてくださいよ、何もしないそ  
うですから。  
JM6: 本も開かないじゃない?  
JM7: うんうん、そうそう★本じゃ買わない  
JF2: →だってね←本を開いてもできますか?  
仮に本があったら  
JM6: 一回僕にハッシュビーフ作ってくれたよ  
JM7: そうよ、そうなんよ  
CF1: (笑い)  
JF2: (笑い)、何に?すごい偉そうな  
JM7: ハッシュビーフは感動だったよ  
JF2: これで缶つめさ、こう開けてさ、ビュー  
って牛肉とたまねぎ炒めて、それにかけるだ  
けでしょう  
JM7: たまねぎ切ったりできるよ、偉くない?  
JF2: 偉いでもう、おめでとうございました  
CF1、CF9 : (笑い)  
JM7: なんだ  
JM6: おいしかった  
JM7: 何だ  
皆 (笑い)  
JM7: あれだけですげーと思った  
CF1: (笑い)  
CF9: 自慢ですか?  
CF1: (笑い)  
JM7: いや、もう、年取るとそれぐらいでいい  
んだよ



JF2: だめだよ

CF1: とってないですよ

JF2: たぶん早死にするよ、そんな生活

CF9: そう

JM6: でも、そういう塩田さんだから、こう、あ、こう世話してあげたいっていう女の子が

JM7: いないよ、そんなの

JF2: 今頃、まあ、今の彼女は大事にしたほうがいいですね

JM7 (笑い)

JF2: そんなに、料理もできない男って絶対に今のとこいません。私無理、料理はね、一つや二つ

CF9: 確かに

JM6: オムライスはできないでしょう?

CF1、CF9 (笑い)

JM6: ね?

JM7: これに十分

CM10: (笑い)

JF2: 絶対だめ

CF9: だめ

JM7: 本当?

CF9: だめです。だめよ、だめ

JM7: それ、それ誰もまね?

JM6: なんとかエレクト、何とか連合

JM7: なんか聞いたことある

CM10: だめよ、だめだめ

CF1: (笑い)

JF2: お笑い?

JM6: なん、何にちゃんだっけ?

CF1: わからない、名前が覚えてない

JM6: いいじゃないの、でしょう?

CF1: そうそうそうそうそう、有名な

CF9: 台詞はだめよだめだめしかないです

JM7: へえー、え?じゃ、待って。Hさんは料理ができる人がいい?

JF2: 少なくとも、料理ぐらいできないと、私は無理です

JM7: 例えばさ、料理にうるさい人どうなの?

JF2: いいよ、別に

JM7: いいの?

JF2: うん、料理にうるさい人★むしろ作らせるよ

JM7: →この料理だめだな←

JM6: 例えば JF2 さんは作れない時に★心配しないといけない人がいやでしょう。

JF2: →うん←絶対いやだ

JM7: どういうこと? どういうこと?

JM6: あ、私がないからご飯じゃ作っていかうかなとか

JF2: うん、作っていかない

JM7: コンビニでいいじゃん、★コンビニ

CM10: →考え方はね←★そうですよ。

JM7: →コンビニでいいじゃん←

CM10: じゃ、私がない時に、じゃ、コンビニで外食でいいやん

JM7: そうですよ、うん。お金さえくれればもういいんだよ

CF9: (笑い)

JF2: ★でもさ

JM6: →それは子供がいたら、また変わりますもんね←

JF2: うん、子供がいたりね。料理もできないってさ、じゃね、仮になんか東日本大震災みたいな時に

CF9: (笑い)

JF2:あるもので何もできない、こう★身のつ  
なにならない夫みたい

CM10:→確かに←

JF2:食べ物持ってこれない男

CF9:確かに、60歳になったら、粗大ごみにな  
りますよ

JF2:よく言った

CF9:教科書でのってました、粗大ごみ、めっ  
ちや興味もってました

JM7:粗大ごみ?

CF9:わかります?

JF2:よくわかるよ

JM6:まあね、定年したあとでしょう?

CF9:そうです。なんか、教科書に★のってま  
した

JM6:→それ、それM先生言ってなかった?←

CF9:日本語コーナーみたいな

JM6:60歳超えて、こう、普段いない夫が家に  
いる★から

CF9:→そうです←

JM6:粗大ごみに出したいぐらいに

CF9:確かに60歳になったら離婚する人が多  
いですよ

CM10:わあー、ちょっとひどいな

JF2:多いよでも、多いそれ

JM7:へえー

CM10:ひどいな

JM6:かんさん、ヒルガオ見てないの?

CF9:え?

JM6:ヒルガオ

JM7:何にそれ

JF2:中国ないの?

CM10:そうね

JM6:最近ほら、不倫の、不倫をテーマにした  
ドラマー気に広まってるらしくて

JM7:そうなの

JF2:でも、なんとなく、離婚率実体が低い気  
がする。だんだん高くなりつつわけでしょう?

JF2:基本的にはすくないよね?

CM10:日本よりは少ないと思うよ

JF2:だって、日本だったら普通バツ1、バツ2  
★普通だよ

CF9:→そう、おおいですよ←めっちゃ多い、  
なんで?なんか、みんな子供のために絶対離婚  
しない

CM10:そう

JF2:それでも一人だから、子供が一人だから  
でしょう

JM6:そんなこと言ったら、アメリカが高いで  
しょう

CF9:アメリカは自由すぎるでしょう、あそこ  
は

JM6:だから、それぐらい離婚は悪いことじゃ  
ないじゃない?

CF9:★あー

CF1:→うん←

CM10:確かにね、悪いことじゃないとけど

JF2:うん

CM10:だからもう、家族のためにね

JF2:★うん

JM6:→Yとか子供4人?全員が母親が違うよ  
ね?←

CF9:え?

JF2:そりゃまあ

JM7:(笑い)

JM6:それはまあ極端だけど

JF2: どこまで許容できるか人によるよね  
JM6: 一回の離婚★とかは  
JF2: →一回ぐらい、ていうか、一回バツついたらほうが、なんか信用できる←  
CM10: はあ?  
JF2: 40歳だったらね。40歳で一回も結婚したことない★ていうほうがなんか問題ある  
CF9: →問題ありますね←そうそうそう。思う、一緒  
JM7: それへんけい  
JM6: いないでしょう?  
CF9: ★ちょっと  
JM7: →なんでなんで←

### 会話例 9

CF11: こんにちは。  
JF8: おみやげ、あ、すごい。  
CF11: どこでもいいですか?  
CF1: (笑い)、ケーキ?  
JF8: ううん  
CF1: ぜひ、ぜひ作る。  
CF12: 作った?  
CF1: ううん、買った買った。  
JF8: 作ってない、作ってない。冷蔵庫に入るかな?  
CF12: エアコンつける?  
CF1: ラップつけて。可愛いね。  
JF8: はは、ありがとうございます。  
CF12: 座って、ちょっと狭いけど。  
JF8: ビール飲んでるの?なんでなんで?  
CF12: なんか?  
JF8: ビール。  
皆: (笑い)

CF12: 私朝日のほしただけど、まあ、普通はこれを飲んでる。  
JF8: のどごし  
CF12: これ食べる?  
JF8: 食べていいの?  
CF12: いいよ  
CF1: いいよ、作ったばかりの。おい sii  
CF12: 手羽先大丈夫?  
JF8: 大丈夫、大丈夫。  
CF1: はしいる?  
JF8: ううん、手で大丈夫です。  
CF1: (笑い)  
JF8: すごい、生地から。  
CF11: どうぞどうぞ、おいしい。  
JF8: はい、いただきます。  
CF12: 何号バス?  
JF8: うん?  
CF12: 何号バス?乗換が必要?  
JF8: 3  
CF12: (驚き) ごめん  
JF8: ううん、全然、全然。  
CF12: そうか  
CF1: 二回乗り換えしたの?  
JF8: そうです。  
CF1: (驚き)  
CF12: ごめんごめん  
JF8: いいえいいえ。いただきます。  
CF1: のむのむ?  
CF12: 小ちゃいよ、あのテレビ。  
JF8: あ、本当だ。テレビ  
皆: (笑い)  
CF11: めっちゃ小ちゃい  
JF8: でも、ひとりだったら…

CF1: パソコンみたい  
JF8: うんうんうん  
CF1: こっちに置いてもいいじゃない? そんなに小さいなら  
CF12: あっちはパソコンがあるでしょう? まあ、全部集まってちょっと気持ち悪い。  
JF8: (笑い)  
CF12: バランスがとるように  
JF8: ね、中国の女の子は皆つよめだね。  
皆: (笑い)  
CF12: 何に?  
CF1: 自分のパスワード入れた (笑い)  
CF12: # # # # 知ってる? 私も他人の携帯を使う時自分のパスワードを入れる。  
CF1: もう慣れたから。  
CF12: JF8 は地下鉄で来て  
JF8: うん  
CF12: 多分 30 号は K 大の前です。  
CF1: え? うちの学府のアプリある?  
CF12: アプリじゃなくて、これホームページ。  
JF8: すごい上手すごい  
CF12: おいしいよ。  
JF8: すごい  
CF12: 水餃子が好きでしょう?  
JF8: うん  
CF1: 作れる? ダメ?  
JF8: 皮は、あの、買う!  
CF1: 包むのは?  
JF8: 一回だけやったことがあるんです。  
皆: (笑い)  
CF12: 作ってみていい  
JF8: うん  
CF12: じゃ、わたしサラダを作る。実はわたし、  
あの、急にじゃなくて  
JF8: うん  
CF12: あの、わたしシフトを確認のときは間違  
って、今日は祭日でしょう?  
JF8: うん  
CF12: 祭日は普通は日本人が働いてないから、わたし午後のシフトを入れて  
JF8: うん  
CF12: えっ? どうしようと思って、しょうがないから友達と交換して夜のバイト入って  
JF8: うん  
CF12: 変われる人がいないから  
JF8: (笑い)  
CF1: 今日 6 時から? バイト  
CF12: 6 時から…あの、6 時からかな? ごめんごめん  
JF8: ううん、全然。遅くなってごめんね  
CF12: 私もどうしようと思って、まあ、しょうがないから  
CF11: 本当に 6 時から?  
CF12: あとで電話かける  
CF11: T さんいるよ  
CF1: ううん、オーナー!  
CF11: お! オーナー 5 時から?  
CF12: 私 6 時に入ってもいいよ。  
CF1: 今電話かけて、6 時からいいですか?  
JF8: えっ? 同じバイト?  
CF1: うん、そうそう。  
JF8: おーすごい  
CF1: 同じバイト先  
JF8: セブンイレブン?  
CF1: うん  
JF8: おーすごい

CF1:CF11 偶然ですよ  
CF11:わたしは偶然  
JF8:えー  
CF11:私はその二人はそこにいるのがわからない  
CF1:CF12 は私の紹介でそっちに入った  
JF8:たまたま?へーすごい  
CF1:おいしいですね  
JF8:おいしい。ね、毎日自分で料理しますか?  
CF1:ううん  
JF8:(笑い)  
CF1:バイトがあるとき廃棄があるから  
JF8:あーそうか  
CF11:私たち水餃子も久しぶり  
皆:(笑い)  
JF8:ね、水餃子と焼き餃子の作り方が違うんですか?  
CF11:違う!  
JF8:へえー何か違うんですか?  
CF11:焼き餃子の皮はもっと薄い  
JF8:確かに  
CF12:めっちゃ忙しいそう  
CF1:本当?  
CF11:忙しい、今本当に忙しかった。  
CF12:祭日、海の中道に行く人、それに天気もいいし  
JF8:そう!すごくいい天気  
CF1:昨日も忙しかったでしょう?  
CF11:大量のものを買ったもん、皆が2箱3箱  
CF12:昨日おにぎりも少なかったし、発注も少なかったし、全部売れ切れ  
JF8:夏休みだもんね  
CF12:あ、夏休みだ  
JF8:そうそうそう  
CF12:もう夏休みだ  
JF8:うん、土曜日から  
CF12:へえー  
JF8:あの、暑中、高校  
CF12:うんー  
JF8:だから子供が多いと思う  
CF1:なんか、休みと三連休、何でその発注はそんなにすくないの?考えてないから?  
皆:(笑い)  
CF12:私皮あまり作れない、こっちが上手  
JF8:すごい  
CF1:北のほうの人だから、よく餃子をつくります  
JF8:へえー  
CF12:餃子、麺類  
CF11:わたし、日本に来る前に全然作ったことない  
JF8:(笑い)  
CF11:ただ自分で食べたいだから、作らなきゃ  
CF12:あとこれどうする?そのまま?  
CF1:これラップかける?もう固くなったよ。来た?  
CF12:まだだ  
CF1:なんか、木曜日の二限 Y 先生の授業を登録した?大丈夫?いつも欠席して  
JF8:(笑い) 大丈夫、多分、大丈夫  
皆:(笑い)  
CF1:今週来ますか?  
JF8:今週は大丈夫です。先週は風邪を引きました  
CF1:(笑い)  
JF8:あ!何か、レポートが今週、説明ですか?

CF1:集め?  
JF8:ううん、説明  
CF1:あ、先週もちょっと説明したよ  
JF8:うんうん  
CF1:何か、ちょっと自分気になる?  
JF8:うんうん、提出は?  
CF1:提出は言ってなかった  
JF8:ですよ  
CF1:いつもは8月の月末  
CF12:へえー?  
JF8:8月の月末?  
CF1:そうです。あ、7月の月末、ううん、8月の月末  
CF12:へえー?  
CF1:えーと、夏休みは8月からでしょう?Y先生もいつもレポートの提出も  
CF12:一ヶ月?  
CF1:一ヶ月で  
CF12:優しすぎる!  
CF1:Y先生とM先生はいつもそう  
JF8:やったー!  
CF1:レポートの提出は一ヶ月後  
JF8:知らなかった  
CF1:でも何か、ページ数は4ページから5ページまでかな  
CF12:M先生は3ページから  
CF1:4ページ半以上、ほほ  
JF8:多い  
CF1:でもレポートだから、まとめだけでいい  
JF8:うーん、テストよりは  
CF1:私、そのレポートは専攻研究のまとめと私の自分で作った例とか実例とかちょっと入れて  
JF8:うんうんうん  
CF1:よかったね、自分で考えた。先生のコメントには自分でちゃんと考えたね。  
皆:(笑い)  
JF8:参考になります。  
CF1:ただのまとめはだめです  
皆:(笑い)  
CF1:ちょっと自分の考えたことをちょっと入れて  
CF12:CさんKさんに弱いから  
JF8:(笑い)  
CF12:夢は、あの、トイレの中にエアコンをつける  
皆:(笑い)  
JF8:でも豪華  
CF1:でも、何か、うーん、厨房にエアコンをつけるのが多いですね  
JF8:えっ?  
CF1:日本にはある?  
CF12:えっ?トイレで?  
CF1:厨房、あの  
JF8:キッチン?  
CF1:キッチンキッチン  
JF8:リビングとつながってるから  
CF1:あー、つけなくてもいいですね  
JF8:うんうんうん  
CF1:中国はいつもつながってないから  
JF8:ほーすごい  
CF1:やっぱり、キッチンはつけたほうがいいです  
CF11:暑いから  
CF1:暑いから  
JF8:うん。私もしていいですか?

CF1: どうぞどうぞ  
CF11: どうぞどうぞ  
JF8: やったー！難しい  
CF11: そんなに慣れてないから  
CF1: ちょっと多いかな  
JF8: えー、すごい！こう？  
CF1: こう、こう  
JF8: あ、すごい。  
CF1: 皆違いますよ、バラバラ  
JF8: えー、もう一回。こうして  
CF1: ここから、うんうん  
JF8: こうして、オッケー  
CF11: よく出来ました  
JF8: やったー！誉められた、やったー！  
CF1: 皮作れますか？  
JF8: 全然、スーパーに売ってるから。  
CF1: でもスーパー違いますね、皮  
JF8: うーん  
CF1: 焼き餃子の、水餃子の皮は売ってない  
CF1: すごい  
JF8: やったー！でも  
CF1: すごいすごい、ちょっと強く  
JF8: 強く！やったー！やったー！やったー！  
CF11: すごい  
CF1: これは少なくなったよ  
JF8: (笑い)  
CF11: はい  
CF11: 料理すごい？  
CF1: ううん  
JF8: たまにします、週2回ぐらいかな  
CF1: 実家Fですか？  
JF8: Fです  
CF11: 人が入らないで？  
JF8: 何で何で？(笑い)  
CF12: 何か？  
CF1: 写真が取る  
JF8: すごい餃子  
CF1: すごいですよね。乾いた？  
CF11: うん  
CF1: どうしよう  
CF12: 今何時？  
JF8: 今2時39分  
CF12: H 駅に着いた  
CF11: 包丁くれ  
CF12: あ、ごめん  
皆: (笑い)  
CF12: ビール飲む？  
JF8: (笑い) 飲まない  
CF1: お酒も飲まないの？  
JF8: お酒全然飲めない  
CF12: これ食べて  
JF8: うん  
CF1: 何個?83 個！間違えた、75！  
皆: (笑い)  
JF8: 楽しい。もらった  
CF12: これカボチャの、中国の  
JF8: ありがとう。すごい！丸くなる  
CF12: (笑い) 私できない  
CF11: オッケー  
CF12: 家で麺類とか作る？  
JF8: 作らないよ  
CF12: お母さんも？  
JF8: 作らない、作らない、麺類は買ってくるもの  
CF12: おにぎりぐらいは作る？  
JF8: うん

CF12:ふりかけ  
JF8:そう！ふりかけ  
CF12:ほーすごい  
JF8:すごい、すごい  
CF12:肉まん  
CF1:肉まん  
JF8:うーん  
CF12:大きい、アン（ぐの間違い）が足りない  
CF11:でかい  
CF1:ぐが足りない  
CF12:ニラがなくなった  
JF8:すごい！肉まん！  
皆:（笑い）  
CF11:でも、皮が乾いて、全然できない  
CF1:水をつけたら？  
CF12:水?油?大丈夫?  
CF11:水  
CF12:油でもいいじゃん  
CF11:ううん  
JF8:（笑い）  
CF1:何で生姜?こっちは生姜?あ、違う。これはチップス  
JF8:あ、これ。ね、こういうのはお母さんに習う?  
CF11:ううん、全然。  
CF12:自分で?  
CF11:なんか日本に来てから本当に食べたいで食べたいで、じゃ  
JF8:えっ?自分で?  
CF11:うん  
JF8:えーすごい  
CF11:うちのお母さんは忙しくて、お祖母ちゃんをよく作って貰う  
JF8:ほー、いいな  
CF12:中国で本当に麺類は、あの、家で自分で作るのが多い。おいしいから、自分で作るのが、アン（ぐの間違い）とか、肉の量とかわかってるし  
JF8:うん  
CF1:皮、あの、自分であの、作るのはあの、いい  
JF8:すごいね、すごい  
JF8:出てこない  
CF12:出てこない、あ、出た出た  
CF1:サラダは?持ってきたの?  
CF12:サラダは冷蔵庫に閉まってる  
CF12:作れる！  
JF8:でも包むだけ  
CF12:いいじゃん  
JF8:おいしそう、おいしそう、すごい。これ、いっぱい入ってる  
CF11:皮が厚い  
JF8:うん、皮が厚い  
CF12:新しく買ったよ  
CF1:弁当?  
JF8:お弁当?大きくなった  
CF12:ちょっと  
JF8:（笑い）  
CF12:一階に着いたって  
CF1:112  
JF8:そう、112 だから、11階と思った  
CF1:（笑い）  
JF8:11階と思った  
CF12:え?1階に着いたって、ひみはソフトバンク  
JF8:わからない



CF1:どこの1階?うちの1階?  
CF11:お上手、羨ましい  
CF12:何か?  
CF1:電話かけたら?  
CF12:電話かける、間違ったかな?  
JF8:すごい早い  
CF11:私も頑張る  
CF1:あ、これこれこれ。こんにちは  
KF1:こんにちは。  
JF8:こんにちは。  
CF11:こんにちは。  
KF1:あーおいしそう、良い匂い、やばい  
CF12:あっちに座る?作ってみて、まあ、そろそろ終わるから  
皆: (笑い)  
CF12:遠いでしょう?  
KF1:うん  
CF12:手羽先食べて  
皆: (笑い)  
CF11:おいしいよ。  
JF8:食べたよわたしも、おいしかった  
KF1:え?これも  
CF12:私作った  
KF1:みんな大学院生ですか?  
CF1:うん、そうそうそう  
CF12:博士でしょう?  
KF1:本当?  
CF12:先輩は博士  
皆: (笑い)  
CF12:皆全部修士、I先生の学生  
CF1:I先生の学生?  
KF1:どこの学生?  
CF1:M先生の

KF1:あー  
CF11:A先生の  
KF1:おおお  
CF12:え?福祉の?M先生  
KF1:うん、そうそう  
CF12:あのM先生、結構、あの、多くの人、福祉の人、断ったよ  
KF1:そうそうそう、何か人いっぱいいてて、私も2回頼んだ。  
CF1:2回頼んだ?  
JF8:私もほかの先生がいなくて  
CF12:あ、Hさんも2回頼んだ。あの、I先生の授業いつも私の隣に座っている。I先生の授業キャンセルした?  
KF1:いいえ  
CF12:え?じゃ、全然来てないじゃん  
KF1:そうだよ  
CF12:大丈夫?  
KF1:大丈夫じゃない  
CF12:先週も本当に人も、7人か8人か  
KF1:本当?  
CF12:はい、寂しいよ  
JF8:え?今週、今週って最後?  
CF12:最後、そうそう最後だよ  
KF1:何をする?  
CF1:I先生何曜日?  
CF11:金曜日  
CF1:金曜日なら、今週  
KF1:どうなってるのが、全然  
CF12:その大学の友達と、あの、小メールしてないとは、知り合いでもいいって、コミュニケーションの感想とかみたい  
KF1:これは一番きれい

JF8:一番写真取る  
KF1:これは一番きれいでしょう?  
JF8:すごい、私こんなの作れない  
CF1:韓国のどこ?  
KF1:韓国のでいぐというところ  
CF1:ソウルと近いですか?  
KF1:全然違う  
皆:(笑い)  
CF1:釜山は?  
KF1:釜山より、えー、車で1時間半ぐらい、上に上がる  
CF1:あー  
KF1:山にくぐってます  
CF11:(韓国語で挨拶)  
KF1:発音いい  
CF11:私は韓国語1年勉強したことがある  
CF1:私去年の夏休みに、あの、韓国のりか大学?ええ大学?イファ大学に、あの、交換留学しました  
JF8:えー  
KF1:すごい  
CF1:ありますよ、毎年ありますよ。プログラム  
JF8:大学院の?  
CF1:そうそうそう  
KF1:わたしも行きたい?  
CF12:え?帰るじゃん  
KF1:(笑い)  
CF1:すごく楽しかった。世界の留学生が集まって  
JF8:へえー  
CF1:でも、そんなに長くはないけど、2週間  
JF8:へえー

KF1:へえー  
CF1:授業をとって遊んで、あと、あと、うーん、短い旅行を、真ん中のところ  
KF1:どこ?  
CF1:どこかな?忘れました、結構古い  
JF8:私も行きたいな  
CF1:うん、毎年、あのプログラム、大体あの申し込みは3月?2月3月、お金は生活費は自分で、生活費とあの  
CF12:飛行機代?  
CF1:飛行機代、自分で払って、授業料はめんきよ(免除の間違い)  
KF1:へえー  
JF8:へえー  
CF1:授業料は結構高いよ  
JF8:やっぱそう  
CF1:うん  
CF11:行きたい  
CF1:10何万円  
JF8:え?大学が出してくれるの?  
CF12:夏休み?  
CF1:夏休みのところ、大体7月の中旬ぐらい  
JF8:いいないいな  
CF1:8月の中旬ぐらいははじめました  
KF1:楽しかった?  
CF1:うん、日本も結構の大学が交流して、交換しています。お茶の水女子大学とか、名古屋大学とか、アメリカハワイ大学  
CF12:へえー楽しい  
CF1:中国は全部有名な大学ばかり、北京大学とか復旦大学とか、中国人民大学  
KF1:すごい学校ばかり集まってる。  
CF1:でも、友だちになれるから、頭いい人と

皆: (笑い)

JF8: 大事大事

CF1: それが大事でしょう? (笑い) 夏休み韓国に帰らないの?

KF1: 一週間ぐらい

CF1: 一週間ぐらい?

CF12: 安いよ、一万往復だし

CF1: 往復一万?

KF1: 一万ちょっと

CF1: 飛行機で?

KF1: 船で

CF12: 船?

KF1: 飛行機だったら、3万ぐらいかかるけど

CF1: 船は時間どれぐらいかかるの?

KF1: 船は、3時間

CF1: そんなに遠くないじゃない

JF8: 近い!

CF12: 船も3時間?

CF1: 私飛行機で

CF12: 3時間?

CF1: ううん、飛行機1時間半ぐらい

JF8: 帰りますか?

CF1: 帰ります

JF8: うん、どこどこ

CF1: 私の出身地はZJ省、SHの南

JF8: へえー

CF1: でも、飛行機はSHまでです。SHからは電車で

JF8: あー、何で日本語を勉強しようと思ったの?

CF1: しょう?これから?

JF8: 何で日本語を

CF1: あ、何で?それは…

KF1: 難しいでしょう?

CF1: 難しいかな

CF12: 何か?

CF1: 最初何か行きたい大学は三つの外国語しか選べられないですよ。日本語と英語、あとは日本語と韓国語の両言語。日韓は5年がいきますから

JF8: うんうん

CF1: ちょっと長いじゃない、学部の時

JF8: うん

CF1: 英語はもう中学校から英語を習っていたから、もういい

皆: (笑い)

CF1: ほかの言語を勉強したい、それは正直です

皆: (笑い)

CF12: そろそろ出るよ。へ?そんな感じできない、できない

皆: (笑い)

CF1: 韓国餃子食べないの?

KF1: 餃子食べますよ

CF1: 家には作らないですか?

KF1: 作る作る

CF11: 正月の時は、何か、キムチ、チゲの中に餃子が入る、そういうの

KF1: へえ?

CF11: チゲではない、チゲみたいなもの

JF8: チゲじゃない、何か、お雑煮?みたいな、スープの中に餃子を入れる

CF11: そうそうそうそう。韓国語の先生から頂いたことがある、本当においしいと思う

JF8: うん、そうそう

CF11: おいしいおいしい

KF1:韓国はキムチがあるから、餃子にキムチを  
JF8:えー?餃子にキムチ?  
CF11:キムチ入ってる  
CF1:キムチ餃子  
CF11:おいしいおいしい  
KF1:冬、冬が終わって  
CF1:うん  
KF1:キムチが酸っぱくなって、それを使うとめっちゃおいしい  
CF1:えー  
CF11:おいしい  
CF1:韓国にどこへ行ってもキムチを付けてくれる  
KF1:(笑い)  
CF1:サービス、キムチとあれ、大根の  
JF8:大根、たくあん?  
CF1:あ、そうそうそう  
CF12:たくあんが韓国の?  
KF1:いや、日本だよ  
JF8:ね、ちょっと  
KF1:名前からたくあんだよ  
CF12:あー  
JF8:人の名前だよ  
KF1:そう、たくあんさん  
CF11:でも、韓国でたんもちじゃないです?  
KF1:たんもち  
CF11:はい  
KF1:甘い、大根の漬物って意味  
JF8:結構そのままの意味(笑い)  
KF1:そう、略しただけ(笑い)  
CF11:私ろにめが好きだね  
KF1:うん?  
CF11:ろにめ、見たこと、番組  
KF1:あ、あ、バラエティ?  
CF11:うんうん  
KF1:私ちょっと韓国と思ってる、見てない(笑い声)  
JF8:何見てるの?日本の?  
KF1:いや、何か、見るものだけ見るかな  
JF8:おーすごい  
CF1:結構あるよ  
CF11:あの、お箸  
CF1:これは?  
CF11:これ今洗っても多分足りない  
CF1:足りない?  
CF12:ちょっと借りて、うちもちょっと、あの  
CF1:お箸を  
CF12:お願い  
KF1:なんか、服がすごく似てるんだけど  
JF8:あ、本当だ。  
CF12:先輩が三階、三階に住んでる。すぐ食べれるよ、お箸を取ってきて、すぐ食べれるよ  
CF11:朝バイト7時から?  
JF8:6時半から  
CF11:6時半から?  
JF8:6時まで  
CF11:大変大変  
JF8:ずっと耐えててごめんなさい(笑い)  
CF11:うち7時から12時まで  
CF12:頼むよ、餃子作れるから  
皆:(笑い)  
CF11:楽しかった  
JF8:おいしいそう  
KF1:あ、でもまた2個ある  
CF12:これ大きい

CF11: あ、そっち入れないで  
JF8: あ、大きいかな  
CF11: はい  
CF12: 置いて置いて後で、こっちまだ  
JF8: これ、倒れてる  
皆: (笑い)  
JF8: これ一番最初の?  
CF11: うん  
CF12: うーん、おいしい  
KF1: おいしい?  
CF12: うん、ビール食べる? いや、ヒール飲む?  
JF8: ビール飲む?  
KF1: 昼から?  
JF8: 皆飲んでるよ  
皆: (笑い)  
KF1: いいけど (笑い)  
CF12: JF8は無理です。  
JF8: 私はオレンジジュースが大好きです。  
皆: (笑い)  
JF8: あー、ありがとう  
KF1: ね、いいね。私もたまにチヂミとか作ったけど、火鍋とか作って  
JF8: 火鍋って何?  
KF1: 中国の鍋料理だけど…辛い味噌とか、半分半分になってる。日本で何って言う?  
JF8: 多分火鍋だと思うけど  
KF1: 皆火鍋って言うから火鍋かなと思ってる  
CF11: 中国ではフォォグォだったかな  
JF8: へー  
KF1: 食べてる (笑い)  
JF8: いただきます。  
KF1: いただきます。  
CF12: こっち醤油  
JF8: 先輩待たなくても?  
CF12: 大丈夫、大丈夫。これは酢、これはポン酢  
JF8: 何かおいしい?  
CF12: 別にどっちでもいい、こっちたぶんこれいる?  
KF1: 辛そう  
CF12: めっちゃおいしいよ  
JF8: 食べてみて  
CF12: 食べれるでしょう? 辛いのは  
KF1: うん  
JF8: これだけ? 入れるの  
CF11: 醤油とかポン酢とか  
CF12: 大丈夫!  
JF8: 赤いもんだって  
CF11: そんなに辛くないよ  
KF1: 唐辛子の油みたいな  
JF8: へーすごいすごい  
CF11: これ片付けなくてもいい?  
CF12: 大丈夫、大丈夫  
JF8: ね、ちょっとまた、このまま?  
CF11: このまま?  
CF12: ちょっと待て、私片付ける。実は私、きゅうりの辛いものを作ろうと思って、でも、  
JF8 はあまり食べれない  
JF8: 大丈夫よ、みんなで食べて  
CF12: ちょっと待てね、私片付ける  
CF11: どう片付ける  
CF12: これ、頂戴  
JF8: おいしい  
CF12: おいしい? よかった。またあるよ、いっぱい食べて  
CF1: おいしい?

JF8:おいしい

KF1:おいしい。これもらう

CF11:JF8 ちゃんちょっと辞書を

CF1:できない、できない

CF12:できない、私水曜日もちょうどできない

CF1:そうそうそう

CF12:昨日ね、私水曜日授業があるから

CF11:できるものでできないと言って

CF1:できるものでできないと言って (笑い)

CF12:昨日ね、あの、急に、あの、今日はバイト入ることが知ってて。副店長にメッセージを送って

CF1:スポンとかない?

CF12:めっちゃ失礼、失礼じゃなくて、ちょっときつい言葉

JF8:言われた?

CF12:うん。何か私、休みの時すみません。で、先陳さんから聞きました。私午後の仕事入ってるそうです、全然気づかなかった

JF8:うん

CF12:あの、まあ、私無理です。出来れば自分で探してくださいとか急に対応出来ませんか、あとは私誰も連絡先を持ってないです、普段は月曜入ってないでしょう?

JF8:なかなか厳しいね

CF12:最初、あの、少なくとも、あの、声かけてくれて、私ちょっとわかるでしょう。で、自分で責任をとってください、で、休日なので、シフトを変わるのが当然ですよって言ってて

JF8:ふーん

CF12:最後は、今に言われても店にいないので、対応出来ません。オーナーと相談してください

い。今日また、またこの水曜日、あの、協力してください

JF8:へー

CF12:協力しないよ、私ちょうど水曜日授業がある、最後の授業行かなければ

CF1:あ、今週の水曜日は月曜日の授業になるよ

CF12:でも、私、フィールド調査の最後のレポートがあるから、できない。めっちゃ、あの、ショックだよ、あの、すごく固い、あの、表現。

CF1:言い方?

CF12:言い方みたいな、私もう慣れた

CF1:慣れた?

CF12:前の店長はすごく優しくて、お願いとかまあまあできるだけ

CF1:今どこでバイト?

KF1:私モスバーガー

CF12:でも、多分前はずっとすごく優しい店長とか。私京都の時も店長がやさしくて、今急にこんな感じして、自分も知らなかった

KF1:友達と合うとかそういう接続しちゃだめだよ

JF8:うんうん

KF1:友達とあう約束とか、そういう予定があるとか言っちゃだめだよ。それでめっちゃ、あーイラッとするとか

JF8:学校とか

CF12:今日は祭日だから、学校もないでしょう

JF8:そうね

CF1:ほかの理由を

KF1:ほかの事情とか

JF8:家の

CF12:でも、私普通月曜入ってないから、全然  
気づかなかった。昨日 C さん突然、あの、シ  
フトを見て、何で午後入ってるの?ムカつく

JF8: (笑い) 厳しいね

CF12:熱いの来たよ、熱いのはおいしい

KF1:焼きたて

CF12:CF11、饅頭ができたよ、最初の

JF8: (笑い)

CF12:はい

JF8:うーん、すごい

CF12:唐辛子は?

CF1:あ、ここ

JF8:おいしい

CF12:今度は手料理、私手料理が上手、餃子は  
あまり上手ではない

皆: (笑い)

KF1:何でもできそう

CF12:麺類は CF11 一番上手、鍋はぜんさん一  
番上手

KF1:しゃぶしゃぶ鍋

CF1:鍋は入れるだけじゃない?

CF12:鍋の、最初のスープすごく大切

JF8:だし?

CF1:うん

CF12:うーん、おいしい、久しぶり

CF11:久しぶり

CF12:ビール、ジュース頂戴

JF8:ジュース?うん、大丈夫、大丈夫

CF12:ビール大丈夫?

CF1:韓国人ビールよく飲みます?お酒

CF12:JF8 は全然できない

JF8:お酒飲まない

皆: (笑い)

CF12:何でもイイよ、飲んでみて

JF8:だっておいしい?お酒

CF12:おいしいよ (笑い)

CF11:美味しくない

JF8:お酒嫌い?

CF12:めっちゃ強いよ

CF11:そうでもない (笑い)

CF12:めっちゃ強いよ、前はこれ 12, 13 か 15  
か?まあ、半分以上は彼女

KF1:すごい

JF8:すごい

CF12:証拠があるよ

皆: (笑い)

CF11:まあ、いいよ

CF12:証拠があるよ

JF8:証拠 (笑い)

CF11:でも私酔っ払ってないよ

CF12:酔っ払ってないし、みんなはちょっと酔  
っ払ってる

JF8:すごい

KF1:ビールだけ?12 缶

CF11:うん

KF1:わお、すごい

CF12:これは彼女二人と、一人ともう一人の友  
達、二人で飲んだ

JF8:これだけ?

CF12:ほろよいとか

JF8:飲み過ぎ飲み過ぎ

CF12:前は三人で一緒に飲んだ時はめっちゃ  
いける

CF11:いつも飲まない

CF12:半分以上は CF11、そのおかげで

CF1:酔っ払ったことある?

CF11:酔っ払ったことある、日本にはない  
CF1:ない?  
CF11:うん  
JF8:ふーん  
CF11:私は仲良く友達とお酒を飲む、はい、最初の知り合いだったらあまり、はい  
KF1:ふーん  
JF8:ふーん  
CF11:はい、気持ちは一番  
CF1:どれぐらい行けるのわかる?  
CF11:(笑い)  
CF12:なんかね、最初かね、あの、知りあいになって、あの、お酒が飲めるって聞かれて、私、結構飲めると思って、じゃ、何本飲めると、私、あ、まあ、500 ミリリットルの、私2本3本飲めると。彼女は笑ってしまった  
皆:(笑い)  
CF12:このぐらいはのめるって  
JF8:言わない  
皆:(笑い)  
CF11:最初に CF12、私お酒飲めるよ  
CF1:結構強いよ  
JF8:結構強い(笑い)  
CF11:じゃ、何本ぐらい?2、3本ぐらい大丈夫(笑い)  
CF12:500のは  
JF8:長い  
CF12:でしょう?  
KF1:1リットル以上だったら?  
CF12:CF11は普通のジュースみたい  
CF11:そうでもない(笑い)  
JF8:すごい  
CF11:辛い食べる?  
CF12:(笑い)  
CF1:(笑い)  
CF11:ちょっと食べてみて  
JF8:あ、一番赤い  
CF12:前は、学校でピーフンを買って、唐辛子はちょっとだけ口に入れた。何か(笑い)この唐辛子は唐辛子ではない  
JF8:え?  
CF12:全然辛くない。ローソンであの、炒めのピーフン、その中にちいちゃい、めっちゃ小ちゃい唐辛子が  
CF1:付いてる?  
CF12:付いてる。あの、こんな感じ、小ちゃいの、全部あの最初食べる前は全部、あの  
CF1:抜けて  
CF12:抜けて、でも、あの、まあ、またある  
JF8:うん  
CF12:1個とか2個とか、で、ちょっと口に入れて、その瞬間も、何か、あの、からし、言葉もなくなって  
JF8:(笑い)辛いからずっと泣いてるの?  
CF1:涙が出た  
皆:(笑い)  
CF1:でもわさびとか大丈夫?  
JF8:わさびは大丈夫  
CF12:オカシイじゃん  
JF8:へー  
KF1:辛さが違う  
JF8:違うよね  
CF11:わさびが苦手  
JF8:本当?  
CF12:今日アン(ぐの間違い) ちょっと薄いね



JF8:おいしい  
CF1:大丈夫  
KF1:何を入れた?  
CF12:えー、ニラ、肉あとたまご、油  
皆: (笑い)  
CF12:塩、醤油  
KF1:醤油も入れるの?  
CF12:胡椒もちょっと入れた  
CF1:うん、ごま油?  
CF12:ごま油もちょっと入れた。まあ、前はちょっとネギも入れたいけど、今日入れなかった  
JF8:うーん  
CF12:熱い?  
KF1:熱い?  
CF1:うん  
CF12:満足  
皆: (笑い)  
CF12:私餃子が好き、大好き(飛行機の音)うるさいでしょう?  
JF8:そうね  
KF1:飛行機  
CF12:うるさいでしょう?私、前、前は文句したでしょう?  
皆: (笑い)  
CF12:一番悪いところはこれ  
JF8:うーん  
KF1:うーん  
CF12:朝は7時から  
JF8:早いね  
CF12:そうそう、目覚まし時計 (笑い)  
CF11:アラーム  
CF1:最初は眠れないよ、朝は  
CF11:そうそう  
CF12:今は  
CF1:もう慣れた  
CF12:もう慣れた (笑い) まあ、普段は寝られる、でも、最初は絶対7時に目が覚めて、うるさくて  
JF8:うーん、夜は?  
CF1:9時  
CF12:9時半までかな  
CF1:うん、聞こえる  
CF12:箱崎はこの一ー、そうそうそう、その副店長はこっちは返事して  
CF1:もしだめだったら?  
CF12:あ、まあ、了解とか返事来ない  
CF1:えっ?来るよ、私のところは  
CF12:全然、私二人は全然  
CF1:了解しましたって  
JF8:へー  
CF1:前一回、一回、何か、中央店に行けるかどうか聞いて  
CF11:ないない  
CF12:絶対ない、これはちょっと、そんな、あの、丁寧な言葉ないよ  
CF1:本当?何で?  
CF12:おそわしました、最後  
CF1:なんか、おそー  
JF8:お騒がせしました  
CF1:お騒がせしました  
CF12:了解したもない、ただの無視  
JF8:へー  
KF1:へー  
皆: (笑い)  
CF12:多分、まあ、いろいろ事情があるね

CF11: 熱い！  
CF1: 熱い？  
CF12: うん  
CF1: ちょっと温度が上がりました  
CF12: Tのバイトはもし急に体調が悪くて大丈夫？  
JF8: 自分で代わりを探す  
CF12: あー  
CF1: 一般的には自分で代わりを探す  
CF12: でも、塾でしょう？  
JF8: うん  
CF12: 塾はできる？  
JF8: うーん、難しいけど、うーん  
CF12: じゃ、あの、学生と相談して、今日はできないとか  
JF8: は、基本的にはダメです  
CF1: あー  
CF12: お客さんみたい  
JF8: そうそうそう、決まってる  
CF1: 厳しいから塾は  
JF8: うん  
CF1: バイトより、普通のバイトより  
CF11: 厳しいね  
CF1: もっと厳しい  
CF11: 何か教える？  
CF12: 全部？日本語、英語、数学  
JF8: (笑い)  
CF12: 歴史とか社会とか  
CF1: 小中学校生？  
JF8: 小、中学生と高校生の国語と英語  
CF1: えー  
CF12: すごいよ、5年  
JF8: 5年目 CF1: じゃ、英語はすごく上手じゃ

ないですか  
CF12: 英文化だよ、英文化  
CF11: すごい  
JF8: いやいや (笑い)  
CF12: あと、変われるひとにあげる、友達  
JF8: (笑い)

### 会話例 10

CM10: まあ、やることは多少わからんかもしれんね  
JM9: そうそう  
CM10: レジはもう全然余裕ですね、問題ない。二人で？  
JM9: うん、二人で。  
CM10: 今日も？  
JM9: 今日は新人トレーニングで  
CM10: またトレーニングかよ！  
JM9: 朝の人やけど  
CM10: トレーニング含めて3人？  
JM9: そうそうそう、あの、この前おったKさん。  
CM10: Kさん？  
JM9: この前、あの、とうさんが来たときもおったあの新人。  
CM10: あーはいはいはい。めがねの人？  
JM9: そうそう。  
CM10: ミニストップで働いてる人。  
JM9: そうそう。  
CM10: またトレーニングなの？レジも大丈夫じゃないの？  
JM9: まあ、今度から。  
CM10: うんー、そっか！いいね  
(しばらく沈黙)

CM10: ようくんから今日電話あったよ。  
JM9: あ、本当?  
CM10: Lさんようす。あ、そう。ビザおりて  
なかったね? おりてないねー  
JM9: なんか、あっさりしてました。  
CM10: うん。Mから電話番語をもらってちょっ  
と今度めし行こうね。  
JM9: (笑い) いかんやろ?  
CM10: (笑い) いかんと思うけどね  
JM9: ほら! (笑い)  
CF1: Yさん誰?  
CM10: Yさんは  
JM9: あっちの人  
CM10: まあ、中央店の深夜の人。  
CF1: 中国人?  
CM10: 中国人!  
JM9: そうそう  
CF1: もうやめた?  
CM10: やめてないよ  
CF1: あー  
CM10: またやってる。バイクがほしいやん、俺  
のバイク。だから、もう帰ったらバイクをや  
るっつって。  
CF1: あー、そうですか。  
CM10: 月末まで待ってって  
CF1: (笑い)  
CM10: 今日忙しいよ!  
JM9: そっ!  
CM10: 向こうも?  
JM9: いや  
CM10: 今日 83万かな、今。  
JM9: (メモ紙に指差して)  
CM10: S (人の名前)、マイナス四千

CF1: (笑い)  
CM10: この間さ、A (人の名前)  
JM9: うん。  
CM10: マイナス九千や  
JM9: えっ! え、ようお釣りやっちゃったの?  
CM10: お釣りやっちゃったよ  
JM9: 間違った、これ打ち間違ったじゃなくて?  
CM10: そうそうそう、完全に五千をもらったと  
思っつて。  
JM9: そりゃいかんな。  
CM10: そうよ。  
CM10: Aも。  
JM9: 九千大きいね、自腹?  
CM10: 自腹ですよ。  
JM9: (笑い)  
CM10: で、六万千なのに、七万千って、あ、七  
万って打ちまちまった  
JM9: 七万、ああ (笑い)  
CM10: まあ、九千円多く返した  
JM9: 九千円。(笑い)  
CM10: まあ、しょうがないよ。  
JM9: でも自腹よ? でかいよ  
CM10: そりゃもうしょうがないからね。  
JM9: でかいね。  
CM10: 見つかる次第はもうしょうがないやん。  
JM9: うん。この一  
CM10: あっ、そうそうそう。Vさんからもらっ  
た割引券やん。25パー。  
CM13: 25パー!  
CM10: 本当? また持ってる? 割引券。  
CM13: (笑い)  
CF1: 15日からでしょう? まだ早い (笑い)  
JM9: これ、俺の前の会社やもん。

CM10: あっ、そう！

JM9: うん。

CM10: そうなん。

JM9: そうだよ。

CM10: どの会社?中に載ってる?

JM9: ニラックス。

CM13: うん、そう、ニラックス、本部はニラックスです。

CM10: あ、ニラックスやね。ふんー

CM13: 大きい会社です、だと思えますね。

CM10: 何の会社?

JM9: 元ニラックス。

CM13: そうですか?

CM10: ニラックスって何の会社?飲食店?

CM13: 飲食店。いろいろ子会社があるんですからね。

JM9: そうそうそう、スカイラックの中で。

CM10: はいはい、知らなかった。

JM9: タバコ吸う?

CM10: 吸う！行きましょう。

JM9: じゃあね、Kさん。

CF1: あっ、じゃあね

JM9: あ！今度Tさんの休みがあるじゃん

CM10: あ、はい。

JM9: ようは、Lさんと店長がいなくなったら、どうするのって。

CM10: あ、はいはい。

JM9: だけん、俺が土曜日休んで、日曜日はこっち来る。

CM10: オーナーは出たくないって言ったの?

JM9: 出ないでしょう！それ、一日出ないでしょう。

CM10: そう。

CF1: こっちに来るの?

JM9: たぶん。

CF1: 中央店は?誰かいるの?

JM9: H店長が休みなしで。

CF1: マジで?!

CM10: マジかよ!

JM9: でもほら、俺がいるのは平日3時で帰れるやん。

CM10: うん。はいはい。

JM9: だけん、まあ、きつくないとか言いよう。

CM10: そう！それでもきついよ。オーナーたぶん来たくないやろ。

JM9: やろ?絶対来んよ。

CM10: 絶対来ん。

## インタビューにおける日本語母語話者と日本語学習者間の会話

### データ 1:CN1

I: えーっとですね、あの一、前回この外来語のテストを受けてもらったんですけど、

CN1: はい。

I: 結構、面白い結果がでて、僕は、中国語と韓国語と非漢字圏、の人たちを採ったんですけど、

CN1: うん。

I: 外来語に関しては、ちょっと、中国語の、中国人のグループが、ちょっと点数が低かったんですよ。なんか、スポットも受けてもらったの覚えてます?なんか、パソコンの日本語のテスト。

CN1: あ、はい。

I: あれの、あれの点数だと、グループはほとんど差がなかったんです。

CN1: はい。

I: だけど、この外来語のテストだけみると、やっぱりちょっと中国の人が低くなっていたので、ちょっと色々聞きたいことがあって、

CN1: はい。

I: まずですね、その一、CN1 さんが、

CN1: はい。

I: ま、CN1 さんにとって、外来語って難しいですか?それとも、そんな難しいと思ったことはないのか、どうですかね?

CN1: むずかしいですね。なんか一、この、アンケートの中に、

I: はい。

CN1: ほぼ、なんか、見たことないですね。

I: あ一、はい。

CN1: 単語が。

I: はい。これ、じゃあ、話す時、あつ、まあ、日本に来て、こう、いろんな本を見たりだとか、

CN1: はい。

I: こう、なんか読んでて、読んでるときに、困りますか?それは、話す時に困りますか?それとも、聞くときに困りますか?

CN1: え一、普通のなんか、聞くとか、話すとか、あんまり外来語は使わないですね。

I: うーん。

CN1: 読むときは、時々見ますけど。

I: あ一。

CN1: そうですね、だいたい私の場合は、それを見て、なんか英語で推測して、

I: あ一、

CN1: もし英語で、英語の単語がわからないなら、その、単語の意味を、

I: わからない?

CN1: そうですね。

I: あ一。日本、CN1 さん、いつ日本に来たんでしたっけ?

CN1: 去年の10月。

I: 去年の10月?じゃあ、去年の10月から日本で生活してて、なんか外来、カタカナ語がわからなくて、困ったことありますか?

CN1: え一、あんまりないですね。

I: あ一。1

CN1: 普通はなんか、会話したりとか、

I: うん。

CN1: 外来語は、あまり使わないし、

I: うーん。じゃあ、やっぱり、外来語を、外

来語に触れる時はやっぱりこう、何かを読むとき?

CN1: そうですね。

I: あー。

CN1: 読むときは多いですね。

I: なるほど。なんか、まっ、中国の大学で勉強しているときに、その外来語だけ特別に何か教えてもらったっていうことはありますか?

CN1: はい、なんか、試験のために、

I: あー。日本語能力試験の?

CN1: そうですね。いっぱい、なんか。ま、毎日見て、

I: うん。

CN1: 覚えましたが、

I: うーん。

CN1: そのときだけが、たくさんの外来語を

I: うーん。

CN1: みたりして、

I: うん。

CN1: あとは、なんか、読解の中に、

I: うん。

CN1: いくつかあの、外来語がでてきて、

I: うん。

CN1: それを、調べて、

I: うん。

CN1: なんかよく使われている

I: うん。

CN1: 外来語なら、大丈夫です。わかります。

I: うーん。中国に人にとってほら、漢字が、日本語の漢字はちょっと有利じゃないですか?

CN1: そうですね。

I: あー。でも、外来語はそうでもない? そうじゃない?

CN1: そうですねー。でも、確かに、もし英語がわかれば、

I: あー。

CN1: すごく、助かりましたね。

I: なるほど、なるほど、英語がわかれば、わかると。

CN1: そうですね。

I: えーっとね、そしたら、これが実際にこう、見てもらったやつなんですよ。

CN1: はい。

I: で、ちょっと、こう、赤と、青の丸で、

CN1: はい。

I: ちょっと丸してるものをですね、もう一度ちょっと見て、どういう意味か、わかります? (スキンシップ)

CN1: スキン・・・、

I: 勘でもいいですよ。

CN1: うーん・・・。なんか、何ヶ月か空いて、ちょっと忘れました。

I: いいです、いいです。今、今見て、どう思いますか?

CN1: ...。やっぱり、なんか、

I: うん。

CN1: これは、なんか見たことないので、まずは、英語でなんか、推測して、で、英語の意味はなんなのか、そう思いますね。

I: 今なんか、思いつく意味ありますか?

CN1: あー、ちょっと忘れましたね。

I: うーん。やっぱそういう時って、こう、英語を探すんですか? 頭の中で?

CN1: そうですね。

I: あー、で、英語がなかったら、ない、みたいな。

CN1: そうですね。

I: あー。このスキンシップっていうのは、こう、なんか肌の、あの一、コミュニケーション、だから赤ちゃん、お母さんが子供を、こう抱っこしたり、

CN1: はい。

I: 例えば、えー。恋人同士が手をつないだりだとか、あの一。そういう、手と手とか、肌と肌が、

CN1: はい。

I: 触れ合って、よくなる、人間の関係?

CN1: はい。

I: みたいなのが、スキンシップ。

CN1: はい。

I: スキンシップをとる、とか言いますけどね。

CN1: はい。これは、なんか英語の単語もありますか? スキンシップ。

I: まあ、フレンドシップのシップかな?

CN1: あー。

I: フレンドシップとか、リレーションシップとか。

CN1: スキンなら肌の意味ですね。そうですね。

I: それを聞いたら、なんとなくわかります?

CN1: そうですね。

I: あー。

CN1: スキンとシップなら、なんかフレンドシップのような、

I: あー。でも結構あの一、英語の人とかは、シップを、あの一、船のシップ?

CN1: あ! そうですね。

I: で、勘違いする人もいて、

CN1: 確かに、

I: 結構、難しいんですよ。えー、じゃあ、この、3番の「デイサービス」はどうですか?

CN1: デイサービス? なにないのサービス。と、推測しますね。

I: うん。

CN1: デイ、デイサービス、デイは、d、a、yのデイなら、なんか1日の何かのサービスかな? やっぱりなんか、わかるの単語から、

I: あー。

CN1: なんか、わけて、推測、

I: サービス、日本語で「サービス」って見たら、どういう意味だと思います?

CN1: なんかー、えーっと、接客のような? なんか、なにかの店の、なんかサービスとか、

I: うん。

CN1: あとは、少し、安くなる場合もサービスですね。

I: じゃあ、この「デイサービス」っていうのは、簡単に言ったら、どんな意味だと?

CN1: えー、なんか「デイ」なら、

I: うん、

CN1: 「日 (ひ)」と関係する、

I: あー、人を勧誘する?

CN1: えっ、「日 (にち)」、あの一、「デイ」はd、a、yの「デイ」なら、

I: うん、

CN1: あの一、「日 (にち)」ですね。

I: うん。

CN1: 何かの、1日の中の、何か関係する、

I: うーん。

CN1: サービス。でも、

I: なるほど。

CN1 : デイサービス、1日だけ、サービス?[笑い]

I : 1日だけのサービス?あー、なるほどね。ま、後でもう一回やりますね。じゃあ、この8番の、あつ、7番の「アクセル」?

CN1 : アクセル……。アクセル……。アクセル……。アクセル……。えー。アクセル……。「アクセス」は、「連続する」ですね?アクセルは……。わからないです。

I : うん、いいですよ。8番(ジョッキ)とかどうですか?

CN1 : ジョッキ……。ジョークではないですね?

I : あー。

CN1 : ジョッキ?ジョッキ……。うーん……。わかりません。

I : うん、いいですよ。こういう、やっぱわからないものって、英語が見つからないってことですか?

CN1 : そうですね。

I : うーん、なるほど。11番(コネ)どうですか?

CN1 : コネは、なんか、えーっと、うん、これはなんか、何回も、

I : うん。

CN1 : えーっと、文章の中で見たことあるので、

I : うーん。

CN1 : とても、印象が、

I : うん。

CN1 : 深いですね。コネ、

I : どんな意味ですか?

CN1 : えーっとね、うーん……。例えば、

I : うん。

CN1 : なんか、就職するときに、

I : うん。

CN1 : なにか、上司に賄賂とかあげたり、

I : あー。

CN1 : その就職、そんな感じですか?

I : あー。なるほど、なるほど。うん、この「コネ」っていうのは、「コネクション」の短縮系なんですよね。

CN1 : へー。

I : だから、なんか「つながり」?

CN1 : これは英語はわからないけど、

I : うん。

CN1 : よく文章の中で、

I : あつ、そうですか?

CN1 : はい、見ました。

I : うーん。どんな文章?

CN1 : たぶんなんか、1級の試験の時、

I : へー。

CN1 : そんな、なんか、とてもなんか、重要な単語。

I : あつ、そうなんですか?

CN1 : そうですね。この、よく出てくるの外来語ですね。

I : あー、わかりました。12番(チャック)どうですか?

CN1 : これが、チェックですね?えっ?チェック?c、h、a、tじゃないですね?チェック……。

あつ、c、h、e、c、tのチェック?

I : うーん、日本語で言うのと?

CN1 : えーっとね、「検査」?

I : あー。検査とか、確認とかの?

CN1 : そうです。

I : うんうんうん、なるほど。



CN1：これも、よくなんか、えーっと会話する  
ときも。

I：あー、よく言いますよね。

CN1：そうですね。

I：アルバイトとかでね？

CN1：はい。

I：うーん。13番（ファミレス）どうですか？

CN1：ファミレスは、これが、えっと、飲食の  
店ですね。

I：うん。

CN1：ファミレス、うーん、でもこの店はたぶ  
ん、中国ではないですね。

I：あっ、ないですか？

CN1：そうですね。

I：日本のファミレスみたいなのは？

CN1：私のふるさとはないですね。

I：うーん。

CN1：中国のほかのところは、あとはセブンイ  
レブンも、ほかのところが、

I：うーん。

CN1：いるみたいです。

I：じゃあ、「ファミレス」っていったら、ど  
んなレストラン？

CN1：定食？

I：うーん。

CN1：みたいな感じですね。

I：うーん。

CN1：あんまり、種類が多くない。

I：うん。

CN1：定食、いろいろな、セットがある、そん  
な感じですね。

I：なるほど。14番（リフォーム）どうです  
か？

CN1：これは、リフォームの英語の、

I：うん。

CN1：なんか、もう一回なんか、新しく、の、  
なんか、そんな、

I：新しくする？

CN1：うん。

I：うんうんうん、それは、どんなことでも？

CN1：あー、それ、意味だけがわかるけど、

I：うん。

CN1：どんな場合が使ってるかは、

I：うーん。

CN1：よくわからないですね。

I：なるほど。いいですよ。じゃあ15番（シ  
ャッターチャンス）どうですか？

CN1：シャッターチャンス…。シャッター…。  
チャンスはわかる、

I：うん。

CN1：なんか、シャッターチャンスは、ちょっ  
とわからないですね。

I：うん。

CN1：なんか写真とるの、なんか、タイミング  
ですか？シャッター、うーん、わからないです  
ね。

I：うん、それは、シャッターが写真？という  
こと？

CN1：あー、なんていうか、なににのタイミ  
ングですね？

I：うーん。

CN1：これは、なんか、シャッターは、

I：うん。

CN1：なんか写真をとる時の、なんか、

I：うん。

CN1：音？

I : うーん。  
CN1 : じゃないかなと。  
I : なるほど、なるほど。わかりました。17番 (ホットプレート) は?  
CN1 : ホットプレート……。あー、これはわからないですね。  
I : でも、どんな、  
CN1 : ホット、  
I : どんな、イメージですか?ホットプレート。  
CN1 : ホットは「あつい」な感じですね。  
I : うん。  
CN1 : プレートは、わからないですね、  
I : うん。  
CN1 : プレートは、どんなもの……。うーん……。  
I : いいですよ。20番 (シーチキン) どうですか?  
CN1 : シーチキン……。これ全然わからないです。  
I : あー。  
CN1 : シーチキン?わからない。これ、全然わからない。  
I : あとで、私もう一回、あとで説明しますね。いまは、とりあえず、ちょっと見てもらおうかな。22番 (ドクターストップ) どうですか?  
CN1 : ドクターストップ……。これが、なんか、  
I : うん。  
CN1 : 「ドクター」がわかるので、なんか、医者、  
I : うん。  
CN1 : なんか、止められる、「ストップ」は英語の stop。

I : うん、そうですね。  
CN1 : はい。  
I : 24番 (クールビス) どうですか?  
CN1 : クールビス……。うーん、これがわからないです。  
I : うーん。  
CN1 : クールビス……。  
I : イメージはなんかありますか?  
CN1 : 「クール」は cool かな?c、o、o、l の、  
I : うん。  
CN1 : クールビス。  
I : なんの、うん、意味は、「クール」の。  
CN1 : 「クール」なら冷たい。  
I : うーん。  
CN1 : 寒い。  
I : うん。そんなイメージ?  
CN1 : そうですね。  
I : 「ビス」は?  
CN1 : えっ、これがわからないですね。  
I : うーん。  
CN1 : 「ビス」が。  
I : 26番 (トレーナー) どうですか?  
CN1 : トレー、これが、英語の trainer。  
I : うん。  
CN1 : 「訓練する」の、なんか、教員みたいな?  
I : あー。なるほど、なるほど。29番 (ユニットバス)。  
CN1 : ユニットバス……。えーっとね、「ユニット」は、  
I : うん。  
CN1 : 「特別な」?  
I : うん。  
CN1 : それともなんか、「セット」の感じな、

I : うん。  
CN1 : 何かのコースみたいな、なんかバス?  
I : 「バス」はなんですか?  
CN1 : 「バス」は、えっと、毎日乗るの、  
I : あー。  
CN1 : 昭和バス。[笑い]  
I : じゃあ、「ユニットバス」だったら、どんな。  
CN1 : ユニットバス、でも、なんか、「ユニット」はその、英語の単語の意味がちょっと、忘れちゃったね。  
I : うーん。34番(ジャストミート) どうですか?  
CN1 : ジャストミート。[笑い]  
I : うん。  
CN1 : ジャストミート……。えー。ただ見るだけ?  
I : あー、なるほど。  
CN1 : ジャストミート。  
I : 見る?それは、「見る」はどこから?  
CN1 : 「会う」!ミートは「会う」ですね。  
I : あー。  
CN1 : ミート、そうですね。  
I : じゃあ、「ただ会うだけ」?  
CN1 : [笑い]  
I : あー、なるほど、「ジャスト」が「ただ」か。  
CN1 : そうです。[笑い]  
I : あー、なるほど。35番(ライブハイス) どうですか?  
CN1 : ライブ、ハウス……。なんか、これがコンサートの、なんか、  
I : うーん。  
CN1 : その場所じゃないかな?「ライブ」だから、ライブハウス。  
I : うん。36番(タオルケット)。  
CN1 : タオル、ケット。「タオル」はなんか、「布巾」?のような、  
I : うん。  
CN1 : で、「ケット」は、「ケット」?まっ、それに関するの、なにかのものですわね。  
I : うーん。  
CN1 : うーん。「ケット」はわからないですね。  
I : うん。  
CN1 : 「ケース」ならわかる。  
I : あー、なるほど。37番は(キャッチコピー)?  
CN1 : キャッチコピー……。「キャッチボール」はわかる。  
I : あー。キャッチボールね。  
CN1 : キャッチコピーはなんですか?  
I : あー。「コピー」っていったらどんな?  
CN1 : 「コピー」は、毎日の、なんか印刷の感じ、  
I : うん。  
CN1 : コピーですね。  
I : なるほど。  
CN1 : 「キャッチコピー」はどんなコピーかわからないです。  
I : じゃあ、41番(アポ)。  
CN1 : これもなんか、1級の時、  
I : うん。  
CN1 : よくでて。  
I : あ、そうですか。  
CN1 : そうですね。なんか、例えば、約束?  
I : うん。

CN1:「会う」の、約束の感じ、  
I:もともとの英語の単語はわかります?  
CN1:えっ、わかん、わからない。わすれました。  
I:あー。これ、アポイントメントの。  
CN1:アポイントメント、そうですね。  
I:の、短縮なんですよ。アポ。  
CN1:うん。  
I:へー、1級のときよくでてました?  
CN1:はい。  
I:うーん。34番(ケアハウス)とかどうですか?  
CN1:「ケアハウス」は、これなんか、美容室に関するの、  
I:美容室?  
CN1:そうですね。  
I:美容室っていう、  
CN1:「ケア」なら、  
I:美容室って、髪の毛とかの?  
CN1:そうですね。  
I:お肌とか?  
CN1:そうですね。  
I:あー、なるほど。  
CN1:「ケア」だから。  
I:「ケア」って言ったら、イメージは、そういう、なんか、  
CN1:うん。  
I:まっ、女性かな、そしたら。  
CN1:そうですね。  
I:あー、なるほど。それ中国にもありますか?  
CN1:うん。  
I:お金をはらって、やってもらおう。  
CN1:うん。そうですね。

I:あっ、じゃあ、美容室、髪を切るだけじゃない?  
CN1:うん、じゃないですね。  
I:エステみたいな感じ?  
CN1:はい。  
I:あー、なるほど。44番(モーニングサービス)どうですか?  
CN1:モーニングサービス?これが、「朝だけのサービス」ですね?  
I:あ、「サービス」っていうと?  
CN1:えー、「安くなる」。  
I:あ、「安くなる」とかね。なるほど。じゃあ45番(クローズアップ)。  
CN1:クローズアップ…。クローズアップ…。  
「クローズ」がよくわからないけど、「アップ」は上の意味ですね。  
I:うーん。  
CN1:クローズアップ…。うーん…。  
I:46番(バックミラー)どうですか?  
CN1:「ミラー」は「間違い」の、えっ、それが「エラー」、あっ、「ミラー」は「鏡」ですね。  
I:うん。  
CN1:やっぱりなんか、英語の単語が一番重要ですね。  
I:あー、なるほど。  
CN1:[笑い]。「エラー」なら「間違い」ですね。「ミラー」なら「鏡」のこと。  
I:あー。  
CN1:「バックミラー」なら、後ろを見る、その鏡。  
I:なるほど。  
CN1:車の、後ろ見る鏡。

I: なるほど、なるほど。じゃあ、51番 (ミキサー) ですか。

CN1: ミキサー……。ミキ……。えー、わからない。

I: うん。

CN1: ミキサー……。全然わからない。

I: うん。52番 (ワンマン) ですか?

CN1: ワンマンは「一人の人」?

I: うーん。53番 (デッドヒート) は?

CN1: ……。わからないですね。

I: うん。

CN1: うーん、わからないです。

I: あー、この、どっちもわからない?

CN1: 「ヒート」……。h、e、a、t? うーん、わからないですね。

I: うん、じゃあ、54番 (クラクション)。

CN1: クラクション……。これが、なにかの趣味とか、なんか、収集する。

I: うーん。

CN1: その、コレクション。

I: うん、なるほど、なるほど。55番 (ボストンバッグ) は?

CN1: ボストンバッグ……。なににのキャバン?

I: キャバン? うん。

CN1: ボストン、ボストンはわからないです。

I: うん。

CN1: なんの種類のキャバン、みたいな感じ。

I: うん。あー、なるほど。56番 (イメチェン)。

CN1: イメージ……。これが「イメージチェンジ」の言葉から、

I: よく聞きます?

CN1: イメチェン、あ、イメージチェンジ、例えば、新しいの髪型とか、

I: うん。

CN1: なんか、気分転換の感じですね。

I: うん。なるほどね。じゃあ58番 (コストパフォーマンス)。

CN1: コスト……。コスト……。なんか、「コスト」、プラス、「パフォーマンス」。

I: うん。

CN1: コスト?

I: 「コスト」っていったら、どんな意味ですか?

CN1: えっとねー、うーん、コストは、うーん、「原料の値段」。

I: あー。

CN1: それは、「コスト」ですね。

I: あー。「パフォーマンス」は?

CN1: パフォーマンス……。あー、よくわからないです。

I: うん。じゃあ、59番 (ペアルック)。

CN1: ペア……。「ペア」は「二人」で、「ルック」は、えっと、「見かけ」?

I: 「見かけ」? うん、なるほど。

CN1: うん。

I: じゃあ、「ペアルック」はどんな意味ですか?

CN1: えー、ペアルック……。「双子」の、[笑い]

I: あー、なるほど。

CN1: 双子の意味です。

I: 双子?

CN1: はい。

I: あー、「二人」の「見かけ」だから?

CN1: [笑い]そうですね。

I: あー、なるほど。60番(ペーパードライパー) どうですか?

CN1: 「ペーパー」は「紙」。「ドライバー」は「乾燥する」の機械みたいな。

I: うん。

CN1: ペーパー、紙を乾燥する。

I: うーん、なるほどね。じゃあ、62番(ナイター)。

CN1: ナイター……。 「ナイト」は「夜」。

I: うん。

CN1: 「ナイター」は「人」。「夜の人」。[笑い]

I: 夜の人?夜の人って、どんな人ですか?

CN1: なんか、仕事かな?

I: あー。

CN1: 仕事は、よく、夜、

I: うん。なるほど、なるほど。じゃあ、63番(ラストスパート)。

CN1: ……。 「ラスト」は「最後」の、「パート」なら、えーっと、「パートナー」の意味、えー、なんか一緒に、

I: うん。

CN1: なんか、仕事をするとか。

I: うん。うんうんうん、なるほど。じゃあ、ラスト、最後の、

CN1: そうですね。

I: はーはーはー。なるほど。じゃあ、64番(バトンタッチ)。

CN1: うーん……。 「タッチ」は、

I: うん。

CN1: 「触る」ですね。

I: うん。

CN1: バトン……。 バトンはわからない。

I: うんうんうん。じゃあ、65番(リクルートスーツ)。

CN1: ……。 リクルートスーツ……。 リクルート、スーツ。えーっと、「スーツ」は面接する、着たのスーツ。リクルート……。 リクルート……。 リクルートの、

I: うん。

CN1: 英語の単語の意味、

I: わからない?

CN1: そうですね。

I: はーはーはー、なるほど。66番(トップバッター) どうですか?

CN1: ……。 トップ、バッター……。 「トップ」が「一番上」、

I: うん。

CN1: トップですね。バッター……。 「バッター」がよくわからない。

I: うんうんうん、じゃあ、67番(ハイタッチ) どうですか?

CN1: タッチ……。 ハイタッチ。「タッチ」も同じ、なんか、

I: うん。

CN1: 「触る」の感じですね。ハイタッチ。「ハイ」は「高いところ」?

I: うーん。

CN1: たぶん、高いところを触る?

I: うーん。

CN1: ハイタッチ。

I: なるほど。69番(エンスト) どうですか?

CN1: エンスト……。 これがわからない。

I: うーん。じゃあ、72番(シェイプアップ)。

CN1: シェイプアップ……。 シェイプ、「シェイプ」はわからない。

I : うん。  
CN1 : 「アップ」はレベルアップとか、  
I : うん。  
CN1 : なんか、上への、  
I : うん。  
CN1 : その、意味かな。  
I : うんうんうん。えー、73番 (ゲームセット)。  
CN1 : ゲームセットは……。うーん……。  
「ゲーム」は、おー、始め、もう一回始める。  
I : うん。  
CN1 : セットとか、ゲームセット。  
I : えっ、「ゲームセット」の意味は、「もう一回始める」？  
CN1 : ……。そうですね。  
I : うーん。それはどうして？  
CN1 : でも、「セット」は「準備する」の意味をありますか？  
I : あー。えっ、「ゲーム」はどんな意味ですか？  
CN1 : 「ゲーム」は、えっ、普通の、遊びのゲーム。  
I : うーん。で、「セット」は？準備？  
CN1 : うん、そうですね。  
I : じゃあ、「ゲームセット」だったら？どんな意味だと思います？  
CN1 : たぶんなんか、ゲームし始めた時に、  
I : うん。  
CN1 : いろいろなんか、  
I : うん。  
CN1 : 準備する、ですよ。  
I : あー。  
CN1 : その、始めたときは、

I : うん。  
CN1 : ゲームセット。  
I : うーん。なるほど。じゃあ、最後、この3つですけど。75番 (ガッツポーズ)。  
CN1 : 「ガッツ」はたぶん、勝利するときの、  
I : うん。  
CN1 : なんか、その、ポーズですね。  
I : あー。  
CN1 : 写真撮るときに、  
I : うん。  
CN1 : なんか、勝利のポーズ。  
I : それは、どこから、どうしてそう思いました？  
CN1 : えー、ガッツ、なんか、それは、なんか、ガッツといたら、  
I : うん。  
CN1 : なんか、勝利の、そのときなんか、とても嬉しいな、  
I : うん。  
CN1 : そんな、イメージがありますね。  
I : うーん。それは英語？  
CN1 : あー、じゃないですね。たぶん、なんていうか、文化かな。  
I : あ、文化？日本の？  
CN1 : えー、日本じゃない。でも、なんか、「がつつり」、たぶん、そのなんか、「がつつり」なになにするなら、  
I : うん。  
CN1 : なんか、いいことで、  
I : あー。  
CN1 : とても嬉しそうな感じ。  
I : なるほど。  
CN1 : がつつり、「がつつり食べる」とか、い

ろいろ、いっぱい食べる。

I: うん。

CN1: そんな、なんか、ポーズだから、写真撮るポーズ。たぶん、なんか、勝利すると、

I: じゃあ、ガッツは、プラス、いいイメージってこと?

CN1: はい。

I: うーん、なるほど。じゃあ、76番(ダンブカー)。

CN1: ダンプカー……。なににの車ですね?

I: うん。

CN1: ダンプ、うん……。この、英語の単語、わからない。なんか。

I: じゃあ、77番(オールバック)。

CN1: オールバック……。「オール」は a、l、l、「全部」。

I: うん。

CN1: オール、バック。「バック」なら「後ろ」?

I: うん。

CN1: 合わせて、なんの意味かわからない。

I: あー。

CN1: 全部、全部わすれました。[笑い]

I: うん、なるほどなるほど。ありがとうございます。

データ2: CN2

I: えーっと、いつ、いつやってもらったかな、6月のおわりぐらいに、

CN2: うーん。

I: 調査を願いましたんですかね。それで、私、中国語の母語の人と、韓国語の母語の人と、

CN2: うん。

I: 非漢字圏で採ったんですよ。

CN2: うん。

I: で、あの一、スポットっていう、うー、日本語のテスト覚えていますか? コンピュータでやった、音声を聞いて、

CN2: あー。

I: で、あれの点数だけみると、

CN2: うん。

I: その3グループは、

CN2: うん。

I: 変わらなかったんですよ。グループとしての点数の。

CN2: あ。私?

I: あ、みんな、同じ、同じようなレベルの人で、今回、採れたんですよ。

CN2: うーん。

I: データが。でも、カタカナのテストを見たら、

CN2: うん。

I: 中国語、母語の人がちょっと低かったんですよ。他の人よりも、

CN2: うーん。

I: ま、母語の影響なのか、なんなのかっていうのを、今ちょっと、考察しているところなんですけど、

CN2: うーん。

I: ちょっと、それで、いろいろ今日、インタビューをしたいと思ってまして、まずですね、その、カタカナ語、外来語の学習、

CN2: うん。

I: の中でも、まあ、読む、こととか、書くこととか、聞くこと話すことあるじゃないですか?

CN2: うーん。



I: その中でなんか、とくに難しいとか、思う、  
点はありますか?

CN2: ##。

I: まあ、ま、なんか一般的にでもいいですよ。

CN2: 一般的?

I: うん。

CN2: どっちも難しいような、気がします。

I: どっちもってというのは? 話すのも?

CN2: 話すのも、そう。

I: 書くのも?

CN2: 書くのも。

I: 読むのはどうですか?

CN2: 読むの・・・、読めるけど、でも、すぐ  
に意味を、

I: あー。

CN2: し、知らない感じ。

I: あー、なるほど。聞くときはどうですか?  
とも、なんか日本人のひと、話してて、

CN2: うーん。

I: よく日本人の人は外来語使います?

CN2: そう。使います。

I: あ、使いますか?

CN2: うーん。

I: 例えば、どこで使います?

CN2: コンビニで、

I: あー。

CN2: なんか、ものを探すときは、

I: はい。

CN2: いろいろ外来語を使った気がします。

I: あー。なるほど。そう、そういうとき、わ  
か、わからない、くて困ったこととかありま  
すか?

CN2: でも、なんか、ほかの文だったら、

I: はい。

CN2: たぶん、理解できます。すぐに、その単  
語を言ったら、わからないですね。

I: あー、なるほど。ま、文脈があれば、

CN2: そうですね。

I: わかるみたいなの。

CN2: 会話の中で、なんか理解できます。

I: じゃあ、例えば読むのはどうですか? なん  
か、日本でなにかを読むときに、

CN2: うん。

I: えー、外来語が出てきて、

CN2: あー。

I: よくわかんないなあっていうのはありま  
す?

CN2: あります。

I: 例えば、ど、どんなもの読んでときとか、

CN2: どんなもの、新聞、

I: あー。

CN2: 記事の中に、

I: あー。

CN2: その外来語、あんまり、わからないです。

I: 確かに、ま、新聞とかの、外来語は日本人  
もわからないっていいからね。

CN2: あ、本当ですか?

I: うーん。特に、年齢が上の人は、

CN2: うーん。

I: わからないもの使ってるみたいですからね  
ー。あー、テレビとか見ます? 日本のテレビと  
か?

CN2: うーん、見ます。

I: 結構出てきますよね?

CN2: そう。

I: あれわかります?

CN2：でも、ドラマの中では、  
 I：はい。  
 CN2：そんなに難しくないと思いますけど。  
 I：あーあーあー。それは、なんでドラマの中  
 では難しくないですか？  
 CN2：この間見たのは、なんだっけ……。な  
 んか、特別捜査。  
 I：うん。  
 CN2：の、  
 I：うん。  
 CN2：ものとか。昼顔？  
 I：はい、はい。  
 CN2：今、それを見てる、です。それは、  
 I：あんまり出てこないかな？外来語。  
 CN2：うん。  
 I：あー。  
 CN2：ないですね。  
 I：なるほど。##、  
 CN2：でも、うん、番組、なんかインタビュー  
 みたいな、  
 I：あー。  
 CN2：お互いに、  
 I：はい。  
 CN2：なんか、お笑い番組？  
 I：うん。  
 CN2：の会話は難しいです。  
 I：あー、そうですか。それは、やっぱり外来  
 語？  
 CN2：うーん。  
 I：出てきます？うーん。例えば、ま、読んで  
 てですね、  
 CN2：うん。  
 I：わからない外来語が出てきますよね、  
 CN2：うん。  
 I：そのとき、まあ、意味をわかろうとするわ  
 けじゃないですか？  
 CN2：うん。  
 I：そのときにどうやって考えますか？  
 CN2：まずは英語、に、  
 I：うーん。  
 CN2：もし、英語に書けば、  
 I：うん。  
 CN2：その、音に、  
 I：うん。  
 CN2：発音によれば、  
 I：うん。  
 CN2：英語が書けば、  
 I：うん。  
 CN2：意味はわかるような気がします。  
 I：うーん、なるほど。じゃあ、まず英語を考  
 えて？  
 CN2：うーん。  
 I：で、英語がなかったときは？  
 CN2：なかったときは、前後を見て、  
 I：あー、前後を見て、  
 CN2：うん。  
 I：あーあーあーあー、なるほど、なるほど。  
 あー、わかりました。その一、中国で、大学  
 で日本語が専攻だったんですかね？  
 CN2：そうですね。  
 I：その一、クラスで、こう、外来語に関して、  
 特別になんか、授業があったとかは、ない？  
 CN2：ないですね。  
 I：うん、日本語能力試験とかの、  
 CN2：その中にもあんまり、  
 I：あんまりないかな。

CN2：ないかな、外来語。

I：そうですね。

CN2：うーん。

I：確かに、それは少ないんですよ。

CN2：うーん。

I：あーはーはーはーは、なるほど。うーん。  
なんかじゃあ、新しい外来語を、まあ、聞いて、で、意味も聞いて、覚えなさいといけないとき、

CN2：うーん。

I：なんかどうやって覚えるとか、ありますか？  
覚える方法。

CN2：覚える方法……。新しい外来語？

I：うん。ま、例えば、漢字とかだったら、そんなにおぼえ、覚えるっていう意識はありますか？漢字語、な、日本、漢字って、やっぱり見てわかるんですよ？意味が。

CN2：うーん。

I：そのときにこう、意識的にはおぼえない？

CN2：おぼえないですね。

I：じゃあ、例えば、漢語じゃなくて、

CN2：うん。

I：まあ、和語、あ、とか、日本の漢字？

CN2：うん。

I：とか、カタカナっていうのは、中国語にはないものですよ。

CN2：うーん。

I：それを、こう覚えるときとか、もう、暗記？

CN2：暗記。

I：うーん、そうですね。あー、まあ、あと外来語なんかは、

CN2：うん。

I：よく聞くものじゃないし、

CN2：そう。

I：時々聞く、あれですもんね。うーん。わかりました。えっとー、ちょっとですね、この赤と、

CN2：うん。

I：青い丸がついてるものをもう一回見てもらって、これはあの受けてもらったテストなんですよ。

CN2：あ、はい。

I：もう1回、ま、今回文脈がないものですけど、

CN2：うーん。

I：文脈がないものの単語を見て、どういう意味か、で、どうしてそういう意味だと思ったのかを、もう一度教えてもらえますか？

CN2：……。スキンシップ……。なんだっけ……。パック。

I：パック？

CN2：みたいな。

I：パックってどんなやつですか？

CN2：これ、顔のマッサージとかを、

I：あー、パック？

CN2：うん。

I：なんか、のせるやつ？

CN2：うん。

I：それは、ど、どこから？

CN2：「スキン」は、

I：うん。

CN2：皮膚、ですね？

I：うん、うん。

CN2：スキンシップ、でも、なんか、他の意味だと覚えてる。

I：うん。

CN2 : スキンシップ、～ (なにになに) の関係?  
I : なんでもいいですよ、思ったこと、なんで  
その関係っていうのはどこから?  
CN2 : シップ。  
I : あー。  
CN2 : うーん。  
I : うーん、じゃあ、スキンとシップを合わせ  
たら、どんな意味かっていうのは、  
CN2 : うん、スキンシップ、連携関係?  
I : 連携関係?  
CN2 : うーん。  
I : うーん。連携っていうのは、どういうこと  
ですか?  
CN2 : 連携、つながる。  
I : うーん。どういったつながりですか?  
CN2 : どういった?[笑い]  
I : [笑い]と、友達?  
CN2 : 企業の間?  
I : あー、そういう、はーはーはー。  
CN2 : うーん。  
I : わかりました。じゃあ、  
CN2 : ##。  
I : わかんないのはいいですよ、  
CN2 : うん。  
I : あとでまた説明しますから、と、3番 (デ  
イサービス) どうですか?  
CN2 : 3番は、この間見たよ。  
I : うん。  
CN2 : なんか、老人介護、  
I : あー。  
CN2 : 施設で、  
I : はい。  
CN2 : デイサービスは、なんか、めん、

I : うん。  
CN2 : お年寄りの面倒を見るときの、  
I : うん。  
CN2 : 1日の、  
I : そうですね。あ、やっぱ、どこでみたんで  
すか?老人介護施設?  
CN2 : この間違の新聞で、  
I : あー、新聞に載ってました?  
CN2 : うん。  
I : うーん。じゃあ、7番 (アクセル) どうで  
すか?  
CN2 : アクセル?  
I : うん。  
CN2 : ……。  
I : もう、わかんない?  
CN2 : これー、は、excel ですか?  
I : いや、私は何も言えないけど、  
CN2 : [笑い]言えないんですか。  
I : 思ったことは全部、言ってもらったら、  
CN2 : アクセル、アクセル……。  
I : うん、まちがっ、  
CN2 : なんか、word と同じような、  
I : あーあー、それは、  
CN2 : 種類で、excel です。  
I : それは、音か、やっぱり音?  
CN2 : うん。  
I : 音。あ、いいですよ。じゃあ、8番 (ジョ  
ッキ) 行きましょう。  
CN2 : 8番。ジョッキ……。  
I : 全く?  
CN2 : 「冗談」?  
I : うーん、それはどうしてですか?  
CN2 : joke。

I: あーあー、なるほど。オッケーです。じゃあ11番(コネ) どうですか。  
CN2: コネ。コネ・・・。  
I: もう、全くわかんないのは、わかんないでいいですよ。  
CN2: 重要な、  
I: うん。  
CN2: ポイントみたいな、意味。  
I: うーん。それはどうしてですか?  
CN2: わからないです。どうして、コネ。  
I: うん、うん。じゃあ12番(チャック) どうですか?  
CN2: チャック・・・。チャックはその、チェーン。  
I: うーん。  
CN2: のやつ。  
I: それは、知ってました?  
CN2: でも、確信はないです。  
I: 確信はない?  
CN2: はい、  
I: 聞きます?よく。  
CN2: チャック・・・。  
I: うーん、じゃあ13番(ファミレス) どうですか?  
CN2: ファミレス、と、  
I: うん。  
CN2: 家族料理の店。  
I: 「家族料理」ってどんな意味ですか?  
CN2: あ、「家庭料理」。  
I: 家庭料理?それは、家庭料理、どんなお店。日本でいうと、どん、どこですか?  
CN2: 「やよい軒」とか?  
I: あー、なるほど。  
CN2: 「ジョイフル」とか?  
I: あー。  
CN2: ファミリー、ファミリーレストランの、  
I: うん。  
CN2: 意味です。  
I: は、家庭りよ、家庭の、家庭料理がでてる?  
CN2: うん。  
I: うーん、なるほど。じゃあ、  
CN2: リフォームは、  
I: うん。  
CN2: 部屋の再、  
I: うん。  
CN2: 再構築?  
I: うーん。  
CN2: 修理、みたいなやつ。  
I: なるほど。じゃあ、15番(シャッターチャンス)。  
CN2: シャッタ、チャンス。シャッター、あー。カメラを、  
I: うん。  
CN2: 写真を撮った時の、シャッターを  
I: うん。  
CN2: 押した、その一瞬、  
I: うーん。なるほど。じゃあ、17番(ホットプレート)。  
CN2: ホット、プレート。ホットプレート。わからないです。  
I: なんか、想像できます?  
CN2: ホットプレート・・・。ケーキ?  
I: ケーキ?それはどこから?  
CN2: ホットプレート?プレートはなんだっけ、プレート・・・。わからないです。

I: それは、まず英語を探すんですか?やっぱり。

CN2: うーん。

I: うーん。じゃ20番(シーチキン) どうですか?

CN2: 20番、あ、食べ物の、

I: うん。

CN2: おにぎりの中に入れる、お魚?

I: うーん。どこでみます?ま、おにぎりだから、コンビニとかかな?

CN2: そう、シーチキン。

I: あー。

CN2: あります。

I: じゃあ、22番(ドクターストップ)はどうですか?

CN2: 20、22番、ドクターストップ・・・。ドクターストップ・・・。

I: 思ったことなんでも言っていますよ。

CN2: ドクターストップ。

I: うん。

CN2: えー・・・。あー、お医者さんが、

I: うん。

CN2: なんか・・・、くれた、意見。

I: うーん、意見。

CN2: なんか、なにか、うーん、年寄りの人に、

I: うん。

CN2: なんか、ダイエットしたい人に、～(なになに)を少なめに食べる。

I: うーん。それは、

CN2: それは、禁止、stop。

I: あー、なるほどね。

CN2: うん。

I: わかりました。24番(クールビズ)。

CN2: やー、クールビズ。冷凍の、

I: うん。

CN2: に、関する職。

I: 職っていうのは、仕事?

CN2: 仕事。

I: それは、

CN2: ビジネス。

I: あー、なるほど。

CN2: クールビジネス。

I: なるほど。26番(トレーナー)。

CN2: トレーナー?トレーナーよく見ますね。

I: うん。

CN2: トレーナー・・・。なんだっけ。トレーナー・・・。コーチ?

I: コーチ?

CN2: という意味。

I: あー。

CN2: trainer?

I: あー、なるほど。

CN2: 練習、訓練。

I: なるほど。じゃあ29番(ユニットバス)。

CN2: ユニットバス、ミニバス?あ、専用の、

I: うん。

CN2: 特殊な人に、

I: うん。

CN2: 用意した、

I: うん。

CN2: 特別のバス?

I: その一、じゃあ、「特別な」っていうのは、この、「ユニット」ですか?

CN2: うーん。

I: うーん。なるほど。

CN2: ユニットバス。

I : わかりました。34 (ジャストミート)。  
CN2 : 34。ジャストミート。ちょうど、いい。  
I : うん。それはどうして、そう思うんですか?  
CN2 : just meet。  
I : ちょうどいい?  
CN2 : うん。  
I : ちょうどいい、  
CN2 : とき。  
I : うーん。  
CN2 : いい、出会い?  
I : いい出会い?  
CN2 : うーん。ちょうどいい、出会い。  
I : ちょうどいい出会い?  
CN2 : うーん。  
I : あー。  
CN2 : just meet。ちょうど、会った。  
I : あー、なるほど。  
CN2 : 気がします。  
I : じゃあ、35番 (ライブハウス)。  
CN2 : ライブ、ハウス。生演奏。  
I : 生演奏。それは、  
CN2 : 音楽隊の、  
I : ど、どこから?  
CN2 : 「ライブハウス」 [笑い]  
I : うーん、じゃあ36番 (タオルケット)。  
CN2 : 36番、タオルケット、タオルケット・・・。  
もうたん、  
I : ん?  
CN2 : 膝とか、  
I : うん。  
CN2 : 寝るときに、  
I : うん。  
CN2 : かける、タオルみたいな、

I : うん。  
CN2 : 長いやつ。  
I : それは、どうしてそう思いますか?  
CN2 : towel、ket。  
I : うーん、さ、37番 (キャッチコピー)  
CN2 : キャッチコピー・・・。キャッチコピー・・・。  
キャッチ、キャッチコピー・・・。これ、  
I : うん。  
CN2 : わからないです。  
I : なんかこう、半分にして、とかどう、  
CN2 : うーん、でも、これは catch・・・。  
I : それぞれの意味はわかりますか?  
CN2 : でも、catch はどの意味だか、一緒にすれば、  
I : あー。うん、いいですよ。30、41番 (アポ)。  
CN2 : [笑い]先生との予定。  
I : うん。よく使います?  
CN2 : 相談するとき、そうですね。そのあと気づいた、  
I : あー。  
CN2 : appointment。  
I : 43番 (ケアハウス)。  
CN2 : ケアハウス。ケアハウス・・・。介護の、  
I : うん。  
CN2 : 施設。  
I : うーん。それは、どうしてそう思いますか?  
CN2 : care house。  
I : うーん。  
CN2 : care。  
I : 「ケア」が介護?  
CN2 : うん。  
I : じゃあ、44番 (モーニングサービス)。

CN2 : モーニングサービス、朝の、  
I : うん。  
CN2 : 朝食提供するとき、  
I : うーん。例えばどこですか？  
CN2 : レストラン？  
I : うーん。なるほど。それっ、それは、どうしてそう思うんですか？  
CN2 : モーニングサービス提供してくれる、  
I : うーん。  
CN2 : なにか。  
I : じゃあ 4 5 番 (クローズアップ)。  
CN2 : クローズアップ……。これ、スクリーンを、  
I : うん。  
CN2 : なんか、閉めるやつ。  
I : スクリーンを閉める？  
CN2 : 閉めるとき、なんか  
I : うん。  
CN2 : これを放映するとき、  
I : うん。  
CN2 : スクリーン、クローズアップ……。  
I : あー。スクリーン？  
CN2 : じゃないですね。  
I : そうはどうして、そ、そういうふうに思ったんですか？  
CN2 : クローズアップ、クローズアップ、「クローズ」は「閉める」ですね、  
I : うん。  
CN2 : 「アップ」は「上がる」？  
I : うーん。  
CN2 : クローズアップ……。クローズアップは、英語は、  
I : うん。

CN2 : 時間通りに、するの意味、時間通り。時間げん、厳守?クローズアップ。  
I : うん、ま、いいですよ。4 6 番 (バックミラー)。  
CN2 : えー、バックミラー……。車の、  
I : うん。  
CN2 : 鏡、前に、車の前に、置く鏡。  
I : うん、前、前っていうと、  
CN2 : 方向を見る。  
I : あっ、横を見るやつ？  
CN2 : そうですね。  
I : あー、なるほど。それは、どう、どうして？  
CN2 : mirror、back mirror、後ろを見る。  
I : うーん、なるほど。それでは、よん、ごー、5 1 番 (ミキサー)。  
CN2 : ミキサー、ミキサー。これ、家にあります。  
I : あ、ありますか？  
CN2 : うん。の、果物とかを、  
I : うん。  
CN2 : ま、まき、ぜる。  
I : まぜるやつ？  
CN2 : まぜるやつ。  
I : うん。じゃあ、5 2 番 (ワンマン)。  
CN2 : ワンマン……。ワン、マン……。～(なにになに)、一人の、  
I : うん。どういうところで使うとか、  
CN2 : ワンマン……。これ、使ったことない。  
I : うん。  
CN2 : 見たこともない。  
I : じゃあ、5 3 番 (デッドヒート)。  
CN2 : デード、ヒート……。デッドヒート。これも、わからないです。



I: うん、うん。じゃあ56番(クラクション)。  
 CN2: クラクション……。発明?  
 I: 発明。それはどうして、そう思うんですか?  
 CN2: クラクションは、なんか、創造、  
 I: うん。  
 CN2: 新しいやつを、  
 I: うん。  
 CN2: 作る、だす。  
 I: 英語で、  
 CN2: うーん。  
 I: 英語で、英語はなんですか?  
 CN2: クラクション。  
 I: クラクション?  
 CN2: クラクションか、コレクションか。  
 I: コレクションか?じゃあ、55番(ボストンバッグ)。  
 CN2: ボストンバッグ……。ボストンバック、ボストン、ボストンバッグ、これ……。上、下から、  
 I: うん。  
 CN2: 上に、  
 I: うん。  
 CN2: 「上がる」の、  
 I: うん。それはどうしてそう思うんですか?  
 CN2: ボストン、あ、違います。bottom up。ボストンバッグ、ボストンバッグ、これわからないです。  
 I: うん、じゃあ56番(イメチェン)。  
 CN2: イメチェン……。これもわからないです。  
 I: うん。じゃあ59、あ、58番(コストパフォーマンス)。  
 CN2: 58、コストパフォーマンス、パフォーマンス、コストパフォーマンス、商品の、  
 I: うん。  
 CN2: パフォーマンス、上がる、底、コスト上がるために、  
 I: うん。  
 CN2: 行う、～(なにになに)の、う、  
 I: 低コスト、低コスト?  
 CN2: コストパフォーマンス……。ものを売るために、  
 I: うん。  
 CN2: よく、売れるように、  
 I: うん。  
 CN2: 行う。  
 I: うん。  
 CN2: 活動みたいなやつ。  
 I: うーん、なるほど。それは、パフォーマンスが?活動?  
 CN2: パフォーマンス。  
 I: あー。59(ペアルック)はどうですか?  
 CN2: 59は、ペアルック。ペアルック……。ペアルック……。わからないです。  
 I: うん。60番(ペーパードライバー)。  
 CN2: ペーパードライバー、これもよく、  
 I: うん、オッケーですよ。  
 CN2: わかりません。  
 I: うん。  
 CN2: paper driver……。  
 I: 大丈夫です。じゃあ、61番。  
 CN2: ナイター。  
 I: あ、62番でしたね。すみません。  
 CN2: ナイター……。わからないです。  
 I: うん、じゃあ、63(ラストスパート)。  
 CN2: 63。

I : うん。  
CN2 : ラスト、スパート、ラストスパート・・・。  
最後のなに、ですか？  
I : 最後のなにか？  
CN2 : スパート、うーん。  
I : オッキー、じゃあ、6 4 番 (バトンタッチ)。  
CN2 : バトンタッチ・・・。バトンタッチ・・・、  
わかりません。  
I : うん、6 5 番 (リクルートスーツ)。  
CN2 : ……。リクルートスーツ、これ、軽装？  
I : 軽装？  
CN2 : うん。  
I : 軽装って、例えば、どんな服装？フォーマル？  
CN2 : あついとき、  
I : あ、軽い服装？それは、どこからわかるんですか？  
CN2 : あー、これは、recruit、これは、再利用のスーツ、  
I : うーん。  
CN2 : の意味です。  
I : 「リクルート」が「再利用」？  
CN2 : うーん。  
I : じゃあ6 6 番。  
CN2 : あ、リクルート、じゃないですね。  
I : あ、いいですよ。変えても。  
CN2 : リサイ、recycle は、  
I : うん。  
CN2 : 「再利用」で、リクルートは、たん、軽装。  
I : うーん。  
CN2 : あつい時は、  
I : うん。  
CN2 : なんか。  
I : じゃあ、6 6 番 (トップバッター)。  
CN2 : 6 6 番、トップバッター。トップバッター、バッター、バッター、わかりません。  
ハイタッチ。  
I : うん。6 7 番 (ハイタッチ)。  
CN2 : ハイタッチ・・・。ハイタッチ、高い水準に、  
I : うん。  
CN2 : 達する。  
I : うーん。それはどうしてですか？  
CN2 : high、「高い」、  
I : うん。  
CN2 : touch、「到達する」。  
I : うーん、じゃあ6 9 番 (エンスト)。  
CN2 : エンスト、エンスト・・・。これはなんの、縮約・・・。  
I : うーん。  
CN2 : エンスト、エンスト、わかりません。  
I : じゃあ、7 2 番 (シェイプアップ)。  
CN2 : シェイプアップ、shape up・・・。わかりません。  
I : うん。  
CN2 : ゲームセット・・・。これもわかりません。  
I : うん。半分にしてもわかんないですか？  
CN2 : 半分はわかるけ、  
I : うん。  
CN2 : でも、一緒するか、どういう意味、  
I : うん。  
CN2 : わかりません。  
I : はい、オッキーですよ。じゃあ、残り3つ。  
CN2 : ガッツ、ポーズ。ガッツポーズ・・・。

～ (なにになに) の、

I : ポーズ?

CN2 : 姿。

I : 姿?

CN2 : 形。・・・。ダンプカー・・・。ダンプ  
カー・・・。これ、みちを、

I : うん。

CN2 : 水を、なんか、きれいにするような、

I : うん。

CN2 : 車、清掃、清掃車。

I : うーん、道を?

CN2 : うーん。

I : うーん、それは、どうしてそう思いますか?

CN2 : ダンプカー・・・。なにになに、ダンプカ  
ー。うん、これはわからない。

I : うん、いいですよ。77番(オールバック)。

CN2 : オールバック、オールバック・・・。「全  
部」、

I : うん。

CN2 : オールバック・・・、「値引き」?

I : 値引き?それは、どうしてそう思いますか?

CN2 : なんか、

I : うん。

CN2 : 見たような気がします。

I : うーん。

CN2 : スーパーで、

I : うーん。

CN2 : オールバック、時間、

I : うん。

CN2 : 固定な時間に、

I : うん。

CN2 : 値引きするような。

I : うーん。わかりました。

インタビュー3 : CN3

I : いや、あの一、前テストを受けてもらいま  
したよね。

CN3 : あ、はい。

I : それで。

CN3 : はい。

I : その結果を出したんですけど、えー、まあ、  
あの一、みなさんの中国語の回答を、

CN3 : はい。

I : 日本語になおしたもの、

CN3 : はい。

I : 私が見たんですけど、

CN3 : はい。

I : 結構、面白い答えもあって、

CN3 : うーん。

I : で一、まあ、こういった理由で、こういう  
意味だと思ったのかな、とか、私の中では推  
測ができるんですけど、

CN3 : はい。

I : 実際にどういう、推測をしてるのかって  
いうのをちょっと、インタビューしたいと思っ  
ています。

CN3 : うん、はい。

I : で、まず、ちょっと聞きたいのが、その、  
今まで、

CN3 : はい。

I : 外来語の学習で、

CN3 : はい。

I : まあ、難しい点、っていうのがあると思  
うんですけど、どういった点が難しいですか?

例えば、まあ、読むとか、聞く時、

CN3 : 一つとしては、まあ、英語を、その、も

ともとの英語に似てる部分もあって、  
I：うん。  
CN3：で、違う部分もちろん、まあ、あるじゃないですか。  
I：うん、うん。  
CN3：そこが、もう、覚えづらいかな、と思います。  
I：覚えづらい?その一、日本語と、  
CN3：もともとの意味、  
I：英語の意味が違う、  
CN3：が、作り方とかも、  
I：話すときとかどうですか?話すときとか、聞くときとか、外来語難しいですか?  
CN3：難しいですね、  
I：難しい?  
CN3：あの一、ちっちゃい「ツ」とか、  
I：あ一。それは話すとき?  
CN3：濁音とか。  
I：うん。  
CN3：う一ん、自分が話すときは、まだ大丈夫ですけど、  
I：うん。  
CN3：あの、聞き、  
I：聞くとき?  
CN3：聞くときは、ちょっと、向こうが、  
I：うん。  
CN3：例えば、わからない単語、  
I：うん。  
CN3：を言われたとき、  
I：うん。  
CN3：ちょっと、  
I：大変?  
CN3：う一ん、そうですね。あの一、濁音が入

ってるかどうか、とか、  
I：うん。  
CN3：その一、ちっちゃい「ツ」とか入ってるかどうかとか、  
I：う一ん、なるほどね。  
CN3：うん。  
I：じゃあ、聞くときの、聞くときは結構難しい?  
CN3：うん。  
I：じゃあ、読むときはどうですか?  
CN3：読むときは特に、まあ、そこまで難しくないと思いますけど。  
I：読むときに、まあ、ま、日本の、教科書とかじゃなくて、  
CN3：あ一あ一あ一、もちろんあの、カタカナより、  
I：カタカナはどうですか?難しい?  
CN3：難しいです。  
I：う一ん。それは、ま、たぶん日本に来てからね、カタカナをいっぱい見る機会が、  
CN3：うん。  
I：増えたと思うんですけど、  
CN3：はい。  
I：結構それは、大変?まあ、難しいと思うことは##、  
CN3：そうですね、特に、例えばレストランとかに行ったら、  
I：あ一はい。  
CN3：カタカナばかり、  
I：はい。  
CN3：入ってるメニューを見たら、  
I：うん。  
CN3：あれは、全然読めないですね。[笑い]

I: え、その、わからない、単語があったときは、

CN3: はい。

I: どうしますか?

CN3: あー、なんか、

I: その、どうやって理解しようとする?

CN3: まずは一回、なんか、自分の中で、読んで、読んでみて、ま、ま、なんか知ってる、に、英語の単語に似てる部分あったら、

I: うん。

CN3: たぶん、これじゃない?とか、推測して、

I: うん。

CN3: まあ、それでも、わからん、だったら、

I: うん。

CN3: まあ、携帯、

I: 携帯でみる?

CN3: で調べたりとか、

I: 調べる?載ってますか?携帯、調べて。

CN3: まあ、出てくる単語もあるし、

I: うん。

CN3: でて、こない

I: こない単語もある。

CN3: やつは、ありますね、やっぱり。

I: あー。出てこないときどうします?

CN3: もうしょうがない。[笑い]

I: もうしょうがない?うーん。

CN3: 諦めます。[笑い]

I: うーん。

CN3: てか、また、絶対言われる、あの一、機会があると思って、

I: あー、なるほどね。

CN3: また、言われたときに、あっ、確かにこの単語前見た、あ、見たことあるとか、

I: うーん。

CN3: そのときわからなかったとか##、

I: 日本、日本人よく外来語使います?

CN3: いや、そうでもない。

I: そうでもない?

CN3: [笑い]

I: あ、そうなんだ、

CN3: 特に、私たちに、なんか、

I: あー。

CN3: 私たちは、がい、外国人に、日本語しゃべる時やっぱり、ちょっと、簡単な、

I: うん。

CN3: 日本語使ったりとか、

I: うん。

CN3: うーん、そういった部分で、ちょっと、

I: うん。

CN3: 難しい単語を避けるっていう、傾向もあるんじゃないです、やっぱ。

I: うーん。じゃあ、あの一、まあ、どちらかというと、どうですか?外来語学習は、CN3さんにとって、ポジティブ?ネガティブ?

CN3: それは考えたことない。

I: うーん。

CN3: うーん。んー、難しいと思うんですけど、

I: うん。

CN3: でも、やっぱりそれも、日本語のいち、あの一部分だから、

I: うん。

CN3: ポジティブ。

I: あー、そうですか。

CN3: うん。考え方で、

I: なるほど。わかりました。じゃあ、

CN3: はい。

I: ちょっと、これ、この間受けてもらったテストなんですけど、

CN3: はい。

I: ま、文脈がないものですね。

CN3: あー、はいはいはい。

I: で、この一、丸が、え一ついてるもの、

CN3: はい。

I: を、ちょっとみてほしいんですけど。

CN3: はい。

I: まずこの、スキンシップ?

CN3: はい。

I: これどういう意味だったか覚えてますか?

まあ、い、もう、忘れても、こういう意味っていうのを、言ってください。

CN3: こういう、ま、体の、

I: うん。

CN3: タッチとか、

I: うん。

CN3: 触れ合う、

I: それは、どうしてそう思うんですか?知ってた?

CN3: そうですね。

I: あー。

CN3: 前から、よくテレビに、

I: あ、テレビでよく出てました?

CN3: うーん。

I: うーん。テレビよく見ますか?

CN3: はい。

I: うーん。

CN3: 番組、バラエティ。

I: あ、バラエティね。

CN3: うーん。

I: 3番 (デイサービス) どうですか?

CN3: デイサービス、あっ、その時わからなかったんですが、これ、

I: うん。

CN3: 今は、あの一、説明してもらった通りに、

I: うん。

CN3: あの一、あじいちゃん、おばあちゃんが、

I: うん。

CN3: ま、そこに、そ、そこで泊まるじゃなくて、

I: うん。

CN3: あの一、例えば、朝行って、

I: うん。

CN3: 夜帰るみたいな、

I: うん、うん、うん、うん。

CN3: そういう感じの、

I: すごい。

CN3: 老人ホーム、みたい、

I: 覚えてますね。

CN3: [笑い]説明してもらっ、

I: じゃあ、7番 (アクセル) どうですか。

CN3: アクセル、あの一、いや、ちょっと説明してないから、あの一、車の、

I: うん。

CN3: こう、ブレーキの逆の、

I: うーん。

CN3: なんか、加速機。

I: それは、知ってました?

CN3: あ、はい。

I: うーん。どこで、聞いた、聞いたことあります?

CN3: なんか1級の単語本 (ほん) に、載ってました。

I: あー、そうです、そうです。

CN3 : あー。  
I : これ、1 級の単語に、  
CN3 : うん。  
I : あるんですよ、  
CN3 : うん。  
I : はい。8 番 (ジョーク) どうですか?  
CN3 : ジョッキ、これはコップのこと、あの一、  
ビール飲むときの、  
I : うん、ど、どうして。知ってました?  
CN3 : 居酒屋でバイトした。[笑い]  
I : 居酒屋でバイトしてました?あー。  
CN3 : バイトして、そういう、  
I : なるほどね。  
CN3 : 習いました。  
I : 1 1 番 (コネ) どうですか?  
CN3 : これは、説明してもらったけど、あの一、  
I : うん。  
CN3 : こう、あつ、ちょっと、わかるけど、ち  
よっと、説明しづらい。  
I : ま、なんか抽象的でいいですよ、ちょっと、  
##、  
CN3 : 例えば、  
I : うん。  
CN3 : あ、えーっと、お父さんの関係で、  
I : うん。  
CN3 : お父さんの会社に入る、  
I : うん、うん、うん。  
CN3 : 入る、入る、入るってこと。  
I : そうですね。まあ、  
CN3 : ま、関係を利用して、  
I : うん。  
CN3 : なんか、受験、  
I : うん。

CN3 : するってこと。  
I : コネ、コネのもともとの、これ短縮形なん  
ですけど、もともとの単語わかります?  
CN3 : わからない。[笑い]  
I : これ、こ、コネクション。  
CN3 : あ、コレクション?  
I : コネクション、コネクション。  
CN3 : あ、コネクション。  
I : つながり。  
CN3 : あーあーあー。  
I : うん、コネクション。  
CN3 : そう、あつ、そう、  
I : うん、1 2 番 (チャック) どうですか。  
CN3 : チャック……。チャック、チャック……。  
うーん、覚えてないですね。  
I : うん、どんな意味だと思います?  
CN3 : チャック……。チャック……。あ、  
全然思いつかない。  
I : あー、  
CN3 : 全然わからない。  
I : うん、いいですよ。じゃ 1 3 番 (ファミレ  
ス)。後でもう一回説明しますね。  
CN3 : あ、はい。ファミレス、ファミレス、フ  
ァミレス、いや、なんか、家族、  
I : うん。  
CN3 : の、なんとか。  
I : 家族?それはどうして?  
CN3 : ファミリーと、  
I : あー、なるほど。  
CN3 : ファミレス。え、全然覚えてない。  
I : レスは?  
CN3 : ところ?  
I : ところ?

CN3 : . . . .

I : ところ?それは、どうして「ところ」だと、  
思うんですか?

CN3 : や、なんか、英語の、

I : うん。

CN3 : 推測で、

I : ん?

CN3 : 英語の推測。

I : あー、なるほど。英語で、

CN3 : わかん、

I : ありますっけ、単語。

CN3 : なんか、なんとかレス、とか、

I : あー、はいはい。じゃ、ファミ、「ファミ  
レス」でどんな意味?も、思ったことなんでも、  
言っているですよ。

CN3 : えー、ファミ、家族のレストラン。

I : うーん。

CN3 : とか。

I : なるほど、なるほど。わかりました。

CN3 : はい。

I : じゃあ、14番 (リフォーム)。

CN3 : リフォーム、新しくする。

I : うん。それは?

CN3 : 前から知ってました。

I : うん、例えばどんなものを新しくしますか?

CN3 : マンションとか、

I : うーん。

CN3 : リフォームする。

I : そうですね、じゃあ15番 (シャッターチ  
ャンス)。

CN3 : シャッター、チャンス . . . .も、一番、  
ま、よかった瞬間?

I : よかった瞬間?

CN3 : うん。

I : それはどうして?

CN3 : こ、これ、シャッターていうのはなんか、  
カメラ、

I : うん。

CN3 : 使って、なんか、押すとき、

I : うん。

CN3 : 押す瞬間。

I : うん。

CN3 : なんか、##、もう、一番、大事なチャ  
ンス、

I : うん。

CN3 : とか、

I : うーん。

CN3 : わかんない。

I : それは、写真だけ?それとも、いろんなこ  
と?

CN3 : あ、いろんなことにも、

I : うーん。

CN3 : 使えると、

I : なるほど。えっーっと、じゃあ、17番 (ホ  
ットプレート)。

CN3 : ホットプレート、は、焼肉するときの、  
鍋。

I : 知ってました?

CN3 : あ、スーパーに行って、

I : あー。見ました?

CN3 : 見ました。

I : うーん。20番 (シーチキン) どうですか?

CN3 : シーチキン、あ、なんか食べ物のひとつ  
ですね、なんか、ま、

I : うん。

CN3 : あの一、マグロじゃないんですけど、



I : あー、そうそう。  
CN3 : なんか、それに似てる、  
I : 知ってました？  
CN3 : え、説明してもらいました。  
I : あー、覚えてますね。  
CN3 : [笑い]  
I : たぶんコンビニに、必ず、あります。  
CN3 : ある。  
I : ま、スーパーにも必ずある。じゃあ、22番 (ドクターストップ)。  
CN3 : ドクターストップ、ストップ、ドクター、ドクターストップ……。えーと、先生から、病院の先生から言われた、まあ、だめなこととか、  
I : うーん。それは、  
CN3 : ま、きん、禁止されて、  
I : 禁止されること。それはどうして？  
CN3 : まず「ドクター」は「先生」、の意味で、「ストップ」、##、「やめる」とか？  
I : うーん。  
CN3 : 禁止する。  
I : なるほど。聞いたことありますか？  
CN3 : ないです。[笑い]  
I : あ、ない？じゃあ、24番 (クールビス)。  
CN3 : クール、ビズ、あー、なんか、会社のなんか、夏の政策で、  
I : うん。  
CN3 : なんか、男性の社員さんは、  
I : うん。  
CN3 : もう、普通の長袖じゃなく、もう、あの節電のために、  
I : うん。  
CN3 : エアコン使わずに、  
I : うん。  
CN3 : もう、ちょっと、あの一、涼しい格好で、  
I : うん。  
CN3 : あの一、きて、いいよみたいな、  
I : ど、聞いたことありますか？  
CN3 : ないです。  
I : なかった？  
CN3 : 説明してもらいました。  
I : あー。覚えてるん、すごい。おぼ、記憶力いいですね。  
CN3 : [笑い]いやいやいや。  
I : 結構、前にやってもらった、  
CN3 : [笑い]  
I : 26番 (トレーナー)。  
CN3 : トレーナー。うん、あの一、訓練の人。  
I : 訓練の人？それは、英語？  
CN3 : 英語です。  
I : うん。なるほど。29番 (ユニットバス)。  
CN3 : ユニットバス。それは、あの一、ま、トイレと、  
I : うん。  
CN3 : バスルームが、  
I : うん。  
CN3 : 一緒になってる、  
I : うーん。聞いたことありますか？  
CN3 : まあ、この、説明してもらったまでは##、  
I : うーん。わかりました。じゃ34番 (ジャストミート)。  
CN3 : うーん、ジャストミート……。ちょっと、覚えてないんですけど、  
I : うん。  
CN3 : 「ジャスト」はもう、「ちょうど」、

I: うん。

CN3: っていう意味、「ミート」は「会う」ってこと?会う、

I: なんでもいいですよ、思ったこと言ってもらって。

CN3: 「ちょうど出会った」とか、その、「ちょうど出会った」とか、

I: うーん、なるほど。わかりました。35番 (ライブハウス)。

CN3: ライブハイス、ライブハウス、なんか、コンサートみたいな感じ、

I: うん。

CN3: なんか、やってる、

I: うん。

CN3: バーみたいな、

I: バーみたいなのところ?それは、どうしてですか?

CN3: いや、なんとなく、わかんない。

I: 聞いたことありますか?

CN3: なんか聞いたこと、

I: あー。

CN3: あるような気がする。

I: なるほど。

CN3: うーん。

I: じゃ、36番 (タオルケット) とかは?

CN3: さんじゅう、タオルケット。もう、あの一、布団みたいな、掛け布団、

I: うん。聞いたことありますか?

CN3: 自分のバイト先、

I: うーん。

CN3: で、よく、

I: MUJI で?

CN3: MUJI。

I: うん。売ってると思う。

CN3: [笑い]

I: じゃ、37番 (キャッチコピー)。

CN3: キャッチコピー、キャッチコピー、キャッチ、なんとか、あの、コピーする、よくわからない、キャッチ、キャッチってなんか「取る」、

I: うん。

CN3: コピー・・・、

I: うん、了解です。じゃあ、41番 (アポ)。

CN3: アポ、あ、もう、あの一、「予約」とか、あの一、「約束」##する、

I: うん。それは、どうして?

CN3: なんか、うん、テレビでよく、

I: テレビでよく聞きます?

CN3: うん、よくき、

I: これ短縮形なんですけど、

CN3: うーん。

I: もともとの単語わかります?

CN3: ん、英語の一、アポイントメント?

I: そうそう。アポイントメント。じゃあ43番 (ケアハウス)。

CN3: ケアハウス・・・、うーん、ケア、ケアハウス、もう、老人ホームみたいな、

I: 老人ホーム?それは、どこ、どこからそう思いますか?

CN3: 「ケア」とか、英語の、

I: うーん。

CN3: 「面倒みる」とか、

I: うーん、。中国にありますか?

CN3: ケアハウス?

I: うん。

CN3: あ、老人ホーム?

I: いや、ま、こういうやつ、  
CN3: ケアハウス、たぶん、  
I: ある?  
CN3: あると思います。  
I: じゃ44番 (モーニングサービス)。  
CN3: モーニングサービス、例えばホテルで、  
I: うん。  
CN3: あのー、朝何時に、  
I: うん。  
CN3: 起こしてくださいとか、そういうサービス。  
I: それは、どうしてそう思うんですか?  
CN3: モーニング、  
I: うん。  
CN3: モーニングとサービス、  
I: サービス?  
CN3: サービス。  
I: 中国語で、こういうことばありますか?  
CN3: あ、まあ、こういう、まあ、そうですね、ありますね。  
I: え、も、もう、こういう意味?  
CN3: うん。  
I: なん、  
CN3: 朝、プラス、サービス、  
I: 朝プラスサービスで、それは、ホテルの、  
CN3: うん。  
I: 中のサービス?ってこと?  
CN3: そう、  
I: へー、ホテル以外では考えられない?  
CN3: 聞いたことない、ホテル以外の。  
I: あーそうですか。じゃ45番。クローズアップ。  
CN3: クローズアップ、うーん、クローズアッ

プ、わかんない、クローズアップ・・・、「閉める」っていう、  
I: 「閉める」?それはどうして?  
CN3: クローズ。  
I: うーん。  
CN3: クローズ・・・、「閉店する」、  
I: ん?  
CN3: 「閉店する」、  
I: 「閉店する」、なるほど。じゃ46番 (バックミラー)。  
CN3: バックミラー、もう、あのー、車の、  
I: うん。  
CN3: こう、後ろの、車見えるように、こんな、  
I: うん。聞いたことあります?  
CN3: 聞いたことないけど、  
I: うん。  
CN3: これ見たらそういう意味かなって、  
I: あ、本当。なるほど。さあ、どんどん行きましょう。51番 (ミキサー)。  
CN3: ミキサー、あー、それはあのー、うちの商品、  
I: あ、あります?  
CN3: あります、うーん。  
I: へー。  
CN3: くだもの、  
I: うん。  
CN3: なんか、こう、そういうなんか、説明、  
I: くだもの?  
CN3: くだものを、  
I: こう、ね?  
CN3: なんか、混ぜるために?とか、  
I: そうそうそう、ブレンド、こう、切ったり、混ぜたりとか、

CN3 : うん。  
I : するやつですね。じゃあ5 2番(ワンマン)。  
CN3 : ワンマン・・・、ま、リーダ、リーダー  
みたいな、  
I : リーダーみたいな?  
CN3 : はい。  
I : どうして?  
CN3 : まあ、この一、例えば、この会社のゆう、  
唯一の人、  
I : 人みたいな?  
CN3 : うん、リーダー、  
I : それは、「ワン」が「唯一」か、  
CN3 : うーん。  
I : なるほど、じゃ5 3番(デッドヒート)。  
CN3 : デードヒート、デードヒート、わかん、  
デッ、デッ、ヒート、デードヒート、##、  
I : ん?わかんない?  
CN3 : わかんない。  
I : うん。じゃあ、5 4番。  
CN3 : くらっ、うん、  
I : あ、なんかありますか?  
CN3 : 全然思いつかない。  
I : じゃ5 4番(クラクション)。  
CN3 : クラク、クラクション。車のあの、ビー  
ビービービー、  
I : うん、知ってました?  
CN3 : や、最近映画みて、  
I : はい。  
CN3 : たぶん前、これやったときまだ知らんや  
ったけど、  
I : あー。そ、映画で、  
CN3 : そ、最近なんか映画で見たら、  
I : そういえば、みたいな?  
CN3 : そういえば、  
I : [笑い]  
CN3 : こういう意味じゃないですか、みたい、  
I : あー、なるほど。すごい、敏感ですね。  
CN3 : いや。[笑い]  
I : 結構そういうの、別に、ねー、覚えなくて  
もいいや、って人いるけど、  
CN3 : いやいや。[笑い]覚えたほうがいいと思  
う。  
I : [笑い]じゃ5 5番(ボストンバッグ)。  
CN3 : ボストンバッグ。もう、あの一、円筒、  
I : うん。  
CN3 : みたいの形の、  
I : そうですよ。知ってました?  
CN3 : まあ、なんか最近、会社で、  
I : 会社で?  
CN3 : 会社で、  
I : 今のアルバイト先で?  
CN3 : アルバイト先でなんか、  
I : あー。  
CN3 : 言われて、  
I : なるほど、なるほどね。じゃあ5 6番(イ  
メチェン)。  
CN3 : イメチェン。って、もう、自分の格好と  
か、イメージ変えること。  
I : うーん。聞いたところありますか?  
CN3 : はい。これよく聞きます。  
I : よく聞きますか?じゃあ5 8番(コストパ  
フォーマンス)。  
CN3 : コスト、パフォーマンス、コストパフ  
ォーマンス・・・、お金を、あの一、節約して、  
I : うん。  
CN3 : そういう、あの一・・・、そ、こういう、

こう、まあ、せつ、  
I：節約すること？  
CN3：せつ、え、節約によって、認められたりとか、  
I：うーん。例えば?どうしてそれは、そういう意味ですか？  
CN3：なんか、ぼ、まあ、パフォーマンス。  
I：パフォーマンスが?そういう、  
CN3：その表現、  
I：表現。「コスト」は？  
CN3：「コスト」はもう、あの一、英語のあのコスト、  
I：英語のコスト?いいですよ、じゃあ、59番（ペアルック）。  
CN3：ペアルック、あの一、恋人が同じ服を、着る、  
I：うん。聞いたことありますか？  
CN3：あ、はい。  
I：うん。よく、どこ、どこで聞きます？  
CN3：どこ？  
I：まあ、そんな、難しいか、それ、わかんないですよ、  
CN3：[笑い]  
I：じゃ60番（ペーパードライバー）。  
CN3：ペーパードライバー・・・、あ、なんか地図を使って、  
I：うん。  
CN3：あの一、本当は行けないけど、まあその、あ、違う、それは違う、あの一、運転免許持っているけど、でも本当は、ま、車を实际運転したことなくて、  
I：うん。  
CN3：そういう人。

I：どうして？  
CN3：説明してもらいました。  
I：あーあーあー。  
CN3：[笑い]わからない。  
I：よく覚えてる。[笑い]  
CN3：[笑い]  
I：じゃ62番（ナイター）。  
CN3：ナイター。##って、「夜」っていう意味、「夜」、  
I：夜?それはどうして？  
CN3：ナイ、ナイト、  
I：ナイト？  
CN3：あ、ナイト。  
I：じゃあ、  
CN3：ラストスパート、  
I：じゃ、聞いたことありますか、これ（ナイター）。  
CN3：これ？  
I：うん。  
CN3：あ一、なんか、聞いたことあるような、  
I：あるような。じゃあ、69番。あ、63番（ラストスパート）。  
CN3：ラストスパート・・・、うーん、もう、最後の、あの一、努力、  
I：努力？  
CN3：うん。  
I：それはどうして？  
CN3：前から知ってました。  
I：前から知ってた？  
CN3：あ、はい。  
I：使います？  
CN3：、あ、自分から、  
I：あ一。

CN3 : 使ったことないです。

I : じゃあ、64番 (バトンタッチ)。

CN3 : バトン、バトンタッチ、ま、そういうことですか、

I : ん?

CN3 : 男性と男性のなんか、手合わせ、

I : 男性?

CN3 : うん、なんか例えば、

I : うん。

CN3 : なんとか、野球の試合、

I : うん。

CN3 : 終わったとか、

I : それはどうしてそう思うんですか?

CN3 : なんか、「タッチ」が、

I : うん。

CN3 : 入ってて、「バトン」はなんか、なんとか、そういう英語の意、意味、ちょっと推測 ##、

I : どうして、男だけ?

CN3 : や、女の子あんまりこういう、しない、

I : あー、しない?

CN3 : [笑い]

I : なるほど。じゃあ60、それは中国で?

CN3 : うん。

I : 中国でこういうことしない、女の子?

CN3 : うん。

I : うーん。

CN3 : こういうの、あんまりしない。

I : じゃ65番 (リクルートスーツ)。

CN3 : リクルートスーツ、ま、就職用の服装ですか?

I : それは、どうしてですか?

CN3 : リクルート・・・、これ、あの一英語の

意味ちょっと覚えてないんですけど、

I : うん。

CN3 : スーツはもう、

I : うん。

CN3 : その、なんか、正式的は場面、

I : うん。

CN3 : に使うもの、と思って、

I : よく聞きますか?

CN3 : リクルートスーツは聞いたことない。

I : うーん。オッケー、じゃあ、66番 (トップバッター)。

CN3 : トップバッター・・・、野球、のときなんか、

I : うん。

CN3 : なんか、打つ人?

I : 打つ人?それは、どこから?

CN3 : なんか、私も、あまり野球の試合見ないんですけど、

I : うん。

CN3 : なんかよく、使わ、彼氏はよく見てて、

I : うん。

CN3 : なんかその、確かにそういう、キャッチャーとか、

I : うん。

CN3 : ゆ、言う、自信ないですけど。

I : うーん。なるほどね。

CN3 : だいたいそういう、

I : じゃ、69番。あ、67番 (ハイタッチ)。

CN3 : ハイタッチ、あっ、これが、

I : うん。

CN3 : これかな?ハイタッチが、これ、

I : うーん。

CN3 : さっきの24番、

I:なるほどね。じゃあ、69番(エンスト)。  
CN3:エンスト、  
I:じゃあ、バトンタッチはわからない?  
CN3:バツ、わからない。  
I:うん。じゃ69番(エンスト)。  
CN3:エンスト、エンスト、わかんないです。  
I:うん。じゃ72番(シェイプアップ)。  
CN3:シェーブ、シェイプアップ、シェイプアップ、シェイプ、シェイプアップ・・・、シェイプアップ、わかんない。  
I:うん。  
CN3:ゲームセット、  
I:うん。  
CN3:ゲームセット、ま、「やり直す」、  
I:「やり直す」?それは、どうして?  
CN3:あ、「ゲーム」、  
I:うん。  
CN3:もう一回、セットする、もう最初からやり直す、っていう意味、  
I:うーん。さあ、のこり三つです。ガッツポーズ。  
CN3:ガッツポーズ・・・、写真撮るときによく、自分がするポーズ。  
I:どんなポーズ?それは、人それぞれ?  
CN3:ガッツポーズ・・・、あつ、なんか、グーとか?  
I:うん。それはどうしてですか?  
CN3:説明してもらいました。  
I:[笑い]そうそう。  
CN3:ちょっと、おぼえ、記憶が、  
I:うん。記憶が##、76番(ダンプカー)。  
CN3:ダンプ、ダンプカー、ダンプカー、車の種類ですか?

I:例えばどんな車ですか?  
CN3:なんか貨物、  
I:うん。  
CN3:運搬するときの、  
I:それはどうして?  
CN3:え、よくわから、  
I:よく、よくわからない?  
CN3:ダンプ、  
I:聞きますか?  
CN3:聞いたことない。  
I:じゃ最後、77番(オールバック)。  
CN3:オールバック、オールバック・・・。後退するですか?  
I:こうたい?  
CN3:後ろに。  
I:あー。後退ね。  
CN3:うーん。  
I:それはどうして?  
CN3:なんか、「バック」、  
I:それは人が?なにが、後退しますか?  
CN3:##、もの##、  
I:もの?  
CN3:うん、人じゃない。  
I:人、人じゃない、もの、  
CN3:うん。  
I:車とか?  
CN3:そう、たぶん、車とか、  
I:うん。  
CN3:あと、抽象的なもの、  
I:抽象的なもの。わかりました。  
CN3:うん。  
I:オ、でも、「オール」はなに?  
CN3:「オール」は全部ってこと。

I：うーん。じゃ全部、が後退するみたいな、  
オッケー。